

和歌山県立近代美術館年報

二〇二三

(令和5)年度

和歌山県立近代美術館年報 2023（令和5）年度



目 次

刊行にあたって	5
和歌山県立近代美術館の使命	6
沿革	7
展覧会事業	11
作品・資料の収集	44
作品・資料の保存・管理・貸出	80
普及事業	84
調査・研究・発表活動および体外協力活動	88
交流事業	91
その他	92
管理運営	93
関連法規・規則・規定等	96
建築概要	103
案内	106

刊行にあたって

2023（令和5）年度の年報を刊行いたします。前年からのウクライナ侵攻等により世界情勢が不安定な中、移民をテーマに外国との関係を検証する展覧会やイベントをはじめ、さまざまな視点から文化芸術をとらえる企画を実施しました。

この年の第2回和歌山県人会世界大会開催に際し、当館では記念特別事業として特別展「トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」を開催しました。本展覧会は、ロサンゼルス of 全米日系人博物館の特別協力のもと実現し、2024（令和6）年5月には同館と姉妹ミュージアム提携の締結につながりました。県内外の関係機関と連携し、美術作品と多様な移民史資料をあわせて紹介した本展は、画期的な試みとして大きな注目を集め、美術を通じた和歌山県の移民史研究の深化に貢献しました。

また、県の新政策事業「紀南地方の美術館との合同展覧会」の2年目として、田辺市立美術館との共催による特別展「原勝四郎展 南海の光を描く」を開催しました。こちらは原勝四郎の半世紀ぶりの大規模な回顧展となり、地元ゆかりの作家の顕彰を着実に進めることができました。また、小企画展「原勝四郎と同時代の画家たち」も同時期に開催し、原をめぐる交遊や表現の広がりを紹介しました。

このほか、2つの企画展と2つのコレクション展も開催しました。企画展「石ノウエニ描ク」では、当館コレクションの大きな柱である版画のなかでも、石版画を特

集しました。毎年夏の恒例事業となった企画展「なつやすみの美術館」では、学校教育との連携を確実にするとともに、湯浅町出身の作家・橋本知成の作品を当館コレクションとともに紹介して、現代美術展としても高い評価を得ることができました。

作品収集においては、恩地孝四郎の版画の重要作品や保田春彦の滞欧作を購入しました。また、「トランスボーダー」展で紹介した上山鳥城男や浜地清松らの貴重な油彩画、保田龍門の作品・資料や、造本家の大家利夫氏の作品・資料、磯井利光氏の現代美術コレクションも受贈することができ、新たに452点のコレクションが加わりました。

県の新政策事業「和歌山博物館施設デジタル化計画」も前年度から継続し、時代に則した貴重な第一歩を踏み出しました。施設面では、建設から30年近くを経過した老朽化への対応や、外壁の全面工事や、エレベーターの更新工事を行い、今後継続すべき改修への第一歩を踏み出しました。

2023（令和5）年12月には「“コレクション活用”による美術運営の旗手」として当館の活動が評価され、令和5年度地域創造大賞（総務大臣賞）を受賞いたしました。

当館の活動は、ご来館くださる方々をはじめ、多くの皆様のご支援とご協力によって成り立っています。ここに心から感謝申し上げますとともに、その成果をご報告し、さらに充実した美術館活動を進める基礎とするため、本年報を刊行いたします。

2025（令和7）年3月

和歌山県立近代美術館

和歌山県立近代美術館の使命

芸術は、私たちに楽しさや深い感動、精神的な安らぎをもたらします。芸術作品に触れることで、人は豊かな人間性を涵養し、未来への創造力を自らのうちに育むことができます。

和歌山県立近代美術館は、展覧会等を通じて人々に国内外の優れた美術文化に接する機会を提供し、地域や学校と連携しながら各種事業を通じて学校教育や生涯学習を支援することをめざします。そうした活動を通じて文化による地域作りを活性化し、文化資源の保全と活用を図り、文化芸術を担う人作りの推進に努めます。

このような目的を実現するため、以下の基本方針をもって臨みます。

1 魅力ある展覧会を開催します。

県民に優れた美術作品を鑑賞する機会を提供するため、魅力的な特別企画展・企画展を開催するとともに、充実した館藏品コレクションを活用して常設展を開催します。展覧会は次の4つの方針によって開催します。

- ①国内の近現代美術を紹介
- ②海外の多様な美術を紹介
- ③和歌山ゆかりの優れた作家を紹介
- ④現在活躍している若手作家を紹介

2 調査・研究の充実を図り成果の公表と反映に努めます。

美術史等の研究に寄与するため、充実した調査・研究を行い、その成果を展覧会や教育普及活動等に反映させ、印刷物、インターネット等を通して公開します。

3 作品・資料の収集を行います。

美術作品収集方針に沿って作品・資料の収集を行い、県民の文化遺産のさらなる形成に努めます。

4 所蔵作品・資料の状態調査、保存修復、保存環境の整備を行います。

収集した作品・資料を文化財として活用し、文化遺産として未来に伝えるため、状態調査及び保存修復、保存環境の整備に努めます。

5 地域と連携し学校教育や生涯学習を支援します。

地域の学校と連携して、子どもたちが団体鑑賞、体験的プログラムに参加できる環境を整備することによって、

また鑑賞教材の作成等を通じて、幅広い学習支援を行います。多様化する県民の関心に応えるため、ワークショップや解説会への参加等を通して生涯学習の支援を行います。またボランティアや友の会との協働を図り、他の県立博物館施設をはじめとする生涯学習施設・関係機関・団体等と連携します。

6 国内外の美術館や関連組織等と連携し、多様な活動を展開します。

これまで深めてきたわが国の美術館や関連組織等との信頼関係を基に、さらなる学術交流を行い、より質の高い、幅広い事業を展開するように努めます。国内外の美術館に所蔵作品・資料を貸し出すことにより、当館の優れたコレクションの魅力を発信します。本県の美術文化の発展並びに博物館活動を通じて広く知的資源の蓄積に寄与できるよう努めます。

7 利用者が安全で快適に利用できるよう美術館運営を行います。

すべての利用者が安全で快適に利用できるよう、施設・設備の維持管理を行うとともに、危機管理、安全、アメニティーに対する職員の意識向上に努めます。また施設的美観の保持と衛生管理に努めます。

■和歌山県立美術館

1963（昭和38）年

- 3月17日 旧和歌山城二の丸跡に開館
- 7月 川口軌外展
- 10月 第1回明治・大正・昭和名作美術展
- 11月 第17回和歌山県美術展(1969年第23回展まで開催)

1964（昭和39）年

- 4月 紀州陶磁器展
- 10月 第2回明治・大正・昭和名作美術展

1965（昭和40）年

- 3月 祇園南海展
- 5月 長沢蘆雪名作展
- 7月 日高昌克展
- 10月 近代洋画名作展特設・原勝四郎遺作展

1966（昭和41）年

- 3月 ダリ・シャガール・ピュッフェ版画展
- 6月 石垣栄太郎遺作展
- 6月 日本伝統工芸秀作展
- 7月 川端龍子展
- 10月 松方コレクション展

1967（昭和42）年

- 4月 国際青年美術家展・日本／アメリカ展
- 8月 和歌山アンデパンダン展
- 10月 富岡鉄斎展

1968（昭和43）年

- 3月 桑山玉洲展
- 4月 浮世絵総合展(吉川観方コレクション)
- 7月 1968和歌山アンデパンダン展
- 9月 扇絵展
- 10月 明治100年記念 郷土作家回顧展

1969（昭和44）年

- 4月 保田龍門展
- 10月 明治・大正・昭和・名作美術展

1970（昭和45）年

- 3月 京都の近代日本画展
- 4月 日本女装展(吉川観方コレクション)
- 11月2日 廃館

■和歌山県立近代美術館

1970（昭和45）年

- 11月2日 和歌山県民文化会館内に開館
- 第24回和歌山県美術展(1993年第47回展まで開催)

1971（昭和46）年

- 3月 大夢・晩花展
- 4月 竹久夢二展
- 8月 紀州の風景画展

1972（昭和47）年

- 1月 浜口陽三版画展
- 3月 原勝四郎展
- 4月 現代日本絵画秀作展
- 10月 アメリカにおける日本人作家回顧展
-石垣栄太郎・国吉康雄・ヘンリー杉本

1973（昭和48）年

- 3月 地中海の古代美術展
- 4月 日本伝統工芸秀作展
- 10月 川口軌外展

1974（昭和49）年

- 4月 吉田政次遺作展
- 10月 碓伊之助展

1975（昭和50）年

- 10月 木下孝則回顧展

1976（昭和51）年

- 2月 1910年代における京都日本画の新動向
- 10月 木下義謙作品展

1977（昭和52）年

- 2月 田中恭吉展
- 10月 川端龍子展 龍子 そのすべて

1978（昭和53）年

- 10月 日高昌克展

1979（昭和54）年

- 2月 神中糸子と工部美術学校展
- 5月 村井正誠展
- 10月 高井貞二展

1980（昭和55）年

- 3月 川口軌外とその周辺-和歌山の初期独立展系作家たち-
- 10月 開館10周年記念 1930年協会の作家たち展

1981（昭和56）年

- 3月 恩地孝四郎・田中恭吉・逸見享版画展
- 10月 下村観山-その人と芸術-

1982（昭和57）年

- 2月 建畠覚造展
- 7月 イタリア美術の一世紀展《1880-1990》
- 10月 稗田一穂展

1983（昭和58）年

- 7月 関西の美術家シリーズ1-津高一・泉茂・吉原英雄展
- 10月 日本の洋画秀作展

1984（昭和59）年

- 2月 和歌山の作家と県内洋画壇展
- 7月 関西の美術家シリーズ2 元永定正・白髪一雄展
- 10月 紀州の風景を描いた作家たち展

1985（昭和60）年

- 3月 第1回和歌山版画ビエンナーレ展
- 7月 関西の美術家シリーズ3 彫刻の4人-清水九兵衛・山口牧生・森口宏一・福岡道雄展
- 10月 開館15周年記念 近代洋画の展開-初期独立美術協会の作家たち展

1986（昭和61）年

- 7月 独創傑出の画家 朝井閑右衛門の世界
- 10月 瑛九とその周辺

1987（昭和62）年

- 3月 第2回和歌山版画ビエンナーレ展
- 7月 関西の美術家シリーズ4 日本画の4人-大野俣嵩・下村良之介・星野真吾・三上誠展
- 9月 太平洋を越えた日本の画家たち アメリカに学んだ18人

1988（昭和63）年

- 3月 描かれた動物たち
- 7月 関西の美術家シリーズ5 版画の4人-井田照一・木村光佑・黒崎彰・船井裕展
- 10月 竹久夢二とその周辺

1989（昭和64・平成元）年

- 3月 第3回和歌山版画ビエンナーレ展
- 7月 関西の美術家シリーズ6 現代の造形-土と布と糸 荒木高子・前川強・濱谷明夫展
- 10月 親と子で見る世界の名画展

1990（平成2）年

- 7月 関西の美術家シリーズ7 美術の現在-4つの試み 宮崎豊治・北山善夫・木村秀樹・野田裕示展
- 10月 現代の陶芸1980-1990 関西の作家を中心として

1991（平成3）年

- 3月 第4回和歌山版画ビエンナーレ展
- 7月 関西の美術家シリーズ8 美術の現在-彫刻の変容 小清水漸・北辻良央・川島慶樹展
- 9月 ポスター芸術100年展 サントリー美術館所蔵グランヴィルコレクション

1992（平成4）年

- 10月 版画芸術の饗宴-ケネス・タイラーと巨匠たち:1963-1992

1993（平成5）年

- 3月 第5回和歌山版画ビエンナーレ展

■新館計画

1988（昭和63）年

- 2月 政策調整会議において、美術館及び博物館2館の建設を決定
- 3月 新美術館の建設計画に係る基本的事項についての指導、助言を得るため「新美術館建設懇談会」を設置
- 9月 新美術館に係る基本構想策定のため、「新美術館建設検討委員会」を設置

1989（昭和64・平成元）年

- 4月 「和歌山県美術品取得基金条例」を設置
新美術館建設検討委員会より「和歌山県立新美術館の建設基本構想について」答申
- 8月 美術館の美術作品収集基本方針及び開館展等の開催に関する事項を検討、協議するため、「新美術館専門会議」を設置
美術館において収集する美術作品の選定に関し、審議するため「和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会」を設置
- 9月 新美術館専門会議において「新美術館の美術作品収集方針について」承認

1990（平成2）年

- 3月 新美術館の設計を「黒川紀章建築都市設計事務所」に委託

1991（平成3）年

- 7月 和歌山県美術品取得基金によりジョージ・シーガル《煉瓦の壁ぞいに歩く男》(1988)を購入
- 10月 施設着工式を挙行
- 11月 和歌山県美術品取得基金によりマーク・ロスコ《赤の上の黄褐色と黒》(1957)を購入

1992（平成4）年

- 8月 和歌山県美術品取得基金によりフランク・ステラ《ラッカIII》(1968)を購入

1993（平成5）年

- 9月 和歌山県美術品取得基金によりパブロ・ピカソ《ミノトローマシー》(1935)、《泣く女》(1937)を購入

1994（平成6）年

- 2月 定礎式を挙行
- 3月 工事完了
- 4月 新美術館へ移転

■和歌山県立近代美術館 新館

- 7月8日 新近代美術館開館
開館記念展1 美術館へ行こう
- 10月 開館記念展2 大正のまなざし
-若き保田龍門とその時代-
- 11月 小企画展 ルオーの「ミゼレーレ」

1995（平成7）年

- 1月 恩地孝四郎-色と形の詩人-
- 2月 小企画展 和歌山ゆかりの作家たち
- 4月 1994年度新収蔵作品展
- 4月 ヴィクトリア&アルバート美術館展-イギリス絵画の350年

- 7月 村井正誠展 色と形と心-人間の詩
- 8月 小企画展 美術館に行ったよ!-風景ってなあに-
- 8月 小企画展 日本の近代版画
- 9月 保田春彦展
- 10月 野田裕示近作展

1996（平成8）年

- 1月 線画の世界-かたりの表現-
- 2月 ひかる・うごく・おとがする 20世紀の静かならざる作品たち
- 4月 美術館へ行ったら!?「絵画」というしくみ
- 6月 紀伊半島を歩いて -ロジャー・アックリング&ハミッシュ・フルトン
- 8月 モスクワ、プーシキン美術館名作展-室内への視線-
- 9月 ホックニーのグリム童話
- 11月 日本のグラフィックデザイン

1997（平成9）年

- 1月 和歌山の版画家10人
- 3月 新しい関西の美術家たち ものとあらわれ
- 4月 美術館へ行ったらよ! コレクションに見る東京
- 5月 美術館へ行ったらよ! コレクションに見るパリ
- 7月 アルザスとフランス近代美術の歩み-ストラズブル近代美術館展
- 8月 版画の技法・表現の手法
- 10月 マリノ・マリーニ展
- 11月 アメリカの中の日本 石垣栄太郎と戦前の渡米画家たち

1998（平成10）年

- 1月 心のかたち
- 2月 泉茂 初期版画作品を中心に
- 4月 世紀末芸術の華 オーブリー・ピアズリー展
- 5月 日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト1
- 6月 日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト2
- 8月 静けさの中から 星の贈りもの
- 9月 和歌山の日本画 コレクション・ダイジェスト3
- 10月 意味とイメージ-あらわれる浪漫主義の明治
- 12月 フランス現代美術展 眼と精神

1999（平成11）年

- 2月 関西の戦後美術 1950's-1990's
- 4月 めいさく根掘葉掘 アートと知り合い!
- 6月 デモクラート1951-1957 開放された戦後美術
- 7月 日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト4
- 8月 熊野の音+熊野の色 増田感・北堅吉彦展
- 9月 サンフランシスコ近代美術館展-カリフォルニア・アートシーン 1920's-1930's
- 11月 川口軌外展 ある洋画家の軌跡
- 12月 越境する想像力 素材との出会い

2000（平成12）年

- 2月 コレクションにみる 芸術と社会
- 4月 田中恭吉展
- 5月 定規とコンパス?幾何学図形と美術の表現
- 7月 印象派の巨匠 シスレー展-イル・ド・フランスの光を愛して
- 9月 東欧絵本の世界展 国境を越える 子どものためのアート
- 11月 現代版画の軌跡 ゆめとめざめ
- 12月 日本の近代版画4 コレクション・ダイジェスト

2001（平成13）年

- 2月 版画今昔
- 4月 夢の世界のおくりもの アンデルセン童話・絵本原画展
- 5月 うごけば、かわる。
- 8月 宇佐美圭司・絵画宇宙
- 9月 浜口陽三へのオマージュ
- 10月 マックス・エルンスト展
- 12月 一期一会 であう めでる つたえる-コレクションによる全館展示

2002 (平成14) 年

- 4月 あたらしい画面をもとめて 関西の半世紀
- 5月 「生活」を「芸術」として 西村伊作の世界
- 7月 アンジェ美術館展
- 9月 山本容子の美術遊園地
- 11月 美術百科「この人のこの一点」の巻-コレクションによる全館展示

2003 (平成15) 年

- 4月 はじめての美術 絵本原画の世界展
- 6月 チャベック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド
- 7月 近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展
- 9月 たがやすように 熟す画面の4つのかたち
- 11月 和歌山県特別事業 創設40周年記念 文化表彰の歩み展
- 12月 美術百科「七つの鍵」の巻-コレクションによる全館展示

2004 (平成16) 年

- 4月 和歌山県特別事業「日本に向けられたヨーロッパ人の眼・ジャパントゥディ vol. 6」
- 4月 和歌山県特別事業 atW vol. 1「永坂嘉光・鈴木理策 高野__熊野__聖地」
- 6月 小野竹喬展
- 7月 ピノッキオ その誕生から現代まで展
- 11月 チャールズ&レイ・イームズ 創造の遺産展

2005 (平成17) 年

- 1月 開館10周年記念 美術百科「版画」の巻-コレクションによる全館展示
- 4月 没後10年 遺業・泉茂
- 6月 世界の版画名品選
- 7月 夏休み わかやま美術探偵団 関連企画 鈴木昭男「点音 in 和歌山」
- 9月 版画家たちの表情
- 11月 佐伯祐三-芸術家への道-

2006 (平成18) 年

- 1月 美術百科「世界一周」の巻-コレクションによる全館展示
- 4月 ベトナム近代絵画展 花と銃-インドシナ・モダンの半世紀
- 4月 小特集 追悼・建島覚造+新収蔵作品
- 6月 現代「日本画」の展望-内と外のあいだで-
- 8月 和歌山県特別事業 和歌山県美術展覧会第60回記念 和歌山の美術を担う作家たち展
- 7月 小特集 野田裕示+鈴木理策
- 9月 森鷗外と美術
- 11月 小特集 没後20年高井貞二-ニューヨークのタカイ
- 11月 科学の感情-あたらしい時代の感覚と表現-

2007 (平成19) 年

- 1月 美術百科「前衛の関西」の巻-コレクションによる全館展示
- 4月 教育普及課を設置
- 4月 竹久夢二展-描くことが生きること-
- 4月 特集展示 大正デカダンス 「夢二学校」+「テルヲ・パンカ」
- 6月 ふだん美術 -日常に向けた目と心-
- 6月 特集展示 うるわしき技の世界 近現代美術の達人たち
- 7月 relations 関係 -藤本由紀夫/FUJIMOTO and
- 7月 relations 関係 -藤本由紀夫/happy conceptual-杉山知子+藤本由紀夫
- 10月 森のなかで
- 12月 美術百科「色・いろいろ」の巻-コレクションによる全館展示

2008 (平成20) 年

- 4月 抒情の様式
- 6月 共作×共鳴×共感-ともに作られた作品たち
- 7月 ルオーの〈ミセレーレ〉 人間へのまなざし
- 9月 点と面の詩情-上前智祐・山中嘉一・坪田政彦

- 11月 彼岸の美術
- 12月 美術百科「この人はだれ」の巻-コレクションによる全館展示

2009 (平成21) 年

- 4月 原勝四郎展
- 4月 アメリカをめぐる
- 6月 油絵の理由-「あぶらえ」は好きですか?
- 7月 生誕100年記念 浜口陽三展
- 7月 サマー・ミュージアム-わかやま発見-
- 9月 自宅から美術館へ 田中恒子コレクション展
- 9月 コレクション名品展
- 11月 世界遺産登録5周年記念 描かれた紀伊山地の霊場と参詣道
- 11月 和歌山県特別事業 第63回和歌山県美術展覧会(以降継続)
- 12月 美術百科「ここはどこ」の巻-コレクションによる全館展示

2010 (平成22) 年

- 4月 開館40周年記念展I ようこそ彫刻の森へ
- 4月 特集展示 宇佐美圭司-絵画の歩み-
- 7月 特集展示 大亦新治郎のスケッチから-明治・大正の和歌山のまち
- 9月 開館40周年記念展II 日本近代の青春創作版画の名品
- 10月 特集展示 保田春彦 近作デッサンを中心に
- 11月 和歌山県特別事業 平山郁夫追悼展示、小沢道治展

2011 (平成23) 年

- 1月 開館40周年記念展III 油絵の魅力 イズムを超えて
- 3月 版画の「アナ」 ガリ版がつなぐ孔版画の歴史
- 3月 特集展示 吉田政次の世界
- 4月 ポップ?ポップ!ポップ♡ コレクションに見るポップなアートの50年
- 6月 特集展示 生誕120年記念 恩地孝四郎・藤森静雄
- 7月 なつやすみの美術館「みること」「うつすこと」
- 9月 生誕100年 高井貞二展-「昭和」を描いた人-
- 9月 特集展示 生誕120年 保田龍門
- 11月 吉原英雄展 画家のドラマ
- 12月 特集展示 生誕130年 日高昌克
- 12月 特集展示 吉原英雄を囲む作家たち

2012 (平成24) 年

- 2月 ホックニーのグリム童話
- 3月 特集展示 井田照一
- 4月 人間と自然の美術
- 6月 なつやすみの美術館2:かたちと色のABC
- 6月 特集展示 なつやすみ特集 野田哲也
- 9月 生誕120年記念 田中恭吉展
- 9月 特集展示 幻想の美術
- 11月 生誕120年記念 川口軌外の歩み展
- 12月 特集展示 没後70年 建島大夢

2013 (平成25) 年

- 2月 謄写版の冒険 卓上印刷器からはじまったアート
- 3月 特集展示 版画・図案・オブジェ
- 4月 日本の絵画の五十年
- 6月 特集展示 瑛九:紙の上の仕事
- 7月 なつやすみの美術館3 『美術の時間』
- 9月 生誕120年記念 石垣栄太郎展
- 9月 特集展示 没後100年 香山小鳥 ゆめの日のかけ
- 12月 特集展示 人間と宇宙のドラマ:吹田文明・堀井英男・長岡國人
- 12月 物質(モノ)と美術

2014 (平成26) 年

- 2月 版画について考える-101年目の宿題-
- 3月 特集展示 モノクロームの世界
- 4月 美術館の運営状況等を評価することを目的として「和歌山県立近代美術館評価部会」を設置

- 4月 建島覚造と戦後の彫刻 かたちをさぐる
- 6月 特集展示 生誕120年 大亦観風
- 7月 なつやすみの美術館 4 生きています!
- 9月 特集展示 没後50年 野長瀬晩花
- 11月 観光する美術 和歌山から始まる旅
- 12月 特集展示 コレクション/ドネーション

2015 (平成27) 年

- 1月 『月映』展 田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎 一木版にいのちを刻んだ青春
- 3月 和歌山と関西の美術家たち リアルのリアルのリアルの
- 3月 特集展示 『版画』の明治-印刷と美術のはざままで
- 3月 「和歌山県立近代美術館の使命」を公開
- 5月 保田龍門・保田春彦展
- 6月 特集展示 くりかえしの美
- 7月 なつやすみの美術館 5 つぶやき おはなしものがたり
- 9月 ここだけの日本画
- 9月 特集展示 アメリカ移民の歴史と芸術家たち
- 9月 特集展示 生誕120年 逸見享
- 12月 生誕110年 村井正誠展 ひとの居る場所
- 12月 特集展示 光について

2016 (平成28) 年

- 3月 宇佐美圭司回顧展 絵画のロゴス
- 3月 特集展示 謄写印刷工房から印刷と美術のはざままで
- 4月 恩地孝四郎展 抒情とモダン 関連企画 本の美術:リユールへの誘い
- 6月 特集展示 ドローイング-水彩・パステル・紙の世界
- 7月 なつやすみの美術館 6 きろくときおく
- 9月 特集展示 薔薇色の鏡 銅版画の技と表現
- 10月 和歌山県特別事業 第1回和歌山県ジュニア美術展覧会(以降継続)
- 11月 動き出す!絵画 ペール北山の夢-モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち
- 11月 大正の異色画家たち(特別展「動き出す!絵画」第二部)

2017 (平成29) 年

- 1月 泉茂 ハンサムな絵のつくりかた
- 1月 特集展示 群像-交錯する声
- 4月 現代版画の展開
- 5月 特集 おはなしのなかへ
- 6月 鈴木久雄 彫刻の速度 和歌山展
- 7月 なつやすみの美術館 7 すききらい、すき? きらい?
- 9月 特集 NANGA 俗を去り自ら楽しむ
- 10月 アメリカへ渡った二人 国吉康雄と石垣栄太郎

2018 (平成30) 年

- 1月 特集 はじまりの景色
- 1月 特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち I 古きに学(まね)ぶ 下村観山を中心に
- 2月 明治150年記念 水彩画家・大下藤次郎展
- 4月 産業と美術のあいだで 印刷術が拓いた楽園
- 4月 特集 庭園の眺め 高橋力雄の木版画
- 4月 特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち II
- 7月 なつやすみの美術館 8 タイムトラベル
- 8月 特集 鈴木昭男 音と場の探究
- 8月 特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち III
- 9月 和歌山-日本 和歌山を見つめ、日本の美術、そして近代美術館を見つめる
- 10月 特集 国展の版画
- 11月 創立100周年記念 国画創作協会の全貌展

2019 (平成31・令和元) 年

- 1月 コレクション名品選
- 1月 空調設備工事のため休館
- 4月 LOVE (your) LIFE! まいにちがアート
- 4月 コレクション展 2019-春 +新収蔵作品
- 6月 ニューヨーク・アートシーン ロスコ、ウォールホルから草間

彌生、バスキアまで-滋賀県立近代美術館コレクションを中心に

- 7月 なつやすみの美術館 9 水と美術 feat. 坂井淑恵
- 9月 時代の転換と美術 「大正」とその前後
- 9月 特集 滋賀県立近代美術館所蔵品より みやこの洗練 明治の京都画壇
- 9月 特集 生誕130年記念 せんぱん-前川千帆の版画-
- 10月 芸術に親しもう! おでかけ美術館 第1回 紀南地方坂井淑恵展「水の中」
- 11月 日・チェコ交流100周年 ミュシャと日本、日本とオドリク
- 11月 特集 ニホンラシサを探せ
- 11月 外交史料展 外交史料と近代日本のあゆみ

2020 (令和2) 年

- 1月 コレクション名品選
- 1月 2階展示室照明機器改修工事のため休館
- 5月 もようづくし
- 5月 特集 浜地清松
- 6月 特集 浜口陽三
- 7月 なつやすみの美術館 10 あまたの先日ひしめいて今日
- 9月 芸術に親しもう! おでかけ美術館 第2回 紀中地方田中秀介展「あなたの先日ふみこんで今日」
- 9月 もうひとつの日本美術史-近現代版画の名作展 2020
- 9月 和歌山県立近代美術館 コレクションの50年
- 12月 美術館を展示する 和歌山県立近代美術館のサステイナビリティ

2021 (令和3) 年

- 1月 コレクション名品選
- 1月 1階展示室照明改修工事のため休館
- 4月 疎密考
- 4月 特集 うちのなかから
- 6月 もうひとつの世界
- 7月 なつやすみの美術館11 野田裕示「集まる庭」
- 8月 コミュニケーションの部屋
- 10月 芸術に親しもう! おでかけ美術館 第3回 紀北地方野田裕示展
- 10月 和歌山の近現代美術の精華 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで/第2部 島村逢紅と日本の近代写真

2022 (令和4) 年

- 1月 コレクション名品選
- 2月 20世紀からおみやげ。近現代美術のたのしみ
- 2月 特集 若き日の野長瀬晩花
- 4月 モダン・プリント コレクションにみる世界の版画
- 4月 特集 生誕130年 田中恭吉
- 7月 なつやすみの美術館12 妻木良三「はじまりの風景」
- 7月 特集 1960s-1980s 関西の現代美術「再見」
- 9月 稗田一穂展
- 10月 特集 田中恒子コレクション
- 10月 ミティラー美術館コレクション展
- 11月 ニッポンの油絵

2023 (令和5) 年

- 1月 コレクション名品選
- 2月 とびたつとき 池田満寿夫とデモクラートの作家
- 2月 特集 新収蔵 奈良原一高の写真
- 4月 石ノウエニ描く 石版画と作り手たちの物語
- 5月 特集 美術と音楽の出会い
- 7月 なつやすみの美術館13 feat. 橋本知成
- 8月 特集 広島市現代美術館所蔵品による池田満寿夫の1960-1980年代/特集 本のために-大家利夫の仕事
- 9月 トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術
- 10月 原勝四郎展 南海の光を描く
- 10月 原勝四郎と同時代の画家たち

2024 (令和6) 年

- 1月 エレベーター改修工事のため休館

2023（令和5）年度展覧会一覧

1. 特別事業・特別展

- 1. 第2回和歌山県人会世界大会記念特別事業
トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術 …………… 12
9月30日（土）～11月30日（木）
- 2. 原勝四郎展 南海の光を描く …………… 19
10月7日（土）～12月3日（日）

2. 企画展

- 1. 石ノウエニ描ク 石版画と作り手たちの物語 …………… 24
4月22日（土）～7月2日（日）
- 2. なつやすみの美術館13 feat. 橋本知成 …………… 29
7月11日（火）～9月10日（日）

3. 常設展・小企画展

- 1. コレクション展 2023—春夏
特集 美術と音楽の出会い …………… 31
5月20日（土）～7月30日（日）
- 2. コレクション展 2023—夏秋
特集 広島市現代美術館所蔵品による池田満寿夫の1960–1980年代
特集 本のために—大家利夫の仕事 …………… 35
8月11日（金・祝）～9月24日（日）
- 3. 小企画展 原勝四郎と同時代の画家たち …………… 42
10月7日（土）～12月24日（日）

1-1. 第2回和歌山県人会世界大会記念特別事業 トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術

- 会期 : 2023年9月30日(土)～11月30日(木) 54日間(休館日を除く)
- 会場 : 展示室C(2階)
- 主催 : 和歌山県立近代美術館、和歌山移民研究を軸とした国際交流事業実行委員会
- 特別協力 : 全米日系人博物館
- 協力 : 太地町教育委員会、和歌山大学紀州経済史文化史研究所、和歌山市立博物館、南加和歌山県人会
- 入場者数 : 8,057名
- 内容 : 和歌山県人会世界大会記念特別事業(県国際際)のひとつとして、移民として多くの人々が海を渡った和歌山県の歴史を背景に、アメリカ西海岸を中心に、美術を志した人々の足跡を追う展覧会を文化庁補助事業と関連づけて開催した。当館所蔵品を含め、全米日系人博物館、スタンフォード大学、宮武東洋コレクション、宮城県美術館、東京国立近代美術館、東京藝術大学、東京都写真美術館、竹久夢二美術館、夢二郷土美術館、埼玉県立近代美術館、京都国立博物館、和歌山市立博物館、和歌山市民図書館、和歌山大学、有田川町立烏屋城小学校、太地町歴史資料室、個人蔵などアメリカ7か所、国内26か所から作品・資料を集めた。
- 展示点数 : 作品・資料192点、参考出品
- 担当学芸員 : 奥村一郎、青木加苗
- 関連事業 : ・移民と美術をめぐるシンポジウム Vol.2 10月22日(日)13:00～16:30 2階ホールにて 60名 *日英同時通訳つき
パネリスト：クリステン・ハヤシ(全米日系人博物館キュレーター、コレクション・マネジメント&アクセス担当ディレクター)
エミリ・アンダーソン(全米日系人博物館キュレーター)
水野真理子(富山大学准教授)
櫻井敬人(太地町歴史資料室学芸員、ニューベッドフォード捕鯨博物館顧問学芸員)
奥村一郎(当館教育普及課長)
青木加苗(当館学芸員)
主催：和歌山移民研究を軸とした国際交流事業実行委員会
- ・フロアレクチャー 10月1日(日)、11月11日(土)、11月25日(土) 各14:00～15:00 2階展示室にて 30名、41名、18名
- ・こども美術館部「さかいはないさかい」 10月28日(土)、10月29日(日) 各11:00～12:00 2階展示室にて *詳細85頁
- ・映画上映会「古里：失われた村、ターミナル島」(監督：デビット・メツェラー、2007年)、「東洋宮武が覗いた時代」(企画・脚本・監督：すずきじゅんいち、2008年) 11月18日(土)13:00～16:00 2階ホールにて 60名 主催：和歌山県立近代美術館友の会 協力：和歌山県立近代美術館、太地町歴史資料室
- 制作物 : ・ポスター(B2判、オフセット印刷)
・チラシ(A4判、オフセット印刷)
・招待状(封書、オフセット印刷)
・出品目録(和:A4判8頁、英:A4判8頁)
・プレスリリース(A4判4頁)
・シンポジウムプログラム(A5判16頁、オフセット印刷)
・映画上映会チラシ(A4判)
・図録『トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術』:和歌山県立近代美術館 2023年9月29日発行(25.5×19.3cm、224頁、オフセット印刷)
山野英嗣 近代美術館における「移民展」
奥村一郎 「トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」開催の経緯
クリステン・ハヤシ 全米日系人博物館のパーマネントコレクションその中心にある美術
青木加苗 赫土社とそのコミュニティー上山鳥城男と彦山禎吉の版画を起点にして
- 入場料金 : トランスボーダー展のみ 一般800(640)円、大学生500(400)円/原勝四郎展と共通 一般1,000(800)円、大学生600(500)円
()内は20名以上の団体料金
- 成果・課題 : これまで培ってきた戦前の渡米美術家研究をさらに広げ、県内の関係各機関や全米日系人博物館と協力することで、明治期から太平洋戦争の時代にかけての、和歌山を中心とする移民と美術についての歴史を見直し、紹介することができた。特に現在の有田川町出身の画家・上山鳥城男(うやま・ときお/1889-1954)の活動を、初公開の作品や資料とともに示せたことは成果のひとつとして挙げられる。今後も各機関と連携を深めながら、調査研究や普及活動を継続していく。
- 関連記事 : ・「アートを通じて見える人・文化・歴史」『リビング和歌山』2081号、2023年4月1日
・「知られざる移民画家・有田川町出身の上山鳥城男さん 県立近代美術館で作品を展示」『Arikaina』9月号、2023年9月10日
・「和歌山の米国移民と美術」『わかやま新報』2023年9月27日、3面
・松本博子「トランスボーダー：和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」『毎日新聞』2023年9月28日、19面
・竹内涼「海渡り描いた県人に光 きょうから近代美術館」『読売新聞』2023年9月30日、27面
・大森貴弘「「こぼれ落ちた歴史に目を」 米移民の洋画家作品、故郷・和歌山で初展示」『産経新聞』2023年10月9日(ウェブでも配信)
・岩田仲弘「夢二晩年の外遊に光」『東京新聞』(夕)2023年10月11日、3面(ウェブでも配信)
・「トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術 始まる」『和歌山特報』2023年10月11日、9面
・窪田直子「越境の日本人芸術家に光」『日本経済新聞』2023年10月14日(ウェブでも配信)
・榎原織和「米で生きた証し 県立近代美術館 移民テーマの展覧会」『朝日新聞』2023年10月20日、21面
・清水有香「「移民県」発 渡米美術家に光」『毎日新聞』(夕)2023年10月23日、3面(ウェブでも配信)
・大森貴弘「埋もれた移民の歴史に光 日系人洋画家 上山鳥城男 故郷・和歌山で初展示」『産経新聞』2023年10月25日、7面
・正木利和「〈プレミアムplus〉差別、板挟み 分断の苦悩」『産経新聞』2023年10月27日、4面

- ・「〈美術館便り〉米・西海岸で美術を志した人たちの作品や資料を紹介 トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」『リビング和歌山』2023年10月28日、11面
- ・大西若人「穏健の背後に ねじれた実像」『朝日新聞』(夕)2023年11月7日、3面(ウェブでも配信)
- ・大西若人「トランスボーダー展 国境を超えて米国への移民画家たちの葛藤」『朝日新聞デジタル』2023年11月9日(ウェブ配信)
- ・勝田琴絵「〈REVIEW〉トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」『名古屋市美術館ニュース アートペーパー』124号、2023年12月1日
- ・「2022～2023私のこの3点(中塚宏行)」『美術評論家連盟会報』2023年12月16日(ウェブ配信)
- ・高橋咲子、山田夢留「〈美術この1年〉コレクションと美術館活動 模索」『毎日新聞』(夕)2023年12月25日、3面
- ・小田原のどか「〈ぐるぐるキョロキョロ展覧会記 第41回〉ボーダーを可視化するために」『芸術新潮』888号、2023年12月25日、p.126
- ・黒沢綾子「「移民」が拡張する日本の美術…ペルー新紙幣の顔になった女性画家から、在日外国人「デカセギ美術」の可能性まで」『WEBアステイオン』2024年1月17日(ウェブ配信)

- その他 :
- ・「〈水曜リサーチ〉移民県和歌山の美術と歴史をリサーチ」テレビ和歌山「6waka イブニング」、2023年10月4日放送
- メディア報道 :
- ・「特別事業「トランスボーダー:和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」」和歌山放送「教育広報ラジオ放送 定期便教育の窓」、2023年10月10日放送
 - ・「#115『トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術』の見所特集〈ゲスト〉奥村一郎さん(学芸員)」Podcast「本屋プラグラジオ」、2023年10月12日公開
 - ・「和歌山県人会世界大会(+トランスボーダー～和歌山とアメリカをめぐる移民と美術～)」テレビ和歌山「きのくに21」、2023年10月22日放送
 - ・「紀州人」NHK和歌山「ギュギュッと和歌山」、2023年11月2日放送
 - ・「トランスボーダー～和歌山とアメリカをめぐる移民と美術～」テレビ和歌山「教育テレビ番組 はばたく紀の国～教育は今～」、2023年11月5日放送
 - ・「アメリカに渡った移民たちが描いた絵画などの展覧会 和歌山」NHK和歌山「ギュギュッと和歌山」、2023年11月7日放送
 - ・ART360° (ART THREE SIXTY)による360° VR記録公開(公益財団法人西枝財団)、2024年10月公開

*以上ウェブ上の情報への最終アクセス日:2025年1月30日

出品目録

No.	作者名	作品名	制作年/発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
1. アメリカに学び、描く 明治期の先駆者たち						
1-1	加地 為也	朝の飲水	1880(明治13)	油彩、キャンバス	51.4×71.4額	スタンフォード大学 カンターアートセンター *The Michael Donald Brown Collection, made possible by the William Alden Campbell and Martha Campbell Art Acquisition Fund and the Asian American Art Initiative Acquisitions Fund. Funding for the conservation of this artwork was generously provided through a grant from the Bank of America Art Conservation Project, 2020.63
1-2	加地 為也	静物	1880(明治13)	油彩、キャンバス	40.5×60.9	宮城県美術館
1-3	高橋 勝蔵	静物	1891(明治24)	油彩、キャンバス	90.6×135.8	東京藝術大学
1-4	高橋 勝蔵	静物	1910(明治43)	油彩、キャンバス	45.8×60.9	宮城県美術館
1-5	青木 年雄	インディアンバスケットの柿	1895(明治28)	油彩、キャンバス	62.2×81.6額	スタンフォード大学 カンターアートセンター *The Michael Donald Brown Collection, made possible by the William Alden Campbell and Martha Campbell Art Acquisition Fund and the Asian American Art Initiative Acquisitions Fund, 2020.21
2. もうひとつの「和歌山」 西海岸の移民と生活						
〈渡米のしるべ〉						
2-1	片山 潜	『渡米案内』増補訂正十五版(東京 渡米協会)	1904(明治37)/初版1901(明治34)	書籍	18.7×12.7×0.8	個人蔵
2-2	片山 潜	『続渡米案内』五版(東京 渡米協会)	1904(明治37)/初版1902(明治35)	書籍	18.7×12.7×0.8	個人蔵
2-3	相島 勘次郎・相島 虚孔	『渡米の志るべ』増訂重版(大阪 岡島書店)	1906(明治39)/初版1903(明治36)	書籍	18.8×10.7×0.9	個人蔵
2-4	宮本 勘次郎(編)	『新渡米』再版(東京 出版協会)	1904(明治37)初版	書籍	18.5×12.8×0.7	個人蔵
2-5	宮本 勘次郎(編)	『続新渡米』(東京 出版協会)	1906(明治39)/初版1905(明治38)	書籍	19.2×12.6×1.0	和歌山市民図書館
2-6		『桑港航路案内』三版(東京 日本郵船株式会社)	1933(昭和8)/初版1928(昭和13)	書籍	18.3×12.8×0.3	個人蔵
2-7	筋師 千代市	『初等 英語独案内 附 西洋料理法』第10版(東京 求光閣)	1906(明治39)/初版1901(明治34)	書籍	18.9×13.0×1.2	和歌山大学紀州経済史文化史研究所 *江利川春雄氏寄贈

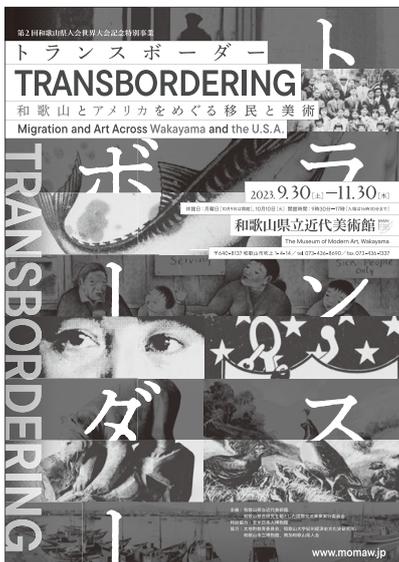
No.	作者名	作品名	制作年/発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
2-8		『渡米婦人心得』(〔横浜〕渡航婦人講習所)	1908-20(明治41-大正9)頃	折本	14.0×10.0	和歌山市民図書館
2-9	柴田 市太郎	『米国新移民法』(サンフランシスコ 日米新聞社)	1924(大正13)	書籍	22.8×15.2×0.5	和歌山大学紀州経済史文化史研究所 *小滝英男氏寄贈
2-10		日本帝国海外旅券(宮川宗雄)	1922(大正11)年1月29日		26.0×20.0	太地町歴史資料室
2-11		筆筒型移民トランク(仲田米吉氏旧蔵)	20世紀	皮革製	105.0×56.5×42.8	和歌山大学紀州経済史文化史研究所
2-12		鞆型移民トランク(仲田米吉氏旧蔵)	20世紀	皮革製	46.5×66.5×17.5	和歌山大学紀州経済史文化史研究所
2-13		長持型移民トランク(仲田米吉氏旧蔵)	20世紀	皮革製	43.0×106.5×36.0	和歌山大学紀州経済史文化史研究所
〈海とともに生きる 紀南からサンパドロへ〉						
2-14		メキシコ・アワビ貝			白:8.0×23.0×18.0 赤:9.0×22.0×19.0	太地町歴史資料室 *龍神好美氏寄贈
2-15	森本 幸夫	共栄丸模型	1921-41(大正10-昭和16)	木	15.5×47.5×16.0	太地町歴史資料室 *森本幸夫氏寄贈
2-16		「イトウェル・カリフォルニア・マカレル」(フレッチャー・サーディン社)	1918(大正7)以降	ブリキ缶	11.5×7.8	太地町歴史資料室
2-17		「チキン・オブ・ザ・シー」(パン・キャンパ・シー・フード社)	1914(大正3)以降	ブリキ缶	4.7×8.6	太地町歴史資料室
2-18		「チキン・オブ・ザ・シー」缶詰の広告ポスター(パン・キャンパ・シー・フード社)	1938(昭和13)	印刷、紙	29.2×20.0	太地町歴史資料室
2-19		「チキン・オブ・ザ・シー」缶詰のマッチラベル(パン・キャンパ・シー・フード社)	1930(昭和5)頃	印刷、紙	9.5×4.0	太地町歴史資料室
2-20		「ホワイト・スター」缶詰のマッチラベル(ホワイト・スター缶詰社)	1930(昭和5)頃	印刷、紙	9.6×4.0	太地町歴史資料室
2-21		濱下善吉氏旧蔵アルバム	1930年代	アルバム	28.1×32.9×3.5	個人蔵
2-22		ロサンゼルス港ターミナル島のフィッシュハーバー(ロサンゼルス イマダ・スタジオ)	1936(昭和11)	ゼラチン・シルバー・プリント	25.3×120.5	太地町歴史資料室 *浦淳市氏寄贈
2-23		太地町自治会『町報』	1927-36(昭和2-11)	謄写版、紙	26.0×35.0×13.4	太地町歴史資料室
2-24		在米太地人会ピクニック「ウイلمントン パニング公園」(ロサンゼルス 二宮写真館)	1935(昭和10)	ゼラチン・シルバー・プリント	25.3×97.4	太地町歴史資料室 *浦淳市氏寄贈
2-25		東サンパドロ公立学校ひなまつり(ロサンゼルス イマダ・スタジオ)	1936(昭和11)	ゼラチン・シルバー・プリント	23.5×68.0	個人蔵
2-26		第225少隊ターミナルアイランドボーイスカウト発会式(ロサンゼルス イマダ・スタジオ)	1936(昭和11)	ゼラチン・シルバー・プリント	24.0×18.5	個人蔵
2-27		濱下夫妻結婚記念写真(ロサンゼルス 宮武東洋スタジオ)	1923(大正12)以降	ゼラチン・シルバー・プリント	24.0×18.5	個人蔵
2-28		濱下兄妹肖像写真(サンパドロ 井谷スタジオ)	1936(昭和11)	ゼラチン・シルバー・プリント	16.5×11.5	個人蔵
〈農(たがや)す人々 紀北からの移民たち〉						
2-29		南加日本人切花業組合大園遊会(ロサンゼルス パリス写真館)	1923(大正12)	ゼラチン・シルバー・プリント	19.0×101.0	和歌山大学紀州経済史文化史研究所
2-30		西九一郎経営 パシフィックローズ商会	1940(昭和15)	ゼラチン・シルバー・プリント	23.5×109.5	和歌山大学紀州経済史文化史研究所
2-31		バラ園内の西九一郎	1908-20年代	ゼラチン・シルバー・プリント	13.6×8.0	和歌山大学紀州経済史文化史研究所
2-32		西九一郎家族写真(ロサンゼルス宮武東洋スタジオ)	1930(昭和5)頃	ゼラチン・シルバー・プリント	15.3×20.1	和歌山大学紀州経済史文化史研究所
2-33		龍門村人会合会〔西兄弟経営植木園内〕	撮影年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	8.0×13.7	和歌山大学紀州経済史文化史研究所
2-34		『北米移植回顧録』〔移民奨励資料第七輯〕(和歌山 和歌山県海外協会)	1931(昭和16)	書籍	19.0×13.1×0.4	和歌山大学紀州経済史文化史研究所 *小滝英男氏寄贈
〈兄を訪ねて 保田龍門の美術留学〉						
2-35	保田 龍門	父の像	1915(大正4)	油彩、キャンバス	73.0×60.8	和歌山県立近代美術館 *保田春彦氏寄贈
2-36	保田 龍門	母の像	1915(大正4)	油彩、キャンバス	73.0×60.9	和歌山県立近代美術館 *保田春彦氏寄贈
2-37		日本帝国海外旅券(保田龍門)	1920(大正9)年5月19日		26.2×20.0	和歌山県立近代美術館 *保田春彦氏寄贈
2-38		トランク(保田龍門旧蔵)	1920(大正9)以前	皮革製	30.5×84.5×51.0	和歌山県立近代美術館 *保田春彦氏寄贈
2-39	保田 龍門	スケッチブック	1920(大正9)	鉛筆、紙	13.5×18.5×0.7	和歌山県立近代美術館 *保田春彦氏寄贈
2-40	保田 龍門	K夫人像	1920(大正9)	油彩、キャンバス	60.6×46.0	和歌山県立近代美術館 *保田春彦氏寄贈
2-41		保田龍門アルバム	1920(大正9)	アルバム	23.7×31.5×2.3	和歌山県立近代美術館 *保田春彦氏寄贈
2-42		ブロンズ像に寄る保田龍門(シアトル マクブライド・スタジオ)	1920(大正9)	ゼラチン・シルバー・プリント	イメージ:18.9×13.9 シート:25.0×19.0	和歌山県立近代美術館 *保田春彦氏寄贈
2-43		保田龍門ポートレート(シアトル マクブライド・スタジオ)	1920(大正9)	ゼラチン・シルバー・プリント	イメージ:18.9×13.9 シート:25.0×19.1	和歌山県立近代美術館 *保田春彦氏寄贈
2-44	角南 壮一	イワニタ・モンタナの肖像(シアトル マクブライド・スタジオ)	1920(大正9)	ゼラチン・シルバー・プリント	イメージ:16.0×10.8 シート:25.0×19.0	和歌山県立近代美術館 *保田春彦氏寄贈
2-45	保田 龍門	北米シアトル郊外	1921(大正10)	油彩、板	23.3×33.0	和歌山県立近代美術館
2-46	保田 龍門	青衣婦人像〔アンドレ嬢〕	1921-23(大正10-12)	油彩、キャンバス	65.5×53.5	個人蔵
〈島村逢紅の米国旅行〉						
2-47		渡米記念シアトル市南葵青年会」集合写真(シアトル ジャクソン・スタジオ)	1927(昭和12)	ゼラチン・シルバー・プリント	19.0×24.0	個人蔵
2-48	島村 逢紅	廣告板	1927(昭和12)	ゼラチン・シルバー・プリント	22.7×28.3	個人蔵
2-49	島村 逢紅	〔後ろ姿〕	1927(昭和12)	ゼラチン・シルバー・プリント	24.3×29.8	個人蔵
2-50	島村 逢紅	電柱	1927(昭和12)	ゼラチン・シルバー・プリント	22.2×28.8	個人蔵

No.	作者名	作品名	制作年/発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
3. 上山鳥城男とその周辺 ロサンゼルス芸術家コミュニティ						
〈画家、上山鳥城男〉						
3-1	上山 鳥城男	モンレーの入江	1924(大正13)	油彩、キャンバス	81.3×101.6	スタンフォード大学 カンター アートセンター *The Michael Donald Brown Collection, made possible by the William Alden Campbell and Martha Campbell Art Acquisition Fund and the Asian American Art Initiative Acquisitions Fund, 2020.129
3-2	上山 鳥城男	[ハイシエラ風景]	1924(大正13)	油彩、キャンバス	81.9×101.6	個人蔵
3-3	上山 鳥城男	[静物]	1924(大正13)	油彩、キャンバス	58.4×76.2	個人蔵
3-4	上山 鳥城男	黒衣の肖像(上山夫人)	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	74.9×60.3	個人蔵
3-5	上山 鳥城男	日本着の婦人(着物姿の上山夫人)	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	165.5×106.7	全米日系人博物館 *Gift of Grace Keiko Nozaki and Irene Tsukada Germain, 2006.46.1
3-6	上山 鳥城男	[裸婦]	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	91.4×76.2	個人蔵
3-7	上山 鳥城男	『上山鳥城男油彩画展目録』	1924(大正13)	印刷、紙	15.9×9.6	個人蔵
3-8	宮武 東洋	上山鳥城男個展 集合写真	1936(昭和11)	ゼラチン・シルバー・プリント	19.8×25.0	個人蔵
3-9	上山 鳥城男	『上山鳥城男遺作回顧展目録』	1954(昭和29)	印刷、紙	25.4×17.8	個人蔵
〈上山鳥城男と赫土社〉						
3-10		『赫土社展覧会目録』	1923(大正12)	印刷、紙(冊子)	20.3×15.2	全米日系人博物館 *Gift of the Obata Family, 2000.19.12
3-11	上山 鳥城男	年賀状「聖母子・寅」	1925(大正14)/1937(昭和12)	木版、紙	17.8×10.0	個人蔵
3-12		赫土社講演会案内ハガキ(宮武辰夫)	1926(大正15)	印刷、紙	14.0×8.7	個人蔵
3-13		赫土社ピクニック集合写真	1920-30年代	ゼラチン・シルバー・プリント	12.7×17.8	個人蔵
参考図版		「下村逸蒼歓迎会(於 三光楼)」集合写真 (岡村眸子鳥旧蔵アルバムより)	1924(大正13)年7月3日			全米日系人博物館 *Gift in Memory of Toshiyuki and Chiharu Okamura, 90.88.2
参考図版	宮武東洋	「川福に於ける芸術家新年懇親会」集合写真 (岡村眸子鳥旧蔵アルバムより)	1936(昭和11)年2月			全米日系人博物館 *Gift in Memory of Toshiyuki and Chiharu Okamura, 90.88.2
〈赫土社とエドワード・ウェストン〉						
3-14	宮武 東洋	[月下美人]	1920年代	ゼラチン・シルバー・プリント	24.1×18.4	個人蔵
3-15	宮武 東洋	[月下美人]	1920年代	ゼラチン・シルバー・プリント	24.1×18.4	個人蔵
3-16	宮武 東洋	早朝のジャクソン通り(ロサンゼルス、リトル トーキョー通り)	1924(大正13)/プリント 1929(昭和4)	ゼラチン・シルバー・プリント	32.3×26.0	宮武東洋コレクション
3-17	宮武 東洋	ロング・ビーチ・バイク	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	32.3×26.0	宮武東洋コレクション
3-18	宮武 東洋	ピチカート・ボルカ(伊藤道郎)	1928(昭和3)	ゼラチン・シルバー・プリント	32.3×26.0	宮武東洋コレクション
3-19	宮武 東洋	[リュウゼツラン]	1933(昭和8)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.3×34.9	宮武東洋コレクション
3-20	エドワード・ウェストン	マルグレーテ、グレンデール	1923(大正12)	ゼラチン・シルバー・プリント	15.2×21.6	個人蔵
3-21	エドワード・ウェストン	無題(ヌード、仰臥)	1925(大正14)	ゼラチン・シルバー・プリント	16.5×24.1	個人蔵
3-22	エドワード・ウェストン	無題(ヌード、顎より)	1927(昭和2)頃	ゼラチン・シルバー・プリント	19.0×23.5	個人蔵
3-23	エドワード・ウェストン	ベルタ、グレンデール	1927(昭和2)	ゼラチン・シルバー・プリント	23.5×19.1	個人蔵
3-24	エドワード・ウェストン	ベルタ、グレンデール	1927(昭和2)	ゼラチン・シルバー・プリント	24.1×18.4	個人蔵
3-25	エドワード・ウェストン	ベッパ	1929(昭和4)	ゼラチン・シルバー・プリント	23.4×19.1	宮武東洋コレクション
〈ロサンゼルス日本人写真家たち〉						
3-26	加藤泰蔵	[風景]	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	27.8×35.6	全米日系人博物館 *Gift of the Peter Norton Family Foundation, 2002.136.2
3-27	ハリー・K・シゲタ	暮色	1923(大正12)頃	ゼラチン・シルバー・プリント	42.6×35.1	東京国立近代美術館 *重田信子氏寄贈
3-28	ハリー・K・シゲタ	[タペストリーの前の女性像]	1920年代	ゼラチン・シルバー・プリント	23.7×19.1	全米日系人博物館 *Gift of the Peter Norton Family Foundation, 2002.136.4
3-29	ハリー・K・シゲタ	砂丘	1920年代	ゼラチン・シルバー・プリント	26.1×32.0	東京国立近代美術館 *重田信子氏寄贈
3-30	河野 浅八	快楽	1929(昭和4)	ゼラチン・シルバー・プリント	32.5×25.7	東京都写真美術館
3-31	河野 浅八	池の幻想	1931(昭和6)	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×27.6	東京都写真美術館
3-32	河野 浅八	絶えざる動き #1	1931(昭和6)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×26.2	東京都写真美術館
〈上山鳥城男の旅と制作〉						
3-33	ディエゴ・リベラ	[風景]	1910年代	水彩、紙	31.1×45.7	個人蔵
3-34	エドワード・ウェストン	ディエゴ・リベラ	1924(大正13)	ゼラチン・シルバー・プリント	19.0×24.1	個人蔵
3-35	上山 鳥城男	カリフォルニアレッドロック渓谷	1931(昭和6)	油彩、キャンバス	91.4×90.1	個人蔵
3-36	宮武 東洋	[渓谷の上山鳥城男]	1929(昭和4)	ゼラチン・シルバー・プリント	33.0×26.7	個人蔵
〈竹久夢二のアメリカ滞在〉						
3-37	竹久 夢二	モンレーの丘から	1931(昭和6)	油彩、キャンバス	35.2×50.6	竹久夢二美術館
3-38	竹久 夢二	渡米淡彩スケッチ	1931(昭和6)	鉛筆・淡彩、紙	28.0×40.0	夢二郷土美術館
3-39	竹久 夢二	花衣	1931-32(昭和6-7)	油彩、キャンバス	57.2×49.2	全米日系人博物館 *Gift in Memory of Manji Ohashi by Shizue Ohashi Naramura, 2002.179.1
3-40	竹久 夢二	旅舎春宵	1932(昭和7)	紙本着色	39.4×29.6	竹久夢二美術館
3-41	竹久 夢二	ワイニマの棧橋	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	33.0×48.5	夢二郷土美術館
3-42	竹久 夢二	ガダルーブへの道	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	30.8×40.6	個人蔵

No.	作者名	作品名	制作年/発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
3-43	坂 久五郎	『サンクマリア平原日本人史』(ガダループ日本人会)	1936(昭和11)	書籍	23.8×17.0×4.0	個人蔵
3-44	宮武 東洋	竹久夢二ポートレート	1932(昭和7)	ゼラチン・シルバー・プリント	33.5×25.5	夢二郷土美術館 *アラン・ミヤタケ氏寄贈
3-45	宮武 東洋	「芸術同好者新年宴会 於浜ノ家」集合写真(岡村眸子鳥旧蔵)	1932(昭和7)年2月7日	ゼラチン・シルバー・プリント	18.7×24.4	個人蔵
3-46		「芸術同好者新年宴会 於浜ノ家」寄せ書き(岡村眸子鳥旧蔵)	1932(昭和7)年2月7日	木版、紙	17.6×19.5	個人蔵
〈上山鳥城男の里帰り〉						
3-47	上山 鳥城男	鳥屋城山	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	63.5×79.0	有田川町立鳥屋城小学校 *作者寄贈
3-48	上山 鳥城男	勝浦	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	74.9×90.2	個人蔵
3-49	上山 鳥城男	鳥屋城山	1936(昭和11)	ゼラチン・シルバー・プリント	12.7×17.8	個人蔵
3-50		上山鳥城男・末夫妻	1936(昭和11)	ゼラチン・シルバー・プリント	12.7×17.8	個人蔵
4. 西海岸の日本人美術家たち						
4-1		ハンフォード・ユニオン・ハイスクール卒業アルバム	1924(大正13)	書籍	27.3×20.2×1.4	和歌山県立近代美術館 *ロバート・ブラウネル氏寄贈
4-2	ヘンリー杉本	小さきスタチュー	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	43.3×35.5	個人蔵
4-3	ヘンリー杉本	無題(叔父一家肖像)	1932(昭和7)頃	油彩、キャンバス	67.3×55.0	個人蔵
4-4	ヘンリー杉本	花瓶とタバコ	制作年不詳	油彩、キャンバス	27.4×22.2	和歌山市立博物館 *和田滋氏寄贈
4-5	ヘンリー杉本	カメルハイランド海辺	1937(昭和12)	油彩、キャンバス	80.6×106.0	和歌山県立近代美術館 *作者寄贈
4-6	小圃 千浦	満月—カリフォルニア州バサデナ	1930(昭和5)	木版、紙	33.0×45.1	全米日系人博物館 *Gift of Eugene and Yuri Kodani, 99.287.4
4-7	小圃 千浦	山上の湖	1930(昭和5)	木版、紙	34.3×45.1	全米日系人博物館 *Gift of Eugene and Yuri Kodani, 99.287.6
4-8	小圃 千浦	雲、アッパー・ライエル・トレイル	1930(昭和5)	木版、紙	32.7×45.1	全米日系人博物館 *Gift of Eugene and Yuri Kodani, 99.287.9
4-9	小圃 千浦	イーグル・ピークの小道—カリフォルニア州ヨセミテ	1930(昭和5)	木版、紙	45.6×33.5	全米日系人博物館 *Gift of Eugene and Yuri Kodani, 99.287.7
4-10	田中 保	キュビズムの裸婦	1915(大正4)頃	油彩、ボード	76.0×51.5	埼玉県立近代美術館
4-11	田中 保	きもの女	1919-20(大正8-9)	油彩、ボード	55.7×56.5	埼玉県立近代美術館 *埼玉銀行寄贈
4-12	彦山 禎吉	海岸風景	1930(昭和5)頃	油彩、キャンバス	40.6×50.8	スタンフォード大学 カンターアートセンター *The Michael Donald Brown Collection, made possible by the William Alden Campbell and Martha Campbell Art Acquisition Fund and the Asian American Art Initiative Acquisitions Fund. 2020.57
4-13	彦山 禎吉	黒炎	1923(大正12)	木版、紙(冊子)	33.0×24.8	全米日系人博物館 *Gift of the Obata Family, 95.249.2
4-14	清水 暉吉	『自画像』	1926(大正15)	書籍	20.2×13.8×1.4	和歌山県立近代美術館
参考図版	彦山 禎吉	『東西芸術協会第2回展目録』表紙	1922(大正11)			全米日系人博物館 *Gift of the Obata Family, 95.249.3
4-15	重松 岩吉	牛	大正期(1912-26年)	油彩、キャンバス	49.0×60.1	京都国立博物館 *須磨良子氏寄贈
4-16	重松 岩吉	裸婦	大正期(1912-26年)	油彩、キャンバス	54.0×45.3	京都国立博物館 *須磨良子氏寄贈
4-17	重松 岩吉	石垣栄太郎宛絵葉書	1918(大正7)年5月16日消印	葉書	8.9×14.0	太地町歴史資料室 *石垣綾子氏寄贈
4-18	直原 敏平	『敏平 だい二色』(トシヘー社)	1921(大正10)	書籍	23.5×13.8×0.3	和歌山県立近代美術館
4-19	野田 英夫	帰路	1935(昭和10)	油彩、キャンバス	97.0×146.0	東京国立近代美術館
4-20	野田 英夫	サーカス	1937(昭和12)	油彩、キャンバス	101.0×86.5	東京国立近代美術館
5. 西から東へ ニューヨークに集う						
〈日本人美術家コミュニティと展覧会〉						
5-1		「ニューヨーク市日本人美術家協会絵画彫刻展」(於シビッククラブ)出品目録	1922(大正11)年11月1日	印刷、紙	22.2×15.2	太地町歴史資料室 *石垣綾子氏寄贈
5-2		「ニューヨーク市日本人美術家協会絵画彫刻展」(於シビッククラブ)集合写真	1922(大正11)年11月	ゼラチン・シルバー・プリント	20.0×23.0	太地町歴史資料室 *石垣綾子氏寄贈
5-3		「紐育新報社主催 邦人美術展覧会」集合写真(ニューヨークラカンススタジオズキ)	1927(昭和2)年2月	ゼラチン・シルバー・プリント	18.4×23.3	太地町歴史資料室 *石垣綾子氏寄贈
参考出品		「紐育新報社主催邦人美術展覧会」出品目録	1927(昭和2)年2月16日	印刷、紙	21.7×15.0	太地町歴史資料室 *石垣綾子氏寄贈
5-4	浜地 清松	暖炉	1911(明治44年)	油彩、キャンバス	102.2×82.1	和歌山県立近代美術館 *古座町立津荷小学校寄贈
5-5	浜地 清松	五番街	1918(大正7)頃	油彩、キャンバス	72.8×63.0	個人蔵
5-6	浜地 清松	静物	1922(大正11)	油彩、キャンバス	64.1×73.1	和歌山県立近代美術館 *浜地洋二郎氏寄贈
5-7	国吉 康雄	乳しほり	1921(大正10)	油彩、キャンバス	61.0×50.5	和歌山県立近代美術館
5-8	清水 登之	ヨコハマ・ナイト	1921(大正10)	油彩、キャンバス	76.2×96.5	和歌山県立近代美術館
5-9	石垣 栄太郎	拳闘	1925(大正14)	油彩、キャンバス	75.4×91.2	和歌山県立近代美術館
5-10	石垣 栄太郎	街	1925(大正14)	油彩、キャンバス	126.0×91.0	和歌山県立近代美術館
5-11	石垣 栄太郎	ポーナス・マーチ	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	145.4×107.0	和歌山県立近代美術館 *石垣綾子氏寄贈

No.	作者名	作品名	制作年/発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
5-12	石垣 栄太郎	K.K.K.	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	76.8×91.6	和歌山県立近代美術館 *石垣綾子氏寄贈
6.「有刺鉄線」の中の美術 ふたつの国のはざままで						
(排除のきざしから日米開戦へ)						
6-1		サンベドロ日系アメリカ人市民同盟会員バッジ	1940(昭和15)頃	樹脂	5.2×3.7×1.0	太地町歴史資料室 *下西良美氏寄贈
6-2	ジム・マーシャル	「西海岸の日本人」『コアーズ』	1941(昭和16)年10月11日	雑誌	34.6×27.5×0.5	太地町歴史資料室
6-3		『コモン・グラウンド(共有の大地)』(アメリカ結束評議会)	1942(昭和17)	雑誌	22.9×15.2×0.9	個人蔵
(大統領令9066号)						
6-4		日系人強制収容ポスター(米国陸軍西部防衛司令部、戦時市民管理局)	1942(昭和17)年5月6日	印刷、紙	55.3×43.5	和歌山市民図書館
6-5	アメリカ合衆国戦争省(編)	『西海岸からの日本人疎開』	1943(昭和18)	書籍	23.5×16.3×4.9	和歌山市民図書館
(「記録」する ヘンリー杉本)						
6-6	ヘンリー杉本	最後の決断	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	137.0×133.0	和歌山市立博物館 *作者寄贈
6-7	ヘンリー杉本	共に耐え忍ぼう	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	149×143.0	和歌山市立博物館 *作者寄贈
6-8	ヘンリー杉本	収容所内の売店の開始日	1944(昭和19)	油彩、キャンバス	83.0×59.0	和歌山市立博物館 *作者寄贈
6-9	ヘンリー杉本	切望	1944(昭和19)	油彩、キャンバス	185.0×148.0	和歌山市立博物館 *作者寄贈
6-10	ヘンリー杉本	食堂	制作年不詳	油彩、キャンバス	133.0×196.0	和歌山市立博物館 *作者寄贈
6-11	ヘンリー杉本	我々のバス	制作年不詳	油彩、キャンバス	61.0×81.0	和歌山市立博物館 *作者寄贈
6-12	ヘンリー杉本	収容所の墓地	制作年不詳	油彩、キャンバス	60.0×83.0	和歌山市立博物館 *作者寄贈
(「記録」する 宮武東洋)						
6-13	宮武 東洋	[マンザナー収容所入口看板]	1942-45(昭和17-20)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.0×27.2	東京都写真美術館
6-14	宮武 東洋	[バラックの列]	1942-45(昭和17-20)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.2×35.2	東京都写真美術館
6-15	宮武 東洋	[夕暮れ、三輪車で遊ぶ宮武東洋の子供たち]	1942-45(昭和17-20)	ゼラチン・シルバー・プリント	43.2×60.8	東京都写真美術館
6-16	宮武 東洋	[鉄条網の前の3人の少年収容者]	1942-45(昭和17-20)	ゼラチン・シルバー・プリント	43.3×60.8	東京都写真美術館
6-17	宮武 東洋	[バントワラーを練習する少女たち]	1942-45(昭和17-20)	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×60.8	東京都写真美術館
6-18	宮武 東洋	[収容所保全班]	1942-45(昭和17-20)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.5×35.0	東京都写真美術館
6-19	宮武 東洋	[美容院の女性たち]	1942-45(昭和17-20)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.2×35.2	東京都写真美術館
6-20	宮武 東洋	[マンザナーコプの魚屋]	1942-45(昭和17-20)	ゼラチン・シルバー・プリント	24.8×20.0	東京都写真美術館
6-21	宮武 東洋	食事運搬班	1942-45(昭和17-20)	ゼラチン・シルバー・プリント	24.8×20.0	東京都写真美術館
6-22	宮武 東洋	小学生	1942-45(昭和17-20)	ゼラチン・シルバー・プリント	27.0×35.2	東京都写真美術館
6-23	宮武 東洋	[収容所閉鎖前の新生活相談所]	1945(昭和20)	ゼラチン・シルバー・プリント	18.0×25.1	東京都写真美術館
6-24	エドワード・ウェストン	宮武東洋宛書簡	1943(昭和18)年11月9日	インク、紙	封筒:10.5×24.0 便箋2枚:各21.5×28.0	宮武東洋コレクション
(画家たちの収容生活)						
6-25	上山 鳥城男	疎開者	1942(昭和17)	油彩、キャンバス	61.0×76.8	全米日系人博物館 *Gift of Kayoko Tsukada, 92.20.3
6-26	上山 鳥城男	自画像	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	45.5×38.0	個人蔵
6-27	上山 鳥城男	無題(バラックにかかる雲)	1943(昭和18)	油彩、ボード	58.4×71.1	全米日系人博物館 *Gift of Kayoko Tsukada, 92.20.6
6-28	上山 鳥城男	無題(バラックと池)	1944(昭和19)	油彩、キャンバス	45.7×61.0	全米日系人博物館 *Gift of Kayoko Tsukada, 92.20.8
6-29	上山 鳥城男	無題(バラックとバスケットゴール)	1944(昭和19)	油彩、キャンバス	45.7×61.0	全米日系人博物館 *Gift of Kayoko Tsukada, 92.20.7
6-30	上山 鳥城男	嵐	1943(昭和18)	木炭、紙	47.0×63.5	全米日系人博物館 *Gift of Kayoko Tsukada, 92.20.2
6-31	上山 鳥城男	[ソフプレロ帽の男性]	1942-45(昭和17-20)	コンテ、紙	63.5×48.2	個人蔵
6-32	ミネ大久保	無題(子を抱く母)	1943(昭和18)頃	木炭、紙	50.6×34.9	全米日系人博物館 *Gift of Miné Okubo Estate, 2007.62.1
6-33	ミネ大久保	無題(母と子)	1943(昭和18)頃	木炭、紙	50.6×34.9	全米日系人博物館 *Gift of Miné Okubo Estate, 2007.62.2
6-34	日比 松三郎	無題	1942-45(昭和17-20)	油彩、キャンバス	122.1×103.3	全米日系人博物館 *Gift of Ibuki Hibi Lee, 99.63.17
6-35	日比 久子	登校	1945(昭和20)	油彩、キャンバス	50.8×40.6	全米日系人博物館 *Gift of Ibuki Hibi Lee, 96.601.50
6-36	小圃 千浦	無題(トバーズ収容所の日本庭園)	1942-43(昭和17-18)	水彩、紙	31.8×45.7	全米日系人博物館 *Gift of James T. Yamakoshi, 94.29.4
6-37	山崎 近道	無題(ハートマウンテン、煉瓦の建物を造る)	1942(昭和17)	インク・鉛筆、紙	55.9×76.2	全米日系人博物館 *Gift of Nobu Yamasaki, 97.102.1
6-38	宇野 貞之	ヘンリー杉本のポートレート(ヘンリー杉本旧蔵)	1942(昭和17)	木	29.2×18.2×1.7	和歌山市立博物館 *ヘンリー杉本氏寄贈
(収容所のクリエイティビティ)						
6-39	作者不詳	熊の置物(ヘンリー杉本旧蔵)	1944(昭和19)	木	30.3×29.2×16.5	和歌山市立博物館 *ヘンリー杉本氏寄贈
6-40	片桐 千晴	切株の物入れ(ヘンリー杉本旧蔵)	1943(昭和18)	木	16.1×35.8×24.7	和歌山市立博物館 *ヘンリー杉本氏寄贈

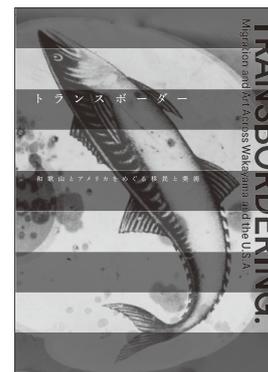
No.	作者名	作品名	制作年/発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
6-41	片桐 千晴	筆入れ(ヘンリー杉本旧蔵)	1944(昭和19)	木	13.5×13.3×9.7	和歌山市立博物館 *ヘンリー杉本氏寄贈
6-42	作者不詳	置物(ヘンリー杉本旧蔵)	1942-45(昭和17-20)	木	27.4×15.5×12.0	和歌山市立博物館 *ヘンリー杉本氏寄贈
6-43	作者不詳	アシカの置物(ヘンリー杉本旧蔵)	1943(昭和18)	木	18.3×15.6×9.3	和歌山市立博物館 *ヘンリー杉本氏寄贈
6-44	イクツチヤ	貝殻製ブローチ(ヘンリー杉本旧蔵)	1942-45(昭和17-20)	貝殻ほか	7.5×2.0	和歌山市立博物館 *ヘンリー杉本氏寄贈
6-45	作者不詳	貝殻製ブローチ(ヘンリー杉本旧蔵)	1942-45(昭和17-20)	貝殻ほか	4.7×1.3	和歌山市立博物館 *ヘンリー杉本氏寄贈
6-46	後藤 老人	杖(ヘンリー杉本旧蔵)	1943(昭和18)	木	34.5×6.0×2.6	和歌山市立博物館 *ヘンリー杉本氏寄贈
6-47	成田 政二	杖(ヘンリー杉本旧蔵)	1942-45(昭和17-20)	木	78.5×15.3×3.5	和歌山市立博物館 *ヘンリー杉本氏寄贈
6-48	由谷 栄太郎	鳥の木細工ブローチ	1942-45(昭和17-20)	木、彩色、針金	8.0×7.0×2.5ほか	個人蔵
6-49	松下 七五郎	襦袢像	1942-45(昭和17-20)	木	43.0×6.2×12.0	太地町歴史資料室 *松下一京氏寄贈
6-50	海野 俊一	タバコケース	1942-45(昭和17-20)	ひも	8.5×6.2×3.3	太地町歴史資料室 *木花ひろみ氏寄贈
6-51		ビスマルク収容所のサイン帳	1942(昭和17)	インク、紙(スケッチブック)	11.7×15.7×1.8	個人蔵
6-52		浜地克祐船長	1930-41(昭和5-16)	ゼラチン・シルバー・プリント	6.6×6.4	個人蔵
6-53		マンザナー収容所アルバム	1942-45(昭和17-20)	アルバム	25.0×18.5×3.5	太地町歴史資料室 *小畑喜美代氏寄贈
6-54		マンザナー仏教会葬儀	1942-45(昭和17-20)	ゼラチン・シルバー・プリント	19.4×24.3	太地町歴史資料室 *龍神好美氏寄贈
6-55		マンザナー公会堂工事記念撮影	1944(昭和19)	ゼラチン・シルバー・プリント	19.0×24.0	太地町歴史資料室 *龍神好美氏寄贈



ポスター



シンポジウムプログラム



図録



チラシ 表/裏



会場風景



1-2. 特別展「原勝四郎展 南海の光を描く」

会期 : 2023年10月7日(土)～12月3日(日) 50日間(休館日を除く)

会場 : 展示室A(1階)

主催 : 和歌山県立近代美術館、田辺市立美術館

助成 : 一般財団法人 地域創造

入場者数 : 6,683名

内容 : 田辺市立美術館との協働により、現在の田辺市出身の画家・原勝四郎(はら・かつしろう/1886-1964)の画業をあらためて掘り起こし、交流のあった画家の作品とともに紹介した。原の画業全体をふり返る展示を当館で、紀南地域における画家との交流に触れた展示を田辺市立美術館で開催することで、地方にありながらも日本の近代美術史に確かな足跡を残した画家の生涯と、和歌山県における美術動向を広く紹介した。県の新政策事業「紀南地方の美術館との合同展覧会」として開催。両館所蔵品のほか36の所蔵家から作品を借用し出品した。

展示点数 : 2作家137点 * 田辺市立美術館:5作家41点、資料2点

担当学芸員 : 宮本久宣、植野比佐見

関連事業 : ・記念トークイベント「原勝四郎展をめぐる邂逅」11月3日(金・祝) 14:00～15:30 2階ホールにて 57名

ゲスト: 酒井哲朗(福島県立美術館名誉館長)

聞き手: 宮本久宣・三谷渉(田辺市立美術館学芸員)

・記念ワークショップ「原勝四郎ゆかりの地をめぐる」10月21日(土) 10:00～15:00 田辺市内および白浜町内にて 21名

* 和歌山県立近代美術館からマイクロバスを運行、田辺市立美術館で展覧会担当学芸員がレクチャーを行ったのち、白浜町原勝四郎ゆかりの場所を佐藤純一氏(白浜町教育委員会学芸員)の案内により訪ねた。

実施・運営: NPO 和歌山芸術文化支援協会(wacss)

協力: 白浜町

・フロアレクチャー 10月29日(日)、11月12日(日)、11月26日(日) 各14:00～15:00 1階展示室にて 18名、13名、25名

・こども美術館部「みんなで「はら活!」」11月25日(土)、11月26日(日) 各11:00～12:00 1階展示室にて *詳細85頁

・和歌山大学美術館部によるたまごせんせいとわくわくアートツアー 11月26日(日) 13:00～14:30、15:00～16:00 6名、6名

・「言葉」で感じる美術館～視覚障害者とつくる美術鑑賞

* 目の見えない人と見える人が一緒に作品を鑑賞するワークショップと、それに関わるトークセッションを行った。

鑑賞ツアー 10月14日(土) 10:00～12:00 8名、14:00～16:30 1階展示室にて 8名

トークセッション 10月15日(日) 13:00～14:30 2階ホールにて 13名

主催: 和歌山県人権啓発センター、運営: 視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ

制作物 : ・ポスター(B2判、オフセット印刷)

・チラシ(A3判2つ折、オフセット印刷) * 田辺市立美術館と共通

・案内ハガキ(大判ハガキ、オフセット印刷) * 田辺市立美術館と共通

・出品目録(A4判8頁)

・プレスリリース(A4判4頁)

・田辺・白浜 原勝四郎ゆかりの地マップ(A3判8つ折、オフセット印刷)

・図録『原勝四郎展 南海の光を描く』: 和歌山県立近代美術館、田辺市立美術館 2023年9月10日発行(29.4×22.4cm、178頁、オフセット印刷)

酒井哲朗 回想・原勝四郎展をめぐって

山野英嗣 「原勝四郎」再考

宮本久宣 田辺中学校で教えた画家、田中寅三

宮本久宣・三谷渉編 田辺・白浜 原勝四郎ゆかりの地マップ

三谷渉 原勝四郎の画業

宮本久宣 原勝四郎の見た風景

植野比佐見 午後の仕事—原勝四郎の額縁

宮本久宣 [資料紹介]原勝四郎の田辺中学校時代

三谷渉編 原勝四郎 年譜

三谷渉編 主要参考文献

入場料金 : 原勝四郎展のみ 一般800(640)円、大学生500(400)円/トランスポーター展と共通 一般1,000(800)円、大学生600(500)円

()内は20名以上の団体料金
成果・課題 : 田辺市立美術館と2館で同時開催とし、全体を「1章 画家への道 田辺から、フランスに憧れて 1886-1921」「2章 画風の確立 帰郷、風景と家族に出会って 1922-1945」「3章 円熟の境地 白浜にて、紀南の光に包まれて 1946-1964」「4章 描く楽しみ 魅惑の小品、スケッチ、日本画」「5章 描くつながり 原勝四郎ゆかりの画家たち」として構成。当館では1章から4章の一部を、田辺市立美術館では4章の一部と5章の展示を行った。田辺市立美術館と合同で図録、チラシ、案内ハガキを制作し、ポスターのデザインもひとつの展覧会に見えるよう共通性を持たせた。また田辺市や白浜町で原にゆかりのある場所や、作品に描かれた場所を示した「田辺・白浜 原勝四郎ゆかりの地マップ」を制作、配布することで地域とのつながりをわかりやすく示した。大規模な回顧展開催はおよそ50年ぶりであり、当館や田辺市立美術館がその間に蓄積してきた研究や調査の成果を総合し、画家の生涯を見直し提示する貴重な機会として、原を美術史の中に位置付ける材料を数多く提供できた。一方で、前回の回顧展で出品された主要な作品のいくつかが所在不明となっており、重要な作品の継続的な所在の確認は課題として残った。

関連記事 : ・「〈和歌山ゆかりの先人〉原勝四郎 故郷の自然とその生命を描いた画家」『リビング和歌山』2023年11月11日、6面

・大西若人「〈美の履歴書 823〉うねる絵の具 大胆さの源は」『朝日新聞』(夕)2023年11月21日、2面(ウェブでも配信)

・藤田一人「原勝四郎展 憧憬としての自画像」『公明新聞』2023年11月22日、5面

・田中真治「孤高の洋画家 原勝四郎回顧展」『神戸新聞』2023年11月23日、21面

・大西若人「〈回顧2023 美術〉時代と向き合う距離感の妙」『朝日新聞』(夕)2023年12月19日、3面

その他 : 「#120 陽光が降り注ぐ紀南の風景と、家族の時間を描いた画家、原勝四郎特集(ゲスト)宮本久宣さん(学芸員)」Podcast「本屋プララジオ」、
メディア報道 2023年11月16日公開

* 以上ウェブ上の情報への最終アクセス日:2025年1月30日

出品目録

No.	作者名	作品名	制作年/発行年	材質、技法(形状)	寸法(cm)	所蔵/初出展覧会
第1章 画家への道 田辺から、フランスに憧れて 1886-1921						
1-01	原 勝四郎	木槿	1909(明治42)	油彩、板	9.3×14.5	和歌山県立申本古座高等学校(田辺市立美術館寄託)
1-02	原 勝四郎	風景	1914(大正3)	水彩、紙	15.8×20.7	田辺市立美術館
1-03	原 勝四郎	風景	1914(大正3)	水彩、紙	15.5×20.6	田辺市立美術館
1-04	原 勝四郎	風景	1914(大正3)	水彩、紙	15.6×20.8	田辺市立美術館
1-05	原 勝四郎	風景	1914(大正3)	水彩、紙	15.8×20.8	白浜町
1-06	原 勝四郎	人物	1914(大正3)	水彩、紙	15.9×21.0	白浜町
1-07	原 勝四郎	風景	1915(大正4)	水彩、紙	18.5×24.5	田辺市立美術館
1-08	原 勝四郎	風景	1915(大正4)	水彩、紙	19.4×25.4	田辺市立美術館
1-09	原 勝四郎	風景	1915(大正4)	水彩、紙	16.3×21.0	田辺市立美術館
1-10	原 勝四郎	山茶花	1915(大正4)	水彩、紙	11.4×19.9	田辺市立美術館
1-11	原 勝四郎	自画像	1920(大正9)頃	インク、紙	22.0×17.3	田辺市立美術館
1-12	原 勝四郎	女の顔	1921(大正10)	鉛筆、紙	31.0×23.0	田辺市立美術館
1-13	原 勝四郎	裸婦	1921(大正10)頃	鉛筆、紙	25.5×19.5	田辺市立美術館
1-14	原 勝四郎	裸婦	1921(大正10)頃	鉛筆、紙	25.5×19.5	田辺市立美術館
1-15	原 勝四郎	エチュード	1921(大正10)	油彩、キャンバス	21.6×19.6	田辺市立美術館
1-16	原 勝四郎	裸婦	1921(大正10)	油彩、キャンバス	40.5×32.5	個人蔵
1-17	原 勝四郎	風景	1921(大正10)	油彩、厚紙	19.0×26.0	田辺市立美術館/第8回二科展
1-18	原 勝四郎	草上	1921(大正10)	油彩、キャンバス	37.8×45.5	田辺市立美術館/第1回朱楽会展
1-19	田中 寅三	男の肖像	1904(明治37)	油彩、キャンバス	60.0×44.5	松戸市教育委員会
1-20	田中 寅三	裸体半身	1904(明治37)	油彩、キャンバス	60.0×45.0	松戸市教育委員会
1-21	田中 寅三	日本髪的女人	制作年不詳	油彩、キャンバス	33.2×24.1	松戸市教育委員会
1-22	田中 寅三	川岸	1905(明治38)	水彩、紙	23.0×32.3	松戸市教育委員会
1-23	田中 寅三	溪流	1905(明治38)	水彩、紙	24.0×32.6	松戸市教育委員会
1-24	田中 寅三	裏庭	1905(明治38)	水彩、紙	24.1×32.7	松戸市教育委員会
1-25	田中 寅三	水辺	制作年不詳	水彩、紙	25.3×34.0	松戸市教育委員会
第2章 画風の確立 帰郷、風景と家族に会って 1922-1945						
2-01	原 勝四郎	淡雪	1927(昭和12)	油彩、厚紙	23.5×33.1	個人蔵(田辺市立美術館寄託)
2-02	原 勝四郎	高尾山	1928(昭和13)	油彩、板	23.5×33.1	個人蔵(田辺市立美術館寄託)/第1回無名社展
2-03	原 勝四郎	海岸風景	1928(昭和13)	油彩、厚紙	53.5×64.7	個人蔵/第16回二科展
2-04	原 勝四郎	裸婦	1930(昭和15)	油彩、厚紙	72.0×60.5	和歌山県立近代美術館
2-05	原 勝四郎	母子像	1930(昭和15)	油彩、厚紙	64.2×52.2	田辺市立美術館/第17回二科展
2-06	原 勝四郎	休息	1930(昭和15)	油彩、厚紙	60.5×72.5	田辺市立美術館
2-07	原 勝四郎	風景	1931(昭和16)	油彩、厚紙	53.0×65.5	公益財団法人脇村奨学会(田辺市立美術館寄託)/第18回二科展
2-08	原 勝四郎	海岸風景	1931(昭和16)	油彩、厚紙	52.6×64.3	個人蔵/第19回二科展
2-09	原 勝四郎	画工像	1932(昭和17)	油彩、厚紙	65.0×52.6	和歌山県立近代美術館/第19回二科展
2-10	原 勝四郎	風景	1932(昭和17)	油彩、厚紙	52.2×64.8	和歌山県立近代美術館
2-11	原 勝四郎	風景	1933(昭和18)	油彩、厚紙	24.1×33.0	個人蔵
2-12	原 勝四郎	陽子像	1933(昭和18)頃	油彩、厚紙	27.3×21.0	田辺市立美術館
2-13	原 勝四郎	バラ	1933(昭和18)頃	油彩、厚紙	33.3×23.9	田辺市立美術館
2-14	原 勝四郎	画工像	1934(昭和19)	油彩、厚紙	72.5×60.3	個人蔵(田辺市立美術館寄託)/第21回二科展
2-15	原 勝四郎	婦人像	1934(昭和19)	油彩、厚紙	72.0×60.4	田辺市立美術館
2-16	原 勝四郎	母子像	1934(昭和19)	油彩、キャンバス	34.1×44.6	大阪中之島美術館
2-17	原 勝四郎	風景	1934(昭和19)	油彩、厚紙	53.1×65.0	田辺市立美術館
2-18	原 勝四郎	風景	1934(昭和19)	油彩、厚紙	53.0×65.0	白浜町立白浜第一小学校
2-19	原 勝四郎	海岸風景	1934(昭和19)	油彩、厚紙	37.6×45.5	三重県立美術館
2-20	原 勝四郎	画工と其婦	1935(昭和10)	油彩、厚紙	72.2×60.3	大阪中之島美術館/第22回二科展
2-21	原 勝四郎	瀬戸風景	1935(昭和10)	油彩、厚紙	65.3×52.7	田辺市立美術館
2-22	原 勝四郎	静物	1935(昭和10)	油彩、厚紙	60.5×72.0	美浜町立和田小学校
2-23	原 勝四郎	静物	1935(昭和10)頃	油彩、厚紙	20.5×26.0	大阪中之島美術館
2-24	原 勝四郎	海辺	1935(昭和10)頃	油彩、厚紙	38.0×45.5	個人蔵
2-25	原 勝四郎	自画像	1936(昭和11)	油彩、厚紙	65.2×53.2	大阪中之島美術館/第23回二科展
2-26	原 勝四郎	海岸風景	1936(昭和11)	油彩、厚紙	53.0×64.4	大阪中之島美術館/第24回二科展
2-27	原 勝四郎	海村秋	1936(昭和11)	油彩、厚紙	63.0×50.0	個人蔵

No.	作者名	作品名	制作年/発行年	材質、技法(形状)	寸法(cm)	所蔵/初出展覧会
2-28	原 勝四郎	婦人像	1936(昭和11)	油彩、厚紙	64.8×53.0	大阪中之島美術館
2-29	原 勝四郎	少女像	1937(昭和12)	油彩、厚紙	65.0×53.0	大阪中之島美術館/第24回二科展
2-30	原 勝四郎	休息	1937(昭和12)	油彩、厚紙	72.6×90.6	個人蔵
2-31	原 勝四郎	青シャツ	1938(昭和13)	油彩、厚紙	72.3×60.1	大阪中之島美術館/第25回二科展
2-32	原 勝四郎	海岸風景	1938(昭和13)	油彩、厚紙	60.1×72.2	大阪中之島美術館/第25回二科展
2-33	原 勝四郎	バラ	1938(昭和13)頃	油彩、厚紙	22.2×15.9	大阪中之島美術館
2-34	原 勝四郎	バラ	制作年不詳	油彩、板	14.4×11.8	個人蔵
2-35	原 勝四郎	バラ	制作年不詳	油彩、板	33.0×23.9	大阪中之島美術館
2-36	原 勝四郎	牡丹	制作年不詳	油彩、厚紙	33.1×23.7	大阪中之島美術館
2-37	原 勝四郎	小湾	1940(昭和15)	油彩、厚紙	59.9×71.7	和歌山県立近代美術館/第27回二科展
2-38	原 勝四郎	風莫港	1940(昭和15)	油彩、厚紙	72.7×91.0	個人蔵/紀元二千六百年奉祝美術展
2-39	原 勝四郎	化粧	1940(昭和15)頃	油彩、厚紙	72.3×60.3	大阪中之島美術館
2-40	原 勝四郎	道化	1941(昭和16)	油彩、厚紙	90.3×73.2	和歌山県立近代美術館/第28回二科展
2-41	原 勝四郎	番所鼻	1941(昭和16)	油彩、板	72.7×91.0	公益財団法人脇村奨学会(田辺市立美術館寄託)/第28回二科展
2-42	原 勝四郎	網不知	1941(昭和16)頃	油彩、厚紙	59.7×72.0	田辺市立田辺第三小学校
2-43	原 勝四郎	休息	1943(昭和18)頃	油彩、板	72.0×90.0	個人蔵
第3章 円熟の境地 白浜にて、紀南の光につつまれて1946-1964						
3-01	原 勝四郎	風景	1947(昭和22)頃	油彩、板	12.7×16.2	田辺市立美術館
3-02	原 勝四郎	風景	1947-50(昭和22-25)頃	油彩、板	23.6×33.1	個人蔵
3-03	原 勝四郎	裸婦	1949(昭和24)	油彩、板	52.6×64.7	個人蔵/第3回二紀展
3-04	原 勝四郎	裸婦	1950(昭和25)	油彩、板	45.3×52.9	個人蔵/第4回二紀展
3-05	原 勝四郎	江津良の海	1951(昭和26)	油彩、板	53.1×65.1	田辺市立美術館/第5回二紀展
3-06	原 勝四郎	海岸風景	1952(昭和27)	油彩、板	53.0×65.1	個人蔵/第6回二紀展
3-07	原 勝四郎	樹陰	1952(昭和27)	油彩、板	52.6×64.4	個人蔵/第6回二紀展
3-08	原 勝四郎	海辺	1952(昭和27)	油彩、板	53.0×65.8	個人蔵/第6回二紀展
3-09	原 勝四郎	海辺	1952(昭和27)頃	油彩、板	45.3×52.9	個人蔵
3-10	原 勝四郎	婦人像	1953(昭和28)	油彩、厚紙	72.6×60.4	和歌山県立近代美術館/第7回二紀展
3-11	原 勝四郎	海辺	1953(昭和28)	油彩、板	40.5×60.3	個人蔵/第7回二紀展
3-12	原 勝四郎	路傍	1953(昭和28)	油彩、板	52.0×63.5	個人蔵/第7回二紀展
3-13	原 勝四郎	風景	1954(昭和29)	油彩、板	53.0×64.8	個人蔵
3-14	原 勝四郎	海辺	1954(昭和29)	油彩、キャンバス	52.5×65.0	個人蔵/第8回二紀展
3-15	原 勝四郎	海辺	1955(昭和30)	油彩、板	53.9×65.8	個人蔵/第9回二紀展
3-16	原 勝四郎	裸婦	1955(昭和30)	油彩、キャンバス	51.3×63.0	田辺市立美術館/第9回二紀展
3-17	原 勝四郎	風景	1955(昭和30)頃	油彩、板	45.0×52.5	個人蔵
3-18	原 勝四郎	静物	1955(昭和30)頃	油彩、板	23.7×32.8	個人蔵
3-19	原 勝四郎	老人像	1956(昭和31)	油彩、板	72.3×60.2	個人蔵/第10回二紀展
3-20	原 勝四郎	風景	1956(昭和31)頃	油彩、板	52.6×65.2	田辺市立美術館
3-21	原 勝四郎	海辺	1957(昭和32)	油彩、板	53.0×65.0	田辺市立美術館/第11回二紀展
3-22	原 勝四郎	海辺	1957(昭和32)頃	油彩、板	44.9×52.7	個人蔵
3-23	原 勝四郎	風景	1958(昭和33)	油彩、板	44.1×51.7	個人蔵/第12回二紀展
3-24	原 勝四郎	老人	1958(昭和33)	油彩、板	53.0×45.5	田辺市立美術館/第12回二紀展
3-25	原 勝四郎	裸婦	1959(昭和34)	油彩、板	52.9×65.0	田辺市立美術館/第13回二紀展
3-26	原 勝四郎	自画像	1959(昭和34)	油彩、板	60.6×50.0	田辺市立美術館(脇村義太郎コレクション)
3-27	原 勝四郎	裸婦	1960(昭和35)	油彩、板	50.1×60.8	個人蔵/第14回二紀展
3-28	原 勝四郎	静物	1960(昭和35)頃	油彩、板	38.5×45.5	田辺市立美術館
3-29	原 勝四郎	菊	1960(昭和35)頃	油彩、板	41.3×32.1	田辺市立美術館
3-30	原 勝四郎	バラ	1961(昭和36)頃	油彩、板	53.0×45.0	田辺市立美術館
3-31	原 勝四郎	厚子像	1961(昭和36)頃	油彩、板	53.0×45.3	田辺市立美術館
3-32	原 勝四郎	自画像	1961(昭和36)頃	油彩、板	49.3×40.6	田辺市立美術館
3-33	原 勝四郎	風景	1961(昭和36)頃	油彩、板	49.7×60.8	個人蔵
3-34	原 勝四郎	静物	1963(昭和38)	油彩、板	19.0×24.0	個人蔵
第4章 描く楽しみ 魅惑の小品、スケッチ、日本画						
4-21	原 勝四郎	バラ	制作年不詳	油彩、板	14.4×12.0	個人蔵
4-23	原 勝四郎	バラ	制作年不詳	油彩、板	27.2×18.7	田辺市立美術館
4-26	原 勝四郎	バラ	制作年不詳	油彩、板	21.6×15.8	田辺市立美術館
4-27	原 勝四郎	バラ	制作年不詳	油彩、板	27.0×22.1	田辺市立美術館
4-28	原 勝四郎	バラ	制作年不詳	油彩、板	24.4×19.0	田辺市立美術館
4-29	原 勝四郎	バラ	制作年不詳	油彩、板	27.0×18.9	田辺市立美術館
4-31	原 勝四郎	木蓮	1949(昭和24)頃	油彩、板	14.9×12.0	田辺市立美術館
4-32	原 勝四郎	静物	制作年不詳	油彩、板	32.8×23.7	田辺市立美術館
4-37	原 勝四郎	静物	制作年不詳	油彩、板	15.8×21.9	田辺市立美術館
4-39	原 勝四郎	網不知	制作年不詳	墨・顔料、紙(軸装)	132.4×33.3	白浜町
4-40	原 勝四郎	白浜風景	制作年不詳	墨・顔料、紙(軸装)	134.4×32.6	和歌山県立近代美術館
4-41	原 勝四郎	瀨峡真景	制作年不詳	墨・顔料、紙(軸装)	134.3×46.0	白浜町
4-42	原 勝四郎	奇絶峡	制作年不詳	墨・顔料、紙(軸装)	133.0×45.0	白浜町

No.	作者名	作品名	制作年／発行年	材質、技法(形状)	寸法(cm)	所蔵／初出展覧会
4-43	原 勝四郎	糸瓜図	制作年不詳	墨・顔料、紙(軸装)	134.3×33.2	白浜町
4-44	原 勝四郎	はまゆう	制作年不詳	墨・顔料、紙(軸装)	134.0×34.0	白浜町
4-45	原 勝四郎	カボチャ	制作年不詳	墨・顔料、紙(軸装)	132.5×33.0	白浜町
4-46	原 勝四郎	母子像	制作年不詳	墨・顔料、紙(軸装)	33.0×45.0	田辺市立美術館
4-47	原 勝四郎	猫	制作年不詳	墨・顔料、紙	32.5×34.5	田辺市立美術館
4-48	原 勝四郎	スケッチ(バラ)	制作年不詳	水彩、紙	24.4×32.2	田辺市立美術館
4-49	原 勝四郎	スケッチ(バラ)	制作年不詳	水彩、紙	24.3×32.0	田辺市立美術館
4-50	原 勝四郎	スケッチ(アマリリス)	制作年不詳	水彩、紙	24.4×32.1	田辺市立美術館
4-51	原 勝四郎	スケッチ(菖蒲)	制作年不詳	水彩、紙	24.3×32.1	田辺市立美術館
4-52	原 勝四郎	スケッチ(ひまわり)	制作年不詳	水彩、紙	24.6×33.4	田辺市立美術館
4-53	原 勝四郎	スケッチ(はまゆう)	制作年不詳	水彩、紙	24.3×32.2	田辺市立美術館
4-54	原 勝四郎	スケッチ(ケイトウ)	制作年不詳	水彩、紙	33.5×24.7	田辺市立美術館
4-55	原 勝四郎	スケッチ(立葵)	制作年不詳	水彩、紙	33.8×24.8	田辺市立美術館
4-56	原 勝四郎	スケッチ(グラジオラス)	制作年不詳	水彩、紙	33.4×24.6	田辺市立美術館
4-57	原 勝四郎	スケッチ(ナス)	制作年不詳	水彩、紙	24.6×33.3	田辺市立美術館
4-58	原 勝四郎	スケッチ(カボチャの花)	制作年不詳	水彩、紙	25.7×31.0	田辺市立美術館
4-59	原 勝四郎	スケッチ(カボチャ)	制作年不詳	水彩、紙	23.0×34.7	田辺市立美術館
4-60	原 勝四郎	スケッチ(ヘチマ)	制作年不詳	水彩、紙	33.4×24.6	田辺市立美術館
4-61	原 勝四郎	スケッチ(睡蓮)	制作年不詳	水彩、紙	24.4×33.5	田辺市立美術館
4-62	原 勝四郎	スケッチ(ツワブキ)	制作年不詳	水彩、紙	23.4×31.5	田辺市立美術館
4-63	原 勝四郎	スケッチ(桐の花)	制作年不詳	水彩、紙	24.5×33.5	田辺市立美術館
4-64	原 勝四郎	スケッチ(桜)	制作年不詳	水彩、紙	25.5×33.3	田辺市立美術館

*以下、田辺市立美術館での展示作品

第4章 描く楽しみ 魅惑の小品、スケッチ、日本画

4-01	原 勝四郎	自画像	1940(昭和15)頃	油彩、厚紙	22.0×15.8	田辺市立美術館
4-02	原 勝四郎	自画像	制作年不詳	油彩、厚紙	27.5×21.4	和歌山県立近代美術館
4-03	原 勝四郎	海	1935(昭和10)頃	油彩、厚紙	21.5×27.3	個人蔵
4-04	原 勝四郎	冬の海	制作年不詳	油彩、板	18.7×27.0	田辺市立美術館
4-05	原 勝四郎	網不知	1940(昭和15)頃	油彩、厚紙	23.7×33.0	田辺市立美術館
4-06	原 勝四郎	網不知	1941(昭和16)頃	油彩、板	19.4×32.7	田辺市立美術館
4-07	原 勝四郎	網不知	制作年不詳	油彩、厚紙	23.5×33.1	和歌山県立近代美術館
4-08	原 勝四郎	網不知	制作年不詳	油彩、板	16.2×21.7	田辺市立美術館
4-09	原 勝四郎	風景	1947-50(昭和22-25)頃	油彩、板	16.2×21.7	田辺市立美術館
4-10	原 勝四郎	阪田風景	制作年不詳	油彩、板	22.0×27.3	田辺市立美術館
4-11	原 勝四郎	江津良への道	制作年不詳	油彩、板	37.7×45.3	個人蔵
4-12	原 勝四郎	白浜風景	1948(昭和23)頃	油彩、板	38.0×45.3	和歌山県立近代美術館
4-13	原 勝四郎	風景	1950(昭和25)頃	油彩、板	37.8×45.4	田辺市立美術館
4-14	原 勝四郎	円月島	制作年不詳	油彩、板	49.0×64.3	田辺市立美術館
4-15	原 勝四郎	風景	1952(昭和27)頃	油彩、板	37.8×45.4	個人蔵
4-16	原 勝四郎	風景	1955(昭和30)頃	油彩、板	31.7×40.9	田辺市立美術館
4-17	原 勝四郎	休息	制作年不詳	油彩、板	34.8×27.0	田辺市立美術館
4-18	原 勝四郎	樹陰	1952(昭和27)頃	油彩、板	37.9×45.5	個人蔵
4-19	原 勝四郎	樹陰	制作年不詳	油彩、板	45.2×37.7	田辺市立美術館
4-20	原 勝四郎	海辺	制作年不詳	油彩、板	38.0×45.2	田辺市立美術館
4-22	原 勝四郎	バラ	制作年不詳	油彩、板	22.0×16.2	田辺市立美術館
4-24	原 勝四郎	バラ	制作年不詳	油彩、板	27.3×18.7	個人蔵
4-25	原 勝四郎	バラ	1955(昭和30)頃	油彩、板	27.0×21.9	田辺市立美術館
4-30	原 勝四郎	バラ	制作年不詳	油彩、板	23.8×18.0	田辺市立美術館
4-33	原 勝四郎	静物	1955(昭和30)頃	油彩、板	21.3×27.2	個人蔵
4-34	原 勝四郎	静物	制作年不詳	油彩、板	14.0×18.0	田辺市立美術館
4-35	原 勝四郎	静物	制作年不詳	油彩、板	12.5×15.9	田辺市立美術館
4-36	原 勝四郎	静物	制作年不詳	油彩、板	15.7×21.7	田辺市立美術館
4-38	原 勝四郎	静物	1955(昭和30)頃	油彩、板	22.0×27.0	田辺市立美術館

第5章 描くつながり 原勝四郎ゆかりの画家たち

5-01	原 保吉	炭焼き	1913(大正2)	油彩、キャンバス	73.0×97.4	田辺市
5-02	原 保吉	婦人像	1915(大正4)	油彩、キャンバス	61.0×46.0	個人蔵
5-03	原 保吉	霜解け	制作年不詳	顔料、絹(軸装)	132.7×86.4	個人蔵
5-04	原 保吉	赤壁の賦	1928(昭和13)	墨、紙(軸装)	179.8×62.9	個人蔵
5-05	原 愛造	風景	制作年不詳	油彩、板	46.3×61.0	田辺市立美術館
5-06	原 愛造	干網	制作年不詳	油彩、板	37.8×45.6	個人蔵
5-07	原 愛造	風景	制作年不詳	油彩、板	30.8×30.5	個人蔵
5-08	三瀬 敏雄	父の像	1920(大正9)頃	油彩、板	33.2×21.2	和歌山県立近代美術館
5-09	三瀬 敏雄	母の像	1920(大正9)頃	油彩、板	33.2×22.9	和歌山県立近代美術館
5-10	楠本 秀男	秋	1919-20(大正8-9)頃	顔料、紙(二曲屏風)	89.4×165.6	紀南文化会館
5-11	楠本 秀男	菊華	1923(大正12)	油彩、板	45.3×60.2	個人蔵
5-12	楠本 秀男	文里風景	1933(昭和8)	油彩、キャンバス	45.1×60.4	個人蔵
S5-01	原 勝四郎	浜棹歌「昼の月」表紙	1926(大正15)	印刷、紙(書籍)	19.8×12.7	田辺市立図書館
S5-02	原 勝四郎	細尾しげる「蒼天に伸びる」扉絵「母子像」	1930(昭和5)	印刷、紙(書籍)	20.5×15.5	田辺市立図書館



ポスター



チラシ 表/裏



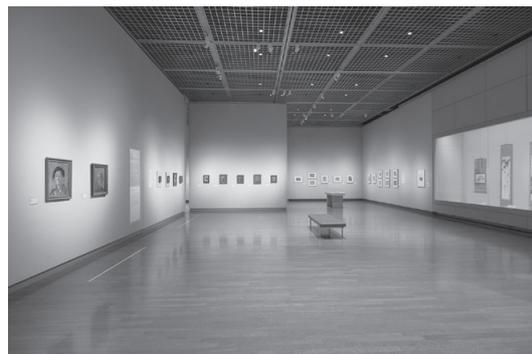
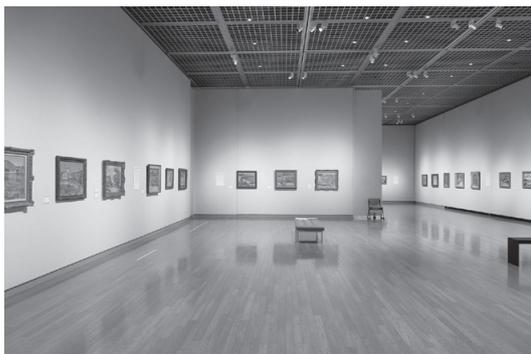
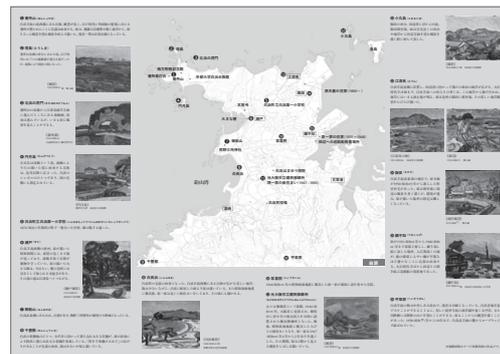
図録



案内ハガキ



田辺・白浜 原勝四郎ゆかりの地マップ



会場風景

2-1. 企画展「石ノウエニ描ク 石版画と作り手たちの物語」

- 会期 : 2023年4月22日(土)～7月2日(日) 62日間(休館日を除く)
 * 前期展示:4月22日(土)～5月28日(日)、後期展示:5月30日(火)～7月2日(日)
- 会場 : 展示室C(2階)
- 主催 : 和歌山県立近代美術館
- 入場者数 : 4,936名
- 内容 : 版画技法の中でも肉筆画に最も近い表現が可能とされる石版画(リトグラフ)。その多彩な表現の世界を当館の版画コレクションから展示した。「印刷術としての石版」と「美術作品としての石版画」について、その歴史と表現を踏まえ、当館のコレクションと個人コレクションから、「石版画の古典より」「印刷術から『方寸へ』」「石版画の二都物語」「石版画で創作版画を」「石版画の「いま」へ」という5つのセクションにより紹介。
- 展示点数 : 82作家243点
- 担当学芸員 : 植野比佐見
- 関連事業 : ・担当学芸員によるレクチャー 5月7日(日)、6月4日(日)、7月2日(日) 各14:00～15:00 2階展示室および2階ホールにて 49名、27名、68名 *7月2日は出原司氏(版画家)が特別講演
 ・子ども美術館部「石の上になにすんねん」 4月29日(土)、4月30日(日) 各11:00～12:00 2階展示室にて *詳細85頁
- 制作物 : ・ポスター(B2判、オフセット印刷)
 ・チラシ(A4判、オフセット印刷)
 ・出品目録(A4判6頁)
 ・プレスリリース(A4判4頁)
- 入場料金 : 一般520円(410円)、大学生300円(260円) ()内は20名以上の団体料金
- 成果・課題 : 石版画の幅広い作品を紹介することができた。技法についての質問が多く、いかに応えるかが今後の課題となった。レクチャーでは版画家の出原司氏の協力により特別講演会を実施できた。
- 関連記事 : ・「石ノウエニ描ク 22日から近代美術館で石版画展」『わかやま新報』2023年4月8日、6面
 ・「石ノウエニ描ク 石版画と作り手たちの物語」『和歌山特報』2023年4月11日、第1756号、10面
 ・松本博子「石ノウエニ描ク 石版画と作り手たちの物語」『毎日新聞』2023年4月20日、17面
 ・「石版画の歴史と魅力」『紀伊民報』24268号、2023年6月3日、5面

出品目録

前期4月22日～5月28日／後期5月30日～7月2日

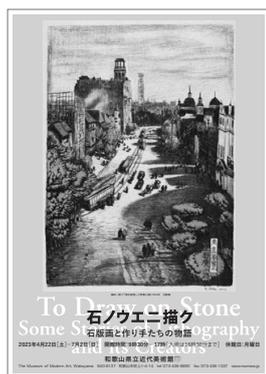
*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年／発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵／備考
石版画の古典より						
1	アンリ・ド・トゥールーズ＝ローレック	アリストイド・プリュアン	1893(明治26)	リトグラフ、紙	139.0×99.8	個人蔵
2	フィンセント・ファン・ゴッホ	馬鈴薯を食べる人々	1885(明治18)	リトグラフ、紙	26.5×31.9	個人蔵
3	アンリ・ファンタン＝ラトゥール	神々の黄昏ジークフリートとラインの乙女(第2ステート)	1898(明治31)	リトグラフ、紙	47.8×37.8	橋本忠美氏寄贈
4	アンリ・ファンタン＝ラトゥール	バルジファルと花の精たち(第2ステート)	1885(明治18)	リトグラフ、紙	45.0×31.2	橋本忠美氏寄贈
5	アンリ・ファンタン＝ラトゥール	水浴する女たち	1898(明治31)	リトグラフ、紙	30.8×39.4	橋本忠美氏寄贈
6-9	ウイリアム・ニコルソン	「12人の肖像」より ヴィクトリア女王 ジェームズ＝マクニール・ホイッスラー サラ・ベルナル ラドヤード・キプリング	1899(明治32)	リトグラフ(木版原画)、紙	25.1×22.8 25.2×22.5 24.4×22.8 29.2×22.1	
10	エドヴァルト・ムンク	病める子	1896(明治29)	リトグラフ、紙	42.0×52.0	*前期展示
11	エドヴァルト・ムンク	骸骨の腕のある自画像	1895(明治28)	リトグラフ、紙	45.6×32.0	*後期展示
12-26	オディロン・ルドン	『聖アントワヌの誘惑』第3集より 聖アントワヌ:主よ! 助けたまえ! そしていたるところに玄武岩の円柱がある……光線が丸天井から射してくる 花々が散り落ちる—そして一匹の錦蛇の頭が現われる ものかげでは、人々が泣いたり祈禱したりしている その周囲を取巻いて、彼らを激励する人々がいる…… ……わたしは孤独のうちに沈んだ。わたしはうしろの木に住んでいたのだ ……そして頭を持たない眼が軟体動物のように漂っていた オアンネス:混沌の最初の意識であるわたしは、物質を固くし、形体を定めるために、深淵からおどりでできた 私はいつまでも偉大なインシスはまだ誰も私のパールをかかげたものはいない私の果実が太陽なのだ! かれはまっさかさまに深淵へおちてゆく アントワヌ:これらすべての目的は何だろうか? 悪魔:目的はないのだ! 死神:わたしのおかげで、お前も本気になることができるのだ。さあ抱きあおう! ……私は、時おり、空に精霊の形のようなものを見とめたことがあった 革袋のようにまるい、海の獣たち さまざまな住民が大洋の国々にすんでいる ついに太陽が現われる……そしてまるい太陽のただなかに、イエス・キリストの顔が光りかがやく	1896(明治29)	リトグラフ、紙	27.5×20.0 24.2×19.0 26.0×19.7 26.5×21.5 31.0×22.6 31.0×22.5 28.0×21.8 28.4×20.5 27.7×21.2 31.0×25.0 30.3×21.4 26.5×18.1 22.3×19.3 31.0×23.2 27.5×20.0	
27		『ユージェント』1896年第1・第2号	1896(明治19)	リトグラフほか、紙(冊子)	29.5×23.5×0.2	冊子
28		『ユージェント』1896年第38号	1896(明治19)	リトグラフほか、紙(冊子)	29.5×23.5×0.1	冊子
29		『ユージェント』1897年第23号	1897(明治20)	リトグラフほか、紙(冊子)	29.5×23.5×0.1	冊子
30		『ユージェント』1897年第38号	1897(明治20)	リトグラフほか、紙(冊子)	29.5×23.5×0.1	冊子
31		『ユージェント』1898年第16号	1898(明治21)	リトグラフほか、紙(冊子)	29.5×23.5×0.1	冊子
32		『ユージェント』1898年第32号	1898(明治21)	リトグラフほか、紙(冊子)	29.5×23.5×0.1	冊子

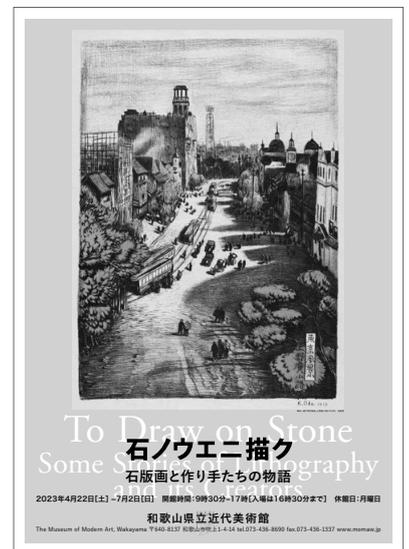
No.	作者名	作品名	制作年/発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
121-122		『東京風景』資料 永井荷風「織田一磨君作東京風景版畫集の序」	1917(大正6)	印刷、紙	各 33.7×48.2(2枚)	
123		『東京風景』資料 凡例	1917(大正6)	印刷、紙	33.7×48.2	
124-136	織田 一磨	『大阪風景』 1 道頓堀 2 永代濱 3 東横堀川 4 道頓堀川夜景 5 天神橋遠望 6 津村別院 7 四ツ橋雨景 8 中之島公園 9 天王寺東門雨景 10 安治川口 11 茶臼山 12 浮世小路月夜 13 住吉雪景 14 京町橋夜景 15 土佐堀川 16 川崎の渡し 17 京町堀 18 高津神社 19 築港月夜 20 新淀川附近	1917-19(大正6-8) 1917(大正6) 1917(大正6) 1917(大正6) 1917(大正6) 1918(大正7) 1918(大正7) 1918(大正7) 1918(大正7) 1918(大正7) 1918(大正7) 1918(大正7) 1919(大正8) 1919(大正8) 1919(大正8) 1919(大正8) 1919(大正8) 1919(大正8) 1919(大正8) 1919(大正8) 1919(大正8)	リトグラフ、紙	43.8×28.3 30.6×46.1 29.1×44.1 44.4×28.7 39.4×44.6 43.8×28.2 27.2×40.3 43.8×28.2 29.4×38.3 45.0×28.5 29.4×42.2 43.3×29.2 43.6×28.4 43.6×28.4 28.2×43.2 28.5×43.2 28.5×43.2 44.0×30.0 44.0×30.0	
石版画で創作版画を						
137	織田 一磨	月夜の景(奈良)	1918(大正7)頃	リトグラフ、紙	44.0×30.0	
138	織田 一磨	感覚	1920(大正9)	リトグラフ、紙	20.7×24.6	
139	織田 一磨	深林	1927(昭和2)	リトグラフ、紙	22.6×26.4	
140	石井 柏亭	墓地	1914(大正3)頃	リトグラフ、紙	25.5×16.8	
141	ワルワーラブブノフ	樹	制作年不詳	リトグラフ、紙	39.7×28.0	
142	ワルワーラブブノフ	アンナの肖像	1933(昭和8)	リトグラフ、紙	43.8×29.3	
143	ワルワーラブブノフ	眠る女	1942(昭和17)	リトグラフ、紙	11.5×20.4	
144	石井 鶴三	雪《日本版画協會 自画石版画集》より	1932(昭和7)	リトグラフ、紙	22.3×27.5	
145	前川 千帆	温泉《日本版画協會 自画石版画集》より	1933(昭和8)	リトグラフ、紙	26.9×20.0	
146	谿 伊之助	そば屋《日本版画協會 自画石版画集》より	1933(昭和8)	リトグラフ、紙	24.9×29.4	
147	谿 伊之助	台所	1935(昭和10)	リトグラフ、紙	73.8×53.7	中畑紳人氏寄贈
148	谿 伊之助	大きなバルミエ	1935(昭和10)	リトグラフ、紙	52.3×69.2	中畑紳人氏寄贈
149	ワルワーラブブノフ	『葬儀屋』より	1934(昭和9)	リトグラフ、紙(冊子)	31.0×45.9 見開き	
150-152	織田 一磨	『都会生活』アオイ書房十週年記念書窓版 画帖十連聚其一より 表紙 五本の柳 河船 雪景	1941(昭和16)	リトグラフ、紙(冊子)	27.0×21.6×0.4 26.7×42.7 14.5×19.7 23.2×14.7	
153	田坂 乾	西便門外(北京)	1938(昭和11)	リトグラフ、紙	28.2×33.2	
154	村井 正誠	ボウトレアラブ	1930年代	リトグラフ、紙	34.4×28.5	村井伊津子氏寄贈
155	国吉 康雄	藤椅子の女	1927(昭和2)	リトグラフ、紙	46.6×30.6	
156	野田 英夫	少女	1932(昭和7)	リトグラフ、紙	32.0×21.8	
157	パウルクレー	綱渡り	1923(大正12)	リトグラフ、紙	43.8×26.9	*前期展示
158	アンリ・マティス	果物入れとオダリスク	1925(大正14)	リトグラフ、紙	33.2×25.5	個人蔵 *後期展示
石版画の「いま」へ						
159	菅井 汲	悪魔	1955(昭和30)	リトグラフ、紙	53.5×38.5	
160	菅井 汲	青と黒	1961(昭和36)	リトグラフ、紙	61.0×48.5	
161	村井 正誠	顔2《Cercle de la Gravure du Japon》より	1954(昭和29)	リトグラフ、紙	53.1×37.5	
162	川口 軌外	群像《Cercle de la Gravure du Japon》より	1954(昭和29)	リトグラフ、紙	49.3×36.5	
163	瑛 九	鳥の芝居	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	37.3×51.7	
164	泉 茂	祭	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	54.1×41.2	
165	泉 茂	地下組織	1960(昭和35)	リトグラフ、紙	51.0×38.5	泉照子氏寄贈
166	鯉 嘸	巨大なトリ	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	71.3×51.8	
167	吉原 英雄	潜水 B	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	40.5×55.0	
168	利根山 光人	無題	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	42.5×52.6	
169	福沢 一郎	夜の祭り	1959(昭和34)	リトグラフ、紙	35.6×49.8	
170	磯辺 行久	マスク	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	55.5×41.8	
171	北川 民次	裸婦	1958(昭和33)	リトグラフ、紙	39.2×26.6	
172	脇田 和	少年と鳥	1960(昭和35)	リトグラフ、紙	38.1×50.5	
173	オノサトトシノブ	CIRCLE 64-G	1964(昭和39)	リトグラフ、紙	24.0×24.0	
174	村井 正誠	風	1962(昭和37)	リトグラフ、紙	64.0×52.0	
175	村井 正誠	黒い太陽	1962(昭和37)	リトグラフ、紙	56.0×42.0	村井伊津子氏寄贈
176	吉原 英雄	彼女は空に	1968(昭和43)	リトグラフ・銅版、紙	70.6×103.2	
177	松井 裕	FUGA No.1	1968(昭和43)	リトグラフ、紙	61.1×49.7	
178	井田 照一	Paper and Paper	1968(昭和43)	リトグラフ、紙	66.1×52.0	
179	篠原 有司男	女の祭り	1969(昭和44)	リトグラフ、紙	73.1×150.7	
180	木村 光佑	現在位置-存在(A)	1970(昭和45)	リトグラフ・シルクスクリーン、紙	73.8×103.0	
181	木村 光佑	現在位置 フレーミング(A)	1971(昭和46)	リトグラフ・シルクスクリーン、紙	73.5×104.9	
182	木村 光佑	現在位置-存在(C)	1971(昭和46)	リトグラフ・シルクスクリーン、紙	72.7×103.0	
183	ジョアン・ミロ	月の壁	1958(昭和33)頃	リトグラフ、紙	23.4×74.7	個人蔵
184	ジョアン・ミロ	黄金の羽を持つトカゲ	1971(昭和46)	リトグラフ、紙	48.1×33.8	田中恒子氏寄贈
185	ジョアン・ミロ	黄金の羽を持つトカゲ	1971(昭和46)	リトグラフ、紙	35.5×50.1	田中恒子氏寄贈
186	マックス・エルンスト	太陽、都市の全景	1968(昭和43)	リトグラフ、紙	30.5×24.0	
187	マルク・シャガール	ニンフたちの洞穴での婚礼の祝宴 『ダフニスとクロエ』より	1961(昭和36)	リトグラフ、紙	42.2×64.1	個人蔵
188	サム・フランシス	白い線	1960(昭和35)	リトグラフ、紙	84.7×63.3	
189-194	ベン・シャーン	リルケ『マルテの手記』より	1968(昭和43)	リトグラフ、紙	各57.4×45.1(6点)	

No.	作者名	作品名	制作年/発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
195	ロイ・キテンシュタイン	クラック I (ズドン!)	1964 (昭和39)	リトグラフ、紙	47.5×68.0	
196	ロバート・ラウシェンバーグ	スカイ・ガーデン	1969 (昭和44)	リトグラフ・シルクスクリーン、紙	225.2×106.9	
197	デヴィッド・ホックニー	太い線と細い線による水のリトグラフ (緑と水色と濃い青の淡彩)	1978-80 (昭和53-55)	リトグラフ、紙	50.9×70.5	
198	ジム・ダイン	ピカビア I (励まし)	1971 (昭和46)	リトグラフ・コラージュ、紙	137.7×93.7	
199	ジム・ダイン	ピカビア II (忘却)	1971 (昭和46)	リトグラフ・コラージュ、紙	137.0×92.5	
200	ジム・ダイン	ピカビア III (呟き)	1971 (昭和46)	リトグラフ・コラージュ、紙	137.6×89.6	
201	クリスト	包まれた遊歩道/ダブリンのプロジェクト	1983 (昭和58)	リトグラフ、布、紙	71.1×111.9	
202	フランク・ステラ	《シンジェリ》のヴァリエーション I	1977 (昭和52)	リトグラフ・シルクスクリーン、紙	81.1×107.0	
203	フランク・ステラ	《シンジェリ》のヴァリエーション Ia	1977 (昭和52)	リトグラフ・シルクスクリーン、紙	81.1×107.0	
204	フランク・ステラ	《シンジェリ》のヴァリエーション II	1977 (昭和52)	リトグラフ・シルクスクリーン、紙	81.1×107.0	
205	フランク・ステラ	《シンジェリ》のヴァリエーション IIa	1977 (昭和52)	リトグラフ・シルクスクリーン、紙	81.1×107.0	
206	フランク・ステラ	《シンジェリ》のヴァリエーション III	1977 (昭和52)	リトグラフ・シルクスクリーン、紙	81.1×107.0	
207	フランク・ステラ	《シンジェリ》のヴァリエーション IV	1977 (昭和52)	リトグラフ・シルクスクリーン、紙	81.1×107.0	
208	横尾 忠則	MAJOR ARCANA (大アルカナ)	1985 (昭和60)	リトグラフ、紙	235.0×198.8	堀内俊男氏寄贈
209	浜口 陽三	8つのくるみ	1977 (昭和52)	リトグラフ、紙	90.2×60.3	
210	野田 哲也	日記 1972年3月13日	1972 (昭和47)	リトグラフ、紙	55.7×41.6	
211	野田 哲也	日記 1972年2月3日	1972 (昭和47)	リトグラフ、紙	59.5×42.8	
212	高松 次郎	英語の単語 (THESE THREE WORDS)	1970 (昭和45)	オフセットリトグラフ、紙	78.7×54.4	
213	井田 照一	Stone, Paper and Stone	1976 (昭和51)	リトグラフ(両面刷)、紙	95.3×62.7	
214	小林 清子	屈折する時刻	1981 (昭和56)	リトグラフ、紙	44.0×65.0	
215	小林 清子	仮装した記憶	1983 (昭和58)	リトグラフ、紙	44.9×63.8	
216	東谷 武美	日触 M	1985 (昭和60)	リトグラフ、紙	51.0×69.8	
217	園山 晴巳	d'encres-U (インク-U)	1986 (昭和61)	リトグラフ、紙	98.4×69.0	和歌山版画ビエンナーレ展実行委員会寄贈
218	オールドジック・クルハーネク	法廷	1990 (平成2)	リトグラフ、紙	66.1×50.7	和歌山版画ビエンナーレ展実行委員会寄贈
219	若林 奮	UNDERWOOD 1	1989 (平成元)	リトグラフ、紙	99.2×75.6	
220	吉原 英雄	二つの地平 A	1988 (昭和63)	リトグラフ、紙	218.0×122.4	
221	吉原 英雄	二つの地平 B	1988 (昭和63)	リトグラフ、紙	220.0×125.0	
222	山本 桂右	光・時間・静寂 No.5	1995 (平成7)	リトグラフ、紙	59.9×85.0	
223	山本 桂右	光・時間・静寂 No.13	1998 (平成10)	リトグラフ、紙	60.0×85.1	
224	木村 希八	着替える女	1979 (昭和54)	リトグラフ・手彩、紙	39.4×23.4	作者寄贈
225	木村 希八	籠の鳥	1979 (昭和54)	リトグラフ・手彩、紙	23.4×39.3	
226	木村 希八	制作年不詳		リトグラフ・手彩、紙	39.2×24.0	作者寄贈
227	吉原 英雄	ネコ 94-A, B, C, D 原版	1994 (平成6)	リトグラフ原版(ジंक板)	55.0×65.0	作者寄贈
228	吉原 英雄	ネコ 94-A, B, C, D 墨刷	1994 (平成6)	リトグラフ、紙	31.0×43.2	作者寄贈
229-232	吉原 英雄	ネコ 94-A 94-B 94-C 94-D	1994 (平成6)	リトグラフ・手彩、紙	12.7×17.7 12.6×18.5 13.0×17.5 13.8×19.0	和歌山県立近代美術館友の会寄贈
233	小作 青史	気流	1982 (昭和57)	ベニヤ板によるリトグラフ、紙	86.0×61.9	
234	小作 青史	翼の季節	1984 (昭和59)	ベニヤ板によるリトグラフ、紙	69.0×49.7	
235-240	李 禹煥	石版画集『点より線より』 点より1 点より2 点より3 線より1 線より2 線より3	1977 (昭和52)	リトグラフ、紙	40.0×53.8 40.4×54.1 40.0×53.8 40.4×53.9 40.4×53.8 40.1×54.0	
241-242	加納 光於	石版画集『稲妻捕り』 PF-3 PF-9	1977 (昭和52)	リトグラフ、紙	62.5×50.3 58.5×46.3	
243	出原 司	南の海でゆっくり漂う	1988 (昭和63)	リトグラフ、紙	392.0×916.5	個人蔵

資料：石版石(松井裕 旧蔵)、製版材料(リトクレオン、解き墨)、解説書など



チラシ 裏/表



ポスター



会場風景／レクチャーの様子

2-2. 企画展「なつやすみの美術館 13 feat. 橋本知成」

- 会期 : 2023年7月11日(火)～9月10日(日) 54日間(休館日を除く)
- 会場 : 展示室C(2階)
- 主催 : 和歌山県立近代美術館
- 入場者数 : 8,769名
- 内容 : 学校教育と連携し、夏休みを利用して児童・生徒が美術館の楽しみ方を学ぶ機会となる展覧会の13回目。国際的な評価を高めている湯浅町出身の陶芸作家・橋本知成(はしもと・ともなり/1990～)の作品と当館収蔵作品を組み合わせで紹介した。和歌山美術館教育研究会の取り組みとしてワークシートを制作し、来館者の鑑賞の一助とするとともに、一部中学校の宿題として活用された。来館者が鑑賞体験を表明し、交流する試みとして「アンタイトルド タイトルド ポスト」を設置し、来場者による投稿を掲出した。また和歌山大学美術館部による鑑賞ワークシート「君たちはどう聴こえるか」の作成を指導し、会場で配布した。なお、県の新政策により熊野古道なかへち美術館(田辺市立美術館分館)と協力し、2024年3月20日(水・祝)にワークショップ「くまびで作ろう! 2 モルタルでベンチをつくろう」、2024年4月13日(土)～6月16日(日)に展覧会が実施された。
- 展示点数 : 16作家36点(うち橋本作品は20点)
- 担当学芸員 : 奥村泰彦、藤本真名美
- 関連事業 : ・対談 横山勝彦×橋本知成 7月22日(土) 14:00～15:30 2階ホールにて 31名
登壇: 横山勝彦(呉市立美術館館長)、橋本知成(出品作家)
司会: 奥村泰彦
・フロアレクチャー 7月17日(月・祝)、8月19日(土)、9月10日(日) 各14:00～15:00 2階展示室にて 8名、8名、24名
・こども美術館部「つるびかざらざら」 7月22日(土)、7月23日(日) 各11:00～12:00 2階展示室にて *詳細85頁
・和歌山大学美術館部によるたまごせんせいとわくわくアートツアー 8月16日(水)～20日(日) 各13:30～14:30、15:00～16:00 2階展示室にて 計84名 *19日(土)は15:00の回のみ
- 制作物 : ・ポスター(B2判、オフセット印刷)
・チラシ(A4判、オフセット印刷)
・出品目録(A4判6頁)
・プレスリリース(A4判4頁)
・ワークシート「Untitled あんたいったいどうみるの?」(A4判4頁)
・『なつやすみの美術館13 feat. 橋本知成 記録集』:和歌山県立近代美術館、2024年3月31日発行(25.7×29.5cm48頁、オフセット印刷)
奥村泰彦 橋本知成とUntitledな展覧会
- 入場料金 : 一般520(410)円、大学生300(260)円 ()内は20名以上の団体料金
- 成果・課題 : 橋本知成による抽象的な立体作品と、当館所蔵品の組み合わせは、橋本が自作と同様に当館所蔵品にも台座を制作するなど、一体感のある展示空間にできた。立体作品中心のインスタレーションで個々の作品にキャプションを付けられなかったが、出品目録に全作品の画像を掲載し、配置図と合わせて把握できるよう試みた。
- 関連記事 : ・「湯浅町出身の橋本知成氏 作品展示」『和歌山特報』2023年7月11日、3面
・「なつやすみの美術館13 feat. 橋本知成」展『毎日新聞』2023年7月20日、22面
・正木和利「くプレミアム plus1」心地よいモルタルと陶の調和『産経新聞』2023年7月21日、5面
・「橋本知成にフィーチャー 9月10日まで なつやすみの美術館」『わかやま新報』2023年7月26日、3面
・「土の温かさ 伝わる作品 県立近代美術館 湯浅出身の陶芸家」『読売新聞』2023年8月24日、29面
- その他 : ・「なつやすみの美術館13 feat. 橋本知成」テレビ和歌山「WTV ニュース」、2023年7月11日放送
- メディア報道

出品目録

*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	所蔵/備考
1	橋本 知成	Untitled	2022(令和4)	陶土、酸化金属、釉薬、モルタル	274.0×81.8×30.2	個人蔵
2	橋本 真之	同一時空間に重なりたい三個の果実	1986(昭和61)	銅(鍛金)	84.0×26.0×28.0	田中恒子氏寄贈
3	橋本 知成	Untitled	2022(令和4)	陶土、酸化金属、釉薬、モルタル	200.0×15.0×47.5	個人蔵
4	橋本 知成	Untitled	2023(令和5)	陶土、酸化金属、釉薬、モルタル	13.9×250.0×16.5	個人蔵
5	橋本 知成	Untitled	2023(令和5)	陶土、酸化金属、釉薬、モルタル	18.3×240.0×15.3	個人蔵
6	ドナルド・ジャッド	無題	1988(昭和63)	アルミニウム	30.0×210.4×30.0	
7	原田 要	絵画の庭—巻雲	2001(平成13)	木、顔料ほか	15.0×446.0×21.0	個人蔵
8	金子 潤	Tall DANGO	1986(昭和61)	陶	180.0×66.0×66.0	
9	橋本 知成	Untitled	2022(令和4)	陶土、酸化金属、釉薬	12.5×260.5×12.5	個人蔵
10	橋本 知成	Untitled	2023(令和5)	陶土、酸化金属、釉薬、モルタル	51.6×60.0×19.3	個人蔵
11	橋本 知成	Untitled	2022(令和4)	陶土、酸化金属、釉薬、モルタル	76.0×41.0×41.0	個人蔵
12	橋本 知成	Untitled	2022(令和4)	陶土、酸化金属、釉薬、モルタル	240.5×50.0×7.0	個人蔵
13	李 禹煥	点より	1980(昭和55)	岩彩、キャンバス	193.9×258.8	
14	野田 裕示	WORK 505	1988(昭和63)	アクリル絵具、キャンバス	262.3×183.2×7.0	
15	橋本 知成	Untitled	2021(令和3)	陶土、酸化金属、釉薬、モルタル	166.0×20.0×20.0	個人蔵
16	橋本 知成	Untitled	2021(令和3)	陶土、酸化金属、釉薬、モルタル	143.5×24.0×24.0	個人蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵／備考
17	橋本 知成	Untitled	2023(令和15)	陶土、酸化金属、釉薬、モルタル	185.5×25.7×25.7	個人蔵
18	橋本 知成	Untitled	2023(令和15)	陶土、酸化金属、釉薬、モルタル	150.0×25.2×22.7	個人蔵
19	橋本 知成	Untitled	2023(令和15)	陶土、酸化金属、釉薬、モルタル	159.5×16.7×22.8	個人蔵
20	橋本 知成	Untitled	2022(令和14)	陶土、酸化金属、釉薬	35.0×35.0×35.0 (6点組)	個人蔵
21	建畠 覚造	殻	1957(昭和32)	セメント、土管	73.0×50.0×76.0	作者寄贈
22	秋山 陽	準平原 882	1988(昭和63)	陶	73.0×129.0×70.0	作者寄贈
23	イサム・ノグチ	ヴォイド	1971(昭和46)／1979(昭和54) 鑄造	ブロンズ	116.0×86.0×66.0	
24	橋本 知成	Untitled	2023(令和15)	陶土、酸化金属、釉薬	190.0×85.0×85.0	個人蔵
25	江口 遼	飛翔のはじまり	1981(昭和56)	木	204.0×58.0×54.0	
26	西村 陽平	Untitled	1982(昭和57)	アルミニウム、鉛	87.5×60.6×8.3	
27	橋本 知成	Untitled	2020(令和12)	陶土、酸化金属、釉薬	195.0×41.0×41.0	個人蔵
28	橋本 知成	Untitled	2023(令和15)	陶土、酸化金属、釉薬	105.0×105.0×105.0	個人蔵
29	泉 茂	KF1505	1972(昭和47)	油彩、キャンバス	181.5×227.0	泉照子氏寄贈
30	泉 茂	KF1506	1972(昭和47)	油彩、キャンバス	182.0×227.0	泉照子氏寄贈
31	橋本 知成	Untitled	2023(令和15)	陶土、酸化金属、釉薬	59.0×61.0×61.0	個人蔵
32	宮永 理吉	台密の屋根	1987(昭和62)	陶	26.0×37.0×17.0	作者寄贈
33	林 康夫	Phase 85-2	1985(昭和60)	陶	38.5×32.5×33.5	
34	宮下 善爾	牡丹(元禄)	1990(平成2)	陶	23.5×48.0×48.0	宮下英子氏寄贈
35	橋本 知成	Untitled	2023(令和15)	陶土、酸化金属、釉薬	80.0×85.0×80.0	個人蔵
36	橋本 知成	Untitled	2022(令和14)	陶土、酸化金属、釉薬、モルタル	244.0×10.2×10.2	個人蔵



ポスター



チラシ表／裏



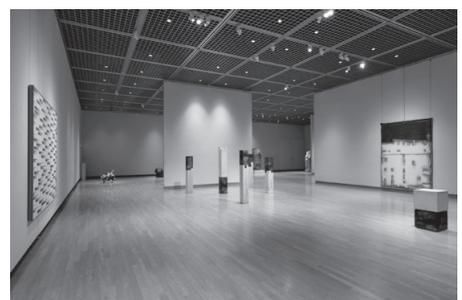
記録集



ワークシート



会場風景



3-1. コレクション展 2023—春夏／特集 美術と音楽の出会い

- 会期 : 2023年5月20日(土)～7月30日(日)
 * 前期展示:5月20日(土)～6月25日(日)、後期展示:6月27日(火)～7月30日(日)
- 会場 : 展示室A・B(1階)、リーディングコーナー
- 主催 : 和歌山県立近代美術館
- 入場者数 : 5,786名
- 内容 : 所蔵品を通して美術文化への理解を深められるよう、テーマを設けながら和歌山ゆかりの作家を中心に近現代美術の秀作を展示し、床の間文化を考える小コーナー「床の間芸術再考」を設けた。また特集として、「美術と音楽の出会い」を開催した。
- 展示点数 : 【コレクション展】54作家71点／【特集 美術と音楽の出会い】31作家75点、資料32点 * 展示室外を含む
- 担当学芸員 : 山野英嗣(館長)、藤本真名美
- 関連事業 : ・館長によるレコードコンサート&トーク 6月17日(土) 14:00～15:30 2階ホールにて 85名
 協力:ウメダ電器 * 出品作品の解説とともに関連のレコードを全方位スピーカーで聴いた。
 ・館長によるフロアレクチャー 5月20日(土)、6月11日(日)、6月25日(日)、7月9日(日)、7月23日(日) 各14:00～15:00 1階展示室にて 23名、5名、8名、21名、12名
 ・スライドレクチャー「再考・床の間芸術・再興」6月10日(土) 14:00～15:00 2階ホールにて 4名
 ・解説付きコンサート「美術と音楽の出会い」7月16日(日) 14:00～15:00 2階ホールにて 70名
 ヴァイオリン:西尾恵子(神戸市室内管弦楽団首席バイオリン奏者)
 解説:岩野裕一(音楽ジャーナリスト・実業之日本社 代表取締役社長)
 〈プログラム〉
 ジェルジュ・クルターク Signs, Games and Messages より Hommage à J.S.B.
 Perpetuum mobile Overture～A
 Panaszos nóta
 Perpetuum mobile Overture～B
 Hommage à John Cage
 Perpetuum mobile Overture～C
 ジョン・ケージ Eight Whiskus for Violin
 エドゥアルト・エルトマン Sonata for Violin solo
- 制作物 : ・出品目録(A4判10頁)
 ・プレスリリース(A4判3頁)
- 入場料金 : 一般350(270)円、大学生240(180)円 ()内は20名以上の団体料金
- 成果・課題 : コレクション展では、普段は展示の機会が少ない床の間に映える掛軸を積極的に紹介したほか、第二次世界大戦前後の社会的混乱を反映した作品を多く出品した。特集展示では美術・音楽というジャンルを超えた内容で、美術家に関わったレコードジャケットを多数紹介し、観客の関心を引き出すことができた。多彩なイベントも実現させ、レコードコンサートでは、和歌山市内でスピーカーを製造するウメダ電器の協力により県産品に登録されている高音質のスピーカーを使用し、地元との連携を深めた。展示テーマに合わせてゲストが選曲したヴァイオリンコンサートでも、多数の参加者を集めることができた。一方で、床の間をテーマにしたスライドレクチャーは参加者が少なく、事前の広報不足が課題として残った。
- 関連記事 : ・「竹スピーカー×レコード 県立近代美術館 館長によるレコードコンサート&トーク」『Arikaina』2023年5月10日
 ・松本博子「コレクション展2023—春夏 特集:美術と音楽の出会い 和歌山県立近代美術館 7月30日まで」『毎日新聞』2023年5月25日、18面(ウェブでも配信)
 ・藤本真名美「〈とらふすクラシック・305〉響きあう美術と音楽 「美術と音楽の出会い」展より」『わかやま新報』2023年6月1日、6面
 ・「音楽との出会い 色濃く 抽象絵画や銅版画展示」『読売新聞』2023年6月3日、24面
 ・「和歌山県立近代美術館でレコード鑑賞会 「美術音楽の出会い」展に合わせ」『和歌山経済新聞』2023年6月12日(ウェブ配信)
 ・「コレクション展2023春夏／特集「美術と音楽の出会い」／7月30日まで 県立近代美術館」『紀伊民報』2023年6月28日(ウェブ配信)
 ・「美術と音楽の出会い 30日まで 近代美術館コレクション展」『産経新聞』2023年7月6日、19面(ウェブでも配信)
 ・「解説付きコンサート／「美術と音楽の出会い」／16日、県立近代美術館」『紀伊民報』2023年7月7日(ウェブ配信)
 ・「美術と音楽の出会い 16日解説付きコンサート」『わかやま新報』2023年7月15日、7面
- その他 : ・「#96 特集:「美術と音楽の出会い」について〈ゲスト〉山野英嗣さん(和歌山県立近代美術館館長)藤本真名美さん(同学芸員)」Podcast「本メディア報道 屋ブラグラジオ」、2023年5月25日公開

* 以上ウェブ上の情報への最終アクセス日:2025年1月30日

出品目録

前期5月20日～6月25日／後期6月27日～7月30日

*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年／発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵／備考
コレクション展2023—春夏						
1	中村 不折	白頭翁	1907(明治40)	油彩、キャンバス	200.2×136.6	個人蔵
2	鹿子木 孟郎	パイプを持つ男	1906(明治39)	油彩、キャンバス	79.6×64.0	
3	建畠 大夢	おゆのつかれ	1913(大正2)	ブロンズ	68.0×40.0×56.0	
4	田中 恭吉	初夏	1912(明治45／大正元)	油彩、キャンバス	45.8×33.6	恩地邦郎氏寄贈
5	[恩地 孝四郎]	風景	大正初期頃	油彩、キャンバス	33.4×45.5	恩地邦郎氏寄贈
6	岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914(大正3)	油彩、板	51.3×39.2	個人蔵
7	高須 光治	自画像	1915(大正4)	油彩、板	45.4×37.3	

No.	作者名	作品名	制作年/発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
8	佐伯 祐三	カフェ・レストラン	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	61.0×50.3	個人蔵
9	木下 孝則	七面鳥	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	130.5×80.4	
10	浜地 清松	裸婦	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	144.0×110.5	
11	保田 龍門	裸婦群像(構図の研究)	1926(昭和元)	油彩、キャンバス	130.2×194.2	保田淳子氏寄贈
12	保田 龍門	少女	1925(大正14)	ブロンズ	173.5×67.0×43.0	
13	川口 軌外	少女と貝殻	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	167.3×267.2	
14	村井 正誠	聚落	1941(昭和16)	油彩、キャンバス	80.5×233.0	作者寄贈
15	日高 昌克	初夏晴嵐図	1957(昭和32)	顔料・墨、紙	28.2×41.1	青木正夫氏寄贈
16	日高 昌克	初夏雨晴図	1954(昭和29)	顔料・墨、紙	30.1×43.2	近藤直人氏寄贈
17	川端 龍子	金鱗図	制作年不詳	顔料、絹	40.5×51.0	青木元治郎氏、山中嘉子氏寄贈 *前期展示
18	川端 龍子	麦	制作年不詳	顔料、絹	40.8×51.0	青木元治郎氏、山中嘉子氏寄贈
19	川端 龍子	飛鮎	制作年不詳	顔料、絹	42.3×50.8	青木元治郎氏、山中嘉子氏寄贈 *後期展示
20	小林 古徑	若鮎	1937(昭和12)	顔料、絹	39.8×49.9	森佑一郎氏寄贈
21	青木 虹興	牡丹	制作年不詳	顔料、絹	43.0×51.0	個人蔵
22	小杉 放菴	椿花一枝図	制作年不詳	顔料、紙	35.2×40.2	個人蔵
23	井上 永悠	墨蘭	1955(昭和30)頃	墨、紙	35.2×68.7	篠田博之氏寄贈
24	橋本 関雪	江亭賞梅図・松雲塔影図	制作年不詳	顔料、絹	各147.9×36.0	個人蔵
25	川村 曼舟	蓬萊山	制作年不詳	顔料、絹	128.5×43.2	個人蔵
26	大亦 観風	鍾馗	制作年不詳	顔料、紙	128.5×34.3	大亦博彦氏寄贈
27	伊藤 小坡	虫壳	制作年不詳	顔料、絹	60.8×70.8	個人蔵
28	榎本 一洋	きせわた	制作年不明	顔料、絹	34.2×41.9	個人蔵
29	菊池 契月	東遊舞	制作年不詳(1937頃)	顔料、絹	132.0×42.4	天羽明子氏寄贈
30	高井 貞二	隼急襲す	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	113.3×89.8	作者寄贈
31	高井 貞二	北の兵士	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	97.0×144.5	作者寄贈
32	高井 貞二	国境の少年達	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	116.0×92.0	個人蔵
33	石垣 栄太郎	K.K.K.	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	76.8×91.6	石垣綾子氏寄贈
34	石垣 栄太郎	ポーナス・マーチ	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	145.4×107.0	石垣綾子氏寄贈
35	石垣 栄太郎	キューバ島の反乱	1933(昭和8)	油彩、キャンバス	181.5×139.0	石垣綾子氏寄贈
36	石垣 栄太郎	人民戦線の人々	1937(昭和12)頃	油彩、キャンバス	148.5×207.0	
37	前川 千帆	閑中閑本 第一冊 文獻惣帖帖	1945(昭和20)	木版、紙	17.0×19.0 見開き	個人蔵
38	浜田 知明	初年兵哀歌 銃架のかけ	1951(昭和26)	エッチング・アクアチント、紙	19.0×16.8	
39	浜田 知明	初年兵哀歌 歩哨	1951(昭和26)	エッチング・アクアチント、紙	29.6×20.7	
40	浜田 知明	初年兵哀歌 風景一隅	1954(昭和29)	エッチング・アクアチント、紙	18.0×23.4	
41	殿敷 侃	日本地図	1981(昭和56)	シルクスクリーン、印刷物	102.0×72.7	
42	松本 竣介	三人	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	162.2×112.5	個人蔵
43	ジャン・フォートリエ	黒い背景の人質たち	1944(昭和19)	銅版、紙	23.6×32.5	
44	ジョアン・ミロ	老アイルランド人	1969(昭和44)	銅版、紙	106.5×70.4	
45	ジョアン・ミロ	ガルガンチュア	1978(昭和53)	銅版、紙	157.4×117.2	
46	ジョアン・ミロ	権力のある思想家	1969(昭和44)	銅版、紙	105.3×66.8	
47	ジャスパー・ジョーンズ	Two Maps I	1965-66(昭和40-41)	リトグラフ、紙	84.5×67.5	志水陽子氏寄贈
48	ジャスパー・ジョーンズ	旗	1960-69(昭和35-44)	鉛	48.2×53.4	
49	ジョージ・シーガル	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988(昭和63)	石膏、木、アクリル絵具ほか	264.6×359.9×270.4	
50	マーク・ロスコ	赤の上の黄褐色と黒	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	176.2×136.6	
51	杉本 健吉	仮面	制作年不詳	油彩、紙	51.9×39.3	篠田博之氏・篠田めぐみ氏寄贈
52	坂本 繁二郎	能面	1955(昭和30)	油彩、キャンバス	31.8×41.4	個人蔵
53	香月 泰男	鯨魚	1958(昭和33)頃	油彩、キャンバス	26.8×45.5	篠田博之氏・篠田めぐみ氏寄贈
54	菅井 汲	夜の風景	1955(昭和30)	油彩、キャンバス	77.5×195.5	
55	山口 長男	連	1965(昭和40)	油彩、板	182.2×364.3	
56	津高 和一	爆発	1954(昭和29)	油彩、キャンバス	131.0×163.0	
57	白髪 一雄	羅刹天譴(ランヂリチエイソハカ)	1980(昭和55)	油彩、キャンバス	130.8×194.0	鈴木直弥氏寄贈
58	川端 実	門のイメージ 黒	1984(昭和59)	アクリル絵具、キャンバス	213.6×158.1	
59	館 勝生	7 pèchés capitaux	1989(平成元)	油彩、キャンバス	194.0×324.0	
60	木下 佳通代	89-CA552	1989(平成元)	油彩、キャンバス	181.8×227.3	玉田美智子氏寄贈
61	榎倉 康二	FIGURE B-No.3	1983(昭和58)	アクリル塗料、綿布	172.0×353.3	
62	下村 良之介	闘鶏屏風(度)	1978(昭和53)	顔料、紙	167.5×184.3	
63	建畠 覚造	貌	1955(昭和30)	セメント	139.0×100.0×64.0	
64	堀内 正和	人差指	1965(昭和40)	ブロンズ	作品:33.1×16.3×16.0 台座:16.1×16.3×16.0	
65	堀内 正和	うらがえる円筒 a	1960(昭和35)	鉄	作品:221.5×10.0×10.0 台座:20.0×45.0×45.0	
66	土谷 武	向かい風 IV	1981(昭和56)	鉄、木	156.5×106.5×83.0	
67	曽我 孝司	Floating Rain '98	1998(平成10)	石、銅	135.0×36.0×28.0	
68	中ハシ 克シゲ	Second Marriage	1990(平成2)	ブロンズ、トタン、銅線、御影石ほか	145.0×300.0×150.0	
69	坪井 明日香	唐織遺想	1990(平成2)	陶	63.0×44.0×34.0	
特集 美術と音楽の出会い						
70	ワシリー・カンディンスキー	『響き』より 抒情的	1911(明治44)	木版、紙	14.8×21.9	
71	パウル・クレー	小さな世界	1914(大正3)	エッチング、紙	14.5×9.7	
72	ラウル・デュフィ	コンボティエのある静物	1940(昭和15)頃	油彩、キャンバス	65.2×81.2	森林平氏寄贈
73	アンリ・マティス	『ジャズ』1 道化師	1947(昭和22)	ステンシル、紙	41.3×31.3	
74	アンリ・マティス	『ジャズ』2 サーカス	1947(昭和22)	ステンシル、紙	36.1×54.9	
75	アンリ・マティス	『ジャズ』4 白い象の悪夢	1947(昭和22)	ステンシル、紙	41.6×63.8	

No.	作者名	作品名	制作年/発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
76	アンリ・マティス	『ジャズ』11 コドマ兄弟	1947(昭和22)	ステンシル、紙	42.3×65.2	
77	マックス・クリンガー	間奏曲 2 海辺で	1881(明治14)初版	エッチング・アクアチント、紙	19.5×37.8	
78	マックス・クリンガー	間奏曲 7 ジンプリチウスの勉強	1881(明治14)初版	エッチング・アクアチント、紙	28.8×23.1	
79	マックス・クリンガー	間奏曲 8 隠者の墓の傍らのジンプリチウス	1881(明治14)初版	エッチング・アクアチント、紙	29.3×23.4	
80	マックス・クリンガー	間奏曲 12 愛・死・彼岸	1881(明治14)初版	エッチング・アクアチント、紙	16.0×40.7	
81-82	オディロン・ルドン	『聖アントワヌの誘惑』 第3集より ヘレーナ(エンノイヤ) 彼女は懐から真黒な海綿をとり出して、それを接吻で覆う	1896(明治29)	リトグラフ、紙	9.3×8.3 19.2×15.3	
83	岡 鹿之助	燈台	1953(昭和28)	油彩、キャンバス	65.0×80.5	個人蔵
84	恩地 孝四郎	音楽作品による抒情 ドビュッシー「金色の魚」	1950(昭和25)	木版、紙	29.3×14.5	
85	恩地 孝四郎	音楽作品による抒情 ドビュッシー「小さい羊飼」	1950(昭和25)	紙版・木版、紙	24.2×17.1	
86	高橋 力雄	音楽(能A)	1960(昭和35)	木版、紙	56.2×37.8	奥田西杜子氏寄贈
87	高橋 力雄	音楽(能B)	1960(昭和35)	木版、紙	57.8×42.0	奥田西杜子氏寄贈
88	内間 安理	ロンド	1957(昭和32)	木版、紙	19.6×27.7	荒木高子氏寄贈
89	内間 俊子	オルゴール	1955(昭和30)	油彩、キャンバス	50.0×72.5	内間俊子氏寄贈
90	泉 茂	泉茂リトグラフ画集『MUSICIAN』 薔薇と笛	1958(昭和33)	リトグラフ、紙	39.3×26.8	森淳氏寄贈
91-96	泉 茂	泉茂リトグラフ画集『MUSICIAN』 1 ラ・ビ・アン・ローゼ 2 ハイティーン 3 百姓トロンボーン氏 4 バイオリニスト 5 追想 6 廢園の曲	1958(昭和33)	リトグラフ、紙	36.0×26.0 37.0×29.0 27.0×41.0 28.8×41.0 38.0×28.0 39.0×29.0	荒木高子氏寄贈
97	ジョン・ケージ	Déreau #9	1982(昭和57)	銅版、紙	46.0×63.2	
98	ジョン・ケージ	Déreau #13	1982(昭和57)	銅版、紙	46.6×63.1	
99	ジョン・ケージ	Déreau #16	1982(昭和57)	銅版、紙	46.2×63.1	
100-102	ピーター・ピアード アンディ・ウォーホル ハリール・スミス	ジョナス・メカスの映画美術館のためのポートフォリオ 16 サン・クエンティン 1972 7 エリック・エマーソン(チェルシー・ガールズ) 11 無題	1982(昭和57)	写真 シルクスクリーン、紙 エンボス・カラージュ、紙	22.9×34.3 49.1×33.5 56.5×44.6	
103	チャック・クロス	フィル[フィリップ・グラス]	1982(昭和57)	ペーパー・バルブ	175.3×137.0	
104	キース・ヘリング	HOMO DECORANS[ポスター]	1985(昭和60)	印刷、紙	64.5×87.5	田中恒子氏寄贈
105	ジャン・ミッシェル	無題	1983(昭和58)	シルクスクリーン、キャンバス	146.0×192.0	
106	熊倉 順吉	ブラックミュージック	1984(昭和59)	陶	41.5×25.0×13.0	
107	熊倉 順吉	ミュージシャン	1984(昭和59)	陶	42.0×23.0×10.5	
108	中西 學	THUNDER	1988(昭和63)	発泡スチロール、アクリル樹脂ほか	138.0×181.0×16.0	南口友厚氏寄贈
109-110	彦坂 尚嘉	ハーフ・モダンイズム 1 デューク・エリントンとかれのオーケストラ 6 交響曲	1989(平成元)	ドライポイント、紙	45.4×24.4 45.3×24.3	田中恒子氏寄贈
112	瀧口 修造	無題	制作年不詳	インク(デカルコマニー)、紙	19.9×13.8	
113	駒井 哲郎	星座	1962(昭和37)	アクアチント・ディープエッチング、紙	27.0×35.8	
114	駒井 哲郎	小さな幻影	1950(昭和25)	アクアチント・エッチング・ドライポイント、紙	5.5×13.0	
115	駒井 哲郎	作品	1951(昭和26)	アクアチント、紙	17.3×14.7	
116	堂本 尚郎	二元的なアンサンブル	1962(昭和37)	油彩、キャンバス	162.0×122.0	
117	宇佐美 圭司	プロフィール同層、異層	1974(昭和49)	油彩、キャンバス	200.0×270.0	
118	宇佐美 圭司	版画集『顔』7 Process X	1973-74(昭和48-49)	シルクスクリーン、紙	62.0×47.2	
119	泉 茂	バアラード オブ トライアングル	1987(昭和62)頃	アクリル絵具、キャンバス	194.6×131.0	泉照子氏寄贈
120	ピーター・フォーゲル	ピチカートとレガート	1994(平成6)	スピーカー、フォトセルほか	94.6×19.2×13.3	
121	加納 光於	身を起こした蛇のために ob-1	1998(平成10)	木、金属	96.8×40.4×23.5	作者寄贈
122	藤本 由紀夫	Book	1994(平成6)	オルゴール、アルミニウム	19.5×14.5×8.0	田中恒子氏寄贈
123	藤本 由紀夫	Book	1994(平成6)	オルゴール、アルミニウム	19.5×14.5×8.0	田中恒子氏寄贈
124-125	横尾 忠則	聖ジャンバラ 1 土其天 7 火其地	1974(昭和49)	オフセット・シルクスクリーン、紙	86.3×57.4 86.2×57.3	
126-145	デヴィッド・ホックニー	ブルー・ギター 1 ブルー・ギター 2 年老いたギター弾き 3 しらべ 4 注意深い足取りで 5 フランス・アメリカ間の手紙 6 バレード 7 不協和音ばかり 8 青いギターが唸る 9 光と闇のなかに 10 静物と人物 11 四月につくられた 12 ぼくたち自身の絵 13 詩人 14 エッチング 15 がつん、ごつんと打ち振って、本来の姿に帰すのだ 16 ものはわたしが奏でるままに 17 ブルー・ギターにくぎづけ 18 静物もうごく 19 セレナーデ 20 このピカノはいったいなに?	1976-77(昭和51-52)	エッチング、紙	42.4×34.3 40.0×34.0 31.7×41.0 34.4×41.5 34.5×42.5 39.5×34.5 34.5×42.5 38.0×34.0 32.7×40.3 42.3×34.3 42.8×34.8 34.1×42.5 33.4×41.6 34.4×42.2 42.5×34.4 32.8×41.0 34.3×42.5 34.5×40.0 40.3×34.2 34.0×42.3	

〈参考資料〉 *複製版の場合は基本的に複製版の制作年を記載。

M-1	ワシリー・カンディンスキー、フランツ・マルク編 年刊誌『青騎士』	1976(昭和51)複製版/ 初版1912(大正元)				
M-2	ワシリー・カンディンスキー『SOUNDS[『響き』英訳版]』(イェール大学出版)	1981(昭和56)				個人蔵
M-3	「パウハウスと音楽」コンサート・プログラム(多摩芸術大学芸術科)	1985(昭和60)				個人蔵
M-4	『音楽、ロシアとカンディンスキー』CD(グッゲンハイム美術館)	1996(平成8)				個人蔵

No.	作者名	作品名	制作年/発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
M-5		ピンク・フロイド大阪公演リーフレット[現物]および告知ポスター[複製]	1972(昭和47)			個人蔵
M-6		オーブリー・バウエル著、島田陽子訳『ヒプノシス ロック名盤デザイン秘話』(シンコーミュージック・エンターテイメント)	2022(令和4)			個人蔵
M-7		『ザ・ヴェルヴェット・アンダーグラウンド・アンド・ニコ』(ユニバーサルレコード) *アンディ・ウォーホルのプロデュースによるアルバム LPカバー・デザイン:A.R.レーマン	1967(昭和42)			個人蔵 *リーディングコーナーに展示
M-8		ザ・ビートルズ『サー・ジェントル・ベーパーズ・ロンリー・ハーツ・クラブ・バンド』アルバム(アップルレコード) LPジャケット制作:ピーター・ブレイク	1967(昭和42)			個人蔵
M-9		ピンク・フロイド『神秘』アルバム(東芝音楽工業) LPジャケット制作:ヒプノシス	1968(昭和43)			個人蔵 *リーディングコーナーに展示
M-10		ピンク・フロイド『原子心母』アルバム(東芝音楽工業) LPジャケット制作:ヒプノシス	1970(昭和45)			個人蔵
M-11		フラワー・トラベリン・バンド『エニウェア』アルバム(フィリップスレコード) LPジャケット写真:篠山 紀信	1970(昭和45)			個人蔵 *リーディングコーナーに展示
M-12		モDEST・パトロー・ヴィチム・ソルグスキー『展覧会の絵』アルバム(SMS 2744レコード) LPジャケット作品:ワシリー・カンディンスキー	1971(昭和46)			個人蔵
M-13		武満 徹『ミニ・アチュール 第2集』アルバム(ポリドールKK) LPジャケット作品:宇佐美 圭司	1973(昭和48)			個人蔵
M-14		レッド・ツェッペリン『聖なる館』アルバム(アトランティックレコード) LPジャケット制作:ヒプノシス	1973(昭和48)			個人蔵 *リーディングコーナーに展示
M-15		ピンク・フロイド『狂気(ダーク・サイド・オブ・ザ・ムーン)』アルバム(東芝音楽工業) LPジャケット制作:ヒプノシス	1973(昭和48)			個人蔵
M-16		サンタナ『ロータスの伝説』アルバム(CBSソニー) LPジャケット制作:横尾 忠則	1973(昭和48)			個人蔵
M-17		ピンク・フロイド『炎~あなたがここにいてほしい』アルバム(東芝音楽工業) LPジャケット制作:ヒプノシス	1975(昭和50)			個人蔵 *リーディングコーナーに展示
M-18		アルノルト・シェーンベルク『交響詩 ベレアスとメリザンド』アルバム(ビクター音楽産業) LPジャケット作品:グスタフ・クリムト	1976(昭和51)			個人蔵 *リーディングコーナーに展示
M-19		サンタナ『アミーゴ(同胞)』アルバム(CBSソニー) LPジャケット制作:横尾 忠則	1976(昭和51)			個人蔵 *リーディングコーナーに展示
M-20		アルノルト・シェーンベルク『浄夜』+アルバン・ベルク『抒情組曲』アルバム(CBS / SONY Inc.) LPジャケット作品:グスタフ・クリムト	1977(昭和52)			個人蔵 *リーディングコーナーに展示
M-21		ブライアン・イノー『アンビエント1』ミュージック・フォー・エアポート』アルバム(ポリドールKK) LPジャケット制作:ブライアン・イノー	1978(昭和53)			個人蔵 *リーディングコーナーに展示
M-22		アルノルト・シェーンベルク『期待』アルバム(ロンドンレコード) LPジャケット作品:アルノルト・シェーンベルク	1981(昭和56)			個人蔵
M-23		アレクサンダー・フォン・ツェムリンスキー『叙情交響曲』アルバム(ポリドールKK) LPジャケット作品:ワシリー・カンディンスキー	1981(昭和56)			個人蔵
M-24		イゴール・ストラヴィンスキー『兵士の物語』アルバム(フォノグラム) LPジャケット作品:ジャン・コクトー	1983(昭和58)			個人蔵 *リーディングコーナーに展示
M-25		フランツ・フェルディナンド『ユー・クッド・ハヴ・イット・ソー・マッチ・ベター』アルバム(Dominoレコード)	2005(平成17)			個人蔵 *リーディングコーナーに展示
M-26		ザ・ストーン・ローゼズ『20th Anniversaryリイ・レガシー・エディション』アルバム(ソニー・ミュージック) LPジャケット制作:ジョン・スクワイア	2009(平成21)			個人蔵 *リーディングコーナーに展示
M-27		ニュー・オーダー『権力の美学』アルバム(日本コロムビア) LPジャケット作品:アンリ・ファンタン=ラトゥール	1990(平成2)			個人蔵 *リーディングコーナーに展示
M-28		マイルス・デイビス『1958マイルス』アルバム(ワックスタイムレコード) LPジャケット作品:池田 満寿夫(Something1)(1966年)	2017(平成29)			個人蔵
M-29		ブライアン・イノー『ラックス』アルバム(ワーベレコード) CDジャケット制作:ブライアン・イノー、ニック・ロバートソン	2012(平成24)			個人蔵
M-30		オーネット・コールマン『フリー・ジャズ』アルバム(DOL) LPジャケット作品:ジャクソン・ポロック(ホワイト・ライト)(1954年)	2013(平成25)			個人蔵
M-31		長谷川時夫トーク&ライブ「タージマハル旅行団からミティラー美術館へ」リーフレット(和歌山県立近代美術館)	2022(令和4)			
M-32		ジェルジュ・リゲティ『アルティキュラツィオン』[図形楽譜]	1958(昭和33)			個人蔵
<展示室外の作品>						
146	秋山 陽	META-VOID	2004(平成16)	陶	130.0×125.0×136.0	
147	建島 覚造	DISK 4	1977(昭和52)	アルミニウム、真鍮	56.0×156.0×88.0	
148	宇佐美 圭司	遺作・制動(ブレーキ)・大洪水	2012(平成24)	油彩、キャンバス	291.0×291.0	
149	フランク・ステラ	ラッカ III	1968(昭和43)	アクリル絵具、キャンバス	304.0×760.0	
150	柳原 義達	道標・鳩	1973(昭和48)	ブロンズ	41.0×52.0×28.0	
151	湯川 雅紀	福耳	2011(平成23)	油彩、キャンバス	182.0×259.0	
152	エミリオ・グレコ	病人を看護する	1963(昭和38)	ブロンズ	157.0×186.5×12.0	玉井一郎氏寄贈
153	バリー・フラナガン	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989(平成元)	ブロンズ	230.0×187.0×128.5	



会場風景

3-2. コレクション展 2023—夏秋／特集 広島市現代美術館所蔵品による 池田満寿夫の1960-1980年代／特集 本のために—大家利夫の仕事

- 会期 : 2023年8月11日(金・祝)～9月24日(日) 39日間(休館日を除く)
- 会場 : 展示室A・B(1階)
- 主催 : 和歌山県立近代美術館
- 入場者数 : 4,146名
- 内容 : 所蔵作品を通して美術文化への理解を深められるよう、テーマを設けながら和歌山ゆかりの作家を中心に近現代美術の秀作を展示し、特集として近年数多くの作品寄贈を受けた大家利夫(おおいえ・としお/1949～)の造本家としての仕事を紹介する「本のために—大家利夫の仕事」を開催。またもうひとつの特集として寄託中の作品により「広島市現代美術館所蔵品による池田満寿夫の1960～1980年代」のコーナーを設けた。
- 展示点数 : 【コレクション展】34作家110点(うち「池田満寿夫の1960-1980年代」2作家76点)【特集 本のために】15作家123点 * 展示室外を含まず
- 担当学芸員 : 井上芳子
- 関連事業 : ・記念対談「よむ本、みる本」大家利夫×ロバート キャンベル 8月11日(金・祝) 14:00～16:00 2階ホールにて 80名
登壇: 大家利夫(出品作家)、ロバート キャンベル(日本文学研究者)
・展示解説 8月12日(土)、8月27日(日)、9月16日(土)、9月23日(土) 14:00～15:00 1階展示室、リーディングコーナーにて 10名、10名、10名、12名 * 作家本人による解説
- 制作物 : ・「特集 本のために」招待状(封書、オフセット印刷)
・出品目録(コレクション展:A4判6頁/本のために:A4判14頁)
・プレスリリース(A4判4頁)
- 入場料金 : 一般350(270)円、大学生240(180)円 ()内は20名以上の団体料金
- 成果・課題 : コレクション展では恩地孝四郎の造本や池田満寿夫の挿画本も紹介し、特集「本のために」へとつなげた。大家利夫氏の個展は、ロサンゼルス・カウンティ・ミュージアムについてこれで2番目となる。造本というあまり知られていないジャンルの作品を紹介することができた。初日に日本文学研究者のロバート キャンベル氏との対談が実現し、対談の最後で大家氏からキャンベル氏にジョン・ソルト著『生まれぬ者への詩』が贈られ、展覧会に特別出品されることになった。会期中、作家が関わってきた美術家をはじめとする多くの関係者が会場を訪れた。大家氏と共に作業した展示方法が好評だった。対談のスライドで本が魅力的に紹介できるよう、出品作を立体的に写真撮影したので、作品集にまとめる機会を探りたい。展示解説は個人蔵品を集め定員10名程度として作者本人の解説のもと実際に作品に触れてみる機会となった。地元の人に加え、国内外から来館者が訪れた。
- 関連記事 : ・松本博子「コレクション展2023-夏秋 特集:本のために—大家利夫の仕事」『毎日新聞』2023年8月3日、18面
・「技詰まった装丁 作品120点展示 県立近代美術館」『読売新聞』2023年9月1日、26面
・「造本家・大家利夫の仕事 24日まで 近代美術館で特集展示」『わかやま新報』2023年9月6日、3面

出品目録

*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年/発行者等奥付記載内容	材質、技法形状	寸法(cm)	所蔵/備考
和歌山ゆかりの作家・作品と近代美術						
1	中村 不折	白頭翁	1907(明治40)	油彩、キャンバス	200.2×136.6	個人蔵
2	高村 光太郎	佐藤春夫像	1914(大正3)	油彩、キャンバス	61.0×45.5	個人蔵
3	岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914(大正3)	油彩、板	51.3×39.2	個人蔵
4	萬 鐵五郎	風景	1922(大正11)頃	油彩、キャンバス	33.3×46.0	個人蔵
5	保田 龍門	自画像	1915(大正4)	油彩、キャンバス	60.9×50.2	
6	恩地 孝四郎	自画像デッサン	1915(大正4)	鉛筆・ペン、紙	14.8×18.6	保田春彦氏寄贈
7	田中 恭吉(挿画)	萩原朔太郎著、恩地孝四郎装幀「月に吠える」初版	1917(大正6)	書籍、カバー	20.1×14.0×2.8	
8	恩地 孝四郎(装幀)	『書窓』(アオイ書房)	1935-41(昭和10-16)	書籍	23.6×16.0×0.7(ほか(30点))	
9	恩地 孝四郎(装幀)	『季節標』(アオイ書房)	1935(昭和10)	書籍、アプリケ	36.3×29.9×2.3	個人蔵
10	恩地 孝四郎(装幀)	北園克衛著「夏の手紙」(アオイ書房)	1937(昭和12)	書籍	29.7×22.0×0.5	個人蔵
11	恩地 孝四郎(装幀)	『海の童話』(版画荘)	1934(昭和9)	書籍	29.0×21.9×0.5	
12	恩地 孝四郎(装幀)	詩画集「飛行官能」(版画荘)	1934(昭和9)	書籍	27.2×19.8×1.3	個人蔵
13	川口 軌外	少女と貝殻	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	167.3×267.2	
14	川口 軌外	夏の海	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	165.7×267.0	川口京村氏寄贈
15	古賀 春江	海水浴	1922(大正11)	油彩、キャンバス	91.3×117.0	
16	裕 伊之助	ブザンソン風景	1924(大正13)	油彩、キャンバス	50.1×60.8	小島善太郎氏寄贈
17	東郷 青児	静物	1924(大正13)	油彩、キャンバス	46.0×38.0	
18	佐伯 祐三	広告のある門	1925(大正14)	油彩、キャンバス	59.9×73.2	玉井一郎氏寄贈
19	佐伯 祐三	カフェレストラン	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	61.0×50.3	個人蔵
20	村井 正誠	URBAIN No.1	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	112.2×194.2	
21	建畠 大夢	おゆのつかれ	1913(大正2)/1970(昭和45) 鋳造	ブロンズ	68.0×40.0×56.0	
22	保田 龍門	少女	1925(大正14)	ブロンズ	184.9×67.0×51.0	
「とびたつとき」その後						
23	襲喉	レインボー北斎 ポジションA	1970(昭和45)	シルクスクリーン、紙	89.3×134.3	個人蔵

No.	作者名	作品名	制作年/発行者等奥付記載内容	材質、技法形状	寸法(cm)	所蔵/備考
24	巖嘯	Broken Heart	1968(昭和43)	シルクスクリーン、紙	53.0×51.5×3.2	
25	吉原 英雄	シーソー 1	1968(昭和43)	リトグラフ・銅版、紙	100.1×100.2	
26	吉原 英雄	女	1969(昭和44)	リトグラフ、紙	71.1×104.4	
27	吉原 英雄	ミラー・オブ・ザ・ミラー K	1972(昭和47)	リトグラフ、紙	70.0×100.0	
28	泉 茂	FS2008	1967(昭和42)	油彩、キャンバス	154.0×249.5	泉照子氏寄贈
29	船井 裕	GINGER ALE 2	1968(昭和43)	リトグラフ、紙	47.9×59.9	
30	船井 裕	TRAP	1968(昭和43)	リトグラフ、紙	59.8×48.1	
31	船井 裕	FUGA No.1	1968(昭和43)	リトグラフ、紙	61.1×49.7	
32	磯辺 行久	Air Sysetm	1968(昭和43)	シルクスクリーン、紙	53.1×80.8	
33	磯辺 行久	パラスチューブプロジェクト	1969(昭和44)	シルクスクリーン、紙	180.3×88.2	
34	建島 覚造	CHIMNEY BOTTLES	1970(昭和45)	アルミニウム、ステンレススチール	62.0×66.3×20.0	
特集 広島市現代美術館所蔵品による 池田満寿夫の1960-1980年代						
35	池田 満寿夫	無題	1963(昭和38)	クレヨン、紙	27.0×37.5	広島市現代美術館
36	池田 満寿夫	夏の夢 A	1966(昭和41)	リトグラフ、紙	76.4×58.6	広島市現代美術館
37	池田 満寿夫	夏の夢 B	1966(昭和41)	リトグラフ、紙	76.4×58.3	広島市現代美術館
38	池田 満寿夫	独身者の夢・モリスの夢	1966(昭和41)	リトグラフ、紙	54.2×71.5	広島市現代美術館
39	池田 満寿夫	秘められた季節	1966(昭和41)	リトグラフ、紙	62.5×44.5	広島市現代美術館
40	池田 満寿夫	南の午後	1967(昭和42)	リトグラフ、紙	59.0×50.0	広島市現代美術館
41	池田 満寿夫	スイート・ガーデン	1967(昭和42)	リトグラフ、紙	69.0×53.0	広島市現代美術館
42	池田 満寿夫	空からの贈物	1967(昭和42)	リトグラフ、紙	75.6×57.4	広島市現代美術館
43	池田 満寿夫	逃げる空	1967(昭和42)	リトグラフ、紙	53.3×71.7	広島市現代美術館
44	池田 満寿夫	ある風景	1968(昭和43)	リトグラフ、紙	46.0×57.2	広島市現代美術館
45	池田 満寿夫	青空	1968(昭和43)	リトグラフ、紙	51.4×74.2	広島市現代美術館
46	池田 満寿夫	マリリンの半分	1968(昭和43)	リトグラフ、紙	74.0×56.3	広島市現代美術館
47	池田 満寿夫	私をみつめて	1968(昭和43)	ドライポイント・ルーレット・メゾチント、紙	36.0×29.3	広島市現代美術館
48	池田 満寿夫	女優	1968(昭和43)	ルーレット・メゾチント・ドライポイント・アクアチント、紙	42.4×35.9	広島市現代美術館
49	池田 満寿夫	天使の言葉	1968(昭和43)	アクアチント・エッチング・ルーレット・メゾチント、紙	64.4×48.9	広島市現代美術館
50	池田 満寿夫	黄色い空	1969(昭和44)	エッチング・ルーレット・メゾチント・ドライポイント、紙	42.6×35.8	広島市現代美術館
51	池田 満寿夫	夢	1969(昭和44)	エッチング・ルーレット・メゾチント・ドライポイント・アクアチント、紙	41.6×49.2	広島市現代美術館
52	池田 満寿夫	私は眠りつづける A	1969(昭和44)	エッチング・ルーレット・メゾチント・ドライポイント、紙	59.5×49.0	広島市現代美術館
53	池田 満寿夫	私は眠りつづける B	1969(昭和44)	エッチング・ルーレット・メゾチント・ドライポイント、紙	59.2×48.6	広島市現代美術館
54	池田 満寿夫	ステージ	1969(昭和44)	エッチング・ルーレット・メゾチント・ドライポイント、紙	35.8×32.4	広島市現代美術館
55	池田 満寿夫	名もなきある街 タイトル・ページ	1969(昭和44)	リトグラフ、紙	66.0×53.0	広島市現代美術館
56	池田 満寿夫	名もなきある街 A	1969(昭和44)	リトグラフ、紙	54.4×66.7	広島市現代美術館
57	池田 満寿夫	名もなきある街 B	1969(昭和44)	リトグラフ、紙	54.2×66.7	広島市現代美術館
58	池田 満寿夫	食後 A	1969(昭和44)	リトグラフ、紙	54.1×67.1	広島市現代美術館
59	池田 満寿夫	食後 B	1969(昭和44)	リトグラフ、紙	54.1×66.7	広島市現代美術館
60	池田 満寿夫	裏庭	1969(昭和44)	リトグラフ、紙	66.0×53.2	広島市現代美術館
61	池田 満寿夫	劇場の入口	1969(昭和44)	リトグラフ、紙	65.8×53.4	広島市現代美術館
62	池田 満寿夫	ウエルカム B	1969(昭和44)	リトグラフ、紙	65.8×52.8	広島市現代美術館
63	池田 満寿夫	感傷旅行	1969(昭和44)	エッチング・ルーレット・メゾチント・エンレーヴィング、紙	40.1×36.5	広島市現代美術館
64-70	池田 満寿夫	七つのリトグラフ 表紙 七つのリトグラフ 1 七つのリトグラフ 2 七つのリトグラフ 3 七つのリトグラフ 4 七つのリトグラフ 5 七つのリトグラフ 6	1971(昭和46)	リトグラフ、紙	25.8×23.7 42.0×30.0 42.2×30.0 40.6×21.4 40.2×28.1 25.7×23.6 29.5×26.0	広島市現代美術館
71	池田 満寿夫	ラッキーゾーン	1971(昭和46)	ドライポイント・メゾチント、紙	23.1×19.5	広島市現代美術館
72	池田 満寿夫	彼女の彼女	1971(昭和46)	メゾチント・ドライポイント、紙	23.6×19.6	広島市現代美術館
73	池田 満寿夫	五番街 A	1971(昭和46)	メゾチント・エッチング・ドライポイント・アクアチント、紙	35.8×30.7	広島市現代美術館
74	池田 満寿夫	五番街 B	1971(昭和46)	メゾチント・エッチング・ドライポイント・アクアチント、紙	35.8×30.6	広島市現代美術館
75	池田 満寿夫	デューラーの恋人	1971(昭和46)	メゾチント・エッチング、紙	36.3×33.3	広島市現代美術館
76	池田 満寿夫	ホット・ハット	1971(昭和46)	ドライポイント・メゾチント・エッチング、紙	39.6×35.7	広島市現代美術館
77	池田 満寿夫	トラベラーズ・ジョイ くずれた土	1973(昭和48)	メゾチント、紙	22.6×19.9	広島市現代美術館
78	池田 満寿夫	貝の耳 A	1974(昭和49)	メゾチント、紙	14.6×11.7	広島市現代美術館
79	池田 満寿夫	捕らわれた天使	1974(昭和49)	メゾチント、紙	40.4×30.1	広島市現代美術館
80-82	池田 満寿夫	私自身のアメリカ 1 BLOND 2 ある出来事 3 マダム・ダヴィンチの肖像	1974(昭和49)	メゾチント、紙	17.3×19.0 17.5×19.8 17.7×19.7	広島市現代美術館
83	池田 満寿夫	ある風景	1976(昭和51)	メゾチント、紙	23.6×29.9	広島市現代美術館
84	池田 満寿夫	顔 A	1978(昭和53)	ドライポイント、紙	29.6×22.3	広島市現代美術館
85	池田 満寿夫	顔 C	1978(昭和53)	ドライポイント、紙	29.8×22.4	広島市現代美術館
86	池田 満寿夫	顔 E	1978(昭和53)	ドライポイント、紙	29.8×22.4	広島市現代美術館
87	池田 満寿夫	ステージの入口	1986(昭和61)	アクアチント・エッチング・ドライポイント、紙	53.3×38.8	広島市現代美術館
88	池田 満寿夫	ピエロたち	1986(昭和61)	アクアチント・ソフトグランドエッチング、紙	53.3×38.9	広島市現代美術館

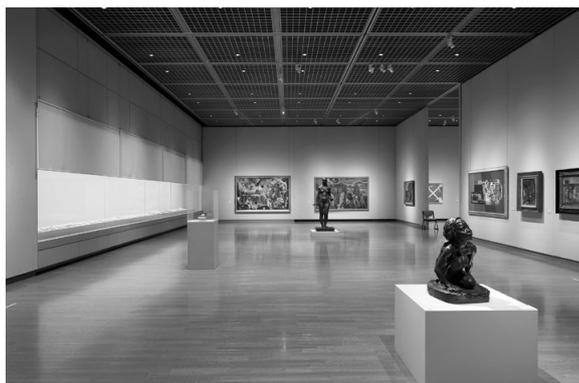
No.	作者名	作品名	制作年/発行者等典付記載内容	材質、技法形状	寸法(cm)	所蔵/備考
89	池田 満寿夫	男と女	1960(昭和35)	エッチング・手彩色、紙	10.0×6.5	広島市現代美術館
90	池田 満寿夫	詩集「女友達」の挿画	1964(昭和39)	ドライポイント・ルーレット、紙	8.5×7.8	広島市現代美術館
91	池田 満寿夫	ロベルト・セネシイ詩画集 天使が私を攪乱する	1968(昭和43)	ドライポイント・エッチング・ルーレット・メゾチント・レリーフエッチング、紙	21.5×21.5	広島市現代美術館
92	池田 満寿夫	黒馬に新しい日を	1971(昭和46)	メゾチント、紙	25.0×25.0	広島市現代美術館
93	ピーター・ヴォーコス	セラミック・スタック	1982(昭和57)	陶	109.4×55.2×54.3	
現代の美術						
94	ミンモ・バラディーノ	アトランティコ	1987(昭和62)	リノカット・コラグラフ、紙	各188.5×58.0(7点組)	
95	マルセル・デュシャン	プロフィールの自画像	1958(昭和33)	コラーージュ、紙	33.3×25.3	
96	森村 泰昌	だぶらかし 肖像A	1988(昭和63)	写真	120.0×120.0	
97	森村 泰昌	だぶらかし 肖像B	1988(昭和63)	写真	120.1×120.1	
98	森村 泰昌	だぶらかし 肖像C	1988(昭和63)	写真	120.0×120.1	
99	森村 泰昌	だぶらかし 肖像D	1988(昭和63)	写真	120.1×120.0	
100	サイモン・リンク	アート・コロニー1986年10月	1987(昭和62)	油彩、キャンバス	182.8×182.8	
101	瀧口 修造	無題	制作年不詳	インク(デカルコマニー)、紙	19.9×13.8	
102	加納 光於	星・反芻学	1962(昭和37)	インタリオ、紙	42.2×37.6	
103	加納 光於	星・反芻学 I	1962(昭和37)	インタリオ、紙	33.0×67.6	
104	浜田 知明	初年兵哀歌 銃架のかけ	1951(昭和26)	エッチング・アクアチント、紙	19.0×16.8	
105	駒井 哲郎	手	1960(昭和35)	アクアチント・シュガー・アクアチント・ドライポイント、紙	23.1×36.0	
106	保田 春彦	階段のある広場・TAORMINA	1973(昭和48)	ステンレススチール	11.0×75.0×75.0	
107	保田 春彦	階段のある広場・SIRACUSA	1973(昭和48)	ステンレススチール	9.1×75.0×75.0	
108	マーク・ロスコ	赤の上の黄褐色と黒	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	176.2×136.6	
109	ジョージ・シーガル	煉瓦の壁をいかに歩く男	1988(昭和63)	石膏、木、アクリル絵具ほか	264.6×359.9×270.4	
110	イサム・ノグチ	考える議長	1978(昭和53)	御影石、木	27.5×23.5×30.0 台座:104.5×46.8×26.4	
特集 本のために—大家利夫の仕事						
111	大家 利夫	藤原義江著「きりすとの涙」特装本	1968(昭和43) 発行者 大家利夫	白山羊革装、酒井秀夫による口絵、扉に「きりすとの涙」の透かし入り特選紙	20.8×15.6×1.4書籍	個人蔵
112	大家 利夫	藤原義江著「きりすとの涙」特装本	1968(昭和43) 発行者 大家利夫	背革装、酒井秀夫による口絵、扉に「きりすとの涙」の透かし入り特選紙	20.8×15.6×1.2書籍	個人蔵
113	大家 利夫	田中冬二著「つつじの花」	1970(昭和45) 編集兼発行者 鶏助書屋 和田利夫、孔版 秋元精一	孔版印刷、冊子	21.0×15.0×0.5	大家利夫氏寄贈
114	アルバート・フロコン	「ビュランについて」	1952(昭和27) Librairie August Blaizot, Paris	未綴じ、紙装、差し函	22.6×17.1×2.8書籍、 23.8×17.8×4.8函	大家利夫氏寄贈
115		ポール・ボネ著「書物装飾・私感」	1950(昭和25)	印刷、冊子	19.9×12.9×0.5	個人蔵
116		エコール・エスティエンスにおける「日本の紙」展 オープニング招待状	1973(昭和48)	洋紙に活字印刷、正草(しようご)鳥の子紙に凸版印刷	20.6×9.4	大家利夫氏寄贈
117		「エスティエンス報」1973年5-6月号	1973(昭和48)	印刷、冊子	27.6×20.8×0.7	大家利夫氏寄贈
118	ジョルジュ・ルルー	シモーヌ・ポーヴォール著「娘時代 ある女の回想」(1958年 nrf, Gallimard)特装本	1965(昭和40)	革モザイク装、表内表紙の下に金箔押し: LEROUX、裏内表紙の下に金箔押し: 1965、天金	20.8×15.0×2.7書籍、 21.0×15.4×3.2保護カバー、 21.4×15.5×3.7函	個人蔵
119	ミシェル・デュバル	「闘牛」	制作年不詳	マーブル、紙	11.4×22.0イメージ、 29.2×38.3シート	大家利夫氏寄贈
120	ジェルマン・ド・コステル	「それほど愚かではない27の動物」	1950(昭和25)	未綴じ、紙装	14.5×14.0×1.2書籍	大家利夫氏寄贈
121	大家 利夫	P. A. ブノワ著、ラウル・ユバック木版画「裸火」特装本	1973(昭和48)	仔牛革モザイク装、背に箔押し、内表紙に仔牛革モザイク装、表内表紙下に箔押し: OHIE、裏内表紙下に箔押し: 1973	21.8×12.9×1.2書籍、 22.0×13.2×1.7保護カバー、 22.4×13.6×2.5函	個人蔵
122	マリウス・ミシェル	植物模様のデザイン原画	1919(大正8)	鉛筆・色鉛筆・金彩、紙	30.8×21.5	大家利夫氏寄贈
123	マリウス・ミシェル	「昔の紙片 回想と夢」特装本	1916(大正5)	ジャンセニスト・モロッコ革装、背に金箔押し: H.M-M FEUILLETS D'AUTREFOIS、内表紙に花模様の革モザイク・空押し・金箔押し、表内表紙下に金箔押し: MARIUS MICHEL、保護遊びに模様クロス、表の遊び紙に蔵書票貼付: MK、著者の顔写真挟み込みおよび貼付、巻末に著者自筆の詩3篇、三方金	20.0×13.6×1.2	個人蔵
124	大家 利夫	鳥居昌三詩集「化石の海」特装本	1985(昭和60) 発行所 海人舎	印刷 誠美堂印刷株式会社、用紙 駿河袖野三極紙 仔牛革装、表紙・背に金箔押し、内表紙下に金箔押し: OHIE	19.6×14.6×0.8書籍	個人蔵
125	大家 利夫	北園克衛詩集「重い仮説」特装本	1986(昭和61) 刊行処 海人舎 鳥居昌三 印刷所 誠美堂印刷株式会社、用紙 駿河袖野三極紙 内藤恒雄	仔牛革モザイク装、表紙・背に金箔押し、表内表紙下に金箔押し: OHIE	19.6×15.5×0.7書籍	個人蔵
126	大家 利夫	気谷誠著「メリヨンの小さな橋」特装本(口絵 柄澤齊(スフィンクスの影))	1986(昭和61) 刊行処 指月社 構成 小泉均、本文印刷 共立社印刷所、図版印刷 横山工[光]芸社、本文用紙 山田商会、口絵用紙 竹尾、染紙 草木染研究所補生工房	仔牛革モザイク装本、金箔押し *表紙デザインはフェリックス・ブラックモン(メリヨン墓石彫刻銅版)より。口絵に柄澤齊による木口木版画(スフィンクスの影)。本文用紙の特選伊予奉書紙にはカレンダー、サイズ加工を施し、活版組版では本文・引用文・注と活字の大きさを変え、注の表記を本文見開きページ内に収めている	22.4×16.0×2.0書籍	大家利夫氏寄贈
127	大家 利夫	気谷誠著「メリヨンの小さな橋」折本	1986(昭和61) 刊行処 指月社 構成 小泉均、本文印刷 共立社印刷所、図版印刷 横山工[光]芸社、本文用紙 山田商会、口絵用紙 竹尾、染紙 草木染研究所補生工房		23.5×16.6×2.4書籍	大家利夫氏寄贈
128	柄澤 齊	スフィンクスの影「メリヨンの小さな橋」特装本のための版画	1987(昭和62)	木口木版・雁皮刷り、紙	9.6×6.1イメージ、 23.0×16.6シート	大家利夫氏寄贈

No.	作者名	作品名	制作年/発行者等奥付記載内容	材質、技法形状	寸法(cm)	所蔵/備考
129	大家 利夫	気谷誠・町田市立国際版画美術館 和南城愛理編『版画とボードレール 詩人が語る19世紀フランス版画』特装本(柄澤齊 木口木版画(Baudelaire)4葉)	1994(平成6)	ジャンセニスト山羊革装本、内表紙に線型・花型金箔押しによる額縁装飾、角を花型に山羊革モザイク、内貼りと保護表紙に小花柄の絹織物、表内表紙に金箔押し: OHIE、保護遊びは小花柄絹織物と古染マール紙のダブル仕立、背にタイトルを金箔押し、三方小口金、函はマール紙装	21.8×15.6×2.7書籍、 22.4×13.6×2.5函	大家利夫氏寄贈
130	柄澤 齊	Baudelaire(凹版刷り)『版画とボードレール』特装本のための版画	1994(平成6)	木口木版・凹版刷り、紙	9.9×7.3イメージ、 22.4×16.0シート	大家利夫氏寄贈
131	柄澤 齊	Baudelaire(第1ステート、凹版刷り)『版画とボードレール』特装本のための版画	1994(平成6)	木口木版・凹版刷り、紙	9.9×7.4プレートマーク、 23.0×16.5シート	大家利夫氏寄贈
132	柄澤 齊	Baudelaire(第3ステート、凸版刷り)『版画とボードレール』特装本のための版画	1994(平成6)	木口木版・凸版刷り、紙	10.0×7.5イメージ、 24.5×18.0シート	大家利夫氏寄贈
133	柄澤 齊	Baudelaire(第1ステート、凹版刷り)『版画とボードレール』特装本のための版画	1994(平成6)	木口木版・凹版刷り、紙	9.9×7.4プレートマーク、 22.4×16.0シート	大家利夫氏寄贈
134	大家 利夫	国立西洋美術館編『ギュスターヴ・モロー』特装本(久保卓治 銅版画《ヤコブと天使(ギュスターヴ・モローのドローイング)》2葉)	1995(平成7)	仔牛革ダブル装本、金箔押し、内表紙に仔牛革モザイク、金箔押し、表内表紙の下に金箔押し: OHIE、三方金、保護遊びにスエード革、手編み花ざり	28.0×22.5×3.3書籍	大家利夫氏寄贈
135	大家 利夫	国立西洋美術館編『ギュスターヴ・モロー』特装本(久保卓治 銅版画《ヤコブと天使(ギュスターヴ・モローのドローイング)》)	1995(平成7)	背角仔牛革継ぎマール紙装本、継ぎ目に細線を金箔押し、内表紙にマール紙、表内表紙の下に金箔押し: OHIE、天金、手編み花ざり	28.0×22.8×3.3書籍	大家利夫氏寄贈
136	久保 卓治	ヤコブと天使(ギュスターヴ・モローのドローイング)『ギュスターヴ・モロー』特装本のための挿絵	1995(平成7)	ビュラン、紙	17.8×9.6イメージ、 20.8×12.6プレートマーク、 29.5×24.3シート	大家利夫氏寄贈
137	久保 卓治	ヤコブと天使(ギュスターヴ・モローのドローイング)『ギュスターヴ・モロー』特装本のための挿絵(和紙に途中刷り)	1995(平成7)	ビュラン、紙	17.8×9.6イメージ、 20.8×12.8プレートマーク、 29.6×24.0シート	大家利夫氏寄贈
138	大家 利夫	ジョン・ソルト著『水中のバルコニー』	1988(昭和63) KAIJINSHA	仔牛革モザイク装、表紙に書名を箔押し、背に著者名等を箔押し	19.4×14.2×1.2書籍	個人蔵
139	大家 利夫	白石かずこ著『四つの窓』特装本	1988(昭和63) 刊行 指月社 印刷 共立社印刷所、用紙 日本オリヴィエ	仔牛革装、背に書名・著者名を金箔押し、内表紙に仔牛革、遊び見返しにスエード、裏内表紙下に金箔押し: OHIE、差し函	19.4×16.8×1.6書籍、 19.7×16.1×2.1函	個人蔵
140	大家 利夫	鳥居昌三著『詩集 風の記号』特装本	1992(平成4) 刊行 海人舎 用紙 駿河補野三楹紙、印刷 誠美堂印刷株式会社	仔牛革モザイク装、箔押し、表内表紙に金箔押し: OHIE	17.6×14.0×0.7書籍	個人蔵
141	大家 利夫	黒田維理著『詩集 いちじくの静物』特装本	1993(平成5) 刊行 海人舎 用紙 山田商会、印刷 誠美堂印刷株式会社	用紙 山田商会、印刷 誠美堂印刷株式会社 仔牛革モザイク装、金箔押し、表内表紙下に金箔押し: OHIE	15.2×10.7×0.7書籍	個人蔵
142	大家 利夫	黒田維理著『詩集 コカイン』特装本	1994(平成6) 刊行 海人舎 印刷 誠美堂印刷株式会社、用紙 山田商会	マール紙・仔牛革継ぎ表紙、背に書名を箔押し、内表紙にマール紙、表内表紙下に箔押し: OHIE、本文に越前局紙	15.3×10.8×0.8書籍、 15.5×11.0×1.2函	個人蔵
143	大家 利夫	鳥居昌三著 詩集『背中の砂漠』特装本	1994(平成6) 刊行 海人舎 印刷 誠美堂印刷株式会社、用紙 山田商会	仔牛革モザイク装、背に書名を金箔押し、表内表紙下に金箔押し: OHIE、本文に越前局紙	19.4×12.8×0.9書籍	個人蔵
144	大家 利夫	白石かずこ詩、スザンヌ・トライスター画『羊たちの午后』特装本	1998(平成10) 刊行所 指月社 本文印刷 共立社印刷所、銅版印刷 玉虫貞夫、用紙 山田商会	仔牛革モザイク装本、2種類革の象眼、背に著者名・タイトル・画家名を色箔押し、内表紙・保護遊びに蘇芳色スエード革貼り、表内表紙に箔押し: OHIE、裏内表紙に箔押し: 1998、本文に特漉越前局紙、手編み花ざり	26.8×18.9×2.5書籍	大家利夫氏寄贈
145	大家 利夫	白石かずこ詩、スザンヌ・トライスター画『羊たちの午后』折本	1996(平成8) 刊行所 指月社 本文印刷 共立社印刷所、銅版印刷 玉虫貞夫、用紙 山田商会	未綴じ折本、本文に特漉越前局紙	26.9× 17.7×3.2書籍	大家利夫氏寄贈
146	大家 利夫	白石かずこ詩、スザンヌ・トライスター画『羊たちの午后』折本	1996(平成8) 刊行所 指月社 本文印刷 共立社印刷所、銅版印刷 玉虫貞夫、用紙 山田商会	未綴じ折本、本文に特漉越前局紙	26.9×17.8×3.2書籍	大家利夫氏寄贈
147	スザンヌ・トライスター	フットボール選手『羊たちの午后』挿絵の試刷	1996(平成8)	メゾチント、紙	19.8×17.8イメージ、 24.8×21.4シート	大家利夫氏寄贈
148	スザンヌ・トライスター	フットボール選手『羊たちの午后』挿絵の試刷	1996(平成8)	メゾチント、紙	19.9×17.8イメージ、 25.0×21.8シート	大家利夫氏寄贈
149	スザンヌ・トライスター	カリマンタンからきた赤い鳥(右) ミルキー・ウエイ(左)『羊たちの午后』挿絵の別刷	1996(平成8)	エッチング・アクアチント・手彩、紙	24.4×33.8イメージ、 32.4×40.5シート	大家利夫氏寄贈
150	スザンヌ・トライスター	『羊たちの午后』	1996(平成8)	エッチング・手彩、紙	26.7×20.6イメージ、 38.2×31.0シート	大家利夫氏寄贈
151	白石 かずこ、スザンヌ・トライスター	風のくにの	1996(平成8)	エッチング・手彩・墨書、紙	64.3×48.7	個人蔵
152	スザンヌ・トライスター	『羊たちの午后』	1996(平成8)	エッチング・雁皮刷り・手彩、紙	31.1×19.9イメージ、 43.3×30.2シート	大家利夫氏寄贈
153	スザンヌ・トライスター	『文字(retch)』	1996(平成8)	エッチング、紙	5.3×6.2イメージ、 10.0×15.0シート	大家利夫氏寄贈
154	スザンヌ・トライスター	『文字(retching)』	1996(平成8)	エッチング・アクアチント、紙	6.6×7.9イメージ、 14.9×20.3シート	大家利夫氏寄贈
155	スザンヌ・トライスター	『文字(wretching)』	1996(平成8)	エッチング、紙	6.2×7.7イメージ、 15.0×20.3シート	大家利夫氏寄贈
156	スザンヌ・トライスター	『文字(NO OTHER SYMPTOMS)』	1996(平成8)	エッチング・アクアチント、紙	9.0×17.6イメージ、 21.8×30.6シート	大家利夫氏寄贈
157	スザンヌ・トライスター	『文字』	1996(平成8)	ドライポイント・エッチング・アクアチント、紙	8.9×17.4イメージ、 21.9×36.0シート	大家利夫氏寄贈
158	スザンヌ・トライスター	『トイレットペーパー』	1996(平成8)	エッチング・アクアチント、紙	17.8×12.8イメージ、 33.0×25.2シート	大家利夫氏寄贈

No.	作者名	作品名	制作年/発行者等與付記載内容	材質、技法形状	寸法(cm)	所蔵/備考
159	柄澤 齊	高柳誠著「綾取り人」特装本（版画と素描、表紙デザイン 柄澤齊）	1987(昭和62) 発行 湯川書房 刊行 湯川成一 製本 大家利夫 印刷 創文社	パール加工革モザイク装本、模様の輪郭を金箔押し、背にタイトルを金箔押し、手編み花ざり	21.0×17.2×1.4書籍	大家利夫氏寄贈
160	柄澤 齊	柄澤齊著、版画、装丁「銀河の棺」(小沢書店)私家本	1995(平成7) 制作刊行 梓丁室 本文制作 長谷川都夫 印刷 内外文字精巧 製本 大家利夫	仔牛革ダブル装本、トカゲ型押し革をモザイク、表紙に著者名を金箔押し、裏表紙に刊行年とImpressorinnを金箔押し、内表紙に仔牛革・爬虫類革、保護遊びにスエード革、手編み花ざり	20.8×15.6×3.0書籍	大家利夫氏寄贈
161	柄澤 齊	辻邦生著 限定版「西行花伝」(新潮社)特装本	1997(平成9)	仔牛革ダブル装本、表紙に仔牛革モザイク、背にタイトルと著者名を金箔押し、内表紙に仔牛革モザイク、表内表紙下に金箔押し: KARASAWA、裏内表紙下に金箔押し: OHIE 1997、保護遊びにスエード革貼、手編み花ざり、函は桐紙装、柄澤齊による木口木版雁皮紙雲母刷りを内貼り	20.1×15.8×3.8書籍、 23.0×16.8×4.9函	大家利夫氏寄贈
162	柄澤 齊	『西行花伝』のための図案	1997(平成9)頃	水彩、紙	30.2×21.6シート、 30.2×21.7シート、 30.0×21.6シート	大家利夫氏寄贈
163	柄澤 齊	死と変容 I-1	1988(昭和63)	木口木版・雁皮紙刷り・金箔押し、紙	13.5×21.2イメージ、 28.2×38.0シート	大家利夫氏寄贈
164	大家 利夫	ポール・ヴァレリー著、小宮正弘訳「書物の容姿」特装本（柄澤齊 木口木版画及び装画）	1998(平成10) 発行所 指月社 本文印刷 共立社印刷所 本文箔押し 奥山圭一 用紙 マルマン	紙装、布装の函に箔押し、夫婦函	14.6×13.3×1.5書籍、 15.8×14.5×2.1函	大家利夫氏寄贈
165	大家 利夫	ポール・ヴァレリー著、小宮正弘訳「書物の容姿」特装本（柄澤齊 木口木版画及び装画）	1999(平成11) 発行所 指月社 本文印刷 共立社印刷所 本文箔押し 奥山圭一 用紙 マルマン	仔牛革ダブル装本。イニシアルPVを表表紙から内表紙へとするむようにモザイク装飾、表紙に著者名を金箔押し、斜めに細線を金箔押し、内表紙に仔牛革モザイク、金箔押し、表内表紙下に金箔押し: KARASAWA、裏内表紙下に金箔押し: OHIE 1999、保護遊びにスエード革貼、背にタイトルを金箔押し、手編み花ざり、本文にアルファベットをデザインした文字意匠を金箔押し	14.5×13.8×1.4書籍	大家利夫氏寄贈
166	柄澤 齊	ヴァレリー「書物の容姿」ための版画	1999(平成11)	木口木版・手彩、紙	14.9×11.8シート	大家利夫氏寄贈
167	山本 容子	版画集「I Remember Granpa」	1988(昭和63) 発行 ガレリア・グラフィカ 装幀 渡邊和雄 装本 大家利夫 刷師 山川康宏	背革装、背に仔牛革、継ぎ紙にイタリ ア・ファブリアーノ・ローマ手漉き紙、色箔押し、リボン	31.4×25.0×1.5ボードワリ	大家利夫氏寄贈
168	山本 容子	版画集「One Christmas」	1990(平成2) 発行 ガレリア・グラフィカ 装幀 渡邊和雄 装本 大家利夫 刷版 山川康宏 印刷 出原司	背革装、背に仔牛革、色箔押し、リボン	31.2×24.5×1.7ボードワリ	大家利夫氏寄贈
169	山本 容子	版画集「A Christmas Memory」	1991(平成3) 発行 ガレリア・グラフィカ 装幀 渡邊和雄 装本 大家利夫 刷版 赤川版画工房 印刷 出原司	背革の保護カバー、背に仔牛革継ぎ紙、背にタイトルを色箔および金箔押し、差し函	20.7×17.6×2.2函	大家利夫氏寄贈
170	山本 容子	版画集「Le Bestiaire, ou Cortège d'Orphée d'Apollinaire」	1991(平成3) 発行 ガレリア・グラフィカ 装幀 渡邊和雄 装本 大家利夫 刷版 玉虫貞夫 印刷 出原司	紙および仔牛革装、色箔および金箔押し、リボン	27.2×33.4×1.7ボードワリ	大家利夫氏寄贈
171	山本 容子	吉本ばなな著「TUGUMI つくみ」特装本	1989(昭和64) 発行 中央公論社 印刷 三晃印刷 扉絵 山本容子 装幀 渡邊和雄 製本 大家利夫	仔牛革装、表紙にツグミの箔押し、背に書名と著者名の箔押し、内表紙に仔牛革装、表内表紙下に金箔押し: WATANABE OHIE、差し函	19.6×12.7×2.0書籍、 20.2×13.1×2.5函	個人蔵
172	山本 容子	田村隆一著「はくの航海日誌」(中央公論社)特装本	1991(平成3) 銅版画[原画] 山本容子 装幀 渡邊和雄 製本 大家利夫	羊皮紙装、表紙・裏表紙・背に金箔押し	19.0×15.0×1.6書籍	個人蔵
173	大家 利夫	山本容子のための Livre d'Or	1996(平成8)	仔牛革装、星型・Y・Oの金箔押し、小口に革リボン	16.0×11.6×1.7書籍	個人蔵
174	大家 利夫	山本容子のための Livre d'Or	1996(平成8)	仔牛革装、星型・Y・Oの金箔押し、表内表紙下に金箔押し: OHIE	28.2×19.2×2.7書籍	個人蔵
175	山本 容子	小田島雄志訳「シェイクスピアのソネット」特装本	1995(平成7) 発行 ガレリア・グラフィカ 製本 大家利夫 装幀 渡邊和雄 刷版 玉虫貞夫	黒の中牛革装、金箔押し、背に色箔押し、表内表紙の下に箔押し: WATANABE-OHIE、手編み花ざり	36.2×26.9×4.5書籍	個人蔵
176	森村 泰昌	『顔 KAO』オリジナルカラー写真セット1組(3葉)、オリジナルモノクロ調カラー写真セット1組(17葉)、コンパクトディスク1枚(小説朗読)	1994(平成6) 発行 書肆 隆臨の夢 装幀 渡邊和雄、製函 大家利夫、印刷 出原司、写真制作スタッフ 豊浦英明/杉本祐子/佐山孝典、小説制作協力 山下里加、CD音楽協力 塚本弥生、CD制作協力 市川 堯	金の爬虫類革装、背に箔押し、内貼りに毛布、小花模様の布。オリジナルカラー写真セットのたとうは赤い小花模様の布装、モノクロ調カラー写真セットたとうは黒いクロス装、金色のゴム紐をつける	39.1×30.7×6.4函	個人蔵
177	大家 利夫	ポール・ボネ著、小宮正弘訳「書物装飾・私観」折本	2000(平成12) 発行所 指月社 装幀 渡邊和雄 印刷 共立社印刷所	未經じフランス装、文字は活版印刷、模様はオフセット印刷、表紙に星型を金箔押し	20.0×12.7×1.0書籍	大家利夫氏寄贈
178	渡辺 和雄	『書物装飾・私観』折本表紙 刷り本	2000(平成12)	活版・オフセット印刷・金箔2色押し、紙	39.4×48.1	大家利夫氏寄贈

No.	作者名	作品名	制作年/発行者等奥付記載内容	材質、技法形状	寸法(cm)	所蔵/備考
179	大家 利夫	ポール・ボネ著、小宮正弘訳『書物装飾・私観』特装本	2002(平成14) 発行所 指月社 装幀 渡邊和雄 印刷 共立社印刷所	仔牛革モザイク装本、背に著者名・タイトル・訳者名を金箔押し、内表紙・保護遊びに特製のリトグラフ刷りによる模様紙、表内表紙に金箔押し: WATANABE、裏内表紙に金箔押し: 2002、手編み花ざれ、本文用紙にロベール紙を使用、活版・オフセット印刷の2色刷り、扉に星形を金箔押し、函は表に書名と星模様を色(黒)箔押し、背に著者名とタイトルを色(青)箔押し	20.2×12.8×1.0書籍、 21.4×13.8×1.7函	大家利夫氏寄贈
180		『書物装飾・私観』特装本を制作するための金型	2002(平成14)頃	真鍮		個人蔵
181	大家 利夫	ポオル・ヴァレレイ著、菱山修三譯、清水洋子挿畫『海邊の墓地』	2004(平成16) 刊行 指月社	仔牛革モザイク装、模様を金箔押し、背に著者名・タイトル・訳者名・画家名を金箔押し、表内表紙の下に金箔押し: OHIE、裏内表紙の下に金箔押し: 2004、手編み花ざれ	20.4×13.0×1.2書籍	大家利夫氏寄贈
182		ポオル・ヴァレレイ著、菱山修三譯、清水洋子挿畫『海邊の墓地』本文一式より	2004(平成16)	リトグラフ、紙ほか	20.4×13.0×1.2	大家利夫氏寄贈
183	O Jun	[ドローイング]	1990(平成2)	鉛筆・コンテ・サインペン、紙	63.5×53.5	大家利夫氏寄贈
184	O Jun	[ドローイング]	1990(平成2)	鉛筆・サインペン・グアッシュ、紙	63.5×53.5	大家利夫氏寄贈
185	O Jun	[雁皮紙へのドローイング]	1990(平成2)	サインペン・クレヨン・グアッシュ、雁皮紙	94.3×70.0	大家利夫氏寄贈
186	O Jun	[ドローイング]	1990(平成2)	グアッシュ・鉛筆、紙	112.8×76.3	大家利夫氏寄贈
187	O Jun	[階段のドローイング]	1990(平成2)	鉛筆・クレヨン・グアッシュ、紙	70.3×50.0	大家利夫氏寄贈
188	O Jun	Gebirgeflug	1995(平成7)	グアッシュ、紙	87.7×66.8	大家利夫氏寄贈
189	O Jun	コップ	2002(平成14年)	鉛筆・色鉛筆またはクレヨン、マットボード	37.4×27.3	大家利夫氏寄贈
190	O Jun	左耳	1993(平成5)	アクリル絵具、紙	22.7×17.5	大家利夫氏寄贈
191	O Jun	種を蒔く人・女	2010(平成22)	アquareンチ、紙	13.5×6.8イメージ、 13.9×7.2プレートマーク、 28.2×24.5シート	大家利夫氏寄贈
192	O Jun	山と雲	2001(平成13)	鉛筆・クレヨン、マットボード	31.8×25.2	大家利夫氏寄贈
193	O Jun	山と雲	2002(平成14)	リトグラフ、紙	39.2×29.2	大家利夫氏寄贈
194	大家 利夫	石川淳著 O Jun 絵『挿繪本 紫苑物語』特装本 O Jun によるリトグラフ11点の挿繪と1点のドローイング	2005(平成17) 刊行 指月社 本文用紙 日清紡ロベール紙、挿繪用紙 アクアレル・アルシュ、挿繪印刷 尾崎正志	仔牛革モザイク装本、表紙・裏表紙の模様の輪郭に金箔押し、背に著者名・タイトル・画家名を金箔押し、内表紙に仔牛革モザイクと金箔押し、絹地 埋め込み額縁装飾、内表紙と保護遊びに特織絹布を用いる、ジャガード織機による罫子織り、手編み花ざれ、表内表紙に金箔押し: OHIE	32.6×24.8×3.0書籍	大家利夫氏寄贈
195	大家 利夫	石川淳著 O Jun 絵『挿繪本 紫苑物語』折本 O Jun によるリトグラフ11点	2005(平成17) 刊行 指月社 本文用紙 日清紡ロベール紙、挿繪用紙 アクアレル・アルシュ、挿繪印刷 尾崎正志	未綴じ、紙装	32.0×24.0書籍	大家利夫氏寄贈
196	O Jun	『挿繪本 紫苑物語』のためのドローイング 狩之図	2002(平成14)	クレヨン・鉛筆、マットボード	48.0×36.0	大家利夫氏寄贈
197	O Jun	『挿繪本 紫苑物語』のためのドローイング 王	2000(平成12)	鉛筆、マットボード	36.4×26.0	大家利夫氏寄贈
198	O Jun	『挿繪本 紫苑物語』のためのドローイング 王・太陽・面影	2003(平成15)	クレヨン・鉛筆、マットボード	32.0×24.0	大家利夫氏寄贈
199	O Jun	『挿繪本 紫苑物語』のためのドローイング 爛	2000(平成12)	鉛筆、マットボード	36.6×26.0	大家利夫氏寄贈
200	O Jun	『挿繪本 紫苑物語』のためのドローイング 異血	2000(平成12)	クレヨン・鉛筆、マットボード	36.5×25.9	大家利夫氏寄贈
201	O Jun	『挿繪本 紫苑物語』のためのドローイング 土地	2000(平成12)	クレヨン、マットボード	36.4×26.0	大家利夫氏寄贈
202	O Jun	『挿繪本 紫苑物語』のためのドローイング 千草之図	2005(平成17)	クレヨン、マットボード	48.0×36.0	大家利夫氏寄贈
203	O Jun	『挿繪本 紫苑物語』のためのドローイング 貧	2000(平成12)	クレヨン、マットボード	36.4×26.0	大家利夫氏寄贈
204	O Jun	『挿繪本 紫苑物語』のためのドローイング 山月	2000(平成12)	クレヨン、マットボード	36.6×25.9	大家利夫氏寄贈
205	O Jun	『挿繪本 紫苑物語』のためのドローイング 炎炎	2000(平成12)	クレヨン、マットボード	36.4×25.9	大家利夫氏寄贈
206	O Jun	『挿繪本 紫苑物語』のためのドローイング 樹間飛矢[未使用]	2003(平成15)	クレヨン、マットボード	47.9×36.0	大家利夫氏寄贈
207	O Jun	『挿繪本 紫苑物語』のためのドローイング 千草[未使用]	2000-02(平成12-14)	鉛筆・クレヨン、マットボード	33.0×24.0	大家利夫氏寄贈
208	O Jun	『挿繪本 紫苑物語』のためのドローイング 歌1首[未使用]	2003(平成15)	クレヨン・鉛筆、マットボード	31.9×24.0	大家利夫氏寄贈
209	O Jun	『挿繪本 紫苑物語』のためのドローイング 妖[未使用]	2000(平成12)	鉛筆、マットボード	36.5×26.0	大家利夫氏寄贈
210	O Jun	『挿繪本 紫苑物語』のためのドローイング トルン[未使用]	2000(平成12)	クレヨン、マットボード	36.5×26.1	大家利夫氏寄贈
211	O Jun	『挿繪本 紫苑物語』のためのドローイング 花の亡霊[未使用]	2000(平成12)	鉛筆、マットボード	36.5×26.0	大家利夫氏寄贈
212	O Jun	『挿繪本 紫苑物語』のためのドローイング 射[未使用]	2000(平成12)	鉛筆、マットボード	36.5×26.0	大家利夫氏寄贈
213	O Jun	『挿繪本 紫苑物語』のためのドローイング Aster tataricus L. 紫苑	2005(平成17)	クレヨン、マットボード	40.8×40.6	大家利夫氏寄贈
214	O Jun	『挿繪本 紫苑物語』表紙・裏表紙のためのドローイング	2005(平成17)頃	クレヨン・色鉛筆・アクリル絵具、紙	表紙 32.5×24.5、裏表紙 32.5×24.5、表紙 [未使用]32.5×24.5、裏表紙 [未使用]32.4×24.4、表紙・裏表紙 37.2×25.5	大家利夫氏寄贈

No.	作者名	作品名	制作年/発行者等典付記載内容	材質、技法形状	寸法(cm)	所蔵/備考
215	O Jun	『挿繪本 紫苑物語』内表紙のためのドローイング	2005(平成17)頃	鉛筆、紙	37.5×24.4	大家利夫氏寄贈
216	O Jun	『挿繪本 紫苑物語』内表紙・保護遊びのためのドローイング	2005(平成17)頃	アクリル絵具、紙	32.5×24.6	大家利夫氏寄贈
217		石川淳著『挿繪本 紫苑物語』特装本内表紙・保護遊びのための織物試作	2005(平成17)頃	絹		個人蔵
218	大家 利夫	ジョン・ソルト著、田口哲也監訳『北園克衛の詩と詩学 意味のタペストリーを細断(シュレッド)する』(思潮社)特装本	2017(平成29) 発行所 指月社 扉絵 石川九楊、高橋昭八郎	仔牛革モザイク装本、背に著者名・タイトル・監訳者名を金箔押し、内表紙に仔牛革モザイク・金箔押し、表内表紙の下に金箔押し:OHIE、裏内表紙の下に金箔押し:2017、保護遊びにスエード革、手編み花ざれ	21.6×15.8×5.2書籍	大家利夫氏寄贈
219	大家 利夫	ジョン・ソルト著、青木映子訳『生まれぬ者への詩』(思潮社)特装本	2023(令和15)	仔牛革ダブル装、表紙・裏表紙に仔牛革モザイク、箔押し、表内表紙・裏内表紙に仔牛革モザイク、箔押し、表内表紙下に箔押し:OHIE、裏内表紙下に箔押し:2023、手編み花ざれ	19.3×14.0×5.2書籍	個人蔵
220	大家 利夫	上笠一郎著『児童文化書々々々』(出版ニュース社)特装本	1988(昭和63)	仔牛革モザイク装、金箔押し、背に書名と著者名を金箔押し、表内表紙下に金箔押し:OHIE、前付に著者自筆の詩、阿部笙子による水彩画《雪待月》	21.6×15.8×5.2書籍	個人蔵
221	大家 利夫	市原豊太著『西歐羈旅覺書』	1990(平成2) 刊行所 指月社	仔牛革装、背に書名を金箔押し、題簽は唐松格堂による	32.0×27.1×5.1書籍	大家利夫氏寄贈
222	大家 利夫	山本澄子著『中国キリスト教史研究』	2000(平成12) The Tōhō gakkai	ジャンセニスト山羊革装、背に著者名・タイトルを金箔押し	21.8×15.6×2.9書籍	個人蔵
223	大家 利夫	佐々木桔梗著『日本の肉筆絵入り本・北園克衛を中心に』特装版	2004(平成16) 発行 書肆ひやね 装幀 福田博、判者 比屋根英夫	仔牛革モザイク装、金箔押し、背に書名を金箔押し	25.7×15.7×1.9書籍、27.1×16.8×2.8函	個人蔵
224	大家 利夫	ヴァレリー・ラルボー著、岩崎力訳『罰せられる悪徳・読書』(みすずライブラリー)特装本	2010(平成22)	仔牛革モザイク装、金箔押し、背に著者名とタイトルを金箔押し、表内表紙下に金箔押し:OHIE	18.0×12.7×1.5書籍	個人蔵
225	大家 利夫	福永武彦著『愛の試み愛の終り』(人文書院)特装本	2011(平成23)	仔牛革モザイク装、金箔押し、背に模様の書名を金箔押し、表内表紙下に金箔押し:OHIE、裏内表紙下に金箔押し:2011	18.5×13.2×1.9書籍	個人蔵
226	大家 利夫	『定本草野天平全詩集』(彌生書房)特装本	2017(平成29)	仔牛革モザイク装、背に書名を金箔押し、表内表紙下に金箔押し:OHIE、裏内表紙下に金箔押し:2017	21.3×15.3×2.3書籍	個人蔵



会場風景

3-3. 小企画展「原勝四郎と同時代の画家たち」

- 会期 : 2023年10月7日(土)～12月24日(日) 68日間(休館日を除く)
- 会場 : 展示室B(1階)
- 主催 : 和歌山県立近代美術館
- 入場者数 : 8,063名
- 内容 : 特別展「原勝四郎展 南海の光を描く」の開催に合わせ、当館の洋画コレクションを中心に、一部借用作品も交えて、原勝四郎(はら・かつしろ う／1886-1964)と同時代に活躍した黒田清輝、山下新太郎、青山熊治や長谷川潔ら、原が影響を受け、また交流した画家たちの作品を紹介した。県展期間中のコレクション展も兼ね、入場無料で実施した。
- 展示点数 : 38作家44点、資料1点
- 担当学芸員 : 宮本久宣
- 関連事業 : ・子ども美術館部「どうじだいどうしたい」 12月23日(土)、12月24日(日) いずれも11:00～12:00 1階展示室にて *詳細85頁
- 制作物 : ・出品目録(A4判2頁)
・プレスリリース(A4判3頁)
- 入場料金 : 無料
- 成果・課題 : 原勝四郎の回顧展の関連企画として、原の生涯や作品を時代のなかに位置付けて見られるよう、その同時代の美術を、洋画を中心に紹介した。原の生涯に沿って、「原勝四郎のいた東京」「原勝四郎の滞欧前後」「原勝四郎の帰国後」の3章で構成した。関連企画ではあったが、田辺市立美術館や個人所蔵家からの協力を得て、単独の展覧会としても、日本の洋画史を概観できるほどの充実した内容とすることができた。またこの機会に合わせて、これまでコレクションになかった黒田清輝や久米桂一郎の作品を新たに寄託として受け入れられたことは大きな成果である。
- 関連記事 : ・「勝四郎と同時代の画家たち 県立近代美術館で小企画展」『わかやま新報』2023年11月29日、3面
・「黒田清輝、佐伯祐三の作品も」『紀伊民報』2023年11月2日(ウェブでも配信)

*以上ウェブ上の情報への最終アクセス日:2025年1月30日

出品目録

*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年／発行年	材質、技法(形状)	寸法(cm)	所蔵／備考
原勝四郎のいた東京						
1	黒田 清輝	裸婦	1903(明治36)	油彩、板	33.7×26.2	個人蔵
2	久米 桂一郎	風景(ブティニ)	1891(明治24)	油彩、キャンバス	38.0×45.5	個人蔵
3	鹿子木 孟郎	パイプを持つ男	1906(明治39)	油彩、キャンバス	79.6×64.0	
4	山下 新太郎	臥婦	制作年不詳(1910年代)	油彩、キャンバス	79.5×140.7	個人蔵
5	有島 生馬	樹下の裸婦	1913(大正2)	油彩、キャンバス	52.5×45.5	
6	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	苺	制作年不詳	油彩、キャンバス	19.8×21.2	個人蔵
7	梅原 龍三郎	小川(ブルターニュ風景)	1909(明治42)	油彩、キャンバス	24.6×32.4	個人蔵
8	保田 龍門	少年	1912(明治45／大正元)	油彩、キャンバス	45.8×60.6	保田春彦氏寄贈
9	恩地 孝四郎	海の女	1912(明治45／大正元)	油彩、キャンバス	45.0×33.3	恩地邦郎氏寄贈
10	田中 恭吉	池袋にて	1914(大正3)	油彩、板	33.0×23.3	恩地邦郎氏寄贈
11	岸田 劉生	男性肖像	1912(明治45)	油彩、キャンバスボード	32.9×23.6	
12	岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914(大正3)	油彩、板	51.3×39.2	個人蔵
13	高村 光太郎	佐藤春夫像	1914(大正3)	油彩、キャンバス	61.0×45.5	個人蔵
14	木村 莊八	水道橋	1918(大正7)	油彩、キャンバス	45.5×38.4	
15	小林 徳三郎	風景	1918(大正7)	油彩、キャンバス	40.8×31.8	
16	萬 鐵五郎	雪の景	1916-18(大正5-7)頃	油彩、キャンバス	50.0×60.6	個人蔵
17	オーギュスト・ロダン	永遠の偶像	1889(明治22)	ブロンズ	高さ75.0	個人蔵
18	ポール・ゲセル	『芸術』ベルナール・グラッセ刊(保田龍門旧蔵)	1912(明治45／大正元)／初版1911(明治44)	書籍	22.0×16.0	保田春彦氏寄贈
原勝四郎の滞欧前後						
19	藤田 嗣治	鳥と少女	制作年不詳	油彩、キャンバス	46.5×33.0	個人蔵
20	長谷川 潔	アレキサンドル三世橋とフランスの飛行船	1930(昭和15)	メゾチント、紙	16.8×30.5	個人蔵
21	アンドレ・ロート	ミルマンドの城壁	制作年不詳	油彩、キャンバス	33.0×24.0	
22	モーリス・ド・ヴラマンク	風景	制作年不詳	油彩、キャンバス	38.0×45.5	個人蔵
23	ジョルジュ・ルオー	ジュリエッタ	1930(昭和15)	パステル・グワッシュ、紙	48.3×29.7	個人蔵
24	保田 龍門	アンドレ像	1921(大正10)	油彩、キャンバス	54.7×45.8	
25	黒田 重太郎	ドルドオニユ山村の初秋	1923(大正12)	油彩、キャンバス	37.0×45.3	
26	東郷 青児	静物	1924(大正13)	油彩、キャンバス	46.0×38.0	
27	碓 伊之助	ブザンソン風景	1924(大正13)	油彩、キャンバス	50.1×60.8	小島善太郎氏寄贈
28	佐伯 祐三	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925(大正14)	油彩、キャンバス	60.0×73.1	玉井一郎氏寄贈
29	川口 軌外	カフェにて	1927(昭和12)	油彩、キャンバス	79.0×64.0	個人蔵
30	青山 熊治	雪の馬	1927(昭和12)	油彩、キャンバス	201.2×362.5	個人蔵
原勝四郎の帰国後						
31	小出 檜重	裸女	1927(昭和12)	油彩、キャンバス	53.0×65.0	個人蔵
32	赤松 麟作	薔薇	1935(昭和10)	油彩、キャンバス	50.3×78.7	田辺市立美術館
33	曾宮 一念	青色の静物	1926(大正15)	油彩、キャンバス	60.5×45.3	

No.	作者名	作品名	制作年／発行年	材質、技法(形状)	寸法(cm)	所蔵／備考
34	佐伯 祐三	下落合風景	1926(大正15／昭和元)頃	油彩、キャンバス	49.7×60.4	玉井一郎氏寄贈
35	木下 孝則	後向の裸女の習作	1925(大正14)	油彩、キャンバス	100.1×80.3	木下米氏寄贈
36	三岸 好太郎	バラの静物	1928(昭和3)頃	油彩、キャンバス	45.5×38.0	個人蔵
37	梅原 龍三郎	静浦(口野)風景	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	60.8×50.1	篠田博之氏、めぐみ氏寄贈
38	鍋井 克之	円月島(紀州白浜温泉)	1933(昭和8)	油彩、キャンバス	51.2×50.0	田辺市立美術館
39	原 勝四郎	風景	1951(昭和26)頃	油彩、板	52.9×65.1	室谷文男氏寄贈
40	原 勝四郎	裸婦	1949(昭和24)頃	油彩、板	33.3×45.4	玉井一郎氏寄贈
41	熊谷 守一	白のはだか	1960(昭和35)	油彩、板	15.9×22.1	個人蔵
42-43	広島 鋤花	《紀伊百景画帖》より「白濱温泉ヲ望」、 「平草原 田邊湾ヲ望」	1927-29(昭和2-4)頃	顔料、絹	各28.9×37.1	
44-45	野長瀬 晩花	《栄光之南紀五景》より「網不知港」、 「湯崎温泉より臨海研究所を望む」	1930(昭和5)	顔料、紙	各24.3×27.2	
46	日高 昌克	深秋図	1955-59(昭和30-34)頃	顔料・墨、紙(軸装)	22.3×34.0	個人蔵
47	原 勝四郎	網不知	制作年不詳	油彩、厚紙	23.5×33.1	玉井一郎氏寄贈



会場風景

作品・資料の収集

1 作品資料の収集

和歌山県立近代美術館美術作品収集方針

- 日本画 1. 下村観山、川端龍子を軸とする院展の作家たち
2. 野長瀬晩花を軸とする国画創作協会の作家たち
- 洋画 3. 川口軌外を軸とする1930年協会、初期独立美術協会の作家たち
4. 村井正誠を軸とする自由美術家協会、モダンアート協会の作家たち
5. 石垣栄太郎、ヘンリー杉本、高井貞二を軸とするアメリカで学んだ作家たち
- 版画 6. 本県にゆかりのある恩地孝四郎、田中恭吉、逸見享、吉田政次、浜口陽三らを軸とする近現代版画
- 彫刻 7. 本県にゆかりのある建畠覚造、保田春彦を軸とする現代彫刻
- その他 8. 戦後美術
ア パンリアル美術協会
イ 走泥社
ウ デモクラート美術家協会
エ 具体美術協会
9. 現代の美術
10. 海外の美術

和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会委員

- 榎本長治 会社社長
五十殿利治 筑波大学名誉教授、同特命教授、独立行政法人国立美術館理事
建畠 哲 多摩美術大学学長／埼玉県立近代美術館館長
三木哲夫 兵庫県陶芸美術館館長

第47回美術作品選定委員会

- 日時：2024年3月1日（金） 午後2時より開催
出席：榎本長治委員、五十殿利治委員、建畠哲委員（委員長）、三木哲夫委員
内容：購入候補作品ならびに受贈候補作品について、受入の妥当性について協議を行った。

2023年度収蔵作品点数

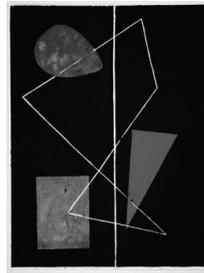
- 購入 16点（日本画7点、洋画1点、版画1点、彫塑6点、水彩・素描1点）
受贈 19件436点（日本画49点、洋画46点、版画138点、彫塑29点、工芸52点、写真54点、水彩・素描51点、資料30点、その他3点）

2023 年度収蔵作品

* 各作品について、作者名(和英)、作品名、制作年、技法材質(形状)、寸法(cm、特記なき平面作品はイメージサイズ/シートサイズ)、台帳番号、種別を記した。
 * 作者名(五十音順、日本人作家/外国人作家)、制作年(昇順)に従って配列している。ただし、まとまったコレクションなどについては、個別に掲載した。

購入

1. 大亦 観風 OMATA Kanpu
橋杭岩
制作年不詳(大正~昭和初期)
顔料、絹
121.8×36.7
13273 日本画
2. 恩地 孝二郎 ONCHI Koshiro
リリック No.25
1953(昭和28)
マルチブロック、紙
59.6×44.3
13281 版画
3. 福田 静處 FUKUDA Seisho
[山水図屏風]
1926(昭和元)
墨、紙
各139.0×68.0
13274 日本画



4. 福田 静處 FUKUDA Seisho
秋江独釣図
制作年不詳(大正期)
顔料、絹
126.5×42.0
13275 日本画
5. 福田 静處 FUKUDA Seisho
雪景山水図
制作年不詳
顔料・墨、紙
138.0×33.5
13276 日本画
6. 水野 華陰 MIZUNO Kain
秋色光暉図
制作年不詳
顔料、絹
154.0×57.0
13277 日本画
7. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko
父の像
1948(昭和23)
ブロンズ
29.0×8.5×9.0
13282 彫塑



8. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko
父の像 デッサン
1953(昭和28)
コンテ、紙
76.4×53.4
13288 水彩・素描
9. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko
小品 [1]
1967-68(昭和42-43)
ステンレス
13.5×18.0×6.5
13283 彫塑
10. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko
小品 [2]
1967-68(昭和42-43)
ステンレス
14.5×22.0×17.6
13284 彫塑
11. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko
小品 [3]
1967-68(昭和42-43)
ステンレス
9.3×20.4×14.2
13285 彫塑



12. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko
小品 [4]
1967-68(昭和42-43)
ステンレス
9.3×20.5×9.5
13286 彫塑
13. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko
小品 [5]
1967-68(昭和42-43)
ステンレス
9.4×20.5×14.4
13287 彫塑
14. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
青衣婦人像 [アンドレ嬢]
1921-23(大正10-12)
油彩、キャンバス
65.5×53.5
13280 洋画



15. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
日本神話絵巻稿

1943(昭和18)
顔料・墨、紙
第1巻: 28.0 × 1260.8 / 第2巻: 28.0 ×
1356.1 / 第3巻: 28.0 × 1146.4
13278 日本画



第1巻



第2巻



第3巻

16. 矢野 橋村 YANO Kyoson
盪壑図

1930(昭和5)頃
絹本着色
143.0 × 52.0
13279 日本画



寄 贈

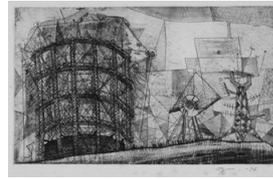
1. 池上 秀敏 IKEGAMI Shuho
月下蘆雁・赤壁舟遊

1916(大正5)
顔料、絹
114.0 × 27.5 / 113.5 × 27.5
駿河榮子氏寄贈
13301 日本画



2. 泉 茂 IZUMI Shigeru
凍結地方
凍結地方

1954(昭和29)
エッチング、紙
20.3 × 30.1 シート
堀内俊延氏寄贈
13380 版画



3. 泉 茂 IZUMI Shigeru
泡を喰う男

1957(昭和32)
油彩、キャンパス
32.9 × 24.2
三木哲夫氏寄贈
13426 洋画



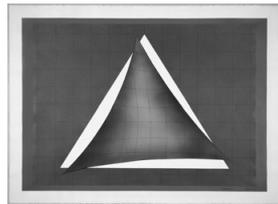
4. 泉 茂 IZUMI Shigeru
ドローイング

1962-65(昭和37-40)頃
鉛筆、紙
46.9 × 58.0
三木哲夫氏寄贈
13427 水彩・素描



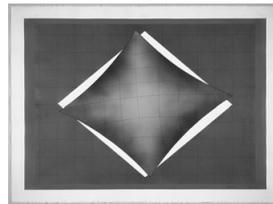
5. 泉 茂 IZUMI Shigeru
Distortion

1981(昭和56)頃
アクリル絵具、紙
46.9 × 58.0
三木哲夫氏寄贈
13428 水彩・素描



6. 泉 茂 IZUMI Shigeru
Distortion

1981(昭和56)頃
アクリル絵具、紙
46.9 × 58.0
三木哲夫氏寄贈
13429 水彩・素描



7. 上山 鳥城男 UYEMAMA Tokio
鳥屋城山

1936(昭和11)
油彩、キャンパス
63.5 × 79.0
有田川町立鳥屋城小学校寄贈
13289 洋画



8. 大亦 親風 OMATA Kanpu
人形

1925(大正14)
顔料、絹
37.8 × 41.7
堀内俊延氏寄贈
13371 日本画



9. 大亦 親風 OMATA Kanpu
湯之峯

制作年不詳(昭和前期)
顔料・墨、紙
135.2 × 33.8
堀内俊延氏寄贈
13372 日本画



10. 尾竹 國観 OTAKE Kokkan
梅見布袋

制作年不詳
顔料、絹
123.0 × 41.5
駿河榮子氏寄贈
13302 日本画



11. 甲斐荘 楠音 KAINOSHO Tadaoto
夕映と女

1977(昭和52)
顔料、紙
24.2 × 33.6
竹原秀世氏寄贈
13313 日本画



12. 甲斐荘 楠音 KAINOSHO Tadaoto
せわり人形
1977(昭和52)
顔料、紙
22.4×17.0
竹原秀世氏寄贈
13314 日本画



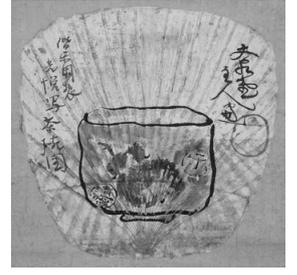
13. 香月 泰男 KAZUKI Yasuo
パッタ
制作年不詳
コンテ、紙
52.0×31.8 シート
竹原秀世氏寄贈
13315 水彩・素描



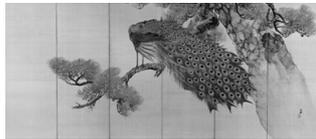
14. 菊池 容齋 KIKUCHI Yosai
楠公桜井之図
1869(明治2)
顔料、絹
108.5×39.0
駿河榮子氏寄贈
13303 日本画



15. 貴志 著森 KISHI Choshin
茶碗図
1918(大正7)
顔料、紙
26.7×27.0
堀内俊延氏寄贈
13373 日本画



16. 北村 琴浦 KITAMURA Kinpo
孔雀図屏風
制作年不詳
顔料、絹
各171.5×376.5
駿河榮子氏寄贈
13304 日本画



17. 国枝 金三 KUNIEDA Kinzo
紀伊大崎海岸
1927(昭和2)
油彩、キャンバス
37.7×45.5
戸川一夫氏寄贈
13319 洋画



18. 栗田 宏一 KURITA Koichi
クマノマンダラ
2023(令和5)
インクジェットプリント、紙
51.7×51.7(額)
NPO和歌山芸術文化支援協会寄贈
13431 写真



19. 小松 均 KOMATSU Hitoshi
風景
1959(昭和34)
顔料、紙
43.7×60.0
尾崎孝氏寄贈
13291 日本画



20. 小松 均 KOMATSU Hitoshi
尾崎氏宛書簡
制作年不詳
墨、紙
33.0×44.5
尾崎孝氏寄贈
13292 資料



21. 古村 徹三 KOMURA Tetsuzo
製油の港
制作年不詳
顔料、紙
114.0×81.0
駿河榮子氏寄贈
13305 日本画



22. 斎田 武夫 SAITA Takeo
『青甲』1表紙版下
1946(昭和21)頃
鉛筆・インク、紙
19.3×13.8
堀内俊延氏寄贈
13393 資料



23. 坂井 芳泉 SAKAI Hoson
瓊璃
制作年不詳(昭和初期)
顔料、絹
113.0×27.0
堀内俊延氏寄贈
13374 日本画



24. 坂井 芳泉 SAKAI Hoson
和歌祭百面
制作年不詳(昭和初期)
顔料、絹
111.0×27.0
堀内俊延氏寄贈
13375 日本画



25. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejiro
仁王像
1940年代
謄写版、紙
14.0×9.0 シート
堀内俊延氏寄贈
13381 版画



26. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejiro
蝸牛工房絵葉書[仁王像]
1940年代
謄写版、紙
14.0×9.0 シート
堀内俊延氏寄贈
13382 版画



27. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejirō
不詳

1947(昭和22)
謄写版、紙
14.3×19.1 シート
堀内俊延氏寄贈
13383 版画



28. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejirō
仏像

1947(昭和22)
謄写版、紙
25.2×19.6 シート
堀内俊延氏寄贈
13384 版画



29. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejirō
植物

1947(昭和22)頃
謄写版、紙
19.5×26.2 シート
堀内俊延氏寄贈
13385 版画



30. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejirō
鯉

1947(昭和22)
謄写版、紙
22.6×18.2 シート
堀内俊延氏寄贈
13386 版画



31. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejirō
裸婦

1947(昭和22)頃
謄写版、紙
38.7×26.4 シート
堀内俊延氏寄贈
13387 版画



32. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejirō
廃屋

1948(昭和23)頃
謄写版、紙
26.2×19.8 シート
堀内俊延氏寄贈
13388 版画



33. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejirō
不詳

1960年代
謄写版、紙
39.8×28.0 シート
堀内俊延氏寄贈
13389 版画



34. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejirō
不詳

1970年代
謄写版、紙
53.0×39.5 シート
堀内俊延氏寄贈
13390 版画



35. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejirō
[清水武次郎孔版画集] たとう

1948(昭和23)
墨・謄写版、紙
38.1×13.8
堀内俊延氏寄贈
13391 資料



36. 菅 楯彦 SUGA Tatehiko
炭おこし

制作年不詳
顔料、紙
43.5×34.5
駿河榮子氏寄贈
13306 日本画



37. 中川 蘆月 NAKAGAWA Rogetsu
蜻蛉図

制作年不詳
顔料、紙
108.0×37.7
駿河榮子氏寄贈
13307 日本画



38. 野村 仁 NOMURA Hitoshi
ナスカの線画：犬

1996(平成8)
Cプリント、紙
41.9×44.8
野村恵子氏寄贈
13321 写真



39. 野村 仁 NOMURA Hitoshi
ようこそ地球へ、では 2379年後に
再会しましょう

1997(平成9)
Cプリント、紙(8点組)
各41.0×60.0
野村恵子氏寄贈
13320 写真

1
13320-1



2
13320-2



3
13320-3



4
13320-4



5
13320-5



6
13320-6



7
13320-7



8
13320-8



40. 浜地 清松 HAMAJI Seimatsu
五番街
1918(大正7)頃
油彩、キャンバス
72.8×63.0
ペール食堂寄贈
13290 洋画



41. 林 康夫 HAYASHI Yasuo
鷹図
1942(昭和17)
顔料、絹
111.0×76.0
林康夫氏寄贈
13339 日本画



42. 林 康夫 HAYASHI Yasuo
狐図
1943(昭和18)
顔料、絹
89.0×120.0
林康夫氏寄贈
13340 日本画



43. 林 康夫 HAYASHI Yasuo
雁図
1943(昭和18)
顔料、絹
88.0×116.5
林康夫氏寄贈
13341 日本画



44. 林 康夫 HAYASHI Yasuo
作品 58-1
1958(昭和33)
陶
23.8×33.2×23.8
林康夫氏寄贈
13322 工芸



45. 林 康夫 HAYASHI Yasuo
無題
1963(昭和38)
陶
44.0×20.0×16.0
林康夫氏寄贈
13323 工芸



46. 林 康夫 HAYASHI Yasuo
無題
1965(昭和40)
陶
27.5×26.5×16.0
林康夫氏寄贈
13324 工芸



47. 林 康夫 HAYASHI Yasuo
昼下り
1977(昭和52)
陶
24.0×50.5×43.5
林康夫氏寄贈
13325 工芸



48. 林 康夫 HAYASHI Yasuo
無題
1980(昭和55)
陶
34.0×27.0×15.0
林康夫氏寄贈
13326 工芸



49. 林 康夫 HAYASHI Yasuo
作品 81-6
1981(昭和56)
陶
26.7×29.4×32.5
林康夫氏寄贈
13327 工芸



50. 林 康夫 HAYASHI Yasuo
Work 82-3
1982(昭和57)
陶
25.0×31.6×20.5
林康夫氏寄贈
13328 工芸



51. 林 康夫 HAYASHI Yasuo
無題

1983(昭和58)
陶
38.0×28.5×24.5
林康夫氏寄贈
13329 工芸



52. 林 康夫 HAYASHI Yasuo
Work(角)

1986(昭和61)
陶
27.5×64.5×64.0
林康夫氏寄贈
13330 工芸



53. 林 康夫 HAYASHI Yasuo
Cylinder A

1990(平成2)
陶
33.0×28.0×28.0
林康夫氏寄贈
13331 工芸



54. 林 康夫 HAYASHI Yasuo
Appear Brown

1992(平成4)
陶
33.0×33.0×35.0
林康夫氏寄贈
13332 工芸



55. 林 康夫 HAYASHI Yasuo
無題

1993(平成5)
陶
33.0×40.0×29.0
林康夫氏寄贈
13333 工芸



56. 林 康夫 HAYASHI Yasuo
無題

1998(平成10)
陶
31.0×38.0×28.0
林康夫氏寄贈
13334 工芸



57. 林 康夫 HAYASHI Yasuo
寓舎「祭事-1」

2005(平成17)
陶
28.0×25.0×20.0
林康夫氏寄贈
13335 工芸



58. 林 康夫 HAYASHI Yasuo
寓舎「白のスペース」

2008(平成20)
陶
32.5×15.0×14.0
林康夫氏寄贈
13336 工芸



59. 林 康夫 HAYASHI Yasuo
寓舎「記憶の表裏」

2014(平成26)
陶
35.0×29.0×12.5
林康夫氏寄贈
13337 工芸



60. 林 康夫 HAYASHI Yasuo
無題

2018(平成30)
陶
25.0×22.5×16.0
林康夫氏寄贈
13338 工芸



61. 稗田 一穂 HIEDA Kazuho
渺々熊野

1999(平成11)
顔料、紙
146.5×300.0
学校法人明星学苑寄贈
13430 日本画



62. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku
老梅叭々鳥図

1925(大正14)
顔料、絹
114.9×34.2
堀内俊延氏寄贈
13376 日本画



63. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku
澤邊の朝

1936(昭和11)
顔料、絹
68.2×86.8
福本まゆみ氏寄贈
13346 日本画



64. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku
寶永山夕映

1936(昭和11)
顔料、絹
71.8×86.0
福本まゆみ氏寄贈
13347 日本画



65. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku
金剛山

1942(昭和17)頃
顔料、絹
135.0×41.0
福本まゆみ氏寄贈
13348 日本画



66. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku
風景

1943(昭和18)頃
墨、紙
15.5×24.0
福本まゆみ氏寄贈
13349 日本画



67. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku
風景
1943(昭和18)頃
墨、紙
15.5×16.4
福本まゆみ氏寄贈
13350 日本画



68. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku
滝のある風景
1943(昭和18)頃
墨、紙
13.5×16.0
福本まゆみ氏寄贈
13351 日本画



69. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku
滝のある風景
1943(昭和18)頃
墨、紙
42.0×19.7
福本まゆみ氏寄贈
13352 日本画



70. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku
初夏山径図
1952(昭和27)
顔料、紙
46.0×55.0
福本まゆみ氏寄贈
13353 日本画



71. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku
[双鶴]下図
制作年不詳(戦前)
墨、紙
79.0×45.0
福本まゆみ氏寄贈
13354 水彩・素描



72. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku
鶴
制作年不詳(戦前)
顔料、紙
131.0×42.5
福本まゆみ氏寄贈
13355 日本画



73. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku
紅葉と小鳥
制作年不詳(戦前)
墨、紙
35.0×60.5
福本まゆみ氏寄贈
13356 日本画



74. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku
白鷺
制作年不詳(戦前)
顔料、紙
134.0×39.5
福本まゆみ氏寄贈
13357 日本画



75. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku
不動明王
制作年不詳(戦前)
顔料、紙
64.5×39.0
福本まゆみ氏寄贈
13358 日本画



76. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku
枯蓮に鶴下図
制作年不詳(戦前)
墨、紙
33.0×40.9
福本まゆみ氏寄贈
13359 水彩・素描



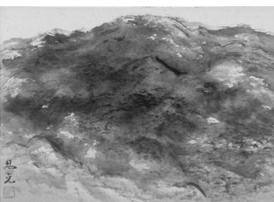
77. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku
樹木写生
制作年不詳(戦前)
墨、紙
78.5×45.7
福本まゆみ氏寄贈
13360 水彩・素描



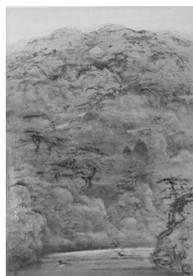
78. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku
立雛
制作年不詳(戦前)
顔料・墨、紙
42.5×46.0
福本まゆみ氏寄贈
13361 日本画



79. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku
重山無窮図
制作年不詳(戦後)
墨、紙
33.0×46.0
福本まゆみ氏寄贈
13362 日本画



80. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku
江山清趣
制作年不詳(戦後)
顔料、紙
45.5×31.5
福本まゆみ氏寄贈
13363 日本画



81. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku
風景
制作年不詳(戦後)
墨、紙
25.9×48.3
福本まゆみ氏寄贈
13364 日本画



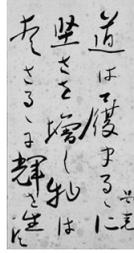
82. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku
溪流
制作年不詳(戦後)
墨、紙
37.8×46.3
福本まゆみ氏寄贈
13365 日本画



83. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku
溪流
制作年不詳(戦後)
墨、紙
38.0×50.0
福本まゆみ氏寄贈
13366 日本画



84. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku
書「道は履まるるに堅さを増し物は
愛さるるに輝を生む」
制作年不詳
墨、紙
34.8×18.2
福本まゆみ氏寄贈
13367 資料



85. 日高 昌克「白衣観音図」共箱
1952(昭和27)
二重箱
福本まゆみ氏寄贈
13368 資料

86. 福田 静處 FUKUDA Seisyo
柳二燕
1880(明治13)頃
墨、紙
107.5×22.5
尾崎孝氏寄贈
13294 日本画



87. 福田 静處 FUKUDA Seisyo
吸冬東海水
制作年不詳
墨、紙
136.8×32.5
尾崎孝氏寄贈
13293 日本画



88. 福田 静處 FUKUDA Seisyo
俳句書 おもしろき
制作年不詳
墨、紙
133.0×34.0
尾崎孝氏寄贈
13295 資料



89. 福田 静處 FUKUDA Seisyo
開門一行
制作年不詳
墨、紙
131.7×31.2
尾崎孝氏寄贈
13296 資料



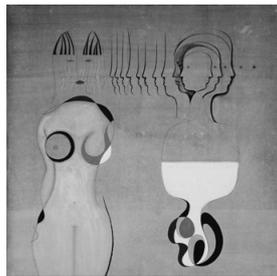
90. 福田 静處 FUKUDA Seisyo
知足一行
制作年不詳
墨、紙
132.5×33.0
尾崎孝氏寄贈
13297 資料



91. 不動 茂弥 FUDO Shigeya
さまよう留
1970(昭和45)
顔料、麻・板
162.0×130.2
不動尚史氏寄贈
13369 日本画



92. 不動 茂弥 FUDO Shigeya
私と私
1973(昭和48)
アクリル絵具・顔料、紙
121.0×121.0
不動尚史氏寄贈
13370 日本画



93. 船川 華洲 FUNAGAWA Kashu
富貴萬年
1919(大正8)
顔料、紙
108.5×36.0
駿河榮子氏寄贈
13308 日本画



94. 水野 華陰 MIZUNO Kain
草花図
1913(大正2)
顔料、絹
34.5×69.0
尾崎孝氏寄贈
13299 日本画



95. 水野 華陰 MIZUNO Kain
指日高昇
制作年不詳
顔料、絹
112.3×35.1
尾崎孝氏寄贈
13298 日本画



96. 森 琴石 MORI Kinseki
夏溪幽隠図
1905(明治38)
墨、紙
129.3×51.0
駿河榮子氏寄贈
13309 日本画



97. 森 有材 MORI Yuzai
静物
制作年不詳(戦前)
油彩、キャンバス
27.5×41.2
堀内俊延氏寄贈
13379 洋画



98. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
日本神話絵巻下図(1)
1943(昭和18)頃
顔料、紙
14.5×694.5
堀内俊延氏寄贈
13377 水彩・素描



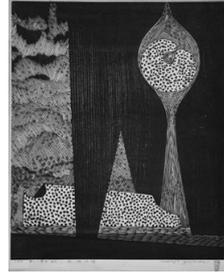
99. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
日本神話絵巻下図(2)
1943(昭和18)頃
鉛筆、紙
12.5×585.2
堀内俊延氏寄贈
13378 水彩・素描



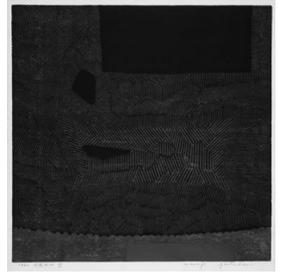
100. 矢野 楓江 YANO Fuko
朝晴雪
1919(大正8)
顔料、絹
114.0×34.4
駿河榮子氏寄贈
13310 日本画



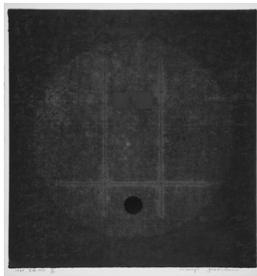
101. 吉田 政次 YOSHIDA Masaji
新しい発生 No.2
1956(昭和31)
木版、紙
45.0×37.7
巽健太郎・玲子氏寄贈
13316 版画



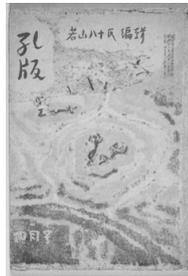
102. 吉田 政次 YOSHIDA Masaji
空間 No.37
1963(昭和38)
木版、紙
43.7×43.7
巽健太郎・玲子氏寄贈
13317 版画



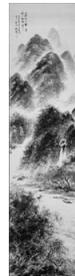
103. 吉田 政次 YOSHIDA Masaji
空間 No.52
1966(昭和41)
木版、紙
45.8×43.7
巽健太郎・玲子氏寄贈
13318 版画



104. 若山 八十氏 WAKAYAMA Yasouji
『孔版』6
1947(昭和22)
謄写版、紙(冊子)
21.7×14.8
堀内俊延氏寄贈
13392 資料



105. 渡瀬 凌雲 WATASE Ryoun
九里峽春景山水図
1945(昭和20)
墨、紙
148.5×39.0
駿河榮子氏寄贈
13311 日本画



106. エンリケ・メストレ Enric MESTRE
No. 3
2021(令和3)
陶
23.0×27.5×24.0
林康夫氏寄贈
13342 工芸



107. エンツォ・クッキ Enzo Cucchi
Uomini / 人間
1989(平成元)
銅版・複合技法、紙
269.0×75.0
神人勲氏寄贈
13300 版画



108. シェンドール・ケケケメティ Sándor KECSKEMÉTI
No. 1 青色
2021(令和3)
陶
14.5×9.0×7.0
林康夫氏寄贈
13343 工芸



109. シェンドール・ケケケメティ Sándor KECSKEMÉTI
No. 2 茶色
2021(令和3)
陶
18.0×9.3×7.0
林康夫氏寄贈
13344 工芸



110. シェンドール・ケケケメティ Sándor KECSKEMÉTI
No. 3 黒色
2021(令和3)
陶
17.8×15.0×13.5
林康夫氏寄贈
13345 工芸



111. 作者不詳(春枝) Unknown
(Harue)
美人図
制作年不詳(明治末~大正期か)
顔料、絹
112.0×39.8
駿河榮子氏寄贈
13312 日本画



112. 作者不詳 Unknown
「青甲会 13 回展」ポスター
1950年代
印刷、紙
39.0×53.0 シート
堀内俊延氏寄贈
13394 資料



保田龍門旧蔵資料
(松本夏樹氏寄贈)

113. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
自画像
1915(大正4)
エッチング、紙
11.6×7.9
13395 版画



114. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
 婦人像
 1929(昭和4)
 油彩、キャンパス
 90.6×72.3×2.2
 13396 洋画



115. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
 学園風水禍レリーフ
 1936(昭和11)頃
 石膏
 66.5×49.0×6.0
 13397 彫塑



116. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
 暁夢緑児道春遺像
 1937(昭和12)
 油彩、板
 36.8×45.4
 13398 洋画



117. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
 関西大風水害学園受難記念塔試案 図稿
 (たとう、関連資料、下図14葉入り)
 1937(昭和12)頃
 13399 水彩・素描

1 図稿 たとう
 1937(昭和12)頃
 墨書、紙(たとう)
 42.1×31.0×2.0
 13399-1 水彩・素描



2 吉岡訓導像デッサン
 1937(昭和12)頃
 鉛筆、紙
 34.9×25.3シート
 13399-2 水彩・素描



3 風水禍学園記念塔デッサン
 1937(昭和12)頃
 鉛筆、紙
 35.2×25.3シート
 13399-3 水彩・素描



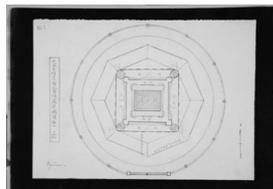
4 吉岡藤子先生殉職像正面図
 1937(昭和12)頃
 鉛筆、紙
 34.4×25.8シート
 13399-4 水彩・素描



5 大阪朝日新聞十月十一日所載
 [こんなのはいかが?]
 1937(昭和12)頃
 新聞貼付、台紙
 20.0×8.0シート
 13399-5 水彩・素描



6 第一図 記念塔平面略図 / No.1 /
 大風水禍学園記念塔設計略図
 1937(昭和12)頃
 鉛筆、紙
 29.1×42.0シート
 13399-6 水彩・素描



7 第二図 記念塔正面略図 / No.2 /
 [関西風水害学園受難記念塔]
 1937(昭和12)頃
 鉛筆、紙
 34.4×25.4シート
 13399-7 水彩・素描



8 第三図 [校頭] 群像「受難」/
 NO.3
 1937(昭和12)頃
 鉛筆、紙
 34.4×25.4シート
 13399-8 水彩・素描



9 第四図「崇高ナル死」(I) / 礎石
 浮彫(1) / NO.4 正面
 1937(昭和12)頃
 鉛筆、紙
 25.4×35.1シート
 13399-9 水彩・素描



10 第五図「崇高ナル死」(II) / 礎石
 浮彫(3) / NO.6
 1937(昭和12)頃
 鉛筆、紙
 25.5×34.2シート
 13399-10 水彩・素描



11 第六図「水禍」 / 礎石浮彫(2) /
 NO.5 右側面
 1937(昭和12)頃
 鉛筆、紙
 25.6×35.1シート
 13399-11 水彩・素描



12 第七図「風禍」/ 礎石浮彫(4) /
1937(昭和12)頃
鉛筆、紙
25.6×35.2シート
13399-12 水彩・素描



13 第八図「悲愁」/ 礎石四隅立像の
一(悲愁)/ NO.8
1937(昭和12)頃
鉛筆、紙
34.4×25.5シート
13399-13 水彩・素描



14 第九図「哀恨」/ 礎石四隅立像の
二(哀恨)/ NO.9
1937(昭和12)頃
鉛筆、紙
34.4×25.3シート
13399-14 水彩・素描



15 第十図「啓示」/ 礎石四隅立像の
三(啓示)/ NO.10
1937(昭和12)頃
鉛筆、紙
34.3×25.8シート
13399-15 水彩・素描



16 第十一図「新生」/ 礎石四隅立像
の四(新生)/ NO.11
1937(昭和12)頃
鉛筆、紙
34.4×25.5シート
13399-16 水彩・素描



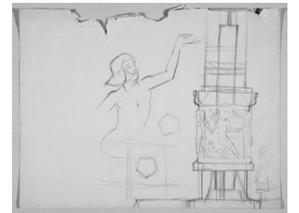
118. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
五族[大東亜民俗共和塔マケット]
1939(昭和14)頃
石膏
35.0×22.7×22.8
13400 彫塑



119. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
五族[大東亜民俗共和塔マケット]
デッサン
1939(昭和14)頃
鉛筆、紙
36.0×26.5シート
13401 水彩・素描



120. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
五族[大東亜民俗共和塔マケット]
デッサン
1939(昭和14)頃
鉛筆、紙
28.0×36.0シート
13402 水彩・素描



121. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
竈山神社 皇紀二千六百年記念
石膏原型
1940(昭和15)頃
石膏
29.0×28.7×2.8
13403 彫塑



122. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
竈山神社 皇紀二千六百年記念
陶板
1940(昭和15)頃
陶、額
31.0×31.0×4.0
13404 彫塑



123. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
大國主命とすせり姫
1942(昭和17)頃
水彩、紙
34.3×61.7シート
13405 水彩・素描



124. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
勇蔵兄上
1949(昭和24)
画帖
5.9×9.5×3.5
13406 資料



125. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
家郷通信
1949(昭和24)
画帖
15.0×9.0×2.5
13407 資料



126. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
紀南石仏群開掘発願に就いて
1949(昭和24)
冊子
32.7×23.1×0.5
13408 資料



127. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
紀陽銀行壁画レリーフのうち秋
(柑橘)の顔部分試作
1954(昭和29)
セメント
64.1×53.6×9.1
13409 彫塑



128. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
南方熊楠像デッサン
1964(昭和39)頃
コンテ、紙
77.0×54.0シート
13410 水彩・素描



129. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
石膏レリーフ 1
制作年不詳
石膏
60.0×37.5×3.8
13411 彫塑



130. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
石膏レリーフ 2
制作年不詳
石膏
60.0×37.5×3.8
13412 彫塑



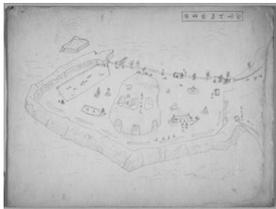
131. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
男性像レリーフ断片
制作年不詳
石膏2片 ほか小片
60.0×37.5×3.8
13413 彫塑



132. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
女性像
制作年不詳
水彩・鉛筆、紙
27.0×24.0
13414 水彩・素描



133. 保田 龍門 YASUDA Ryumon
白崎万葉園略図
制作年不詳
鉛筆、紙
28.8×37.9シート
13415 資料



134. 作者不詳 YASUDA Ryumon
保田龍門旧蔵デッサン[壺を持つ
つ女]
制作年不詳
鉛筆、紙
21.4×13.2シート
13416 水彩・素描



135. 保田龍門旧蔵聖書
書籍
15.8×11.2×4.8
13417 資料

136. 保田龍門旧蔵 新聞記事[大東亜
建設博覧会]
印刷、紙
13418 資料



137. 『大東亜建設博覧会画報』朝日
新聞社発行
1939(昭和14)発行
冊子
13419 資料



138. 舞台写真 吉岡訓導
写真
40.9×26.8
13420 資料

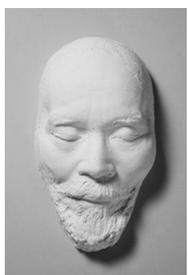


139. [写真 吉岡訓導像と五人の少女
たち]
1937(昭和12)
写真
51.0×36.1
13421 資料



140. 保田龍門が最後に使用していた
彫刻台
木
98.2×41.7×41.2
13422 資料

141. 保田龍門 デスマスク(福岡道雄
による)
1965(昭和40)
石膏
98.2×41.7×41.2
13423 資料



142. 周恩来関連資料(シナリオ、ドラ
マ DVD、新聞記事)
DVDほか
13424 資料

143. 保田龍門一家 16mm フィルム
DVD
DVD
13425 資料

大家利夫コレクション

(大家利夫氏寄贈)

144. アンリ・マリウス＝ミシェル
Henri Marius-Michel
マリウス・ミシェル著『昔の紙片 回想と夢』特装本 / Marius Michael, "Feuillets d'autrefois, Souvenirs et rê ves"
1916(大正5)
書籍
20.0×13.6×1.2書籍
13462 工芸



145. ジョルジュ・ルルー
Georges LEROUX
"シモーヌ・ド・ボーヴォワール著『娘時代 ある女の回想』特装本 / Simone de Beauvoir, Mémoires d'une Jeune Fille Rangée"
1958(昭和33)
書籍、保護カバー、函
20.8×15.0×2.7書籍
13463 工芸



146. 大家 利夫 OHIE Toshio
藤原義江著『きりすとの涙』特装本
1968(昭和43)
書籍、函、著者のポートレートを挟み込み
20.8×15.6×1.4書籍
13432 工芸



147. 大家 利夫 OHIE Toshio
藤原義江著『きりすとの涙』特装本
1968(昭和43)
書籍、函
20.8×15.6×1.2書籍
13433 工芸



148. 大家 利夫 OHIE Toshio
"P. A. プノフ著、ラウル・ユバック木版画『裸火』特装本 / P. A. Benoit, Raoul Ubac, a Feu Nu"
1973(昭和48)
書籍、保護カバー、函
21.8×12.9×1.2書籍
13434 工芸



149. 大家 利夫 OHIE Toshio
鳥居昌三詩集『化石の海』特装本 海人舎
1985(昭和60)
書籍、函
19.6×14.6×0.8書籍
13435 工芸



150. 大家 利夫 OHIE Toshio
北園克衛詩集『重い仮説』特装本 海人舎私版
1986(昭和61)
書籍、函、所蔵者名簿付き
19.6×15.5×0.7書籍
13436 工芸



151. 大家 利夫 OHIE Toshio
白石かずこ著『四つの窓』特装本
1988(昭和63)
書籍、函
19.4×16.8×1.6書籍
13437 工芸



152. 大家 利夫 OHIE Toshio
ジョン・ソルト著『水中のバルコニー』 / John Solt, "UNDERWATER BALCONY"
1988(昭和63)
書籍、函
19.4×14.2×1.2書籍
13439 工芸



153. 大家 利夫 OHIE Toshio
齋藤磯雄著『フランス詩話-近代の絶唱をめぐって-』新潮文庫 特装本
1988(昭和63)
書籍、保護カバー、函
15.2×10.8×1.7書籍
13440 工芸



154. 大家 利夫 OHIE Toshio
上笙一郎著『児童文化書々遊々』特装本
1988(昭和63)
書籍、函
19.4×13.5×2.7書籍
13441 工芸



155. 大家 利夫 OHIE Toshio
吉本ばなな著『TUGUMI つぐみ』(中央公論社)特装本
1989(平成元)
書籍、函、帙
19.6×12.7×2.0書籍
13455 工芸



156. 大家 利夫 OHIE Toshio
田村隆一著『ぼくの航海日誌』(中央公論社)特装本
1991(平成3)
書籍
19.0×15.0×1.6書籍
13456 工芸



157. 大家 利夫 OHIE Toshio
鳥居昌三著『詩集 風の記号』特装本
1992(平成4)
書籍、函
17.6×14.0×0.7書籍
13442 工芸



158. 大家 利夫 OHIE Toshio
黒田維理詩集・小杉小二郎絵『いちじくの静物』海人舎版 紙装本
1993(平成5)
書籍、紙に黒インク・ペンによる挿絵原画 5点、函
15.3×11.1×0.3書籍
13443 工芸



159. 大家 利夫 OHIE Toshio
 黒田維理詩集『いちじくの静物』
 海人舎版 特装本
 1993(平成5)
 書籍、函
 15.2×10.7×0.7書籍
 13444 工芸



160. 大家 利夫 OHIE Toshio
 黒田維理詩集『コカイン』小杉
 小二郎絵 特装本 海人舎版
 1994(平成6)
 書籍、函
 15.3×10.8×0.8書籍
 13448 工芸



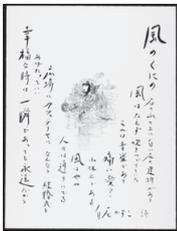
161. 大家 利夫 OHIE Toshio
 詩集『背中の砂漠』鳥居昌三
 1964-1966 特装本 海人舎
 1994(平成6)
 書籍、函
 19.4×12.8×0.9書籍
 13446 工芸



162. 大家 利夫 OHIE Toshio
 パルテュス『ミツ』
 1994(平成6)
 書籍、保護カバー、函
 25.4×18.6×1.5書籍
 13447 工芸



163. 白石 かずこ SHIRAIISHI Kazuko
 『風のくにの』スザンヌ・トライ
 ターとの合作
 1996(平成8)
 エッチング・手彩・墨書、紙
 64.3×48.7シート
 13438 工芸



164. 大家 利夫 OHIE Toshio
 山本容子のための Livre d'Or[黒]
 1996(平成8)
 書籍、帙
 28.2×19.2×2.7書籍
 13457 工芸



165. 大家 利夫 OHIE Toshio
 山本容子のための Livre d'Or[赤]
 1996(平成8)
 書籍、帙
 16.0×11.6×1.7書籍
 13458 工芸



166. 大家 利夫 OHIE Toshio
 山本容子のための Livre d'Or[青]
 1996(平成8)
 書籍、帙
 23.0×15.5×2.4書籍
 13459 工芸



167. 大家 利夫 OHIE Toshio
 山本澄子著『中国キリスト教史研究』
 Yamamoto Sumiko, History of
 Protestantism in China, The
 Indigenization of Christianity
 2000(平成12)
 書籍、函
 21.8×15.6×2.9書籍
 13448 工芸



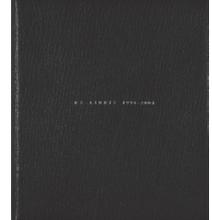
168. 山本 容子 YAMAMOTO Yoko
 銅版画集『ゲートのファウスト』たとう、
 口絵 1点、挿画 12点、スイート 2点
 2000(平成12)
 ポートフォリオ
 52.4×35.4×4.6函
 13460 版画



169. 山本 容子 YAMAMOTO Yoko
 江國香織著『デューク』仮綴じ本
 渡辺和雄装幀
 2000(平成12)
 書籍
 14.5×9.7×0.8書籍
 13461 工芸



170. 大家 利夫 OHIE Toshio
 『黒澤正勝蔵書票集 1994-2004』
 2004(平成16)
 書籍、函
 19.8×17.0×3.2書籍
 13449 工芸



171. 大家 利夫 OHIE Toshio
 佐々木桔梗著『日本の肉筆絵入り
 本・北園克衛を中心に』特装版
 2004(平成16)
 書籍、函、しおり
 25.7×15.7×1.9書籍
 13450 工芸



172. 大家 利夫 OHIE Toshio
 ヴァレリー・ラルポー著、岩崎力訳『罰
 せられざる悪徳・読書』(みすずライ
 ブラリー)特装本
 2010(平成22)
 書籍、保護カバー、函
 18.0×12.7×1.5書籍
 13451 工芸



173. 大家 利夫 OHIE Toshio
 福永武彦著『愛の試み愛の終り』
 人文書院版 特装本
 2011(平成23)
 書籍、函
 18.5×13.2×1.9書籍
 13452 工芸



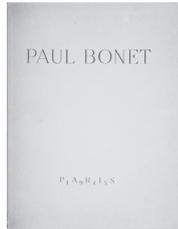
174. 大家 利夫 OHIE Toshio
 『鳥居昌三詩集』
 2013(平成25)
 書籍
 18.8×12.9×1.0書籍
 13453 工芸



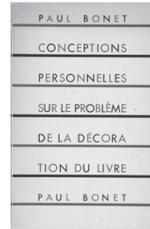
175. 大家 利夫 OHIE Toshio
『定本草野天平全詩集』彌生書房
特装本
2017(平成29)
書籍、保護カバー、函
21.3×15.3×2.3書籍
13454 工芸



176. ポール・ヴァレリー、ポール・エリュアール、ルネ・ムタルドゥルトロイ、ジョルジュ・ブレゾン、ルイ・マリール・ミション著「ポール・ボネ」Paul Valéry, Paul Eluard, René Moutard-Uldry, Georges Blaizot, Louis-Marie Michon, PAUL BONET
Librairie Auguste Blaizot
1945(昭和20)
書籍、保護カバー、函
33.3×25.5×4.0書籍
13464 資料



177. ポール・ボネ著『書物装飾・私感』Paul Bonet, Conceptions Personnelles sur le Problème de la Décoration du Livre
1950(昭和25)
書籍
19.9×12.9×0.5書籍
13465 資料



178. ポール・ボネ著、小宮正弘訳『書物装飾・私観』特装本のための金型
2002(平成14)頃
真鍮
13466 資料



179. ポール・ヴァレレイ著『海邊の墓地』
特装本のための金型
2004(平成16)頃
真鍮
13467 資料



180. 石川淳著『挿絵本 紫苑物語』特装本
内表紙・保護遊びのための織物試作
2005(平成17)頃
絹
13468 資料



磯井利光コレクション
(磯井利光氏寄贈)

181. 池田 朗子 IKEDA Akiko
a theater without you their site/ your sight
2008(平成20)
写真、木、アクリル
96.3×35.8×12
13527 写真



182. 稲垣 元則 INAGAKI Motonori
other side Motonori Inagaki
/ works:1992-2001
2002(平成14)
レーザープリント
28.0×41.0×5.5冊子
13528 版画



183. 稲垣 元則 INAGAKI Motonori
untitled
2002(平成14)
ドローイング、紙
36.4×25.7
13529 水彩・素描



184. 稲垣 元則 INAGAKI Motonori
untitled
2002(平成14)
ドローイング、写真、キャンバス
44.5×33.0
13530 水彩・素描



185. 稲垣 元則 INAGAKI Motonori
distance 201
2008(平成20)
ゼラチンシルバープリント
31.5×56.0
13531 写真



186. 稲垣 元則 INAGAKI Motonori
distance 4
2008(平成20)
ラムダプリント
45.0×80.0
13532 写真



187. 稲垣 元則 INAGAKI Motonori
phase 21-1
2010(平成22)
ゼラチンシルバープリント
22.4×29.6
13533 写真



188. 稲垣 元則 INAGAKI Motonori
phase 21-2
2010(平成22)
ゼラチンシルバープリント
22.4×29.6
13534 写真



189. 稲垣 元則 INAGAKI Motonori
phase 21-3
2010(平成22)
ゼラチンシルバープリント
22.4×29.6
13535 写真



190. 伊庭 靖子 IBA Yasuko
untitled #9
2004(平成16)
油彩、キャンバス
71.0×91.0
13536 洋画



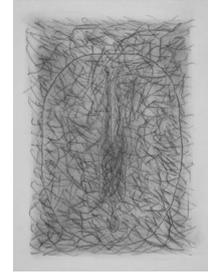
191. 伊庭 靖子 IBA Yasuko
untitled
2005(平成17)
油彩、キャンバス
80.0×100.0
13537 洋画



192. 伊庭 靖子 IBA Yasuko
untitled 13 - 2009
2009(平成21)
油彩、キャンバス
60.0×35.0
13538 洋画



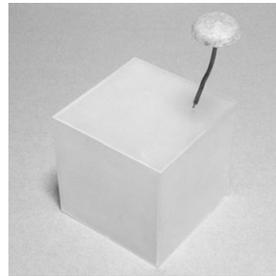
193. 今村 源 IMAMURA Hajime
サカダツわたし P.C. / Postcard
Drawing #2-6
2005(平成17)
パステル、紙
30.5×21.0
13539 水彩・素描



194. 今村 源 IMAMURA Hajime
VOID - コマになる
2011(平成23)
ミクストメディア
65.0×16.5×16.5
13540 彫塑



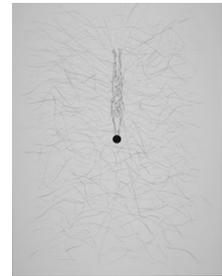
195. 今村 源 IMAMURA Hajime
とまるキノコ 1
2011(平成23)
ミクストメディア
24.5×14.0×13.0
13541 彫塑



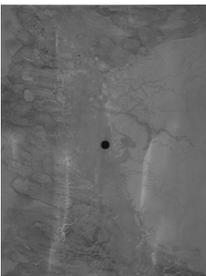
196. 今村 源 IMAMURA Hajime
VOID のためのドローイング 3
2011(平成23)
ドローイング、紙
67.5×52.0
13542 水彩・素描



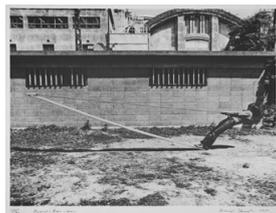
197. 今村 源 IMAMURA Hajime
VOID のためのドローイング 5
2011(平成23)
ドローイング、紙
67.5×52.0
13543 水彩・素描



198. 今村 源 IMAMURA Hajime
VOID のためのドローイング 11
2011(平成23)
ドローイング、紙
67.5×52.0
13544 水彩・素描



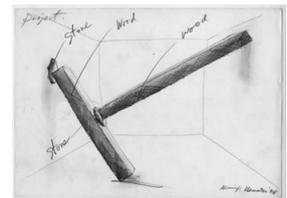
199. 植松 奎二 UEMATSU Keiji
Board - Rope - Man
1975(昭和50)
シルクスクリーン、紙
68.6×86.9
13545 版画



200. 植松 奎二 UEMATSU Keiji
Tree - Rope - Man
1975(昭和50)
シルクスクリーン、紙
86.9×68.6
13546 版画



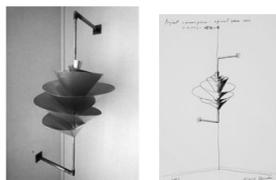
201. 植松 奎二 UEMATSU Keiji
Project drawing - Cutting
1978(昭和53)
鉛筆、紙
21.6×30.0
13547 水彩・素描



202. 植松 奎二 UEMATSU Keiji
Project for Venezia Biennale
Floating - space
1988(昭和63)
ドローイング、紙
86.9×68.6
13548 水彩・素描



203. 植松 奎二 UEMATSU Keiji
置—螺旋の場 Situation—Spiral
space
2002(平成14)
銅、真鍮、鉄/インク、紙
85.0×42.0×42.0
13549 彫塑



204. 植松 奎二 UEMATSU Keiji
ブランドローイング
2002(平成14)
素描、紙
21.0×53.4
13550 水彩・素描



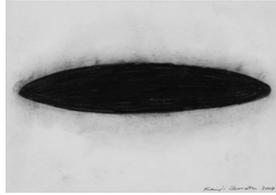
205. 植松 奎二 UEMATSU Keiji
樹とともに—螺旋の気配 With a
Tree - Touch of Spiral
2004(平成16)
ミクストメディア
75.0×75.0×8.0
13551 その他



206. 植松 奎二 UEMATSU Keiji
浮く石 1
 2005(平成17)
 鉛筆、紙
 6.0×57.0
 13552 水彩・素描



207. 植松 奎二 UEMATSU Keiji
Drawing- Cosmos 21
 2007(平成19)
 鉛筆、紙
 21.0×29.7
 13553 水彩・素描



208. 植松 奎二 UEMATSU Keiji
Drawing- Cosmos 9
 2007(平成19)
 鉛筆、紙
 21.0×29.7
 13554 水彩・素描



209. 植松 奎二 UEMATSU Keiji
**螺旋の気配—浮 Touch of Spiral
 - Floating**
 2008(平成20)
 真鍮、銅
 80.0×35.0
 13555 洋画



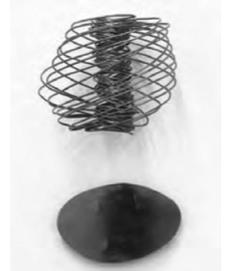
210. 植松 奎二 UEMATSU Keiji
misused box I
 2011(平成23)
 ミクストメディア
 47.0×13.0×13.0
 13556 彫塑



211. 植松 奎二 UEMATSU Keiji
**Chair - String - Stone / Chair
 - Desk - String - Stone**
 2014(平成26)
 インクジェットプリント、紙/インク、紙
 21.0×29.7
 13557 版画



212. 植松 奎二 UEMATSU Keiji
宇宙の心臓
 2014(平成26)
 真鍮、銅
 46.0×23.5×22.0
 13558 彫塑



213. 大島 成己 OSHIMA Naruki
Black Book 1
 2000(平成12)
 シルクスクリーン、紙
 36.4×51.5
 13559 版画



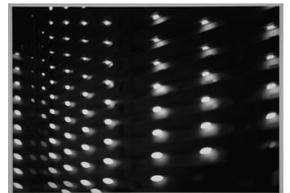
214. 大島 成己 OSHIMA Naruki
Black Book 2
 2000(平成12)
 シルクスクリーン、紙
 36.4×51.5
 13560 版画



215. 大島 成己 OSHIMA Naruki
Black Book 3
 2000(平成12)
 シルクスクリーン、紙
 36.4×51.5
 13561 版画



216. 大島 成己 OSHIMA Naruki
Black Book 4
 2000(平成12)
 シルクスクリーン、紙
 36.4×51.5
 13562 版画



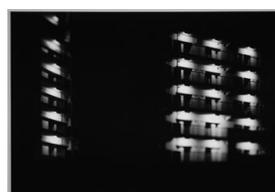
217. 大島 成己 OSHIMA Naruki
Black Book 5
 2000(平成12)
 シルクスクリーン、紙
 36.4×51.5
 13563 版画



218. 大島 成己 OSHIMA Naruki
Black Book 6
 2000(平成12)
 シルクスクリーン、紙
 36.4×51.5
 13564 版画



219. 大島 成己 OSHIMA Naruki
Black Book 7
 2000(平成12)
 シルクスクリーン、紙
 36.4×51.5
 13565 版画



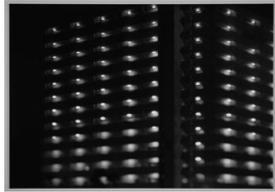
220. 大島 成己 OSHIMA Naruki
Black Book 8
 2000(平成12)
 シルクスクリーン、紙
 36.4×51.5
 13566 版画



221. 大島 成己 OSHIMA Naruki
Black Book 9
2000(平成12)
シルクスクリーン、紙
36.4×51.5
13567 版画



222. 大島 成己 OSHIMA Naruki
Black Book 10
2000(平成12)
シルクスクリーン、紙
36.4×51.5
13568 版画



223. 大島 成己 OSHIMA Naruki
Black Book 11
2000(平成12)
シルクスクリーン、紙
36.4×51.5
13569 版画



224. 大島 成己 OSHIMA Naruki
Black Book 12
2000(平成12)
シルクスクリーン、紙
36.4×51.5
13570 版画



225. 大島 成己 OSHIMA Naruki
Black Book 13
2000(平成12)
シルクスクリーン、紙
36.4×51.5
13571 版画



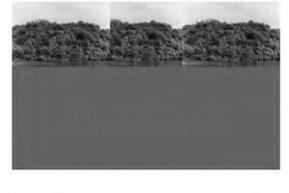
226. 大島 成己 OSHIMA Naruki
Black Book 14
2000(平成12)
シルクスクリーン、紙
36.4×51.5
13572 版画



227. 大島 成己 OSHIMA Naruki
Black Book 15
2000(平成12)
シルクスクリーン、紙
36.4×51.5
13573 版画



228. 大島 成己 OSHIMA Naruki
Tableau for Green - 1
2000(平成12)
シルクスクリーン、レーザーフォト
30.0×42.0
13574 版画



229. 大島 成己 OSHIMA Naruki
Reflection - Dusseldorf,
colored - 103
2002(平成14)
ラムダプリント
24.0×30.0
13575 写真



230. 大島 成己 OSHIMA Naruki
Reflections - in green
2009(平成21)
Cプリント
70.0×107.0
13576 写真



231. 大島 成己 OSHIMA Naruki
Reflections - with potted plants
2009(平成21)
Cプリント
43.5×58.0
13577 写真



232. 大島 成己 OSHIMA Naruki
Naruki Oshima haptic green
2015(平成27)
作品集、写真2葉
28.0×23.0
13578 その他



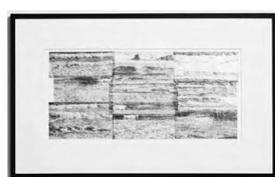
233. 大西 伸明 ONISHI Nobuaki
sagefuri
2006(平成18)
アクリル絵具、アクリル樹脂、鉄
8.0×4.4×4.5
13579 彫塑



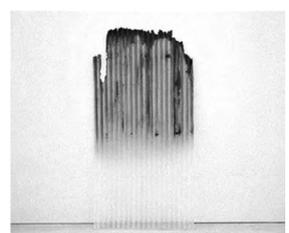
234. 大西 伸明 ONISHI Nobuaki
yushitessen
2006(平成18)
アクリル絵具、アクリル樹脂、エポキシ樹脂
35.0×37.0×4.4
13580 彫塑



235. 大西 伸明 ONISHI Nobuaki
Chain - sea
2009(平成21)
鉛筆、和紙
23.2×52.0
13581 水彩・素描



236. 大西 伸明 ONISHI Nobuaki
totan
2014(平成26)
絵具、樹脂
130.0×65.0×2.0
13582 彫塑



237. 大西 伸明 ONISHI Nobuaki
Vacuum - May. 22. 2015

2015(平成27)
絵具、樹脂
20.0×30.0×3.5
13583 彫塑



238. 片山 雅史 KATAYAMA Masahito
風のなる日のために '89

1989(平成元)
ドローイング、紙
41.0×31.5
13584 水彩・素描



239. 片山 雅史 KATAYAMA Masahito
風の系譜 '92-E

1992(平成4)
シルクスクリーン・アクリル絵具、紙
76.0×57.0
13585 版画



240. 片山 雅史 KATAYAMA Masahito
風のなる日のために 1

1992(平成4)
シルクスクリーン、紙
76.0×57.0
13586 版画



241. 片山 雅史 KATAYAMA Masahito
風のなる日のために 2

1992(平成4)
シルクスクリーン、紙
76.0×57.0
13587 版画



242. 片山 雅史 KATAYAMA Masahito
風のなる日のために 3

1992(平成4)
シルクスクリーン、紙
76.0×57.0
13588 版画



243. 片山 雅史 KATAYAMA Masahito
風のなる日のために 4

1992(平成4)
シルクスクリーン、紙
76.0×57.0
13589 版画



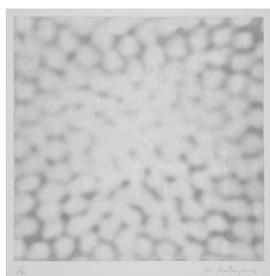
244. 片山 雅史 KATAYAMA Masahito
風のなる日のために 5

1992(平成4)
シルクスクリーン、紙
76.0×57.0
13590 版画



245. 片山 雅史 KATAYAMA Masahito
皮膜 2007—向日葵 4

2007(平成19)
シルクスクリーン、インタリオ、紙
66.0×50.0
13591 版画



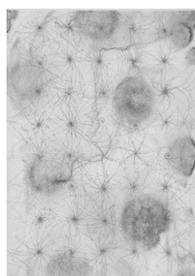
246. 片山 雅史 KATAYAMA Masahito
蔓系 1

2010(平成22)
墨・顔料、和紙
34.0×21.5
13592 洋画



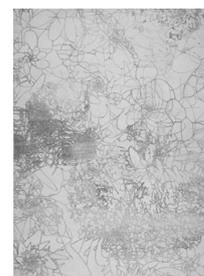
247. 片山 雅史 KATAYAMA Masahito
光飽和 5

2010(平成22)
インク・アクリル絵具、和紙
32.0×22.5
13593 洋画



248. 片山 雅史 KATAYAMA Masahito
遊漁図 1-1

2010(平成22)
墨・顔料、和紙
55.5×40.5
13594 洋画



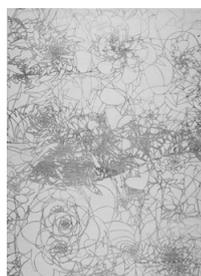
249. 片山 雅史 KATAYAMA Masahito
遊漁図 1-2

2010(平成22)
墨・顔料、和紙
55.5×40.5
13595 洋画



250. 片山 雅史 KATAYAMA Masahito
遊漁図 1-3

2010(平成22)
墨・顔料、和紙
55.5×40.5
13596 洋画



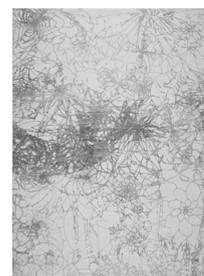
251. 片山 雅史 KATAYAMA Masahito
遊漁図 1-4

2010(平成22)
墨・顔料、和紙
55.5×40.5
13597 洋画



252. 片山 雅史 KATAYAMA Masahito
遊漁図 1-5

2010(平成22)
墨・顔料、和紙
55.5×40.5
13598 洋画



253. 片山 雅史 KATAYAMA Masahito
風のなる日のために
1989(平成元)
ドローイング、紙
74.0×55.0
13599 洋画



254. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
地の果ての獅子ベツレヘムの星
を呑み込む
1972(昭和47)
木口木版、紙
13.0×10.5
13469 版画



255. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
エリュシオン
1974(昭和49)
木口木版、紙
12.6×9.5
13470 版画



256. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
パルナッソス
1974(昭和49)
木口木版、紙
12.0×9.5
13471 版画



257. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
漂流物 1
1977(昭和52)
木口木版、紙
15.1×10.0
13572 版画



258. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
漂流物 2
1977(昭和52)
木口木版、紙
9.9×15.1
13473 版画



259. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
転身譚
1977(昭和52)
木口木版、紙
21.0×19.0
13474 版画



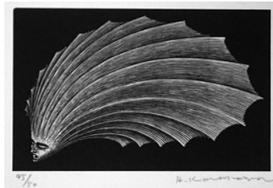
260. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
船
1977(昭和52)
木口木版、紙
10.0×15.1
13475 版画



261. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
花筐 1
1977(昭和52)
木口木版、紙
11.3×3.3
13476 版画



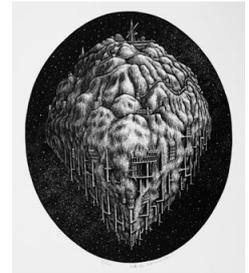
262. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
真珠 1
1978(昭和53)
木口木版、紙
5.0×7.9
13477 版画



263. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
花粉
1979(昭和54)
木口木版、紙
10.9×15.9
13478 版画



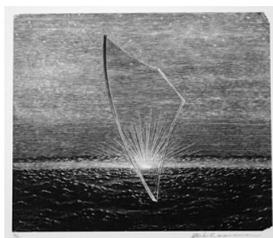
264. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
天文台
1979(昭和54)
木口木版、紙
17.5×14.3
13479 版画



265. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
森へ
1981(昭和56)
木口木版、紙
15.3×11.3
13480 版画



266. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
朝
1981(昭和56)
木口木版、紙
12.5×14.6
13481 版画



267. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
肖像Ⅴ ロドルフ・ブレダン
1982(昭和57)
木口木版、紙
15.0×9.5
13482 版画



268. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
爬虫類
1983(昭和58)
木口木版、紙
10.5×1.7
13483 版画



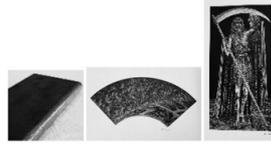
269. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
肖像 XIX ハンス・クリスティアン・
アンデルセン
1984(昭和59)
木口木版、紙
19.5×14.6
13484 版画



270. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
肖像 80 フランシスコ・デ・ゴヤ A
1984(昭和59)
木口木版、紙
22.0×15.5
13485 版画



271. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
堀田善衛著『聖者の行進』
1986(昭和61)
木口木版、紙
21.6×15.5×2.0書籍
13486 版画



272. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
James Joyce
1987(昭和62)
木口木版、紙
11.0×8.0
13487 版画



273. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
肖像 38 ベーテル・ブリュゲル
1993(平成5)
木口木版、紙
25.5×16.0
13488 版画



274. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
富士川英郎著『読書點心』
1993(平成5)
木口木版、紙
17.0×13.8×1.9書籍
13489 版画



275. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
SIGNUM
1995(平成7)
木口木版、紙
28.3×19.0
13490 版画



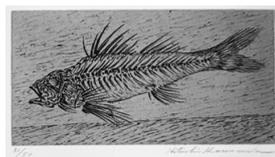
276. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
PLANET
1995(平成7)
木口木版、紙
5.2×9.7
13491 版画



277. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
COMET
1995(平成7)
木口木版、紙
5.2×9.7
13492 版画



278. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
化石
1996(平成8)
木口木版、紙
5.1×9.8
13493 版画



279. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
Shell 1
1996(平成8)
木口木版、紙
3.0×3.5
13494 版画



280. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
Shell 2
1996(平成8)
木口木版、紙
3.5×3.0
13495 版画



281. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
『木口木版画集』増補新版 特装本
1996(平成8)
木口木版、紙
27.5×22.0
13496 版画



282. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
夢為胡蝶
1997(平成9)
木口木版、紙
15.0×19.0
13497 版画



283. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
ポール・ヴァレリー『書物の容姿』
特装版
1999(平成11)
木口木版、紙
14.5×14.0×1.0書籍
13498 版画



284. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
ポール・ヴァレリー『書物の容姿』
1998(平成10)
木口木版、紙
15.8×14.5×2.2外箱
13499 版画



285. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
ZIPANGU
1999(平成11)
木口木版、紙
33.0×28.8×3.5
13500 版画



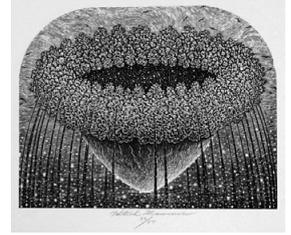
286. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
動物誌
1999(平成11)
木口木版、紙
16.5×20.1
13501 版画



287. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
SHIZUKU
1998(平成10)
木口木版、紙
12.0×15.5
13502 版画



288. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
泉
1999(平成11)
木口木版、紙
12.5×15.9
13503 版画



289. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
卯年挨拶状
1999(平成11)
木口木版、紙
6.3×11.7 シート
13504 版画



290. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
Freight
2000(平成12)
木口木版、紙
14.9×12.2
13505 版画



291. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
Edvard Munch
2001(平成13)
木口木版、紙
16.8×9.0
13506 版画



292. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
異説西遊記
2002(平成14)
木口木版、紙
25.3×14.3
13507 版画



293. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
三連星
2003(平成15)
木口木版、紙
12.4×9.7
13508 版画



294. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
puppet
2004(平成16)
木口木版、紙
10.0×17
13509 版画



295. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
sphinx I
2005(平成17)
木口木版、紙
4.9×7.5
13510 版画



296. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
sphinx II
2005(平成17)
木口木版、紙
7.5×6.3
13511 版画



297. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
sphinx III
2005(平成17)
木口木版、紙
8.5×5.5
13512 版画



298. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
Leda
2006(平成18)
木口木版、紙
12.5×17.5
13513 版画



299. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
肖像 XLVIII 岸田劉生 B
2007(平成19)
木口木版、紙
17.0×11.4
13514 版画



300. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
ORION
2008(平成20)
木口木版、紙
15.0×10.0
13515 版画



301. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
連星
2008(平成20)
木口木版、紙
11.9×8.0
13526 版画



302. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
螢
2009(平成21)
木口木版、紙
20.0×7.5
13516 版画



303. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
悲歌
2010(平成22)
木口木版、紙
29.5×7.5
13517 版画



304. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
波濤
2011(平成23)
木口木版、紙
10.0×20.0
13518 版画



305. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
ピュグマリオン
2012(平成24)
木口木版、紙
18.7×10.0
13519 版画



306. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
[エディションクラブ第15回記念
作品]
2012(平成24)
木口木版、紙
8.3×8.3
13520 版画



307. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
黒富士
2013(平成25)
木口木版、紙
15.7×10.5
13521 版画



308. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
野ばら
2014(平成26)
木口木版、紙
13.0×9.5
13522 版画



309. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
月映
2015(平成27)
木口木版、紙
10.0×15.2
13523 版画



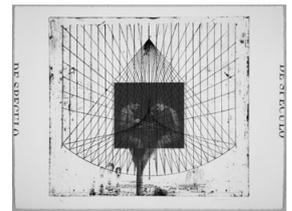
310. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
中将姫
2016(平成28)
木口木版、紙
14.0×9.5
13524 版画



311. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
肖像 XLIX マルティン・ショーン
ガウアー
2017(平成29)
木口木版、紙
14.5×36.5
13525 版画



312. 北川 健次 KITAGAWA Kenji
サン・シュルピスの見えない庭園ーギ
ザルドを巡る7つの意匠 1 SPECULO
ーあるいはスピノザの皮膚の破れ
1995(平成7)
銅版、紙
50.2×66.2
13600 版画



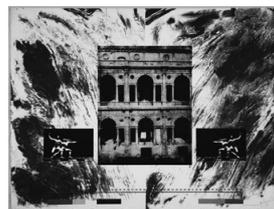
313. 北川 健次 KITAGAWA Kenji
サン・シュルピスの見えない庭園ーギ
ザルドを巡る7つの意匠 2 PALAISー
A CIGENCE
1995(平成7)
銅版、紙
50.2×66.2
13601 版画



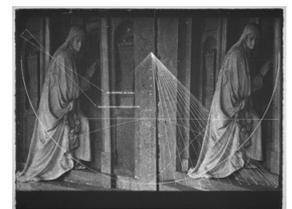
314. 北川 健次 KITAGAWA Kenji
サン・シュルピスの見えない庭園ーギ
ザルドを巡る7つの意匠 3
1995(平成7)
銅版、紙
50.2×66.2
13602 版画



315. 北川 健次 KITAGAWA Kenji
サン・シュルピスの見えない庭園ーギ
ザルドを巡る7つの意匠 4 バジリカの
走る雨
1995(平成7)
銅版、紙
50.2×66.2
13603 版画



316. 北川 健次 KITAGAWA Kenji
サン・シュルピスの見えない庭園ーギ
ザルドを巡る7つの意匠 5 逡巡する九
月ープラハ
1995(平成7)
銅版、紙
50.2×66.2
13604 版画



317. 北川 健次 KITAGAWA Kenji
サン・シュルピスの見えない庭園ーギザルドを巡る7つの意匠 6 ジレーネの沈黙
1995(平成7)
銅版、紙
50.2×66.2
13605 版画



318. 北川 健次 KITAGAWA Kenji
サン・シュルピスの見えない庭園ーギザルドを巡る7つの意匠 7 NIJINSKY または歩行の原理
1995(平成7)
銅版、紙
50.2×66.2
13606 版画



319. 北川 健次 KITAGAWA Kenji
クレオの不信 - あるいは「球体」について
1997(平成9)
ミクストメディア
42.5×33.0
13607 彫塑



320. 木村 秀樹 KIMURA Hideki
Misty Dutch 8
1997(平成9)
シルクスクリーン、紙
66.0×50.0
13608 版画



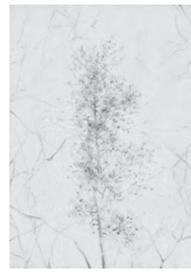
321. 木村 秀樹 KIMURA Hideki
Charcoal / Semicylindrical 1
2014(平成26)
シルクスクリーン、紙
42.0×59.5×7.0
13609 版画



322. 児玉 靖枝 KODAMA Yasue
気配一霞
2008(平成20)
油彩、キャンバス
27.2×27.2
13610 洋画



323. 児玉 靖枝 KODAMA Yasue
響み七
2010(平成22)
油彩、キャンバス
91.0×95.2
13611 洋画



324. 児玉 靖枝 KODAMA Yasue
深韻三十七
2010(平成22)
油彩、キャンバス
41.0×45.5
13612 洋画



325. 児玉 靖枝 KODAMA Yasue
深韻一花違え三
2015(平成27)
油彩、キャンバス
80.3×91.0
13613 洋画



326. 小林 敬生 KOBAYASHI Keisei
漂泊 No. 6
1981(昭和56)
木口木版、紙
37.0×34.7
13614 版画



327. 小林 敬生 KOBAYASHI Keisei
人
1983(昭和59)
木口木版、紙
18.2×14.1シート
13615 版画



328. 田中 朝子 TANAKA Asako
blanc 1
2001(平成13)
インクジェットプリント、木枠
44.5×44.5
13616 版画



329. 田中 朝子 TANAKA Asako
blanc 2
2001(平成13)
インクジェットプリント、木枠
50.0×44.5
13617 版画



330. 田中 朝子 TANAKA Asako
blanc (b)
2002(平成14)
インクジェットプリント、紙、木
50.0×44.5
13618 版画



331. 田中 朝子 TANAKA Asako
boox
2003(平成15)
アクリル箱
36.0×30.0
13619 版画



332. 田中 朝子 TANAKA Asako
sliced saucers
2004(平成16)
ミクストメディア
21.0×28.0×26.0
13620 彫塑



333. 田中 朝子 TANAKA Asako
sss
2005(平成17)
綿
14.2×15.0×0.5
13621 彫塑



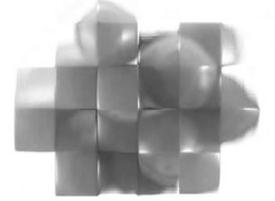
334. 田中 朝子 TANAKA Asako
a book with a bookmarks
(ART BOOK)
2006(平成18)
ミクストメディア
19.0×13.5×2.0
13622 彫塑



335. 田中 朝子 TANAKA Asako
bowl in a pool
2007(平成19)
ラムダプリント
80.0×80.0
13623 写真



336. 田中 朝子 TANAKA Asako
MOSAIC - muscut
2008(平成20)
ラムダプリント
50.0×60.0×1.0
13624 写真



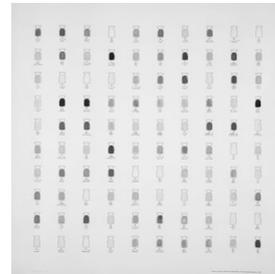
337. 田中 朝子 TANAKA Asako
trim -ø- a golden ratio something
2008(平成20)
ゼラチンシルバプリント
30.0×48.8
13625 写真



338. 田中 朝子 TANAKA Asako
100 colors (bottled)
2009(平成21)
ミクストメディア
17.5×17.5×4.0
13626 彫塑



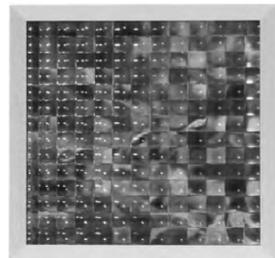
339. 田中 朝子 TANAKA Asako
12 colors_daidaiiro
2009(平成21)
ミクストメディア
12.0×10.3×1.5
13627 彫塑



340. 田中 朝子 TANAKA Asako
tanaka font
2009(平成21)
フォントデータ、紙
26.0×18.9×0.5
13628 その他



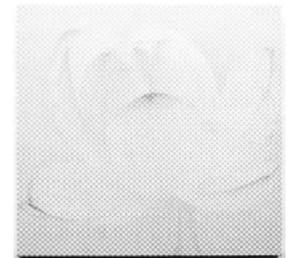
341. 田中 朝子 TANAKA Asako
wherever window 隣の庭 /no. 2
2010(平成22)
インクジェットプリント、木枠
20.0×20.0×5.0
13629 彫塑



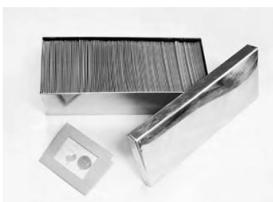
342. 田中 朝子 TANAKA Asako
ideal cornet
2012(平成24)
Cプリント
65.0×65.0×4.0
13630 写真



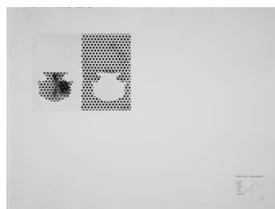
343. 田中 朝子 TANAKA Asako
lotus
2012(平成24)
シルクスクリーン、和紙、板
65.0×65.0
13631 版画



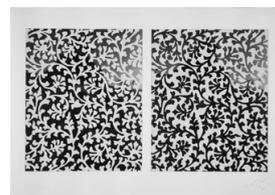
344. 田中 朝子 TANAKA Asako
travel - スペシャルエディション
2014(平成26)
写真、鉛
7.5×9.1
13632 写真



345. 中川 佳宣 NAKAGAWA Yoshinobu
farmer's pot - Oryza sativa L. Bolo
2000(平成12)
エッチング・シルクスクリーン、紙
63.0×91.0
13633 版画



346. 中川 佳宣 NAKAGAWA Yoshinobu
untitled (the sawer of arabesque)
2000(平成12)
オフセットリトグラフ、シルクスクリーン、
パターンカッティング、紙
63.0×91.0
13634 版画



347. 中川 佳宣 NAKAGAWA Yoshinobu
untitled (sample) #10
2000(平成12)
油彩、キャンバス、アクリル絵具、綿、ト
レーシング・ペーパー、蜜蝋、ガラス
16.0×16.0×3.0
13635 洋画



348. 中川 佳宣 NAKAGAWA Yoshinobu
untitled (harvested, fruit, fig)
2004(平成16)
アクリル絵具、写真、紙
71.0×65.5×1.5
13636 水彩・素描



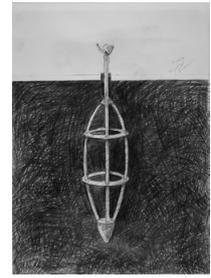
349. 中川 佳宣 NAKAGAWA Yoshinobu
surface of the water (Nov.) #6
2006(平成18)
綿、油彩、アクリル絵具、粉絵具、トレー
シングペーパー
27.5×35.0×5.5
13637 洋画



350. 中川 佳宣 NAKAGAWA Yoshinobu
untitled
2007(平成19)
鉛筆、紙
76.0×57.0
13638 水彩・素描



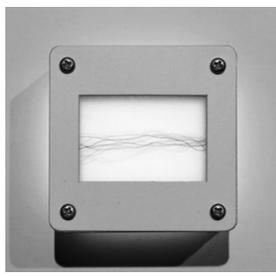
351. 中川 佳宣 NAKAGAWA Yoshinobu
untitled (the ground and the
earth)
2007(平成19)
鉛筆、紙
54.2×39.0
13639 水彩・素描



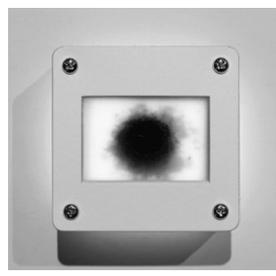
352. 中川 佳宣 NAKAGAWA Yoshinobu
combination - winter window
2015(平成27)
ミクストメディア
110.0×74.0×14.0
13640 洋画



353. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #001
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13641 写真



354. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #002
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13642 写真



355. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #003
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13643 写真



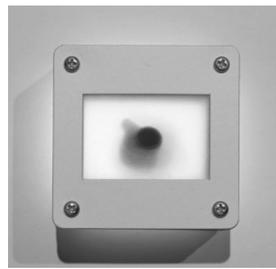
356. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #004
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13644 写真



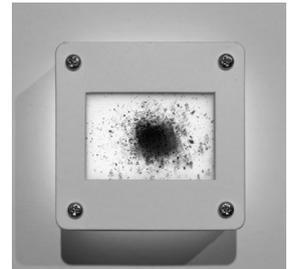
357. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #005
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13645 写真



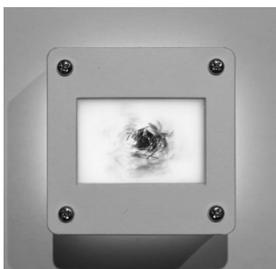
358. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #006
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13646 写真



359. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #007
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13647 写真



360. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #008
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13648 写真



361. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #009
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13649 写真



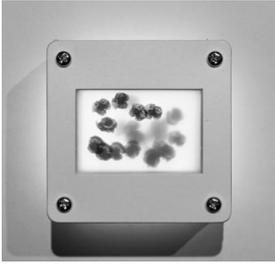
362. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #037
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13650 写真



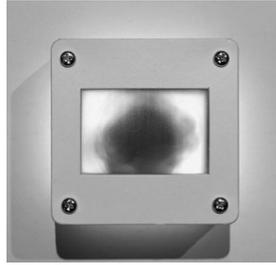
363. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #038
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13651 写真



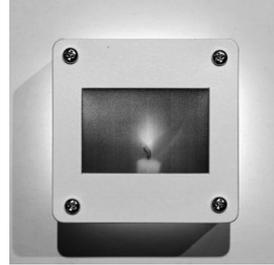
364. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #039
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13652 写真



365. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #040
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13653 写真



366. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #041
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13654 写真



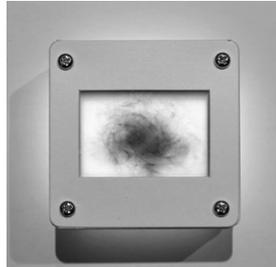
367. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #042
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13655 写真



368. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #043
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13656 写真



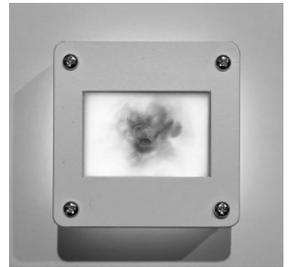
369. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #044
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13657 写真



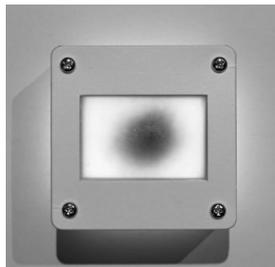
370. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #045
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13658 写真



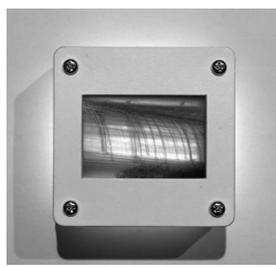
371. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #046
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13659 写真



372. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #047
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13660 写真



373. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #048
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13661 写真



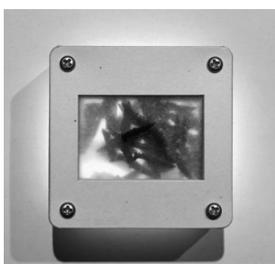
374. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #049
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13662 写真



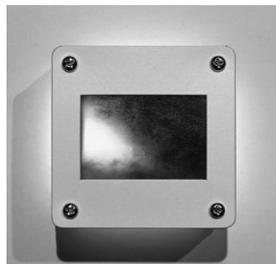
375. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #050
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13663 写真



376. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #051
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13664 写真



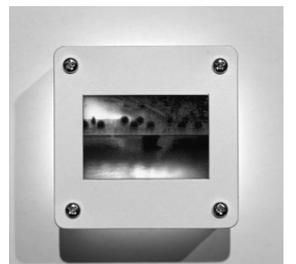
377. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #052
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13665 写真



378. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #053
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13666 写真



379. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #054
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13667 写真



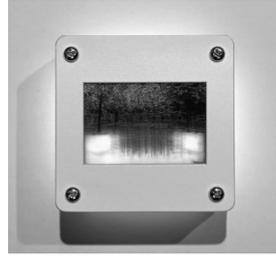
380.中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #073
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13668 写真



381.中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #074
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13669 写真



382.中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #075
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13670 写真



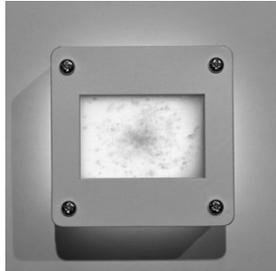
383.中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #076
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13671 写真



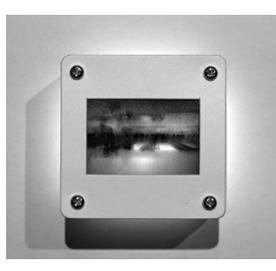
384.中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #077
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13672 写真



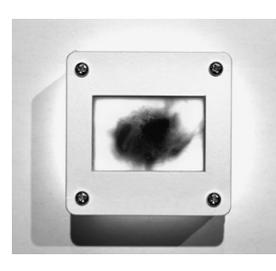
385.中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #078
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13673 写真



386.中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #079
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13674 写真



387.中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #080
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13675 写真



388.中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing #081
2004(平成16)
ミクストメディア
4.0×5.0×5.0
13676 写真



389.中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Silkscreen Drawing 1
2005(平成17)
シルクスクリーン、紙
各66.0×53.0(6点組)
13677 版画

1
13677-1



2
13677-2



3
13677-3



4
13677-4



5
13677-5



6
13677-6



390.中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Silkscreen Drawing 2

2005(平成17)
シルクスクリーン、紙
各49.0×38.0(6点組)
13678 版画

1
13678-1



2
13678-2



3
13678-3



4
13678-4



5
13678-5



6
13678-6



391.中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Silkscreen Drawing 3

2005(平成17)
シルクスクリーン、紙
各49.0×38.0(6点組)
13679 版画

1
13679-1



2
13679-2



3
13679-3



4
13679-4



5
13679-5



6
13679-6



392.中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Silkscreen Drawing 4

2005(平成17)
シルクスクリーン、紙
各34.0×24.9(3点組)
13680 版画

1
13680-1



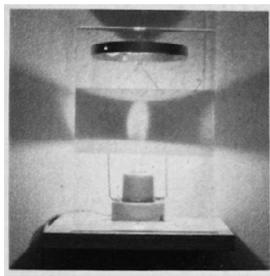
2
13680-2



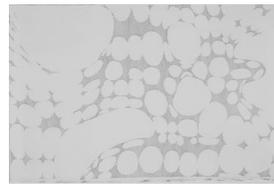
3
13680-3



393. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Layer Drawing - Lantern /
Candle 1
2008(平成20)
ミクストメディア
15.5×8.0×8.0
13681 写真



394. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Stripe Drawing - Halation
series
2008(平成20)
鉛筆、紙
18.5×28.5
13682 水彩・素描



395. 中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Stripe Drawing Book - 地中から
木もれ日へ
2008(平成20)
鉛筆、紙
各30.3×42.6(25シート)
13683 水彩・素描

1
13683-1



2
13683-2



3
13683-3



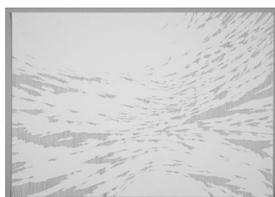
4
13683-4



5
13683-5



6
13683-6



7
13683-7



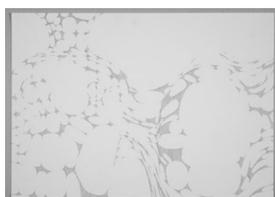
8
13683-8



9
13683-9



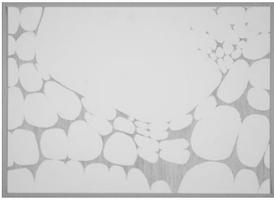
10
13683-10



11
13683-11



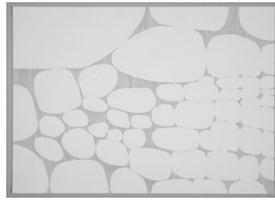
12
13683-12



13
13683-13



14
13683-14



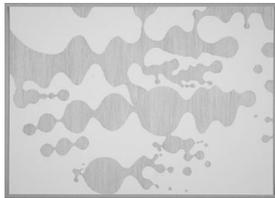
15
13683-15



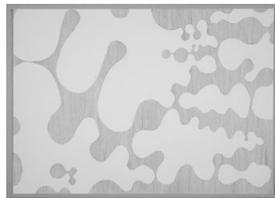
16
13683-16



17
13683-17



18
13683-18



19
13683-19



20
13683-20



21
13683-21



22
13683-22



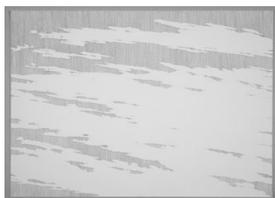
23
13683-23



24
13683-24



25
13683-25



396.中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Stripe Drawing Book
Luminous air
2008(平成20)
シルクスクリーン・レーザープリント、紙
29.7×42.0
13684 版画



397.中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
stripe drawing - Flow
2009(平成21)
鉛筆、紙
63.8×91.4
13685 水彩・素描



398.中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Stripe drawing on reflect mirror - Transgigartion
 2009(平成21)
 シルクスクリーン、鏡
 30.0×75.0
 13686 版画



399.中西 信洋 NAKANISHI Nobuhiro
Stripe drawing box - Saturation
 2011(平成23)
 エングレーヴィング、アクリル板
 13.0×13.0×13.0
 13687 彫塑



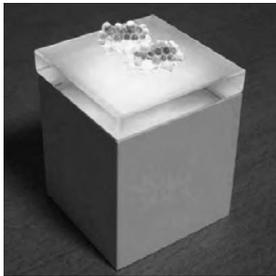
400.永沼 理善 NAGANUMA Tadayoshi
自重力 Little : "Hanei"
 2010(平成22)
 アルミ、合金、磁石ほか
 101.0×37.0×25.0
 13688 彫塑



401.名和 晃平 NAWA Kohei
under control
 1999(平成11)
 水性ボールペン、プリント合板
 90.0×60.0
 13689 洋画



402.名和 晃平 NAWA Kohei
PixCell - Tablet
 2002(平成14)
 ミクストメディア
 17.0×1.5×3.0
 13690 彫塑



403.名和 晃平 NAWA Kohei
PixCell [French Bread]
 2003(平成15)
 ミクストメディア
 84.2×10.8×10.8
 13691 彫塑



404.名和 晃平 NAWA Kohei
PixCell [Candle]
 2004(平成16)
 ミクストメディア
 25.5×21.0×18.0
 13692 彫塑



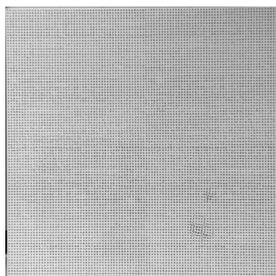
405.名和 晃平 NAWA Kohei
untitled
 2004(平成16)
 ボールペン、ベニア板
 45.0×45.0×1.5
 13693 洋画



406.名和 晃平 NAWA Kohei
untitled
 2004(平成16)
 アクリル絵具、紙
 79.0×79.0
 13694 洋画



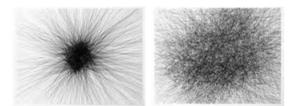
407.名和 晃平 NAWA Kohei
Dot - Fragment_D
 2008(平成20)
 ミクストメディア
 98.0×98.0
 13695 洋画



408.名和 晃平 NAWA Kohei
flora #18
 2013(平成25)
 ミクストメディア
 11.0×8.5×9.0
 13696 彫塑



409.名和 晃平 NAWA Kohei
Line - Random K
 2013(平成25)
 シルクスクリーン、紙
 各60.0×80.0(2点組)
 13697 版画



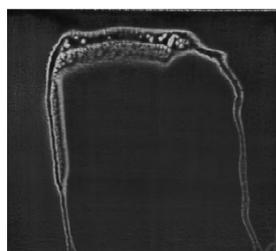
410.鑿の会 nominokai
博物誌
 1983(昭和58)
 木口木版、紙
 13.5×11.5シート
 13723 版画



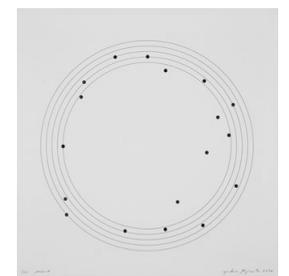
411.鑿の会 nominokai
『鑿』V号表紙
 1983(昭和58)
 木口木版・インク、紙
 35.3×25.5シート
 13724 資料



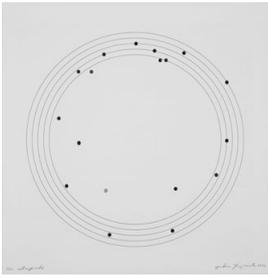
412.東島 毅 HIGASHIJIMA Tsuyoshi
Erbauer (gate II)
 2005(平成17)
 ペンキ、キャンパス
 32.4×28.2×5.0
 13698 洋画



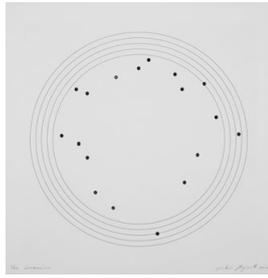
413.藤本 由紀夫 FUJIMOTO Yukio
THE MUSIC (Nomart Editions) / prime
 2012(平成24)
 シルクスクリーン、紙、ホログラムシート
 52.0×52.0×2.6
 13699 版画



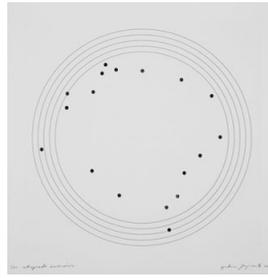
414. 藤本 由紀夫 FUJIMOTO Yukio
THE MUSIC(Nomart Editions)
/ retrograde
2012(平成24)
シルクスクリーン、紙、ホログラムシート
2.0×52.0×2.6
13700 版画



415. 藤本 由紀夫 FUJIMOTO Yukio
THE MUSIC (Nomart Editions)
/ inversion
2012(平成24)
シルクスクリーン、紙、ホログラムシート
52.0×52.0×2.6
13701 版画



416. 藤本 由紀夫 FUJIMOTO Yukio
THE MUSIC (Nomart Editions)
/ retrograde inversion
2012(平成24)
シルクスクリーン、紙、ホログラムシート
52.0×52.0×2.6
13702 版画



417. 藤本 由紀夫 FUJIMOTO Yukio
THE MUSIC (Nomart Editions)
/ mix
2012(平成24)
シルクスクリーン、紙、ホログラムシート
52.0×52.0×2.6
13703 版画



418. 北城 貴子 HOJO Takako
Tremolo 19
2005(平成17)
油彩、キャンバス
182.0×227.3
13704 洋画



419. 北城 貴子 HOJO Takako
かれがくる 4
2007(平成19)
油彩、キャンバス
130.3×162.0
13705 洋画



420. 三宅 砂織 MIYAKE Saori
気球
2003(平成15)
シルクスクリーン、ガラス
45.0×50.0
13706 版画



421. 三宅 砂織 MIYAKE Saori
少女たち
2003(平成15)
シルクスクリーン、ガラス
45.0×50.0
13707 版画



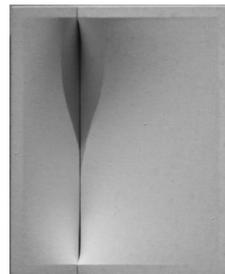
422. 三宅 砂織 MIYAKE Saori
つま先
2003(平成15)
シルクスクリーン、ガラス
45.0×50.0
13708 版画



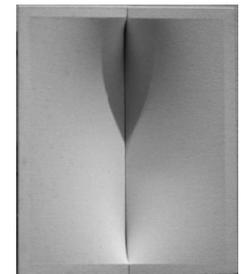
423. 三宅 砂織 MIYAKE Saori
鳥
2003(平成15)
シルクスクリーン、ガラス
45.0×50.0
13709 版画



424. 渡辺 信子 WATANABE Nobuko
Opus 1-1
2002(平成14)
布
25.0×20.0×5.0
13710 洋画



425. 渡辺 信子 WATANABE Nobuko
Opus 1-2
2002(平成14)
布
25.0×20.0×5.0
13711 洋画



426. 渡辺 信子 WATANABE Nobuko
Opus 1-3
2002(平成14)
布
25.0×20.0×5.0
13712 洋画



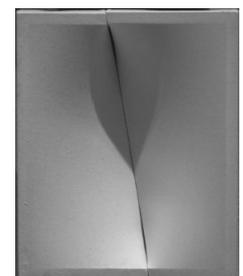
427. 渡辺 信子 WATANABE Nobuko
Opus 1-4
2002(平成14)
布
25.0×20.0×5.0
13713 洋画



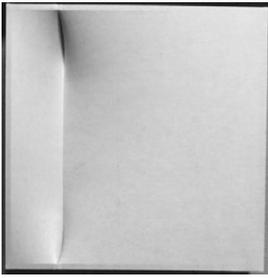
428. 渡辺 信子 WATANABE Nobuko
Opus 1-5
2002(平成14)
布
25.0×20.0×5.0
13714 洋画



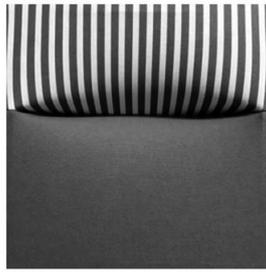
429. 渡辺 信子 WATANABE Nobuko
Opus 1-6
2002(平成14)
布
25.0×20.0×5.0
13715 洋画



430. 渡辺 信子 WATANABE Nobuko
White and White
2002(平成14)
布
50.0×50.0
13716 洋画



431. 渡辺 信子 WATANABE Nobuko
Green and Green - Stripe
2002(平成14)
布
30.0×30.0
13717 洋画



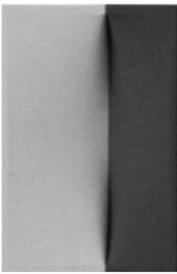
432. 渡辺 信子 WATANABE Nobuko
Triangle - Blue
2014(平成26)
布
37.5×50.0×7.0
13718 洋画



433. 渡辺 信子 WATANABE Nobuko
Sky blue and Olive green
2014(平成26)
布
30.0×20.0×5.0
13719 洋画



434. 渡辺 信子 WATANABE Nobuko
Orange and Yellow red
2014(平成26)
布
30.0×20.0×5.0
13720 洋画



435. 渡辺 信子 WATANABE Nobuko
Yellow and Wine red
2014(平成26)
布
30.0×20.0×5.0
13721 洋画



436. 渡辺 信子 WATANABE Nobuko
drawing (3)
2014(平成26)
色鉛筆、紙
32.0×24.0
13722 水彩・素描



2 図書資料収集

・2023 年度収蔵図書資料 (購入)

逐次刊行物 10 タイトル 49 冊

(内訳)

1	イラストレーション	4 冊
2	近代画説	1 冊
3	芸術新潮	12 冊
4	新建築	12 冊
5	版画芸術	3 冊
6	美術研究	3 冊
7	美術手帖	4 冊
8	美術フォーラム 21	2 冊
9	+81	2 冊
10	炎芸術	4 冊

単行本 3 タイトル 7 冊

(内訳)

1	柳宗悦	『リーチ An English artist in Japan』	田中松太郎	1920
2	国立近代美術館	『Kuniyoshi』	美術出版社	1954
3-7	武満徹	『武満徹著作集』 1-5	新潮社	2000

ギャラリー・グラフィカ旧蔵図書 30 冊

(内訳)

1		<i>The Graphic Work of Käthe Kollwitz</i>	Galerie St. Etienne	1913
2	Louis Godefroy	<i>L'Oeuvre Gravé de Jean-Émile Laboureur</i>	Chez l'Auteur	1929
3	Jacques Dupin	<i>Miró: Leben und Werk</i>	Verlag M. DuMont Schauberg Koln	1961
4	Willi Kurth	<i>The Complete Woodcuts of Albrecht Dürer</i>	Dover Publications, Inc.	1963
5	Walter Koschatzky	<i>Friedensreich Hundertwasser: Catalogue Raisonné de l'Oeuvre Gravé, 1951-1986</i>	Office du Livre	1968
6	Walter Vitzthum, Maurizio Calvesi	<i>Jacques Callot: Incisioni</i>	La Nuova Italia, 1971	
7	Walter L. Strauss	<i>The Complete Engravings, Etchings & Drypoints of Albrecht Dürer</i>	Dover Publications, Inc.	1972
8	Michel Leiris	<i>Joan Miró: Lithographe I 1930-1952</i>	A.C. Mazo & Cie	1972
9	Hans M. Wingler, Friedrich Welz	<i>Oskar Kokoschka: Das Druckgraphische Werk 1975-1980</i>	Verlag Galerie Welz	1975
10	Raymond Queneau	<i>Joan Miró: Lithographe II 1953-1963</i>	Maeght Editeur	1975
11	Joan Teixidor	<i>Joan Miró: Lithographe III 1964-1969</i>	Maeght Editeur	1976
12-16	マルク・シャガール、ジュリアン・カーン、フェルナン・ムルロ	『シャガール石版画全集』 1-5	出版 21 世紀	1978
17	Nicolas et Elena Calas	<i>Joan Miró: Lithographe IV, 1969-1972</i>	Maeght Editeur	1981
18	Hans M. Wingler, Friedrich Welz	<i>Oskar Kokoschka: Das druckgraphische Werk II 1975-1980</i>	Verlag Galerie Welz	1981
19	Charles Sorlier	<i>Chagall lithographe V 1974-1979</i>	Editions Andre Sauret	1984
20		<i>Etchings by Rembrandt from the Collection of Felix Somary</i>	Publisher Unknown	1985
21	Charles Sorlier	<i>Chagall lithographe VI 1980-1985</i>	Editions Andre Sauret	1986
22	Patrick Cramer	<i>Joan Miró: Lithographe V 1972-1975</i>	Maeght Editeur	1992
23	Patrick Cramer	<i>Joan Miró: Lithographe VI 1976-1981</i>	Maeght Editeur	1992
24	Solomon R. Guggenheim Museum	<i>Oskar Kokoschka: Works on Paper: The Early Years, 1897-1917</i>	The Solomon R. Guggenheim Museum	1994
25	Musée du Petit Palais	<i>Albrecht Dürer: Oeuvre gravé</i>	Paris Musees	1996
26		<i>Dürer: Das druckgraphische Werk - Kupferstiche, Eisenradierungen und Kaltnadelblätter I</i>	PRESTEL	2001
27		<i>Dürer: Das druckgraphische Werk - Holzschnitte und Holzschnittfolgen II</i>	PRESTEL	2002
28	Giulia Bartrum	<i>Albrecht Dürer and His Legacy: The Graphic Work of a Renaissance Artist</i>	The British Museum Press	2002
29		<i>Dürer: Das druckgraphische Werk - Buchillustrationen III</i>	PRESTEL	2004
30	Nancy Bialler, et al.	<i>A Collection of Etchings by Rembrandt Harmensz van Rijn (1606-1669)</i>	Sotheby's	publication date unknown

作品・資料の保存・管理・貸出

1 作品・資料の管理

- ・展示、貸出の機会にあわせて継続的に所蔵品の状態を調査し、保存上の対策を必要とする作品については、マットや保存用紙、額の変更・交換を中心に処置を進めた。
- ・新収蔵作品を中心に写真撮影を行った。

2 作品・資料の保存環境の整備

- ・展示室、収蔵庫等作品保管区画の温湿度観察を継続した。
- ・展示替え期間に、展示室、展示資料倉庫、作業室等の塩化ベンザルコニウムによる拭き掃除を実施。
- ・IPM（総合有害生物管理）の一環として、外部の専門家に委託してトラップによるモニタリングを館内98箇所では4回実施（6月、9月、12月、2024年3月）。常に調査すべき16箇所では8回実施（4月、5月、7月、8月、10月、11月、2024年1月、2月）。
- ・収蔵庫・展示室・展示ケース内のホルムアルデヒド・酢酸・蟻酸を測定する空気環境測定を実施（6月、11月の2回）。
- ・展示室等のブンガノンによる燻蒸を実施（1階・2階・地下 2024年3月）。
- ・収蔵庫・展示室など22箇所をエアサンプラーにより採取、培養検査を行う空中浮遊菌調査を実施（11月）。
- ・収蔵庫、一時保管庫の棚・マップケースを増設（4月）。
- ・エレベーター改修工事のため、一時保管庫内のすべて作品、収蔵庫1内の一部の作品を展示室等へ移動（12月）、工事後再移動（2024年3月）。

3 作品・資料の保存修復

館外の保存修復専門家による状態調査を実施・記録し、修復が必要と判断された作品のうち、優先順位の高いものについて処置を実施した。

〈紙本〉

- 1 石垣栄太郎《ハーレム裁判所のための壁画画稿 I（アフリカにおける奴隷狩り）》1935–37(昭和10–12)年頃 木炭、紙、パネル(2面)
主な処置内容:補修、裏打ち準備を実施した。
処置者:坂本雅美、鏡将人
- 2 石垣栄太郎《ハーレム裁判所のための壁画画稿 II（アメリカ独立革命）》1935–37(昭和10–12)年頃 木炭、紙、パネル(2面)
主な処置内容:補修、裏打ち準備、うち1面の裏打ち(補紙の染色を和歌山工業高等学校の協力により実施)を実施した。
処置者:坂本雅美、鏡将人、杉山恵助

〈立体〉

- 1 奈良美智《どんまいQちゃん》1993年 木、彩色 123.0×37.5×43.5cm
主な処置内容:作品のドライクリーニング、しみ・黴・付着物などの除去、および除去跡の補彩、防黴処置、彩色層浮き上がりの加熱変形修正・膠による接着、剥落部の充填補彩を実施した。
処置者:修復研究所21 宮崎安章 協力:大阪中之島美術館
- 2 名和晃平《PixCell-Sheep》2002年 ミクストメディア 180.0×60.0×124.0cm
主な修復内容:台座の交換を実施した。
処置者:作者(株式会社 SANDWICH)

〈洋画〉

- 1 フランク・ステラ《ラッカ III》1968年 アクリル絵具、綿キャンバス 304.0×760.0×7.5cm
主な処置内容:1994年からエントランスに展示していたのを、エレベーター改修工事に伴い降ろした機会に、修復家による状態調査を行った。側面の塵埃をケミカルスポンジと刷毛でドライクリーニングした。画面および裏面の

塵埃は柔らかい刷毛と弱いバキュームで除去し、画布・絵具表面に付着した繊維をピンセットで除去。木枠をエタノールで殺菌した。

処置者:村松裕美

- 2 高橋秀《APOCALISSE 黙示録》1979–80年 アクリル絵具、キャンバス 201.0×339.7cm

主な処置内容:画面の塵埃を柔らかい刷毛と弱いバキュームで除去した。

処置および指導:村松裕美

4 作品・資料のデータ管理・公開

- ・新政策「和歌山博物館施設デジタル化計画事業」

和歌山県立近代美術館、和歌山県立博物館、和歌山県立紀伊風土記の丘の3館がそれぞれ、収蔵品・資料データベースを各館のウェブサイトで公開するとともに、3館の資料を横断的に検索できるシステムと各館の活動を紹介するポータルサイトを設置する、2022–2024年度の3か年継続事業の2年目。

当館は、全作品の約12,000点の文字データを2022年度に公開し、2023年末までに画像約4,500点分を公開した。また所蔵作品画像の貸出について、著作権が切れたものについてはフリー利用可とし、情報公開を推進するようとした（出版等の利用では高解像度画像の提供を個別に対応）。データベースの検索機能については、所蔵資料への切り口を多面的にするため、2023年度は新規に「地図から見る」「年表から見る」のコンテンツを追加した。県内市町村立館や私立館にも本サイトへの参加を促し、和歌山県の文化財情報を集約的に紹介できる場として観光行政にも効率的に接続できるようにするべく、2024年度中に県内館への周知の機会を設けることを目指して、準備を進めた。

- ・新収蔵作品目録を年報に掲載した。

5 作品・資料の貸出

下記14件の展覧会に作品および資料273点の貸付を行った。（展覧会名、会期、貸出先、作家名《作品名》、制作年、所蔵註記の順に記載）

1. 佐伯祐三—自画像としての風景

2023年1月21日–4月2日 東京ステーションギャラリー

2023年4月15日–6月25日 大阪中之島美術館

- 佐伯祐三《自画像》1919頃
- 佐伯祐三《帽子をかぶる自画像》1922
- 佐伯祐三《オワーズ河周辺風景》1924
- 佐伯祐三《広告のある門》1925
- 佐伯祐三《レ・ジュ・ド・ノエル》1925
- 佐伯祐三《リュ・デュ・シャトーの歩道》1925
- 佐伯祐三《パリの街角》1925
- 佐伯祐三《ポスターとローソク立て》1925頃
- 佐伯祐三《下落合風景》1926頃
- 佐伯祐三《男の顔（K氏の像）》1927
- 佐伯祐三《オブセルヴァトワール附近》1927
- 佐伯祐三《モラン風景》1928

計12点

2. スペインのイメージ：版画を通じて写し伝わるすがた

2023年7月4日–9月3日 国立西洋美術館

パブロ・ピカソ《泣く女》1937

アントニ・クラベ《神が彼女を許したまわんことを》1966

計2点

3. 「前衛」写真の精神 なんでもないものの変容 瀧口修造・阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄

2023年4月8日-5月21日 千葉市美術館
2023年6月3日-7月17日 富山県美術館
2023年7月29日-9月24日 新潟市美術館
2023年12月2日-2024年2月4日 渋谷区立松濤美術館

『フォトタイムス』1934年1月号 11巻1号
『フォトタイムス』1938年2月号 15巻2号
『フォトタイムス』1938年3月号 15巻3号
『フォトタイムス』1938年5月号 15巻5号
『フォトタイムス』1938年7月号 15巻7号
『フォトタイムス』1938年8月号 15巻8号
『フォトタイムス』1938年9月号 15巻9号
『フォトタイムス』1938年10月号 15巻10号
『フォトタイムス』1938年11月号 15巻11号
『フォトタイムス』1939年1月号 16巻1号
『フォトタイムス』1939年2月号 16巻2号
『フォトタイムス』1939年3月号 16巻3号
『フォトタイムス』1939年4月号 16巻4号
『フォトタイムス』1939年5月号 16巻5号
『フォトタイムス』1939年6月号 16巻6号
『フォトタイムス』1939年7月号 16巻7号
『フォトタイムス』1939年9月号 16巻9号
『フォトタイムス』1939年11月号 16巻11号
『フォトタイムス』1939年12月号 16巻12号
『フォトタイムス』1940年1月号 17巻1号
『フォトタイムス』1940年2月号 17巻2号
『フォトタイムス』1940年3月号 17巻3号
『フォトタイムス』1940年4月号 17巻4号
『フォトタイムス』1940年5月号 17巻5号
『フォトタイムス』1940年6月号 17巻6号
『フォトタイムス』1940年7月号 17巻7号
『フォトタイムス』1940年8月号 17巻8号
『フォトタイムス』1940年9月号 17巻9号
計28点

4. 妻木良三 侵食する風景

2023年4月15日-6月18日 熊野古道なかへち美術館

妻木良三《境界II》2009-11
妻木良三《境界E-II》2011
計2点

5. デザインに恋したアート・アートに嫉妬したデザイン

2023年4月15日-6月18日 大阪中之島美術館

奈良美智《どんまいQちゃん》1993
奈良美智《どんまいQちゃんのためのドローイング》1993
今村源《ネガシタ》1994
藤浩志《ポリ・クラフト（トートバッグ）》2000
名和晃平《PixCell-Sheep》2002
パラモデル《極楽百景-第八景-新世界 パーク温泉》2007
パラモデル《極楽百景-第八景-新世界 八重勝 ニュー配達》2007
パラモデル《トミ串》2007（8点）
山添潤《魂のかたち（amabiki 2008）》2008
計16点

6. とびたつとき 池田満寿夫とデモクラートの作家

（当館での会期：2023年2月4日-4月9日）

2023年4月30日-6月18日 宇都宮美術館
2023年9月9日-11月5日 長野県立美術館
2024年1月20日-3月17日 広島市現代美術館

*宇都宮美術館、長野県立美術館、広島市現代美術館での巡回にあたり各会場で作品点検を実施

齋嘔《悲劇よりもより悲痛なるもの静寂》1953
齋嘔《鉄骨とクレーンと人と》1954
齋嘔《雲のかげ》1955
齋嘔《雲と太陽》1955
齋嘔《田園》1956
齋嘔《田園に横たわる人々》1956
齋嘔《女（1）》1956
齋嘔《ジャイアンツ》1957
齋嘔《ラブ・スネーク》1957
齋嘔《中間子炉》1957
齋嘔《鉄骨》1957
齋嘔《鉄骨・ウィンチ・2人》1957
齋嘔《コニーアイランド》1960
齋嘔《地下鉄》1960
齋嘔《Animated Rainbow, What's in a Jump?》1966
池田満寿夫《骨を持つ人（C）》1955
池田満寿夫《埋葬》1957
池田満寿夫《夜明けの窓》1957
池田満寿夫《月に吠える》1957
池田満寿夫《表面A》1957
池田満寿夫《案内状のためのデザイン》1958
池田満寿夫《わたしの処女 No.10》1958
泉茂《昇天》1953
泉茂《ブラッククリスマス》1953
泉茂《浮遊》1954
泉茂《かざぐるま夜話》1954
泉茂《さまよえるオランダ人》1954
泉茂《ノースモーキング [第2ステート]》1954
泉茂《リンゴ物語》1954
泉茂《回想の幼年期》1954
泉茂《待機 [別題：離別]》1954
泉茂《走れメロス》1954
泉茂《深夜のセロ弾き》1954
泉茂《廃人》1954
泉茂《太陽の家族 [別題：流浪ノ旅]》1955
泉茂《上海帰りのリル [第2ステート]》1955
泉茂《目》1955
泉茂《タイマー》1955
泉茂《インディアン》1956
泉茂《ささやかな不安 [第2ステート]》1956
泉茂《少年》1956
泉茂《Japanese Folk Dance》1957
泉茂《しゃも》1957
泉茂《セレナード》1957
泉茂《漂流》1957
泉茂《鬮鶏》1957
泉茂《雷蝶》1957
泉茂《七面鳥》1958
泉茂《春》1958
泉茂《対決 [別題：決闘]》1958
泉茂《難民》1959
泉茂《そよ風》1960
泉茂《池》1960
泉茂《層》1961
泉茂《BS5013》1963
泉茂《流れ》1965
磯辺行久《パイロットの夢》1956

磯辺行久《鳥》1957
磯辺行久《夜通し歩くこと》1959
磯辺行久《無題》1960
磯辺行久《無題》1961
磯辺行久《WORK 62-12》1962
磯辺行久《ワッペン》1964
磯辺行久《ワッペン》1965
瑛九《犬と女》1950
瑛九《愛撫》1951
瑛九《ゴースト》1953
瑛九《人魚の恋》1953
瑛九《いたずら》1956
瑛九《自転車》1956
瑛九《林の会話》1956
瑛九《街の灯》1956
瑛九《春のおとずれ》1957
瑛九《ペリカン》1957
瑛九《夜の白》1957
瑛九《旅人》1957
瑛九《旅人 [墨刷]》1957
瑛九《指》1957
瑛九《拡声器 [墨刷]》1957
瑛九《鳥のソナタ》1957
瑛九《鳥のピアノ》1957
瑛九《小鳥の誘い》1957
瑛九《雲》1957
加藤正《空ろなる真昼 (王国)》1951
加藤正《朝》1953
加藤正《愛しあっている二人は殺された (ローゼンバーグ夫妻に捧ぐ)》1953
加藤正「第2回「デモクラート美術展」ポスター」1953
加藤正《夜の記憶》1957
加藤正《風の塔》1957
加藤正《風が止まった》1957
加藤正《街に夕日が落ちる》1957
加藤正《ヘパイスの人形》1958
加藤正《聖者が街にやって来た》1958
加藤正《都市の残光》1958
利根山光人《うたごえ》1954
利根山光人《舞台の人》1954
利根山光人《蛾》1955
利根山光人《射撃風景A》1956
利根山光人《弾道》1956
利根山光人《子どものいる風景》1957
利根山光人《シグナル》1958
船井裕《エスキス》1955
船井裕《顔》1955
船井裕《小さなデモン》1956
船井裕《夜》1956
船井裕《花を守る人々》1956
船井裕《CHILD & SPELL》1957
船井裕《鳥寄せ》1957
船井裕《CHILD & SPELL》1958
船井裕《化石》1959
船井裕《夜》1961
船井裕《Something Always Happens》1963
船井裕《ANGLE》1966
吉原英雄《たわむれ》1956
吉原英雄《ひまわり》1956
吉原英雄《トランペット》1956
吉原英雄《水族館》1956
吉原英雄《木の中の鳥》1956
吉原英雄《鳥人》1956
吉原英雄《火の鳥》1957
吉原英雄《ボンゴのおどり》1959

吉原英雄《リトグラフ・レッド》1962
吉原英雄《リトグラフ・グレー・グリーン》1962
吉原英雄《出会い3》1964
吉原英雄《出来事II》1966
計125点

7. 前衛陶芸の誕生 走泥社とその時代—結成前夜から1973年まで—

2023年7月19日-9月24日 京都国立近代美術館
2023年12月19日-2024年2月18日 岐阜県美術館
2024年2月27日-4月7日 岡山県立美術館
2024年4月20日-9月1日 菊池寛実記念 智美術館 [次年度]

川上力三《面相》1964
川上力三《偽証》1966
林秀行《箱の中の輪違い》1968
林秀行《三つの形》1970
林康夫《作品-51-2》1951
林康夫《ホットケーキ》1971
三浦省吾《作品》1951
森野泰明《WORK 61-1》1961
山田光《声》1959
山田光《陶壁》1969
計10点

8. 野長瀬晩花と国画創作協会の画家たち

2023年10月7日-12月3日 田辺市立美術館

小野竹喬《春浅き海辺》1918
榊原紫峰《松に栗鼠》1919頃
野長瀬晩花《門づけ》1916
野長瀬晩花《舞妓図》1916頃
野長瀬晩花《三味線を弾く女》1917
野長瀬晩花《[都をどり]》1917
野長瀬晩花《夢ばかり見てゐる男》1950
秦テルヲ《安来節の女たち》1916頃
計8点

9. 開館60年記念展 京都画壇の青春—栖鳳、松園につづく新世代たち

2023年10月13日-12月10日 京都国立近代美術館

土田麦僊《梅ヶ畑村》1915
野長瀬晩花《被布着たる少女》1911
野長瀬晩花《島の女》1916
計3点

10. 生誕850年記念特別展 紀州・明恵上人伝

2023年10月14日-11月26日 和歌山県立博物館

安田鞆彦《明恵上人》制作年不詳
計1点

11. 芥川龍之介と美の世界 二人の先達—夏目漱石、菅虎雄

2023年10月28日-2024年1月28日 久留米市美術館
2024年2月10日-4月7日 神奈川県立近代美術館 葉山
*貸出は久留米市美術館のみ

石井柏亭《滞船》1913
計1点

12. シュルレアリスムと日本

2023年12月16日–2024年2月4日 京都府京都市文化博物館
2024年3月2日–4月14日 板橋区立美術館
2024年4月27日–6月30日 三重県立美術館 [次年度]
高井貞二《煙》1933
計1点

13. 藤島武二没後 80 年 鹿子木孟郎生誕 150 年 洋画の青春 —明治期・三重の若き画家たち

2024年1月27日–4月14日 三重県立美術館
鹿子木孟郎《パイプを持つ男》1906
計1点

14. 版画の青春 小野忠重と版画運動

2024年2月27日–5月31日 町田市立国際版画美術館
*特別協力

伊藤健之典《古小鳥》1941
伊藤健之典《光芒》1941
宇治山哲平《段々島と無花果》1936
宇治山哲平《裸木と山》1936
大久保一《陸橋》1932
大久保一《奉天浪速通風景》1932
大久保一《車軸の折れた馬車（鉄西風景）》1933
大久保一《[風影]》1933
大久保一《室内》1940
小野忠重《死を廻る人々》1933
柴秀夫《少女》1932
柴秀夫《公園》1934
柴秀夫《横向きの男[左向きの男]》1931
柴秀夫《男[肖像男 正面]》1931
清水正博《ヴァリエテ（サーカス）》1933
清水正博《都会風景》1933
清水正博《酒場》1933
清水正博《巡航船》1934
清水正博《伊豆風景》1935
清水正博《出発》1937
清水正博《隆》1941
杉本義夫《海女》1932
武田由平《風景》1932
武田由平《病院》制作年不詳
谷口薫美《董美》《鉄橋》1933
新田穰《勝浦風景》1932
畑野織蔵《風景》1936頃
畑野織蔵《早春》1936
畑野織蔵《海景》1941頃
畑野織蔵《晩秋》制作年不詳
畑野織蔵《ゆめ》1949頃
水船六洲「新版画第2回展ポスター」1933
水船六洲《裸婦》1939
吉田正三《鐘紡裏》1932
吉田正三「新版画集団第3回展ポスター」1933
「新版画集団第二回展覧会出品目録」1933年3月
「東京 新版画集団展覧会出品目録」1933年7月
「新版画集団第三回展覧会出品目録」1933年11月
「新版画集団小品展覧会目録」1934年4月
「第1回版画アンデパンダン展覧会」案内ハガキ 1934年6月
「第一回版画アンデパンダン展覧会目録」1934年6月
「江戸・東京風景版画展」案内ハガキ 1934年7月
「江戸・東京風景版画展・東京の部目録」1934年7月
「エノケンとその一座を廻る版画展」後期・出品目録 1934年9月–10月
「新版画集団小品展覧会出品目録」1935年5月

「新版画集団解散挨拶状」1936年12月
「造型版画協会設立に就いて」挨拶状 1937年3月
「造型版画協会第2回展ポスター」1938年
「造型版画協会第二回展目録」1938年4月–5月
「造型版画協会第三回展目録」1939年5月–6月
「造型版画協会第五回展目録」1941年4月
「造型版画協会第七回展覧会出品目録」1943年4月
『新版画』3（表紙：吉田正三）1932年8月
『新版画』4（表紙：藤牧義夫）1932年9月
『新版画』6「国立公園特輯号」（表紙：作者不詳）1932年11月
『新版画』7「演劇と映画特輯号」（表紙：柴秀夫）1933年1月
『新版画』9「一周年記念号」（表紙：佐伯留守夫）1933年6月
『新版画』10「第3回展覧会開催記念号」1933年10月
『新版画』12「第4回展覧記念号」（表紙：武藤六郎）1934年4月
『新版画』13「東京風景特輯号」（表紙：吉田正三）1934年7月
『新版画』14（表紙：藤牧義夫）1934年11月
『新版画』16「都市貫流特輯号」（表紙：清水正博）1935年4月
『新版画』18「『新版画』展覧会特別号」1935年12月
計63点

普及事業

展覧会にあわせてレクチャー等を行うほか、学校との連携や団体鑑賞の受け入れに取り組んだ。

1 学校教育関連

1 学校・団体鑑賞の受入

・団体での来館数 2023年4月～2024年3月

団体種別	美術館による対応有		自由鑑賞	
	件数	のべ人数	件数	のべ人数
一般	15件	318名	3件	69名
教員	20件	341名	0件	0名
大学	13件	182名	12件	213名
高等学校	12件	298名	2件	129名
中学校	11件	295名	3件	96名
小学校	21件	1,422名	1件	30名
幼稚園	0件	0名	0件	0名
その他(専門学校など)	0件	0名	1件	85名
計	92件	2,856名	22件	622名
総計		114件 3,478名		

2 学校・教員等と連携した事業

施設利用の浸透を図り、学校教育との連携を深め、団体での来館に際して事前に要望のあった場合には担当者・教員との打ち合わせを行い、必要に応じて鑑賞用補助プリントを作成するなどの活動を行った。

・和歌山美術館教育研究会

2011年度より、学校教育との連携強化を目的とした研究会を継続して開催している。2023年は、計9回(105回～113回)の会合を持った。夏季休暇中に開催する展覧会「なつやすみの美術館」に関して、教員たちと協力しながらのワークシート作成(2013年度より)を、その活動の中心としている。ワークシートは休暇中の宿題にもつながり、和歌山市内のほとんどの中学校からの来館があったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響による中断の後、未だ以前の来館者数にまで回復できていない。

開催記録:

105回 2023年4月22日(土)11名/106回 5月20日(土)12名/107回 6月3日(土)8名/108回 6月24日(土)11名/109回 7月8日(土)10名/110回 7月15日(土)9名/111回 9月2日(土)10名/112回 11月11日(土)8名/113回 12月23日(土)7名

いずれも和歌山県立近代美術館にて

・和歌山市中学校教科等別研修会(美術科)の受け入れ

開催に協力し、意見交換等を行った。

2023年4月26日(水)和歌山県立近代美術館にて 20名

・県立中学校教職員研修会の受け入れ

開催に協力し、講義・鑑賞実習をするとともに意見交換等を行った。

2023年8月1日(火)和歌山県立近代美術館にて 45名

・和歌山市小学校図工教育研究会・夏季鑑賞研修の受け入れ

開催に協力し、講義・鑑賞実習をするとともに意見交換等を行った。

2023年8月8日(水)和歌山県立近代美術館にて 18名

・泉南市美育協会研修の受け入れ

開催に協力し、講義・鑑賞実習をするとともに意見交換等を行った。

2023年8月8日(水)和歌山県立近代美術館にて 20名/9月19日(火)*オンライン開催

・第62回社会教育研究全国集会博物館分科会の受け入れ

開催に協力し、事例発表をするとともに意見交換等を行った。

2023年8月20日(日)和歌山県立近代美術館にて 21名

・令和5年度 学校と美術館との連携による鑑賞教育研修

開催に協力し、事例発表をするとともに意見交換等を行った。

2023年10月17日(火)和歌山県立近代美術館にて 30名

・和歌山市立芦原小学校教員研修の受け入れ

開催に協力し、講義・鑑賞実習をするとともに意見交換等を行った。

2023年11月24日(金)和歌山県立近代美術館にて 11名

・和歌山大学教育学部の学芸員資格取得に関する一部開設授業科目への協力

2023年9月22日(金)和歌山県立近代美術館にて「博物館展示論講義」講義を実施 55名

2023年12月24日(日)和歌山大学にて「博物館資料保存論」講義を担当 25名

・和歌山県歴史教育者協議会への参加協力

2023年4月20日(木)*オンラインのみ 第1回例会

2023年5月19日(金)和歌山県立近代美術館にて 第2回例会

2023年6月22日(木)和歌山県立近代美術館にて 第3回例会

2023年10月21日(土)和歌山県立近代美術館にて 第4回例会

2024年1月28日(日)和歌山大学附属中学校にて 県大会

・県立学校長会、県立中学校教頭会、市町村教育長会、指導主事会などの研修を受け入れ、学校教育における美術館・博物館の利用に理解を図った。

・和歌山大学教育学部と県教育委員会の連携事業の一環として、和歌山大学教育学部、同附属小学校・中学校と連携して展覧会を課題とした鑑賞、制作、指導法の策定に取り組んだ。

3 博物館実習生・インターンシップ・教員研修などの受入

・大学での博物館学芸員資格取得のために必要な履修科目である博物館実習の実習生を受け入れた。

期間:2023年8月10日(木)～13日(日)、15日(火)～16日(水)(計6日間)

受入校	受入人数
大阪市立大学・大阪公立大学	1名
大阪芸術大学	1名
京都芸術大学	1名
和歌山大学	2名
計4大学	5名

文部科学省の推進するキャリア教育の一環として、教育委員会並びに各学校の取り組んでいる職場体験学習、インターンシップ等を受け入れた。

2023年4月～2024年3月

受入件数	校数	人数	日数	のべ人数
大学生	5校	5名	1日	5名
高校生	4校	9名	4日	18名
中学生	6校	22名	12日	44名
計	15校	36名	17日	67名

職場体験学習

泉南市立信達中学校2年 2023年6月14日(水)、15日(木) 中学生6名

和歌山市有功中学校2年 2023年10月18日(水)、19日(木) 中学生2名

和歌山市河西中学校2年 2023年10月18日(水)、19日(木) 中学生5名

和歌山市立楠見中学校2年 2023年10月25日(水)、26日(木) 中学生2名

和歌山信愛中学校2年 2023年11月9日(木)、10日(金) 中学生3名

和歌山市立東中学校2年 2023年11月15日(水)、16日(木) 中学生4名

インターンシップ

教育庁インターンシップ 2023年7月26日(水)、27日(木) 高校生3名(橋本高等学校2年、新宮高等学校1年、和歌山大学教育学部附属特別支援学校1年)

教育総務課インターンシップ 2023年8月23日(水) 大学生5名

(名城大学、中京大学、都留文科大学、和歌山信愛女子短期大学、島根

県立大学)

和歌山県立和歌山商業高等学校 2023年11月7日(火)、8日(水) 高校生6名

2 生涯学習関連

1 講演会・解説会・体験的プログラム等の実施

- 各展覧会に関連した講演会やフロアレクチャー、ワークショップ、映画上映会、コンサートなどを開催した。(展覧会事業を参照)
- 「なつやすみの美術館13」を課題に学校からの来館を促し、教員らとワークシートの制作に取り組んだ。(展覧会事業を参照)
- 「こども美術館部」の実施

小学生を対象に、展示作品と関連したワークショップを行いながら作品を鑑賞する「こども美術館部」を6回(各回2日、11:00-12:00、同内容)開催した。感染対策のため参加人数に制限を設け、事前申込制とした。

担当:青木加苗

- 「石の上になにすんねん」 企画展「石ノウエニ描く 石版画と作り手たちの物語」
2023年4月29日(土)7名参加・中学生スタッフ1名、4月30日(日)6名参加・中学生スタッフ2名
- 「つるびかざらざら」 企画展「なつやすみの美術館 13 feat. 橋本知成」
2023年7月22日(土)8名参加・中学生スタッフ2名、7月23日(日)7名参加・中学生スタッフ3名
- 「さかいはないさかい」 特別事業「トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」
2023年10月28日(土)6名参加・中学生スタッフ2名、10月29日(日)7名参加・中学生スタッフ3名
- 「みんなで「はら活!」」 特別展「原勝四郎展 南海の光を描く」
2023年11月25日(土)4名参加・中学生スタッフ1名、11月26日(日)10名参加・中学生スタッフ1名
- 「どうじだいどうしたい」 小企画展「原勝四郎と同時代の画家たち」
2023年12月23日(土)4名参加・中学生スタッフ1名、12月24日(日)8名参加・中学生スタッフ2名
- 「どこかであいましょう」 工事休館中、和歌山県立博物館新収蔵品展
2024年2月24日(土)8名参加・中学生スタッフ1名、2月25日(日)8名参加・中学生スタッフ2名

- 和歌山大学美術館部によるたまごせんせいとわくわくアートツアー
和歌山大学の学生サークル「美術館部」の学生たちが来館者の鑑賞をサポートした。担当:青木加苗

2023年8月16日(水)-20日(日)13:30-、15:00- *ただし19日(土)は15:00の回のみ。(企画展「なつやすみの美術館 13 feat. 橋本知成」) 86名参加

2023年9月17日(日)、18日(月・祝)13:30-、15:00-(コレクション展2023-夏秋 特集「本のために—大家利夫の仕事」) 4名参加

2023年10月29日(日)13:30-、15:00-(特別事業「トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」) 4名参加

2023年11月26日(日)13:30-、15:00-(特別展「原勝四郎展 南海の光を描く」) 5名参加

- ゴールデンウィークの取り組み

ゴールデンウィーク中に下記イベントを開催した。担当:藤本真名美

(1)「美術館で語らう」2023年5月5日(金・祝) 14:00-15:00 1階展示室にて 10名

開催中の「コレクション展 2023 - 春」出品作品を、学芸員と参加者と一緒に鑑賞した。

(2)「#学芸員のおしごと体験」2023年5月6日(土) 14:00-16:00 2階ホールにて 6名

学芸員の業務(展覧会の企画・運営や教育普及、館外での調査活動など)をスライドによる講座形式で幅広く紹介し、作品の取扱いや作品調査等も実際に掛け軸を使用し体験してもらい取り組みを行った。

- 放送大学面接授業の実施

放送大学面接授業を当館にて実施した。

2023年6月6日(水)、7日(木) 20名

- 「花王株式会社・テクノスクール・リベラルアーツツアー」の受け入れ

2023年6月7日(日) 8名

- 和歌山市民図書館「〈トークイベント〉学芸員と見る・知る・話す はじめてのアート」への協力

2023年6月10日(土)和歌山市民図書館にて 10名

- 和歌山県高等看護学院講義「人間探索(人間と美術)」への協力

2023年7月11日(火)9:30-16:30 看護学科1年生51名

- 「言葉」で感じる美術館～視覚障害者とつくる美術鑑賞への協力

「原勝四郎展」において、目の見えない人と見える人が一緒に作品を鑑賞するワークショップと、それに関わるトークセッションを行った。

鑑賞ツアー 2023年10月14日(土)10:00-12:00 8名、14:00-16:30 8名

トークセッション 2023年10月15日(日)13:00-14:30 13名

主催:和歌山県人権啓発センター、運営:視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ

- きのくに県民カレッジへの参加

県立図書館が実施する生涯学習プログラムに展覧会のフロアレクチャー等を登録した。

2 ボランティア活動の受け入れ

- 印刷物の校正校閲 1名 のべ42日

- 和歌山大学ミュージアム・ボランティア

和歌山大学教育学部と県教育委員会連携協議に基づくミュージアム・ボランティアについて、2名を受け入れた。

3 友の会等の支援組織との連携

(1) 和歌山県立近代美術館友の会

「和歌山県立近代美術館友の会」を組織し、当館の活動に支援を受けるとともに、楽しみながら美術作品に親しむ機会を設けた。

- 会員の状況

157名(一般会員144名、学生1名、賛助会員11名 特別会員1名)

- 助成事業の実績

会員が美術館事業に理解を持ち、常に美術作品に親しみを持つことが出来るよう常設展及び企画展・特別展の観覧並びに図録の購入に対して助成を行った。

展覧会入場者のべ人数:133名(石ノウエニ描く 37名、なつやすみの美術館 13 feat. 橋本和成 45名、トランスボーダー 4名、原勝四郎展 1名、トランスボーダーと原勝四郎展共通券 37名、コレクション展9名)

図録購入:5冊

- WAKAYAMA COFFEE MARKET 2023 への出店 2023年10月7日(土)、8日(日)、9日(月・祝)

- 主催事業 *新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、例年実施する美術鑑賞ツアー等の事業は休止した。

版画プレゼント 舟田潤子氏の版画(4種類)の中から1点を選んでもらいプレゼントした。 引換期間:2023年9月5日(火)-12月24日(日)

「コレクション展2023-夏秋 特集:本のために—大家利夫の仕事」レセプション・特別観覧 2023年8月11日(金)17:00-19:00 参加80名

「トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」レセプション 2023年9月29日(金)15:00-17:00 参加80名

「トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」関連企画 映画上映会 2023年11月18日(土)13:00-16:00 参加60名(詳細12頁)

友の会バックヤードツアー 2023年9月9日(土)13:30- 参加6名

- 館広報誌、その他への情報提供

美術館が発行するミュージアムカレンダー、美術館ニュース、広報紙などを配

布し、その他への情報提供をした。

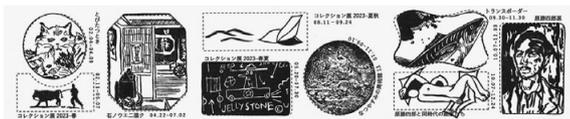
(2) NPO和歌山芸術文化支援協会 (wacss)

- ・「森のちからXIV 森の時間」への協力
期間:2023年10月27日(金)~11月14日(火)
内容:古座川町と串本町で開催されたアーティスト・イン・レジデンス・プログラム「森のちからXIV 森の時間(参加作家:栗田宏一)」に協力した。11月4日(土)地域交流プログラム“語りば”にて、司会・進行を奥村一郎が務めた。
- ・記念ワークショップ「原勝四郎ゆかりの地をめぐる」へ協力した。(詳細19頁)

3 地域との連携

1 自主事業

- ・毎月第1日曜日を入場無料とした。(ただし、11月は和歌山県の「ふるさと誕生日」11月22日に実施)
- ・紀陽文化財団の日
紀陽文化財団の協力により毎月第4土曜日に大学生の入場を無料とした。
- ・オリジナルスタンプによるスタンプラリーを実施し、通年のリピーター獲得に取り組んだ。
- ・県と和歌山市が連携して作成した「わかやままちなかミュージアムマップ」を配付した。
- ・風土記まつりへの参加
県立紀伊風土記の丘が実施する「風土記まつり」に参加した。
2023年10月29日(日)
- ・関西文化の日
関西一円の文化施設の取り組みにあわせ、入場料を無料とした。
2023年11月18日(土)、19日(日) 入場者数1,929名
- ・第77回和歌山県美術展覧会(県展)〈日本画・書・工芸・洋画・写真・彫塑〉
2023年12月13日(水)~12月17日(日) 展示室A(1階)・展示室C(2階)
入場料金:無料
*当館では一般部門を展示、県民ギャラリー等において華道部門と招待作家展を開催した。
- 第9回和歌山県ジュニア美術展覧会(ジュニア県展)
2023年12月20日(水)~12月24日(日) 展示室A(1階) 入場料金:無料
主催:和歌山県
共催:和歌山県教育委員会、和歌山県立近代美術館、和歌山県美術家協会、毎日新聞社和歌山支局、一般財団法人 和歌山県文化振興財団、橋本市、新宮市、上富田町
協賛:公益財団法人 大桑教育文化振興財団
協力:(ジュニア県展のみ):和歌山県美育連盟、和歌山県書写教育研究会



和歌山県立近代美術館スタンプラリー2023



わかやままちなかミュージアムマップ

2 協力事業

- ・県警音楽隊たそがれコンサート
2023年6月9日(金)、23日(金)、7月7日(金)、28日(金)、8月11日(金)、25日(金) 約1,000名
場所:アプローチプラザほか
主催:和歌山県警本部
- ・和歌山藍PROJECT
2023年7月18日(火) 9:30~14:45 小学生664名
会場:アプローチプラザ、展示室
主催:和歌山青年会議所
- ・ミュージアム クリフ映画会
2023年7月28日(金) 約30名
場所:アプローチプラザ
主催:和歌山県BBS連盟
- ・WAKAYAMA COFFEE MARKET 2023
2023年10月7日(土)、8日(日)、9日(月・祝) 11:00~17:00 約2,000名
場所:アプローチプラザほか
主催:market Wakayama
- ・インド伝統工芸士による制作実演—和歌山県—インドマハラシュトラ州覚書締結10周年—
2023年10月13日(金)、14日(土) 11:00~15:30
インド文化関係評議会派遣の伝統工芸士5名がデモンストレーションを行った。
場所:リーディングコーナー
主催:和歌山県(国際課)
- ・GOES ON WAKAYAMA
2023年10月29日(日) 約600名
場所:アプローチプラザほか
主催:和歌山ライブハウス連絡会
- ・すぎわかマーケット
2023年11月19日(日) 約1,000名
場所:アプローチプラザ
主催:好き和歌実行委員会
- ・第7回きのくに建築賞 公開審査への協力
2023年11月19日(日) 約80名
場所:2階ホール
主催:建築三団体まちづくり協議会

4 印刷物の発行

- ・機関紙『和歌山県立近代美術館ニュース』(年4回、各2,500部発行)
No.115(2023年6月30日発行)
井上芳子:グレーの空間で見た池田満寿夫の軽やかさ 令和4~5年度改修工事と「とびたつとき 池田満寿夫とデモクラートの作家」
植野比佐見:石の声を聴きたい 石ノウエニ描く 石版画と作り手たちの物語
山野英嗣:コレクション展2023-春夏 特集:美術と音楽の出会い
植野比佐見:保存の話をしよう。25 めんどくさいが、面倒くさい。
Museum Calendar、メールマガジン Facebook twitter ご案内、友の会案内
- No.116(2023年10月30日発行)
藤本真名美:床の間芸術再考 コレクション展2023-春夏
奥村泰彦:untitledな展覧会 なつやすみの美術館13 feat. 橋本知成
井上芳子:「本のために —大家利夫の仕事」ノート コレクション展2023-夏秋 特集:本のために —大家利夫の仕事
植野比佐見:保存の話をしよう。26 額装のたのしみ
Museum Calendar、メールマガジン Facebook X(旧twitter) ご案内、友の会案内

No.117(2023年1月30日発行)

青木加苗:「トランスボーダー」展補遺 ヘンリー杉本《カメルハイランド海辺》と上山鳥城男の壁画について
竹山聖(建築家):1972年のカプセルというマイクロコスモス(小宇宙)／時代のタイムマシン
藤本真名美:「ミティラー美術館コレクション展」後記 Stone Musicインドツアー
植野比佐見:保存の話しよう。27 作品の旅支度。
令和5年度地域創造大賞(総務大臣賞)を受賞しました!、メールマガジン Facebook X(旧twitter)のご案内、友の会案内

No.118(2024年3月28日発行)

宮本久宣:つながり、つなげる 51年ぶりの大回顧展 原勝四郎展:和歌山県立近代美術館での開催をめぐって
三谷渉(田辺市立美術館):地域とのつながりとともに 原勝四郎展:田辺市立美術館での開催をめぐって
植野比佐見:生命の響き合うところ:原勝四郎展 南海の光を描く
植野比佐見:保存の話しよう。28 休館だからできること
エレベーターの改修工事を実施しています。メールマガジン Facebook X(旧twitter)のご案内、友の会案内

- 2023年度展覧会カレンダー 6.1x10.5cm 巻き5つ折(10頁)(30,000部発行)
『和歌山県立近代美術館年報 2022(令和4)年度』(2024年3月31日、250部発行)
ポスター、チラシ、図録等(各展覧会事業を参照)



ニュース



カレンダー

5 メディア等への情報発信

1 プレスリリース、取材協力

- 展覧会や特別事業ごとにプレスリリースを作成し、県庁記者クラブ、教育記者クラブにて資料提供を55件に行うほか、新聞社、放送局、出版社等約137か所に送付(メール送信)して、報道、掲載を依頼。また取材等の要請に応じ

て情報を提供した。

- 展覧会ごとに、ポスター、チラシ等を作成し、全国関係諸機関、県下各市町村及び小中高校、大学、教育機関、JR和歌山駅観光案内所など約2055か所に配布した。
県発行の広報誌『県民の友』に、毎月事業案内を掲載した。
『わかやま探検ミュージアム』(季刊・県内全小学校4~6年生に配布、和歌山県教育委員会 和歌山県PTA連合会発行)隔号に展覧会紹介記事を掲載した。
本屋プラグラジオへの出演
和歌山市内の書店、本屋プラグが配信するポッドキャストで展覧会の紹介を行った。(各展覧会事業を参照)
2023年4月6日「#89 特集:和歌山県立近代美術館で開催中「奈良原一高の写真」展の魅力」 出演:奥村一郎
2023年5月25日「#96 特集:「美術と音楽の出会い」について」 出演:山野英嗣、藤本真名美
2023年10月12日「#115 トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術の見所特集」 出演:奥村一郎
2023年11月16日「#120 陽光が降り注ぐ紀南の風景と、家族の時間を描いた画家、原勝四郎特集」 出演:宮本久宣
和歌山市立図書館デジタルサイネージに、展覧会情報を掲載した。
泉州・紀北ミュージアムネットワークを通した広報活動を行った。
ミュージアムぐるっとパス・関西2023に加入。
和歌山県職員に対し電子掲示板、庁内メール等で展覧会の案内をした。

2 ホームページでの情報発信

- プレスリリースやメディアへの画像提供をホームページ上から行えるようにした。
和歌山市観光課海外向けホームページ my secret Wakayamaに情報を提供した。(https://www.mysecretwakayama.com/introduce/1939/)

3 メールマガジンでの情報発信

- メールマガジン(テキスト版・html版)にて、美術館で開催されるさまざまな展覧会及びプログラムへの参加をよびかけた。(2023年5月3日発行の184号から2024年3月29日に発行の195号まで計12回発行。登録読者数html版624名、テキスト版37名、計661名、2024年3月29日現在)

4 SNSによる情報発信

- Facebook、Instagram、X(旧Twitter)、Google My Business等を通じての情報提供を実施した。

5 問い合わせ・質問(電話・来館等)への対応

展覧会や作品に関する問い合わせなどに適宜対応し、必要と判断した際には直接赴いて作品調査や保存、寄贈の相談に応じた。

調査・研究・発表活動および対外協力活動

山野英嗣

・「コレクション展 2023- 春夏 特集：美術と音楽の出会い」の企画および関連事業の実施

・美術館ウェブサイト「館長からのメッセージ」を連載

* * *

・講義：放送大学面接授業（2023年6月7日／和歌山県立近代美術館）

・講演：「コレクション展 2023- 春夏 特集：美術と音楽の出会い 館長によるレコードコンサート&トーク」（2023年6月17日／和歌山県立近代美術館）

・執筆：「コレクション展2023- 春夏 特集：美術と音楽の出会い」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.115、2023年6月30日、pp.6-7

・執筆：『日本アーティスト事典』国立アトリサーチセンター設置準備室、2023年9月ベータ版公開（2024年3月6日正式版公開）*オンライン総辞典

・執筆：「近代美術館における『移民展』『トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術』展図録、2023年9月29日、pp.12-13

・執筆：「『原 勝四郎』再考」、「『原勝四郎展 南海の光を描く』展図録、2023年10月7日、pp.13-16

* * *

・講義（非常勤講師）：立命館大学大学院「博物館コミュニケーション論」（2023年前期セメスター／立命館大学）

・芦屋市美術博物館指定管理者選定委員会に出席（2023年6月26日、9月21日、10月16日／芦屋市役所）

・京都国立近代美術館美術品収集委員会に出席（2023年9月11日／京都国立近代美術館）

・神戸市小磯記念美術館評議員会に出席（2023年11月29日／神戸市小磯記念美術館）

・第3回枚方市展（洋画、版画部門）審査会に出席（2023年12月8日／枚方市総合文化芸術センター）

・徳島県立近代美術館資料収集委員会に出席（2024年1月12日／徳島県立近代美術館）

・高知県立美術館資料収集委員会に出席（2024年2月5日／高知県立美術館）

・愛媛県美術品等収集評価委員会に出席（2024年2月14日／愛媛県美術館）

所属学会：美学会、美術史学会

奥村泰彦

・「なつやすみの美術館13 feat. 橋本知成」展の企画および関連事業の実施、記録集の執筆・編集

* * *

・執筆：「REAL」『陶芸の提案2023—real—』ギャラリー白、2023年4月17日、pp.2-3 [ノンプルなし]

・対談：「陶芸の提案2023—real—」ギャラリートーク（2023年4月17日／ギャラリー白）

・講義：同志社大学「博物館展示論」（2023年4月20日、4月27日、5月11日、5月18日、5月25日／同志社大学）

・講義：放送大学面接授業（2023年6月6日／和歌山県立近代美術館）

・講義：「〈トークイベント〉学芸員と見る・知る・話す はじめてのアート」（2023年6月10日／和歌山市民図書館）

・講義：和歌山県立高等看護学院「人間探索（人間と美術）」（2023年7月11日／和歌山県立近代美術館2階ホール、展示室）

・執筆：「『大洪水』が指し示すものとは」『宇佐美圭司「大洪水」』DM、カトーフェスタハラダ本社ギャラリー（会期：2023年7月15日～8月6日）

・発表：「〈博物館部会事例発表〉社会教育と学校教育の連携—和歌山県立近代美術館の取り組み」『第62回社会教育研究全国集会（関西集会）』第14分科会（2023年8月20日／和歌山県立近代美術館2階ホール）

・執筆：「untitledな展覧会 なつやすみの美術館13 feat. 橋本知成」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.116、2023年10月30日、pp.4-5

・講義：和歌山大学「博物館資料論」（2023年11月2日／和歌山大学）

・講義：和歌山大学「博物館保存論」（2023年12月24日／和歌山大学）

・発表：美術史学会東西合同シンポジウム「学芸員のキャリア・トランジション—その事例と功罪—」（2024年2月11日／大阪市立大学140周年記念講堂 *ハイブリッド）

・対談：「池垣展」（2024年3月2日／京都精華大学明窓館4Fラーニングコモンズ *池垣タダヒコ、木村秀樹との鼎談）

・執筆：「On Keiji Usami's The Big Flood」「宇佐美圭司「大洪水」を巡って」『宇佐美圭司 大洪水』2024年3月8日、rin art association、pp.26-29、pp.38-41

・執筆：「橋本知成とUntitledな展覧会」『なつやすみの美術館13 feat. 橋本知成 記録集』2024年3月31日、pp.33-35

* * *

・歯と口の健康ポスター審査会に出席（2023年8月24日／和歌山県歯科医師会）

・姫路市展審査員 [絵画（油彩画等）]（2024年2月15日／姫路市立美術館）

・徳島県立近代美術館価格評価委員（委嘱期間：2024年1月11日～2024年3月31日、委員会：2024年1月11日）

・和歌山市立岡幼稚園評議員

・公益財団法人堀江オルゴール博物館理事

所属学会：美学会、美術史学会、美学芸術学会、アートドキュメンテーション学会、版画学会（運営委員）

井上芳子

・「コレクション展 2023- 夏秋 特集：広島市現代美術館所蔵品による池田満寿夫の1960-1980年代 特集：本のために—大家利夫の仕事」の企画および関連事業の実施

* * *

・講義：放送大学面接授業（2023年6月6日／和歌山県立近代美術館）

・執筆：「グレーの空間で見えた池田満寿夫の軽やかさ 令和4~5年度改修工事と「とびたつとき 池田満寿夫とデモクラートの作家」」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.115、2023年6月30日、pp.2-3

・執筆：「本のために—大家利夫の仕事—」『東京製本倶楽部会報』No.96、2023年8月、pp.3-5

・執筆：「『本のために—大家利夫の仕事—』ノート」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.116、2023年10月30日、pp.6-7

* * *

・令和4年度田辺市立美術館作品選定委員会・協議会に出席（2022年10月31日／田辺市立美術館）

所属学会：夢二学会

植野比佐見

・「石ノウエニ描ク 石版画と作り手たちの物語」展の企画および関連事業の実施

・「原勝四郎展 南海の光を描く」の企画および関連事業の実施、図録の執筆

* * *

- ・講義：放送大学面接授業（2023年6月6日／和歌山県立近代美術館）
- ・執筆：「石の声を聴きたい 石ノウエニ描く 石版画と作り手たちの物語」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.115、2023年6月30日、pp.4-5
- ・執筆：「〈保存の話しよう。〉 25 めんどくさいが、面倒くさい。』『和歌山県立近代美術館ニュース』No.115、6月30日、p.8
- ・執筆：「午後の仕事—原勝四郎の額縁」『原勝四郎展 南海の光を描く』図録、2023年10月7日、pp.150-151
- ・執筆：「〈保存の話しよう。〉 26 額装のたのしみ」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.116、2023年10月30日、p.8
- ・執筆：「〈保存の話しよう。〉 27 作品の旅支度。」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.117、2024年1月30日、p.8
- ・執筆：「生命の響き合うところ：原勝四郎展 南海の光を描く」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.118、2024年3月28日、pp.6-7
- ・執筆：「〈保存の話しよう。〉 28 休館だからできること」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.118、2024年3月28日、p.8

所属学会：明治美術学会、文化財保存修復学会

奥村一郎

- ・「トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」展の企画および関連事業の実施、図録の執筆・編集
- ・和歌山移民研究を軸とした国際交流事業（文化庁 Innovate MUSEUM 事業）の企画実施

* * *

- ・発表：移民画家を通して学ぶ和歌山の移民と授業づくり① 和歌山県歴史教育者協議会4月例会「和歌山ゆかりの渡米画家と和歌山県立近代美術館」（2023年4月20日、*オンライン）
- ・執筆：「和歌山からアメリカへ—移民と美術 和歌山県立近代美術館の取組みについて」（マイグレーション研究会2022年10月例会報告要旨）『マイグレーション研究会』第18号、2023年5月
- ・講義：放送大学面接授業（2023年6月6日／和歌山県立近代美術館）
- ・執筆：「〈展覧会紹介〉島村逢紅と日本の近代写真」『大正イマジリィ』第17号、2023年6月15日、pp.158-162
- ・発表：日本移民学会第33回年次大会ラウンドテーブル 和歌山県における移民をテーマとした取り組みの状況と連携について「和歌山移民研究と美術—和歌山県立近代美術館の取組みについて」（2023年6月25日／神田外語大学）
- ・執筆：「〈裏表紙解説〉島村逢紅『洋書と眼鏡』」『美術フォーラム21』第47号、2023年6月30日、p.118-119
- ・講義：和歌山市小学校図工教育研究会・夏季鑑賞研修（2023年8月8日／和歌山県立近代美術館）
- ・執筆：「トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」開催の経緯」『トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術』展図録、2023年9月29日、pp.162-163
- ・展示解説：移民画家を通して学ぶ和歌山の移民と授業づくり④ 和歌山県歴史教育者協議会10月例会「トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」（2023年10月21日／和歌山県立近代美術館）
- ・発表：移民と美術をめぐるシンポジウム Vol. 2 アメリカ西海岸の日系移民とアートシーン「赫土社とその周辺 リトルトーキョーの芸術家たち」（2023年10月22日／和歌山県立近代美術館）
- ・司会進行：NPO 和歌山芸術文化支援協会 森のちからXIV・森の時間 栗田宏一 地域交流プログラム「語りば」（2023年11月4日／北海道大学和歌山研究林本館）
- ・発表：和歌山大学紀州経済史文化史研究所 移民の歴史をめぐるシンポジウム：広島と和歌山から「トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」展をめぐる」（2024年1月21日／和歌山市立博物館）
- ・講演：有田川町教育委員会 いのしへの有田歴史講座「鳥屋城村からロ

サンゼルスへ 画家・上山島城男をめぐる」（2024年3月20日／きびドーム）

* * *

- ・全国美術館会議地域美術研究部会第16回会合に出席（2024年2月21日、22日／上田市立美術館、梅野記念絵画館）

所属学会：日本移民学会、マイグレーション研究会

宮本久宣

- ・「原勝四郎展 南海の光を描く」の企画および関連事業の実施、図録の執筆・編集
- ・「原勝四郎と同時代の画家たち」の企画および関連事業の実施

* * *

- ・講義：放送大学面接授業（2023年6月7日／和歌山県立近代美術館）
- ・執筆：「田辺中学校で教えた画家、田中寅三」「原勝四郎の見た風景」「〈資料紹介〉原勝四郎の田辺中学校時代」『原勝四郎展 南海の光を描く』図録、2023年10月7日、pp.30-34、pp.144-149、pp.152-153
- ・執筆：「つながり、つなげる 51年ぶりの大回顧展 原勝四郎展：和歌山県立近代美術館での開催をめぐる」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.118、2024年3月28日、pp.2-3

所属学会：美術史学会

青木加苗

- ・「トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」展の企画および関連事業の実施、図録の執筆・編集
- ・「こども美術館部」の企画および実施
- ・和歌山移民研究を軸とした国際交流事業（文化庁 Innovate MUSEUM 事業）の企画実施および統括

* * *

- ・発表：美術史学会 美術館博物館委員会 東西合同シンポジウム 美術館・博物館教育のこれまで、これから「ミュージアムで人は何を学ぶのか—博物館法とICOM規約改正から考える」（2023年4月23日／学習院大学）
- ・講演：成安造形大学 コミュニティデザイン概論「美術館とコミュニティがつながりつづけるしくみを考える」（2023年5月23日 *事前収録）
- ・発表：日本ミュージアム・マネジメント学会第28回大会 社会変動に対応できる新たなミュージアムの可能性「定義改正は誰のため？—われわれの「コミュニティ」観をアップデートするために」（2023年6月3日／乃村工芸社ビル）
- ・コーディネーター：ラウンドテーブル 社会教育法70年と社会教育法制をめぐる課題（その7）—博物館法施行規則一部改正省令公布をふまえて（その5）（2023年6月4日／田園調布学園大学）
- ・講義：放送大学面接授業（2023年6月7日／和歌山県立近代美術館）
- ・講演：岡山大学 生涯学習社会論「ミュージアムのサステナビリティと社会のサステナビリティはどうかかわっているのか」（2023年6月21日 *オンライン）
- ・発表：移民画家を通して学ぶ和歌山の移民と授業づくり③ 和歌山県歴史教育者協議会6月例会「西洋／日本／アジア：美術から見る「近代」」（2023年6月22日／和歌山県立近代美術館 *ハイブリッド）
- ・発表：日本移民学会第33回年次大会ラウンドテーブル 和歌山県における移民をテーマとした取り組みの状況と連携について「和歌山移民研究を軸とした国際ネットワークの構築とウェブサイト「移民と美術」について」（2023年6月25日／神田外語大学）
- ・執筆：「赫土社とそのコミュニティ—上山島城男と彦山禎吉の版画を起点にして」『トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術』展図録、2023年9月29日、pp.176-180
- ・発表：移民と美術をめぐるシンポジウム Vol. 2 アメリカ西海岸の日系移民と

アートシーン「太陽は西に昇るか——西海岸の日系人美術家が見た日本」
(2023年10月22日／和歌山県立近代美術館)

所属学会：美術史学会、明治美術学会、大正イマジユリ学会

- ・執筆：「〈特集 文化資源の保全と図書館・博物館 第2章 私たちの考える地域文化資源の保全と活用—提言とコメント(コメント6) 文化資源を生み出すのは文化資源を通じた学びである」『ライブラリー・リソース・ガイド(LRG)』第45号、2023年11月、pp.90-91
- ・講演：「Why We Had the “Transbordering” Exhibition」(2023年12月7日／全米日系人博物館 Tateuchi Forum)
- ・講義：和歌山大学 美術史概論(2023年12月17日、2024年2月19日、2月21日／和歌山大学)
- ・講義：和歌山大学 美術鑑賞演習(2023年12月27日、2024年1月20日、1月21日／和歌山大学)
- ・発表：日本ミュージアム・マネージメント学会近畿支部部会・コレクションマネージメント研究部会第1回合同研究会 これからのミュージアムの広報を考える—公立人文系ミュージアム編「美術館を「広報する」—和歌山県立近代美術館の場合」(2024年1月27日／阪南大学)
- ・執筆：「「トランスボーダー」展補遺 ヘンリー杉本《カーメルハイランド海辺》と上山鳥城男の壁画について」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.117、2024年1月30日、pp.2-5
- ・講演：和歌山県国際交流協会主催 南加和歌山県人会交流プログラム「Migration and Art」(2024年3月10日 *オンライン)
- ・講演：有田川町教育委員会 いのしえの有田歴史講座「上山鳥城男をめぐる 調査からわかったこと、まだわからないこと」(2024年3月20日／きびドーム)

* * *

- ・滋賀県立美術館 美術館魅力向上検討部会委員(2023年7月7日～12月28日)
- ・日本博物館協会「博物館総合調査」委員会委員(2023年9月～2025年3月)
- ・大阪市立自然史博物館 子ども向け普及教育事業プロポーザル選定委員(2023年12月25日／大阪市立自然史博物館)
- ・ICOM-ICFA 委員長 2022～2024
- ・ICOM日本委員会理事 2023～2025年度

所属学会：ICOM ICFA、意匠学会、美学会、美術科教育学会、美術史学会

藤本真名美

- ・「コレクション展 2023-春夏 特集：美術と音楽の出会い」の企画および関連事業の実施
- ・「なつやすみの美術館13 feat.橋本知成」の企画および関連事業の実施

* * *

- ・講義：放送大学面接授業(2023年6月6日／和歌山県立近代美術館)
- ・発表：近代京都美術研究会「国画創作協会展の落選作家について」(2023年9月4日／京都新聞社 *ハイブリッド)
- ・執筆：「床の間芸術再考 コレクション展2023-春夏」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.116、2023年10月30日、pp.2-3
- ・発表：ミティラー美術館長谷川時夫主催 Stone Musicインドツアー [和歌山県立近代美術館でのミティラー美術館コレクション展についての報告](2023年11月23日、25日、27日／India Habitat Centre、Bihar Museum、MIT Art, Design and Technology University)
- ・執筆：「「ミティラー美術館コレクション展」後記 Stone Musicインドツアー」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.117、2024年1月30日、p.7
- ・発表：近代京都美術研究会「国展落選作品について」(2024年3月6日／京都新聞社 *ハイブリッド)

* * *

- ・全国美術会議 川崎市市民ミュージアム被災収蔵品のレスキュー作業に参加(2024年1月22日、23日／川崎市市民ミュージアム)

1 和歌山移民研究を軸とした国際交流事業

令和5年度 Innovate MUSEUM 事業（文化庁補助事業）として「博物館を中心とした広域連携に基づく和歌山移民史の総合研究発信事業」を実施。これは、2022年度に文化庁委託事業として実施した「和歌山移民研究を軸とした国際交流事業」の実行委員会（当館ならびに太地町教育委員会、和歌山大学紀州経済史研究所）に、新たに和歌山市立博物館、和歌山県立文書館を加えて拡大展開したもの。和歌山県内の諸機関が行ってきた移民史関連研究を当館が中心となって集約し、広域的な取り組みとして国際的に発信することで、和歌山県内の博物館施設・関連機関が領域横断的なネットワークの基盤を固め、近代移民という事象を県の特色ある文化と歴史として総合的に発信することを目指した。当館担当分の調査研究に関する成果は、第2回和歌山県人会世界大会記念特別事業「トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」展に最大限活かされた。実施事業については、当館担当分のみを記載する。

- ・ヘンリー杉本旧蔵資料のデジタルアーカイブ化
和歌山市立博物館が所蔵するヘンリー杉本旧蔵資料を撮影、目録化を実施。「トランスボーダー」展で展示、公開。
- ・学校連携に基づく和歌山移民教育の実践と教材製作
県立高校教諭1名（美術科）を当館学芸員が引率してアメリカに派遣し、全米日系人博物館との協議を重ねて、美術作品を通じた学習課題を立案・実施した。全米日系人博物館やロサンゼルスと和歌山県人会関係者の協力を得ながら、前年度した派遣した教員のクラスとあわせて2学年に対してオンライン授業を提供。（8月～2024年2月）
社会科（歴史）教員の研究会を当館で定期的に開催し、美術館が主導する地域史研究とその教育展開の基盤を整えた。（通年）
- ・和歌山ゆかりの日系美術作家に関する調査
全米日系人博物館所蔵のヘンリー杉本アーカイブを中心に調査（8月）するとともに、和歌山ゆかりの日系美術作家についてアメリカ以外の地域への研究を展開するため、カナダBC州移民関係施設において基礎調査を行った。（2024年1月）
- ・国際シンポジウムの実施
移民と美術をめぐるシンポジウム Vol.2 10月22日（日）13:00～16:30 2階ホールにて 60名 ＊日英同時通訳つき
パネリスト：クリステン・ハヤシ（全米日系人博物館キュレーター、コレクション・マネージメント&アクセス担当ディレクター）
エミリー・アンダーソン（全米日系人博物館キュレーター）
水野真理子（富山大学准教授）
櫻井敬人（太地町歴史資料室学芸員、ニューベッドフォード捕鯨博物館顧問学芸員）
奥村一郎（当館教育普及課長）
青木加苗（当館学芸員）
主催：和歌山移民研究を軸とした国際交流事業実行委員会

2 日本博物館協会

- ・令和5年度全国支部長会議に館長、総務課長が出席。（2023年7月4日／黒田記念館セミナー室）
- ・近畿支部第25期後期研修会に館長、総務課長、藤本真名美学芸員が出席。特別展「原勝四郎展」ほかを鑑賞。（2023年11月4日／田辺市立美術館、同分館熊野古道なかへち美術館）
- ・近畿支部第25期後期・第2回役員会に館長、総務課長が出席。（2024年2月29日／和歌山県立近代美術館）
- ・青木加苗、博物館総合調査委員（2023年9月～2025年3月）。第1回会議に出席。（2023年11月7日 ＊オンライン）

3 全国美術館会議

- ・美術館運営研究部会令和5年度活動「学芸員聞き取り調査」に青木加苗が参加し、調査を実施。（2023年春 ＊オンラインおよび対面聞き取り調査）
- ・美術館運営研究部会第37回会合に青木加苗が出席。（2024年1月15日／国立新美術館）
- ・川崎市市民ミュージアム被災収蔵品のレスキュー作業に藤本真名美が参加。（2024年1月22日、23日／川崎市市民ミュージアム）
- ・地域美術研究部会第16回会合に奥村一郎が出席。（2024年2月21日、22日／上田市立美術館、東御市梅野記念絵画館・ふれあい館）

4 和歌山県博物館施設等災害対策連絡会議

事務局を担当。和歌山県文化財災害対応マニュアルについて、2023年5月に本会幹事を対象とした書面評決を実施し、各委員の意見等を担当課（文化遺産課）に提出した。

1 令和5年度地域創造大賞（総務大臣賞）を受賞

2023年12月8日、地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰する賞を受賞した。

〈審査基準〉

- ・地方公共団体が、文化・芸術による地域振興やふるさとづくりという地域を豊かにするための行政の目的に沿った芸術文化振興ビジョンや公立文化施設の理念、使命を持ち、それを達成するための施設運営がなされているかどうか。
- ・先進性、テーマ性を有する自主企画展覧会の開催等創造的な活動に取り組むとともに、内外の優れた作品の鑑賞機会の提供に意欲的に取り組んでいるか。
- ・地域住民との協働（コラボレーション）に意欲的に取り組んでいるか。

〈受賞理由〉

「コレクション活用”による美術運営の旗手」

郷土作家の作品を積極的に収集。美術館の基本であるコレクション活用の充実を図り、テーマ別展覧会、教職員と連携した「なつやすみの美術館」、小学生向け鑑賞会などを展開。地域文化の普及と誇りの醸成に貢献した。

〈関連記事〉

- ・「令和5年度の地域創造大賞、受賞施設に和歌山県立近代美術館など」『ウェブ版 美術手帖』2023年12月12日
(ウェブ配信 <https://bijutsutecho.com/magazine/news/headline/28203>)

2 中銀カプセルタワービル カプセルA908を展示

1972（昭和47）年に竣工した建築家 黒川紀章（1934–2007）の代表作のひとつである中銀カプセルタワービルの解体に伴い、カプセルの1基（A908）を設置した。

設置日：2023年8月24日

場所：和歌山県立近代美術館アプローチプラザ

〈関連記事〉

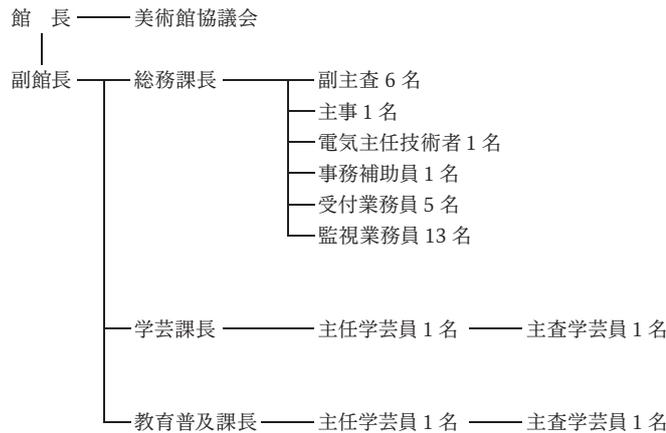
- ・「中銀カプセルタワービル「カプセル新陳代謝プロジェクト」国内外で進行中」『TEAM TECTURE MAG』2023年8月30日
(ウェブ配信 <https://mag.tecture.jp/culture/20230830-97133/>)
- ・「中銀カプセルタワービルのカプセル、黒川紀章建築の和歌山県立近代美術館に。期待される収蔵」『ウェブ版 美術手帖』2023年8月31日
(ウェブ配信 <https://bijutsutecho.com/magazine/news/headline/27731>)
- ・「レトロで未来なカプセルが来た 銀座から県立近代美術館 黒川紀章代表作展示」『毎日新聞』2023年9月1日、21面
- ・「中銀のカプセル展示 近代美術館 黒川紀章の代表作」『わかやま新報』2023年9月13日、3面
- ・「INFOMATION」『月刊近代建築』9月号、2023年9月
- ・「黒川紀章さんの代表作 中銀カプセルが和歌山に 県立近代美術館で展示」『産経新聞』2023年10月8日、20面
- ・菅原孝美「和歌山にもカプセル到着 黒川氏設計の美術館」『銀座たてもの新聞』2023年10月21日、1面
- ・榊原織和「カプセルに詰めた夢 羽ばたく 黒川建築「中銀タワー」解体後 居室がアートに」『朝日新聞』（夕）2023年10月24日、1面
- ・笠木和子「わかやまの公共建築 第96回 中銀カプセルタワービル「カプセルA908」」『きのくに』572号、2023年11月1日、pp.1–3
- ・榊原織和「50年前の「宇宙船」和歌山上陸 故黒川氏設計 窓からのぞき見る思想」『朝日新聞』2023年11月7日、27面
- ・「解体から1年 中銀カプセルタワービルのその後」『週刊新潮』68–44、2023年11月23日
- ・広谷純弘「〈デザインの根っこ—人・モノ・かたち〉68 メタボリズムの遺産」『わかやま新報 日刊』2023年12月13日、6面
- ・「回顧2023 美術」『読売新聞』2023年12月19日、25面

- ・Tim Hornyak 「In Tokyo, Rescuing the Residential Spaceship That Fell to Earth」『The New York Times』2024年1月15日
(ウェブ配信 <https://www.nytimes.com/2024/01/15/realestate/tokyo-japan-nakagin-tower.html>)
- ・宮崎正嗣「故黒川紀章さん設計 カプセル型個室展示 和歌山県立近代美術館」『中日新聞』2024年1月19日、13面
- ・「中銀カプセルタワー A908」『第7回きのくに建築賞 最終審査』[会場配布パンフレット] 2023年11月29日

*以上ウェブ上の情報への最終アクセス日：2025年1月30日

管理運営

組織



機構及び職員配置

館長：	山野 英嗣
副館長：	奥村 泰彦
総務課	総務課長：玉井 俊充 副主査：木下 侑香 (和歌山県立博物館副主査兼務) 副主査：大西 佑亮 (和歌山県立博物館副主査兼務) 副主査：土谷 雅宏 (和歌山県立博物館副主査兼務) 副主査：立花 佳樹 (和歌山県立博物館副主査兼務) 副主査：井上 佳典 (和歌山県立博物館副主査兼務) 副主査：西山 真帆 (和歌山県立博物館副主査兼務) 主 事：木地 裕美子 (和歌山県立博物館主事兼務) 電気主任技術者： 寺井 武志 (会計年度任用職員)
学芸課	学芸課長：井上 芳子 主任学芸員：植野 比佐見 主査学芸員：青木 加苗
教育普及課	教育普及課長：奥村 一郎 主任学芸員：宮本 久宣 主査学芸員：藤本 真名美 受付業務員 5名、監視業務員 13名

和歌山県立近代美術館協議会委員

任期 2 年：2026 (令和 8) 年 11 月 2 日まで

	氏名(◎会長)	役職
◎	榎本 長治	会社社長
	五十殿 利治*	筑波大学 名誉教授
	川瀬 和男	会社社長
	杵村 直子	一般社団法人 MAP 代表理事、画家
	鈴木 源二	和歌山県美術家協会 会長
	建島 哲**	埼玉県立近代美術館 館長／前 多摩美術大学 学長
	谷 奈々	一般財団法人和歌山社会経済研究所 研究委員／公益財団法人和歌山県国際交流協会 理事
	真砂 美香	紀の川市子ども・子育て会議委員／わかやまメディアリテラシー研究会 代表
	松尾 友絵	和歌山市立和歌浦小学校 校長／和歌山県美育連盟 会長
	三木 哲夫*	兵庫陶芸美術館 名誉館長
	雪山 行二*	前 富山県美術館 館長
	渡部 幹雄	和歌山大学 名誉教授

氏名五十音順、現在 委員 12 名 *は、和歌山県立近代美術館評価部会委員。**は部会長。現在委員 4 名

第 74 回和歌山県立近代美術館協議会

2023(令和5)年 8 月 25 日 14:00 より開催。2022(令和 4) 年度事業報告、2023(令和 5) 年度事業説明を受けて、当館の運営について協議が行われた。

第 12 回和歌山県立近代美術館評価部会

2023(令和5)年 8 月 25 日 15:30 より開催。2022(令和 4) 年度美術館運営評価、および 2023(令和 5) 年度美術館運営目標などについて協議した。

第 75 回和歌山県立近代美術館協議会

2023(令和5)年 11 月 18 日 14:00 より開催。2024(令和 6) 年度事業案などについて協議が行われた。

安全と快適性

1 施設・設備

1 施設・設備の維持管理

- ・ 施設・設備の定期的な保守管理、日常のメンテナンスを行うとともに、経年劣化による修繕箇所を把握し、空調設備や消防設備等の施設修繕を予算の範囲内で実施することにより安全確保を行った。
- ・ 階段の浮き部分や外構のひび割れなど観客の安全確保が必要な箇所には三角コーンを設置し、立ち入らないように注意喚起した。

2 施設・設備の改修・更新・整備・増設

- ・ 外壁改修工事を実施した。(2023年7月19日施工完了)
- ・ エレベーター改修工事を行った。(2024年3月27日施工完了)
- ・ 天井の雨漏りに対して部分修繕を行った。(継続して修繕等を行う必要あり)
- ・ 階段の浮き部分や外構のひび割れなど三角コーンを設置した箇所の修繕を予算の範囲内で実施した。
- ・ ポンプ、配管の修繕を予算の範囲内で実施した。
- ・ 重量パイプシャッター(エスカレーター横)の故障に際し懸垂幕を設置し、次年度の修繕を計画した。

3 美観の保持・衛生管理

- ・ 日常的なメンテナンスにより設備の維持、施設の美観等衛生管理を行った。

4 長期修繕計画

- ・ 2024年度～2026年度にかけての空調改修計画を実施した。

2 快適性の向上

1 バリアフリー対策・ユニバーサルデザイン等の対応

- ・ エレベーター改修に際して、バリアフリーに配慮した工事を実施した。

2 利用者に対する接遇

- ・ 丁寧な対応を心がけるよう、意識の向上を図った。

3 快適性向上のための上記以外の取り組み

- ・ 故障中のトイレやウォータークーラーの修繕については、対応中である。

3 危機管理

1 危機管理・防災体制

- ・ 地震及び火災時の避難訓練を実施した。

2 個人情報の保護・データ管理

- ・ 展覧会関係者、講演会・研修等の参加者の情報管理を適切に行った。

4 職員研修

- ・ 職員に対し、利用者への適切な対応をするよう指導した。
- ・ 全職員を対象に、人権研修を開催した。

5 情報公開・利用者のニーズなどの把握

- ・ 和歌山県立近代美術館の使命をホームページ、年報で公開した。
- ・ 2022年度の実績評価についてホームページで公開した。
- ・ アンケートにより入館者情報、満足度の把握を行い、対応すべき事柄には迅速に対応した。

2023（令和5）年度 展覧会入館者数

特別展・企画展								常設展								その他	
展覧会名	とびたつとき	石ノ工ニ描ク	なつやすみの美術館	トランスボーダー	原勝四郎展	特別展・企画展合計		*参考 2023春 コレクション展	2023春 コレクション展	2023春夏 コレクション展	2023夏秋 コレクション展	原勝四郎と同時代の画家たち*	小企画展	常設展合計		第77回県展	第9回ジュニア県展
会 期	4月1日 ～ 4月9日	4月22日 ～ 7月2日	7月11日 ～ 9月10日	9月30日 ～ 11月30日	10月7日 ～ 12月3日			2月11日 ～ 3月31日	4月1日 ～ 5月7日	5月20日 ～ 7月30日	8月11日 ～ 9月24日	10月7日 ～ 12月24日			12月13日 ～ 12月17日	12月20日 ～ 12月24日	
日 数	8	68	54	53	50	219		42	32	62	38	68	200		5	5	
有 料								1,008	943	1,555	1,375	0	4,866				
個 人	一 般	208	1,520	1,927	1,359	1,185	6,199	0	0	0	0	0	0				
	団 体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	紀 陽	0	0	124	82	88	294	0	0	0	101	0	226				
	友の会	4	37	43	39	37	160	29	16	41	25	0	111				
大 学 生	割 引	19	253	314	232	219	1,037	111	89	282	258	0	621				
	一 般	12	92	239	115	95	553	106	48	150	189	0	737				
	団 体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	紀 陽	0	21	18	14	14	67	11	2	32	8	0	52				
小 計	244	2,016	2,698	1,869	1,663	8,490	16	3	15	62	0	74					
無 料								761	497	765	509	0	1,771				
高 齢 者	227	880	804	1,900	1,429	5,240	95	70	138	94	0	302					
障 害 者	23	160	147	209	155	694	539	659	1,790	798	1,380	4,627					
そ の 他	328	1,060	2,293	2,756	2,211	8,648	1	2	5	0	0	7					
県内留学生	2	3	3	9	9	26	38	37	125	191	0	353					
高 校 生	15	46	439	102	83	685	29	36	181	184	0	401					
中 学 生	9	68	1,291	194	171	1,733	84	69	140	194	0	403					
小 学 生	36	98	382	158	137	811	31	20	48	86	0	154					
幼 児	15	45	147	56	36	299	0	53	519	72	0	644					
団 体	0	560	565	804	789	2,718	1,578	1,443	3,711	2,128	1,380	8,662		2,891	2,244		
小 計	655	2,920	6,071	6,188	5,020	20,854	2,859	2,544	5,786	4,146	1,380	13,856		2,891	2,244		
合 計	899	4,936	8,769	8,057	6,683	29,344	93,700	117,500	145,520	191,530	0	454,550		0	0		
入館料	187,520	966,540	1,284,210	971,780	815,620	4,225,670											

紀陽:紀陽文化財団の助成による入館者 割引:メールマガジン持参、博物館入館者、5館連携入館者 その他:招待券等による入館者

*第77回県展及び第9回ジュニア県展は入館者に計上していない。

*「参考」と付した展覧会の入館者数および入館料は、前年度あるいは次年度のため、合計には計上していない。

*10月7日～12月3日分は原勝四郎展の入館者数に含む。

総 計																							
開館 日数	有 料										無 料								入館者 数合計	入館料			
	個 人					大 学 生					小計	高 齢 者	障 害 者	そ の 他	県内 留 学 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生			幼 児	団 体	小計
	一般	団体	紀陽	友の会	割引	一般	団体	紀陽	割引														
419	10,072	0	395	242	1,666	940	0	109	260	13,684	7,011	996	13,275	33	1,038	2,134	1,214	453	3,362	29,516	43,200	4,680,220	

紀陽:紀陽文化財団の助成による入館者 割引:メールマガジンなどの持参による入館者 その他:招待券、招待状、優待券による入館者

*第77回県展及び第9回ジュニア県展は入館者に計上していない。

*「参考」と付した展覧会の入館者数および入館料は、前年度あるいは次年度のため、合計には計上していない。

関係法規・規則・規定等

○和歌山県立近代美術館設置及び管理条例

昭和 45 年 10 月 6 日
和歌山県条例第 64 号
改正 平成 6 年 3 月 30 日条例第 18 号

和歌山県立近代美術館設置および管理条例をここに公布する。

和歌山県立近代美術館設置及び管理条例 (平 6 条例 18・改称)

(設置)

第 1 条 近代美術に関する資料を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の観覧に供するとともに、美術に関する資料の調査、研究等を行い、もって美術文化の向上に資するため、和歌山県立近代美術館(以下「近代美術館」という。)を設置する。

(平 6 条例 18・一部改正)

(位置)

第 2 条 近代美術館は、和歌山市吹上一丁目 4 番 14 号に置く。

(平 6 条例 18・一部改正)

(事業)

第 3 条 近代美術館は、第 1 条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 近代美術に関する作品その他の近代美術に関する資料を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の利用に供すること。
- (2) 美術に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (3) 美術に関する展覧会、研究会、講習会等の開催及び資料の刊行

(平 6 条例 18・一部改正)

(使用料)

第 4 条 近代美術館を使用する者は、和歌山県使用料及び手数料条例(昭和 22 年和歌山県条例第 28 号)の定めるところにより、使用料を納めなければならない。

(委任)

第 5 条 近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、昭和 45 年 11 月 2 日から施行する。

附 則 (平成 6 年 3 月 30 日条例第 18 号)

この条例は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

○和歌山県立近代美術館管理規則

昭和 45 年 10 月 22 日
和歌山県教育委員会規則第 20 号
改正 昭和 53 年 4 月 1 日教育委員会規則第 12 号
昭和 56 年 5 月 28 日教育委員会規則第 7 号
昭和 63 年 3 月 31 日教育委員会規則第 13 号
平成 元 年 3 月 31 日教育委員会規則第 7 号
平成 6 年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号
平成 13 年 3 月 30 日教育委員会規則第 11 号
平成 17 年 2 月 25 日教育委員会規則第 2 号
平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 15 号

和歌山県立近代美術館管理規則を次のように定める。

和歌山県立近代美術館管理規則

(目的)

第 1 条 この規則は、和歌山県立近代美術館設置及び管理条例(昭和 45 年和歌山県条例第 64 号。以下「条例」という。)第 5 条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館(以下「近代美術館」という。)の管理に関し法令、条例及び他の規則に定めのあるものを除くほか、必要な事項を定めることを目的とする。

(開館時間)

第 2 条 近代美術館の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとする。

- 2 館長は、特別の事情がある場合においては、前項の開館時間を変更することができる。この場合においては、館長は、その旨を教育長に報告するものとする。

(休館日)

第 3 条 近代美術館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 毎週月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い土曜日、日曜日又は休日でない日)
 - (2) 年始(1 月 1 日から同月 3 日まで)
 - (3) 年末(12 月 29 日から同月 31 日まで)
 - (4) 前 3 号に定めるもののほか、特別の事情により館長が臨時に休館を必要と認め、教育長の承認を得た日
- 2 館長は、必要があると認めるとき、その他特別の事情があるときは、前項第 1 号から第 3 号までに掲げる休館日を変更することができる。この場合においては、館長は、その旨を教育長に報告するものとする。
 - 3 非常変災その他急迫の事情があるときは、館長は、臨時に休館することができる。この場合においては、館長は、次に掲げる事項を直ちに教育長に報告するものとする。
 - (1) 休館の期間
 - (2) 非常変災その他急迫の事情の概要
 - (3) その他必要と認める事項

(職員)

第 4 条 近代美術館に、館長のほか必要な職員を置く。

(課の設置及び所掌事務)

第 5 条 近代美術館に、次の課を置く。

総務課
教育普及課
学芸課

- 2 総務課においては、次の事務をつかさどる。
 - (1) 館長印、館印その他公印の管守に関する事。
 - (2) 職員の身分、服務その他人事に関する事。
 - (3) 文書の收受、発送、編さん及び保存に関する事。
 - (4) 予算、決算及び会計に関する事。
 - (5) 近代美術館の施設、設備及び物品の管理に関する事。
 - (6) その他学芸課の主管に属しない事。
- 3 教育普及課においては、次の事務をつかさどる。
 - (1) 美術に関する知識の向上及び普及並びに美術の振興に関する事。
 - (2) 学校等の教育、学術又は文化に関する諸施設に対する助言及び支援並びに当該施設との協力に関する事。
 - (3) 国内外の美術館等関係諸団体との連絡及び協力に関する事。
 - (4) 近代美術に関する展覧会、講演会及び研究会等の立案、調整及び実施に関する事。
 - (5) 美術館活動（美術品等の展示及び収集並びに美術の普及活動等をはじめとして広く美術館において行う諸活動をいう。）に係る調査研究に関する事。
- 4 学芸課においては、次の事務をつかさどる。
 - (1) 美術品及び美術に関する資料の収集、管理及び保存に関する事。
 - (2) 近代美術に関する展覧会の立案、調整及び実施に関する事。
 - (3) 近代美術に関する調査研究及び資料の刊行に関する事。
 - (4) 近代美術館協議会に関する事。

（入館の拒絶、制限及び退館命令）

第6条 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 伝染性疾患のある者
- (2) 陳列品を汚損し、又は近代美術館の施設及び設備をき損するおそれのある物品を所持している者
- (3) 館内の秩序を乱すと認められる者
- (4) その他館長において近代美術館の管理上入館を不相当と認めた者

2 館長は、近代美術館の管理上必要があると認めるときは、入館に制限を加えることができる。

（損害賠償の義務）

第7条 入館者は、その責めに帰すべき事由により陳列品を汚損し、近代美術館の施設及び設備をき損し、又は滅失したときは、その損害の賠償をしなければならない。

（委任）

第8条 この規則に定めるもののほか、近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

附 則

この規則は、昭和45年11月2日から施行する。

附 則（昭和53年4月1日教育委員会規則第12号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和56年5月28日教育委員会規則第7号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和63年3月31日教育委員会規則第13号）

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成元年3月31日教育委員会規則第7号）
この規則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則（平成6年3月31日教育委員会規則第8号）
この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則（平成13年3月30日教育委員会規則第11号）
この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則（平成17年2月25日教育委員会規則第2号）
この規則は平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月30日教育委員会規則第15号）
この規則は平成19年4月1日から施行する。

○和歌山県博物館協議会条例

昭和 57 年 3 月 29 日
和歌山県条例第 11 号
改正 平成 24 年和歌山県条例 28 号

和歌山県博物館協議会条例をここに公布する。

和歌山県博物館協議会条例

(設置)

第 1 条 博物館法(昭和 26 年法律第 285 号)第 20 条の規定に基づき、次の表の左欄に掲げる博物館にそれぞれ当該右欄に掲げる博物館協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

博物館の名称	協議会の名称
和歌山県立近代美術館	和歌山県立近代美術館協議会
和歌山県立博物館	和歌山県立博物館協議会
和歌山県立紀伊風土記の丘	和歌山県立紀伊風土記の丘協議会
和歌山県立自然博物館	和歌山県立自然博物館協議会

(委員の任命の基準)

第 2 条 協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する。

(委員の定数)

第 3 条 委員の定数は、15 人以内とする。

(任期)

第 4 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長等)

第 5 条 協議会に、会長及び副会長 1 人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(小委員会及び部会)

第 7 条 協議会は、小委員会又は部会を置くことができる。

2 小委員会に委員長を、部会に部会長を置く。

3 委員長及び部会長は、委員のうちから会長が指名する。

4 小委員会又は部会に属する委員は、会長が指名する。

(庶務)

第 8 条 協議会の庶務は、当該博物館において処理する。

(委任)

第 9 条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和 57 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 24 年 3 月 23 日条例第 28 号)

この条例は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

○和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会設置要綱

(平成元年8月1日教育長決定)

改正 平成14年3月1日

和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会設置要綱を次のように定める。

和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会設置要綱

(目的)

第1条 和歌山県博物館協議会条例(昭和57年和歌山県条例第11号)第7条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館(以下「美術館」という。)において収集する美術作品の選定に関する事務を適正かつ円滑に行うことを目的として、和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(業務)

第2条 委員会は、美術館において収集する美術作品の選定に関する事項を審議する。

(構成)

第3条 委員会は、委員5名以内をもって構成する。
2 委員は、和歌山県立近代美術館協議会会長(以下「協議会会長」という。)が和歌山県立近代美術館協議会委員のうちから指名する。
3 委員の任期は、2年とし、再任することができる。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に、委員長を置く。
2 委員長は、委員のうちから協議会会長が指名する。
3 委員長は、会務を総理する。ただし、委員長に事故があるときは、あらかじめ協議会会長が指定する委員が会務を総理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、和歌山県立近代美術館長(以下「館長」という。)が招集する。
2 委員会の会議には、館長が、必要に応じて、委員でない者の出席を求めることができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、美術館において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し、必要な事項は、館長が定める。

附 則

この要綱は、平成元年8月1日から施行する。

改正文(平成14年教育長決定)抄

この要綱は、平成14年3月1日から施行する。

○和歌山県立近代美術館評価部会設置要綱

平成26年4月1日施行

(目的)

第1条 和歌山県博物館協議会条例(昭和57年和歌山県条例第11号)第7条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館(以下「美術館」という。)の運営の状況等を評価することを目的として、和歌山県立近代美術館評価部会(以下「部会」という。)を設置する。

(業務)

第2条 部会の業務は、次に掲げるとおりとする。
(1) 美術館の運営について評価する項目を定め、各項目について評価を行う。
(2) 館長が行った新規採用学芸員に係る条件付き採用期間中の評価及び既存の学芸員に係る3年に1度の評価に関し、意見を述べる。

(委員)

第3条 委員の定数は、5人以内とする。
2 委員は、和歌山県立近代美術館協議会会長(以下「協議会会長」という。)が和歌山県立近代美術館協議会委員のうちから指名する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とし、再任することができる。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(部会長)

第5条 部会に、部会長を置く。
2 部会長は、委員のうちから協議会会長が指名する。
3 部会長は、会務を総理する。ただし、部会長に事故があるときは、あらかじめ協議会会長が指定する委員が会務を総理する。

(会議)

第6条 部会の会議は、美術館長(以下「館長」という。)が招集する。
2 部会の会議には、館長が、必要に応じて、委員ではない者の出席を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、美術館において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、館長が定める。

○和歌山県立近代美術館美術品貸付規則

昭和 46 年 10 月 12 日

和歌山県教育委員会規則第 26 号

改正 昭和 56 年 8 月 29 日教委規則第 15 号平成元年 3 月 31 日

教委規則第 8 号

平成 31 年 4 月 5 日教委規則第 17 号

和歌山県立近代美術館美術品貸付規則を次のように定める。

和歌山県立近代美術館美術品貸付規則

(目的)

第 1 条 この規則は、和歌山県立近代美術館が所蔵する美術品(以下「美術品」という。)の貸付けに関し必要な事項を定めることを目的とする。

(貸付)

第 2 条 和歌山県立近代美術館長(以下「館長」という。)は、その目的が公の性質をもち、かつ、美術文化の普及上適当と認められた場合に、次項に規定する者に対して美術品を貸し付けることができるものとする。

- 2 美術品の貸付けを受けることのできる者は、国並びに地方公共団体及び公益法人その他これらに準ずる団体とする。

(申請手続)

第 3 条 美術品の貸付けを受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した借受申請書を館長に提出しなければならない。

- (1) 申請者の氏名又は名称及び住所
- (2) 借り受けようとする美術品の名称及び数量
- (3) 使用目的
- (4) 陳列等のための施設の名称及びその場所並びに施設の概要
- (5) 借受期間
- (6) 借受期間中における保管及び管理の方法
- (7) その他参考となる事項

(貸付承認)

第 4 条 館長は、美術品の貸付けを承認したときは、美術品貸付承認通知書(別記様式)を申請者に交付する。

(貸付期間)

第 5 条 美術品の貸付期間は、通常 2 月以内(以下「1 期間」という。)とする。ただし、館長が必要と認めるときは、貸付期間を更新し、又は延長することができる。

(借受書等)

第 6 条 美術品の貸付承認を受けた者は、次に掲げる事項を記載した借受書を館長に提出しなければならない。

- (1) 借り受ける美術品の名称及び数量
 - (2) 借受期間
 - (3) 返納期日
 - (4) 返納場所
 - (5) 貸付条件に従う旨
- 2 貸付承認をした美術品の引渡しは、前項の借受書の提出があったとき、これを行う。
 - 3 館長は、美術品が返還されたときは、これと引換えに返還を受けた旨の受領書を交付するものとする。

(遵守事項等)

第 7 条 貸付承認をした美術品の荷造り及び輸送並びに保管、返納等に要する費用は、借受人の負担とする。

- 2 貸付期間中の美術品の保管及び管理は、借受人の責任とし、亡失、汚損又は損傷のあったときは、賠償の責めを負うものとする。

- 3 美術品の借受人は、当該美術品を借り受けた目的以外に使用してはならない。

(貸付料)

第 8 条 美術品の貸付料は、1 点につき 1 期間 3,300 円とし、第 5 条ただし書の貸付期間の延長の場合にあつては、1 月以内の延長期間については 1,650 円とし、1 月を超える延長期間については 3,300 円とする。

- 2 特別の事情がある場合においては、貸付料を増減し、又は免除することができる。
- 3 既納の貸付料は、これを返還しない。

(貸付けの取消し)

第 9 条 館長は、美術品の貸付けを受けた者が、この規則及び貸付条件を守らないときは、その承認を取り消し、当該美術品の返還を要求することができる。

(補則)

第 10 条 この規則に定めるもののほか、美術品の貸付けに関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

附 則

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 和歌山県立美術館美術品貸付規程(昭和 42 年和歌山県教育委員会規則第 22 号)は、廃止する。

附 則(昭和 56 年 8 月 29 日教育委員会規則第 15 号)

この規則は、昭和 56 年 9 月 1 日から施行する。

附 則(平成元年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号)

この規則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 31 年 4 月 5 日教育委員会規則第 17 号)

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第 2 条の規定は、平成 31 年 10 月 1 日から施行する。

別記様式(第 4 条関係)

番号				
年 月 日				
美術品貸付承認書				
殿				
和歌山県立近代美術館長 印				
年 月 日付で承認申請のあった当館所蔵の美術品の貸付けについては、下記によって承認する。				
記				
1	貸付品	種別	作者名	題名
		材質	形状	製作年
2	貸付期間	年 月 日から	年 月 日まで	
3	貸付料	金	円	
上記貸付料は、美術品借り受けのとき、又はその日までに県指定金融機関へ払い込むこと。				
4 美術品の輸送の際の取扱い及び保管管理については、館長の指示に従い、十分注意するとともに、貸付中のいっさいの責任を借受人において負うものとする。				
5 美術品は、当館係員立合いのうえ借受書と引換えに引き渡すものとする。				
6 その他和歌山県立近代美術館美術品貸付規則の各条項を遵守するとともに館長の指示に従うこと。				

備考 この承認書には、和歌山県立近代美術館美術品貸付規則を添付すること。

○和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程

昭和 46 年 10 月 12 日
和歌山県教育委員会告示第 12 号
改正 平成 6 年 3 月 31 日教委告示第 1 号

和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程を次のように定める。

和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程

(趣旨)

第 1 条 この規程は、和歌山県立近代美術館(以下「美術館」という。)における美術作品の寄託に関し必要な事項を定めるものとする。

(受託)

第 2 条 美術作品の所有者(以下「所有者」という。)が展示保存又は調査研究の目的をもって、美術作品の保管の寄託の申入れがあったときは、この規程の定めるところにより、美術館はこれを無償で受託するものとする。

(寄託)

第 3 条 所有者が、美術作品を寄託しようとするときは、別記第 1 号様式による保管依頼書を提出し、館長の承認を受けなければならない。

(受入れ及び返還)

第 4 条 館長は、美術作品を受領したときは、所有者に、別記第 2 号様式による受託証書を交付するものとする。

- 寄託品の返還を受けようとする者は、原則として返還を受けようとする日の 1 月前に別記第 3 号様式による返還請求書を館長に提出しなければならない。
- 寄託品は、受託証書と引き換えに、これを所有者に返還するものとする。
- 寄託品の返還を受けようとする者が、所有者の代理人であるときは、受託証書に、委任状その他代理人であることを証する書類を添えなければならない。

(寄託期間及び期間の更新)

第 5 条 寄託期間は、3 年とする。ただし、館長が必要と認めるときは、所有者の承諾を得てこの期間を短縮又は更新することがある。寄託期間を経過後寄託者から返還の請求がない場合は寄託期間の更新をしたものとみなす。

- 寄託期間の更新をするときは、受託証書の書換えを行うものとする。

(所有者の変更等)

第 6 条 売買、相続等により寄託品の所有者に変更があったとき、又は所有者の氏名、名称若しくは住所等に変更があったときは、その所有者(所有者変更の場合は、新所有者)は、所有権の移転その他氏名、名称等の変更を証する書類を受託証書に添えて、館長に届け出て、受託証書の書換えを受けなければならない。

(受託証書の再交付)

第 7 条 受託証書を忘失し、又は著しく破損したときは、所有者は、これらを証明するに足る書類(破損の場合は、その受託証書)を添えて、速やかに館長に受託証書の再交付を申請しなければならない。

(作品輸送経費の負担)

第 8 条 所有者は、寄託品の搬入又は返還に要する荷造り及び運搬の経費を負担しなければならない。ただし、館長において特にその必要がないと認めた場合は、この限りでない。

(補則)

第 9 条 この規程に定めるもののほか美術品の寄託に関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

附 則

この規程は、告示の日から施行する。

附 則 (平成 6 年 3 月 31 日教育委員会告示第 1 号)

この規程は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

別記第 1 号様式(第 3 条関係)

美術作品保管依頼書

種 別	
作 品 名	
作 者 名	
製 作 年 月 日	
附 属 品	
作品の所在地	
寄 託 期 間	年 月 日から 年 月 日まで

上記作品について下記事項承諾のうえ、寄託を申し入れます。

年 月 日

和歌山県立近代美術館長 殿

住所

氏名

Ⓜ

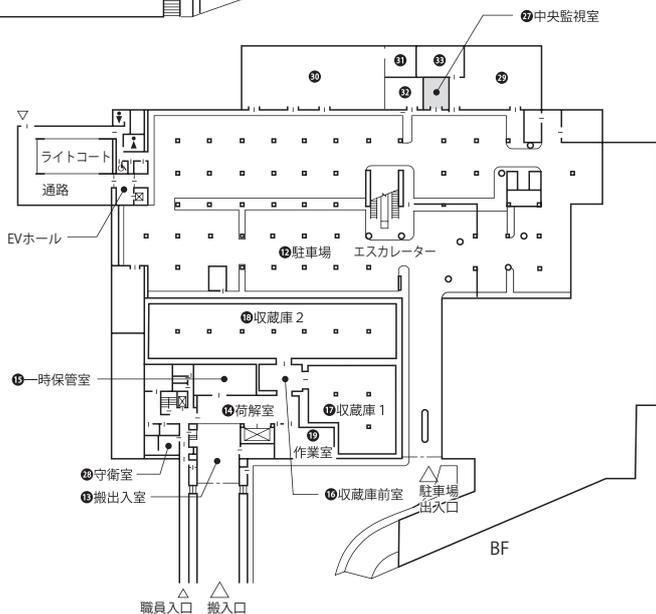
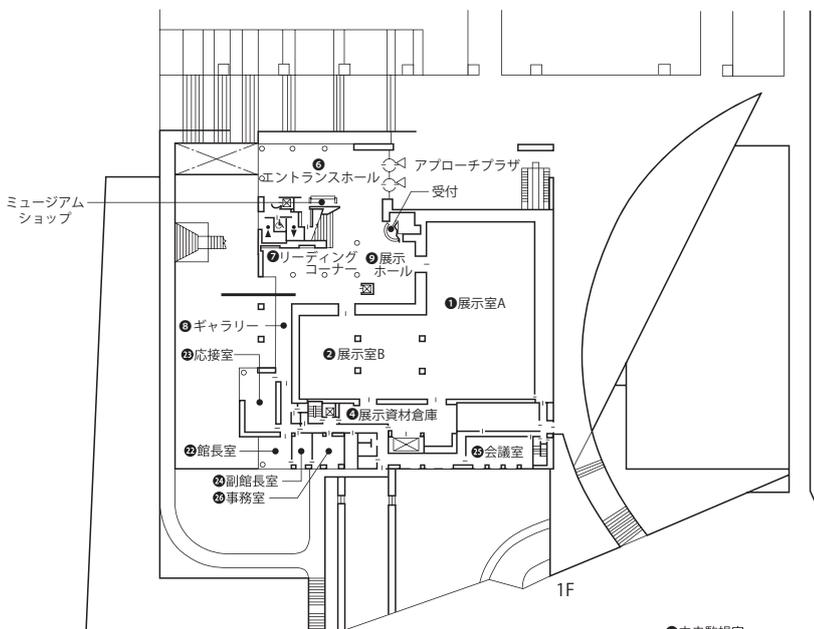
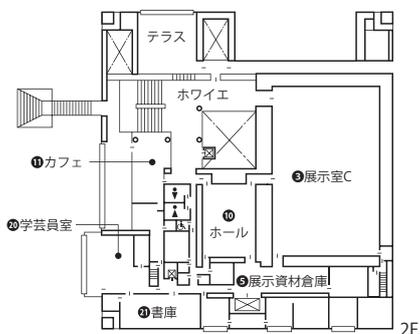
記

- 寄託期間経過後、私から返還請求をしない場合は、この期間の更新に同意したものとします。
- 寄託した美術作品が天災その他の避けられない事故によって汚損又は亡失した場合における補償の請求はいたしません。
- 展示保存又は調査研究に資するため写真撮影することに同意します。

	文書番号
	年 月 日
受託証書	
作品名	
附属品	
寄託期間	
	年 月 日から
	年 月 日まで
上記作品の保管を和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程(昭和46年和歌山県教育委員会告示第12号)により受託しました。	
年 月 日	
住所	
氏名	様
	和歌山県立近代美術館長 ㊟

返還請求書	
作品名	
附属品	
寄託期間	
	年 月 日から
	年 月 日まで
上記の作品の返還を和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程(昭和46年和歌山県教育委員会告示第12号)により請求します。	
年 月 日	
和歌山県立近代美術館長 殿	
	住所
	氏名 ㊟

建築概要



部門別面積表

部門	室名	面積 (㎡)
展示部門		
①	展示室 A	1,057.0
②	展示室 B	486.1
③	展示室 C	1,038.6
④	展示資料倉庫 (1F)	136.2
⑤	展示資料倉庫 (2F)	121.5
	(小計)	2,839.4
サービス部門		
⑥	エントランスホール	402.2
⑦	リーディングコーナー	217.8
⑧	ギャラリー	46.9
⑨	展示ホール	134.0
⑩	ホール	181.5
	ホール前室、映写室、控室 A、倉庫	74.6
⑪	カフェ	105.1
	厨房	62.0
	テラス	217.9
	化粧室	181.9
⑫	駐車場	2,480.1
	EV ホール、廊下、階段、その他	1,670.7
	(小計)	5,774.7
収蔵部門		
⑬	搬出入室	108.4
⑭	荷解室	130.0
⑮	一時保管室	81.0
⑯	収蔵庫前室	61.4
⑰	収蔵庫 1	342.5
⑱	収蔵庫 2	685.6
⑲	作業室	82.0
	(小計)	1,490.9
調査部門		
⑳	学芸員室、倉庫	123.2
㉑	書庫	113.1
	(小計)	236.3
管理部門		
㉒	館長室	
㉓	応接室	
㉔	副館長室	
㉕	会議室	
㉖	事務室	
㉗	中央監視室	
㉘	守衛室	444.7
	控室 B	
	控室 C	
	控室 D	
	更衣室	
	救護室	
㉙	電気室	212.4
㉚	マシンルーム	364.9
㉛	消火ポンプ室	38.7
㉜	ハロンボンベ室	51.2
㉝	発電機室	58.1
	空調機械室	295.5
	倉庫、その他	31.1
	(小計)	1,496.6
	合計	11,837.9
階数		
	各階面積	
2F	2,916.8	
1F	3,436.8	
BF	5,484.3	
	合計 (延床面積)	11,837.9

近代美術館・博物館 建築概要

所在地	和歌山市吹上一丁目4番14号
敷地面積	23,356.78㎡
監理	和歌山県土木部営繕課
設計監理	(株)黒川紀章建築都市設計事務所
施工	竹中・清水・戸田特定建築工事共同企業体 きんでん・伊藤電気特定電気設備工事共同企業体 日立プラント・長谷川冷機特定機械設備工事共同企業体
総工費	137億8086万円 〔総事業費 192億633万1千円(用地費含む)〕
工事期間	1991年10月～1994年3月

建物概要

構造	RC造(鉄筋コンクリート構造) 地上2階地下1階建
建築面積	7,087.17㎡ (美術館部分4,500.62㎡ 博物館部分2,586.55㎡)
延床面積	18,704.50㎡(駐車場3,460.40㎡を含む) (美術館部分11,837.90㎡ 博物館部分6,866.60㎡)
仕上	外装 外壁 磁器質タイル、アルミパネルアルマイト仕上、アルミカーテンウォール 屋上 アスファルト防水の上コンクリート押え 庇 フッ素ステンレス鋼板、アルミパネル アルマイト仕上

設備概要

電気設備

受変電設備	3φ3W6600V 60Hz 変圧器 1φ600KVA(うち美術館300KVA 博物館300KVA) 3φ1550KVA(うち美術館900KVA 博物館650KVA)
自家発電設備	ディーゼル機関 4サイクル 440PS 1800rpm 3φ3W6600V 375KVA
蓄電池設備	キュービクル式直流電源装置 容量 300AH

空調設備

熱源設備	空気熱源熱回収型スクリュウ式ヒートポンプ冷凍機 165RT+110RT 蓄熱槽 1560㎡
排煙設備	自然排煙+機械排煙6系統(うち美術館4系統 博物館2系統)

衛生設備

給水設備	受水槽 上水10㎡、雑用水29㎡ 受水方式 加圧給水ポンプ方式
排水設備	汚水・雨水分流式(公共下水道へ放流)

消火設備	ハロンガス消火(収蔵部門各室・展示部門各室・書庫) /屋内消火栓/スプリンクラー/消火器/泡消火(駐車場)
------	--

自動火災報知設備	(館内守衛室にて集中管理)
煙感知器	光電スポット型 美術館239台 博物館139台
熱感知機	差動スポット型 美術館91台 博物館52台 定温スポット型 美術館17台 博物館13台

防災・防犯設備(館内守衛室にて集中管理)

受信盤	複合GR型 1020回線
ITV監視装置、防災アンプ	(720W)
監視カメラ	美術館29台(うち展示室9台) 博物館15台(うち展示室6台)
防犯センサー	

展示・保存環境

		面積	床材	天上高
展示部門	1F 展示室 A	1,057.0㎡	ナラフローリング	5m
	ケース	L13,706 × D1,200 × H3,372 + L31,070 × D1,200 × H3,372 (mm)		
	1F 展示室 B	486.1㎡	同上	4m
	2F 展示室 C	1,038.6㎡	同上	5m
	ケース	L25,211 × D1,200 × H3,372 (mm)		
2F 展示資材倉庫	1F 展示資材倉庫	136.2㎡	ビニアスタイル	4 m
		121.5㎡	同上	4m
収蔵部門	収蔵庫 1 (立体)	342.5㎡	耐水合板下地	4m
	ブナフローリング			
	収蔵庫 2 (平面)	685.6㎡	同上	4m
	前室	61.4㎡	同上	4m
	一時保管室	81.0㎡	モザイクパーケット	4m
	作業室	82.0㎡	ビニアスタイル	5.8m
	荷解室	130.0㎡	同上	5.8m
	搬出入口	108.4㎡	モルタル金ゴテ/エポキシ系塗床	4.8m
展示照明 (1階)	LED ダウンライト/LED スポットライト (着脱式) / LED 壁面ケース内ライト			
	高演色タイプ、無段階調光調色可能			
(2階)	LED ダウンライト/LED スポットライト (着脱式) / LED 壁面ケース内ライト			
	高演色タイプ、無段階調光調色可能			
	* 2021年1月から4月にかけて1階展示室照明改修工事を実施			
空調	展示室	2系統		
	収蔵庫	2系統		
	展示室	設定温度	通年 22℃	
		設定湿度	通年 55%	
	収蔵庫	設定温度	通年 22℃	
	設定湿度	通年 55%		
作品専用昇降機	油圧式・30m/min・最大積載量 3.0 トン			
	H3,000 × W5,000 × D2,500 (mm)			

案内

利用案内

開館時間 9:30～17:00 (入場は16:30まで)
休館日 毎週月曜日 (祝日のときはその翌平日)
年末年始 (12月29日～1月3日)
展示替え期間
駐車場 有料 (90台収容)

交通案内

JR 和歌山駅又は南海電鉄和歌山市駅からバスで約10分、
「県庁前」下車、徒歩2分
(和歌山城の南、県庁前交差点すぐ)



2023 (令和 5) 年度

和歌山県立近代美術館年報

編集・発行 和歌山県立近代美術館 ©2025

〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上 1-4-14

tel. 073-436-8690 fax. 073-436-1337

2025 (令和 7) 年 3 月 31 日発行

印刷 中和印刷紙器株式会社

